

令和4年度

予算執行実績報告書

(主要施策の成果及び基金の運用状況について)

豊田市

令和4年度における主要施策の成果及び基金の運用状況について

令和4年度豊田市一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するに当たり、地方自治法第233条第5項の規定により、主要な施策の成果を提出します。あわせて、同法第241条第5項の規定により、基金の運用状況について提出します。

令和5年9月1日提出

豊田市長 太田 稔彦

目 次

I 総 括

1	令和4年度の財政運営	1
	第1表 財政指数年次別比較表	2
2	一般会計・特別会計の決算状況	4
	第2表 一般会計・特別会計歳入歳出決算額一覧表	4

II 一般会計

1	一般会計の収支状況	7
2	一般会計予算の編成状況	14
	第3表 一般会計予算の編成状況等	14
3	一般会計歳入決算額の概要	18
	第4表 一般会計歳入決算額年次別比較表	28
	第5表 一般会計年次別財源内訳表	28
	第6表 市税決算額前年度比較表	30
	第7表 市税徴収実績表	32
	第8表 市債の状況	34
4	一般会計歳出決算額の概要	36
	第9表 一般会計歳出決算額年次別比較表	42
	第10表 一般会計性質別決算額年次別比較表	44
	第11表 一般会計歳出決算額節別集計表	46
	第12表 一般会計普通建設事業費の状況	48
	第13表 一般会計目別歳出決算額の概要	50
	第14表 主要工事実績表	337
	第15表 土地取得実績表（補償費を除く。）	353

Ⅲ 特別会計

国民健康保険特別会計	355
都市計画事業土地区画整理特別会計	358
分譲住宅建設事業特別会計	364
卸売市場特別会計	365
水道水源保全事業特別会計	367
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	368
介護保険事業特別会計	369
財産区特別会計	371
後期高齢者医療特別会計	373
産業用地造成事業特別会計	375

Ⅳ 基金の運用状況

豊田市土地開発基金運用状況に関する調書	377
豊田市都心整備基金運用状況に関する調書	384
豊田市産業振興基金運用状況に関する調書	387

Ⅴ 資 料

令和4年度当初予算編成方針	389
地方債現在高の状況	392
基金残高の状況	394

(注) 各表の金額等の数値については、表内の整合性を保つため、適宜調整してあります。

I 総括

1 令和4年度の財政運営

1 令和4年度の国の予算編成

(1) 予算編成についての考え方

令和3年度補正予算と合わせ、新型コロナ対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現を図るための予算編成を行います。

＜主なポイント＞

- ・変異株による感染拡大等、予期せぬ状況の変化に備え、コロナ予備費5兆円を措置。また、令和3年度補正予算において、医療提供体制の確保、ワクチン接種体制の整備、治療薬の確保等を措置
- ・「科学技術立国」の観点から、過去最高の科学技術振興費を確保し、デジタル、グリーン、量子、AI、宇宙、次世代半導体等の研究開発を推進
- ・「骨太方針2021」で定めた取組を継続し、メリハリの効いた予算を編成。また、予算の単年度主義の弊害を是正

(2) 一般会計予算

- ア 予算規模 107兆5,964億円（対前年度 9,867億円の増）
- イ 一般歳出（国債費及び地方交付税交付金等を除いたもの）
67兆3,746億円（対前年度 4,723億円の増）

2 令和4年度の地方財政計画

(1) 歳入歳出規模 90兆5,918億円（対前年度 7,858億円の増）

(2) 主な内訳

（歳入）

- ・地方税 41兆2,305億円（対前年度 2兆9,601億円の増）
- ・地方交付税 18兆 538億円（対前年度 6,153億円の増）
- ・国庫支出金 14兆8,826億円（対前年度 1,195億円の増）
- ・地方債 7兆6,077億円（対前年度 3兆6,331億円の減）

（歳出）

- ・給与関係経費 19兆9,644億円（対前年度 1,896億円の減）
- ・投資的経費 11兆9,785億円（対前年度 512億円の増）
- ・公債費 11兆4,259億円（対前年度 3,540億円の減）

3 令和4年度の本市の財政運営

(1) 当初予算編成方針

ア 予算編成の基本方針

新型コロナウイルス感染症の動向を的確に見極めた上で、引き続きその対応に必要な施策を確実に実施するとともに、第8次総合計画後期実践計画を着実に推進する予算編成を行います。

イ 重点取組

- (ア) コロナ禍の経験を生かしたくらしと経済の再構築
- (イ) デジタル化の加速
- (ウ) ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の推進

- (エ) 抜本的な財政構造改革
- (2) 予算編成にあたっての考え方
 - ア 歳出の適正化、歳入の確保
 - (ア) 新規事業、拡大事業における特定財源の確保や既存事業のスクラップ等の徹底
 - (イ) 国県補助金の積極的な確保
 - イ 投資的経費の確保
 - (ア) 普通建設事業費は、引き続き 300 億円以上を確保
 - (イ) 市債や基金は、まちづくりに必要な投資や市民サービスの提供のため、必要に応じて有効活用
 - ウ 特別会計、企業会計、協会公社等への対応
 - 特別会計及び企業会計の予算編成、並びに協会公社等に対する補助金及び委託料等についても、本方針を周知徹底
- (3) 当初予算

令和 4 年度の本市の一般会計歳入歳出予算額は、1,801 億円(対前年度 3 億円の増)としました。

歳入面では、個人市民税は対前年度 2 億 9,600 万円の減、法人市民税は対前年度 142 億 2,200 万円の増、固定資産税は対前年度 22 億 9,122 万円の増と見込み、市税全体では、前年度に対し 167 億 2,950 万円増の 1,101 億 9,173 万円を見込みました。国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の増などにより、前年度に対し 12 億 2,900 万円増の 246 億 4,251 万円を見込みました。繰入金は、前年度に対し 101 億 17 万円減の 33 億 3,824 万円とし、財政調整基金、保健医療福祉基金などから繰り入れることとしました。市債は、前年度に対し 80 億円減の 30 億円とし、投資的事業等の財源とすることとしました。

歳出面では、コロナ禍の経験を生かしたくらしと経済の再構築の取組として、感染拡大防止対策の徹底や、市民生活・事業者への支援のための予算を確保しました。また、「第 8 次総合計画後期実践計画」を着実に推進するために、超高齢社会への適応を始めとした 3 つの重点施策事業に重点的に予算を配分しました。普通建設事業費を始めとする投資的経費の規模は、315 億 4,097 万円(対前年度 9 億 8,069 万円の減)、一般会計予算全体に占める割合は 17.5%(前年度 18.0%)としました。

第 1 表 財 政 指 数

区分 年度	基準財政需要額	基準財政収入額	単年度 財政力指数	3年平均 財政力指数	標準財政規模
H30	65,017,203	77,846,627	1.20	1.49	105,294,972
R元	64,385,377	98,994,926	1.54	1.47	131,208,145
R2	66,889,629	96,550,359	1.44	1.39	126,223,605
R3	68,825,312	87,807,964	1.28	1.42	113,569,332
R4	67,825,446	81,951,553	1.21	1.31	105,453,981

注：各比率は令和 5 年 7 月 28 日現在のものです。
 標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を含みます。
 経常収支比率は、普通会計ベースの数値です。
 健全化判断比率各欄の「-」表記は、「比率なし」となったものであり、括弧内に参考

(4) 補正予算

新型コロナウイルス感染症対策に関連する主な補正予算として、自宅療養者等医療提供事業補助金に関し、34億3,635万円の歳入・歳出補正を行いました。そのほかに、歳入補正では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金19億5,196万円の増額補正を行いました。歳出補正では、小学校保全改修事業など国の補正予算（第2号）による国庫支出金を活用した補正予算を編成しました。また、将来の財政運営に資するため基金の積立てなどを行い、当初予算から316億6,000万円を増額した2,117億6,000万円を最終予算額としました。

(5) 決算

歳入決算額は2,167億2,960万円（対前年度76億5,056万円の増）となりました。このうち、市税は1,213億613万円（対前年度251億6,328万円の増）となりました。主な増加の要因は、法人市民税232億1,296万円の増です。

そのほか、主な増減の内訳は、県支出金147億2,240万円（対前年度38億7,623万円の増）、諸収入63億1,273万円（対前年度5億7,270万円の増）、繰入金36億9,123万円（対前年度125億378万円の減）、国庫支出金300億6,809万円（対前年度58億9,528万円の減）、市債44億2,280万円（対前年度20億8,320万円の減）、地方特例交付金5億6,368万円（対前年度12億657万円の減）が挙げられます。

歳出決算額は、1,999億8,371万円（対前年度51億3,019万円の増）となりました。このうち、普通建設事業費を始めとする投資的経費は317億9,484万円（対前年度50億6,768万円の減）となりました。主な減少の要因は、豊田地域医療センター再整備費の14億7,868万円の減です。

そのほか、主な増減の内訳は、積立金163億659万円（対前年度109億9,852万円の増）、補助費等228億3,847万円（対前年度23億2,174万円の増）、物件費378億1,690万円（対前年度19億30万円の増）、扶助費373億1,332万円（対前年度45億3,240万円の減）が挙げられます。

令和4年度の主な財政指数は第1表のとおりです。財政の健全性を示す指数は、経常収支比率71.1%、自主財源比率68.8%です。市債差額（償還一借入）は、32億3,593万円の黒字となりました。健全化判断比率の各比率は、健全性の高いものとなっており、依然として健全な財政構造を保持している状況といえます。

年次別比較表

（単位：千円、％）

経常収支 比率	自主財源 比率	市債差額 (償還一借入)	健全化判断比率			
			実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
70.4	75.6	7,675,448	- (Δ5.54)	- (Δ21.81)	3.1	- (Δ85.0)
69.7	72.8	Δ493,504	- (Δ5.62)	- (Δ18.29)	2.8	- (Δ67.1)
77.1	58.6	Δ271,304	- (Δ5.86)	- (Δ21.41)	2.3	- (Δ61.3)
83.5	65.0	592,357	- (Δ7.85)	- (Δ25.35)	1.6	- (Δ62.3)
71.1	68.8	3,235,934	- (Δ5.75)	- (Δ20.41)	1.3	- (Δ81.7)

値としてその値を併記しています。

2 一般会計・特別会計の決算状況

第2表 一般会計・特別会計

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計		216,729,599	199,983,711	16,745,888	
特別会計	国民健康保険	37,030,014	36,479,856	550,158	
	都市計画事業 土地区画整理	土橋	1,095,764	836,596	259,168
		寺部	882,292	866,682	15,610
		花園	2,223,542	1,649,095	574,447
	分譲住宅建設事業	15,915	14,854	1,061	
	卸売市場	245,487	226,539	18,948	
	水道水源保全事業	71,544	67,221	4,323	
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	40,096	19,978	20,118	
	介護保険事業	26,095,201	25,578,640	516,561	
	財産区	盛岡	5,631	5,245	386
		賀茂	7,143	6,892	251
	後期高齢者医療	6,446,391	6,380,109	66,282	
	産業用地造成事業	69,909	57,601	12,308	
	小計	74,228,929	72,189,308	2,039,621	
合計		290,958,528	272,173,019	18,785,509	

歳入歳出決算額一覧表

(単位：千円)

翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支 (A)	単年度収支 (A)－(B)	3年度 実質収支 (B)
継続費繰越し	明許費繰越し	事故繰越し			
4,887,979	5,796,553	790	6,060,566	△ 2,860,805	8,921,371
0	0	0	550,158	△ 1,105,057	1,655,215
254,275	0	0	4,893	△ 20,362	25,255
0	0	0	15,610	△ 59,762	75,372
570,189	0	0	4,258	4,195	63
0	0	0	1,061	△ 1,167	2,228
0	0	0	18,948	2,117	16,831
0	0	0	4,323	947	3,376
0	0	0	20,118	△ 7,679	27,797
0	0	0	516,561	175,576	340,985
0	0	0	386	△ 365	751
0	0	0	251	△ 303	554
0	0	0	66,282	10,450	55,832
0	0	0	12,308	12,103	205
824,464	0	0	1,215,157	△ 989,307	2,204,464
5,712,443	5,796,553	790	7,275,723	△ 3,850,112	11,125,835

Ⅱ 一般会計

1 一般会計の収支状況

令和4年度の本市の一般会計決算における歳入総額は、2,167億2,960万円(対前年度76億5,056万円の増)で、歳出総額は、1,999億8,371万円(対前年度51億3,019万円の増)となりました。

歳入歳出差引額は、167億4,589万円(対前年度25億2,037万円の増)となりました。この歳入歳出差引額のうち、翌年度へ繰り越すべき財源は、106億8,532万円(対前年度53億8,117万円の増)で、その内訳は、継続費通次繰越額48億8,798万円、繰越明許費繰越額57億9,655万円、事故繰越し繰越額79万円です。

この結果、実質収支は、60億6,057万円(対前年度28億6,080万円の減)となりました。

(単位：千円、%)

区 分	4年度決算額	3年度決算額	増 減 額	伸 率
歳 入 総 額 (A)	216,729,599	209,079,038	7,650,561	3.7
歳 出 総 額 (B)	199,983,711	194,853,518	5,130,193	2.6
歳入歳出差引額 (C) = (A) - (B)	16,745,888	14,225,520	2,520,368	17.7
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	10,685,322	5,304,149	5,381,173	101.5
実 質 収 支 額 (E) = (C) - (D)	6,060,566	8,921,371	△ 2,860,805	△ 32.1
基 金 繰 入 額 (F)	0	0	0	-
翌 年 度 繰 越 額 (G) = (E) - (F)	6,060,566	8,921,371	△ 2,860,805	△ 32.1

※ 基金繰入額は、地方自治法第233条の2の規定による実質収支額からの繰入額をいう。

○継続費通次繰越額

(単位：千円)

事業名	翌年度 通次繰越額	左の財源内訳			
		繰越金	特定財源		
			国県支出金	地方債	その他
渡刈クリーンセンター 設備改修事業	47,900	47,900			
橋りょう長寿命化修繕事業 (竜宮橋)	58,084	38,834	19,250		
市道改良事業 (市道堤駒場線外1路線)	108,457	83,132	25,325		
河川改良事業 (準用河川大見川)	44,108	44,108			
河川改良事業 (準用河川長田川)	359,371	359,371			
河川修繕事業 (準用河川逢妻男川)	7,748	7,748			
排水路改良事業 (扶桑町・鵜ヶ瀬町)	35,134	35,134			
内環状線建設事業 (竜宮橋)	360,594	360,594			
内環状線建設事業 (高橋細谷線 長興寺第1工区)	1,513,553	1,011,553	278,000	224,000	
内環状線建設事業 (高橋細谷線 野見御立工区)	79,957	71,857	4,500	3,600	
豊田市駅西口 ペDESTリアンデッキ 一部改築事業	60,000	30,000	30,000		
旧鈴木家住宅 保存整備事業 (その4)	68,164	68,164			
(仮)豊田市博物館 建設事業	3,357,522	2,545,756	363,964	400,600	47,202
(仮)豊田市博物館場内 道路整備事業	120,496	80,544	39,952		

(単位：千円)

事業名	翌年度 通次繰越額	左の財源内訳			
		繰越金	特定財源		
			国県支出金	地方債	その他
豊田スタジアム 長寿命化改修事業	704,393	102,124	312,269	290,000	
豊田スタジアム 長寿命化改修事業 (その2)	208,100	1,160	108,940	98,000	
合計(16事業)	7,133,581	4,887,979	1,182,200	1,016,200	47,202

○繰越明許費繰越額

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
公用車取得事業 (議会費)	16,930			16,930
公用車取得事業 (総務費)	16,930			16,930
旧学校下住宅解体事業	3,410			3,410
西庁舎・環境センター改修設計事業	35,662			35,662
標準システム移行計画策定事業	58,000			58,000
西部コミュニティセンター 長寿命化改修事業	184,759			184,759
サービス継続支援事業費補助事業	1,680		1,120	560
民間障がい者施設整備費補助事業	150,000		100,000	50,000
障がい者福祉会館 長寿命化改修事業	79,900			79,900
公共下水道接続事業 (平井こども園外1園)	16,726			16,726
地域リハインベーションセンター 備品取得事業	505			505
旧藤岡保健センター解体事業	35,550			35,550
肥料価格高騰対策補助事業	30,924			30,924
配合飼料価格高騰対策補助事業	17,160			17,160
地籍調査事業	57,500		23,049	34,451
省エネ設備導入支援補助事業	496,723			496,723
豊田参合館長寿命化等改修設計 負担事業(共用部)	5,450			5,450
カーボニュートラル 創エネ促進補助事業	413,419			413,419
宿泊事業者等支援事業	554,807		418,981	135,826
公共建築物設計事業	15,992			15,992

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
路面舗装事業 (市道長興寺今線外4路線)	198,000		99,000	99,000
路面舗装事業 (市道下山分里新田線)	12,000		3,000	9,000
橋りょう修繕事業 (両国橋外37橋)	454,840		138,776	316,064
市道新設事業 (市道豊田西部2号線)	27,000			27,000
市道改良事業 (市道林添九久平1号線)	20,000		6,840	13,160
市道改良事業 (市道落合向井山線)	30,000		5,460	24,540
歩道設置事業 (市道六ツ木岩倉線)	53,350		37,200	16,150
歩行者・自転車通行環境整備事業	30,000		5,500	24,500
(仮)水辺ふれあいプラザ整備事業	102,000			102,000
矢作川水辺空間利活用事業	140,000			140,000
ゆたか台団地調整池整備事業	53,000		18,000	35,000
市道改良事業 (寺部土地区画整理関連)	23,000			23,000
公共施設管理者負担事業 (土橋土地区画整理事業)	50,700		48,150	2,550
公共施設管理者負担事業 (花園土地区画整理事業)	200,100		190,450	9,650
名鉄三河線若林駅付近 連続立体交差事業	1,935,364		782,500	1,152,864
内環状線建設事業 (都市計画道路高橋細谷線)	5,000			5,000
特定道路改良促進事業 (豊田北バイパス関連市道 沢口半ノ木線外1路線)	68,000			68,000
四郷南公園整備事業	14,500		12,450	2,050

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
寺部2号公園整備事業	63,500		49,450	14,050
豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業（屋外昇降施設）	6,583			6,583
豊田市駅東口施設設計事業	85,000		26,300	58,700
豊田市駅東口施設設計事業（その2）	35,900			35,900
豊田市駅東口駅前広場設計事業	25,700			25,700
豊田市駅西口施設設計事業	68,494			68,494
愛知環状鉄道整備改修費補助事業	68,895			68,895
中消防署東分署女性専用施設改修事業	16,000			16,000
中消防署訓練棟・北車庫長寿命化改修事業	36,144			36,144
渡刈詰所格納庫公共下水道接続事業	2,509			2,509
多目的資機材搬送車取得事業	39,050			39,050
トイレ再整備・屋根外壁改修事業（四郷小学校外10校）	888,159		181,996	706,163
バリアフリー化整備事業（九久平小学校）	123,066		62,184	60,882
屋外遊具整備事業（平井小学校外11校）	192,000		63,996	128,004
小学校受変電設備改修設計事業（市木小学校外2校）	2,982			2,982
トイレ再整備・屋根外壁改修事業（益富中学校外2校）	428,809		80,489	348,320
バリアフリー化整備事業（石野中学校外1校）	283,243		114,329	168,914
小中特別支援学校感染症対策事業	10,539		2,710	7,829

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
中部給食センター空調改修事業	77,950			77,950
中部給食センタートイレ改修事業	27,726			27,726
豊田参合館長寿命化等改修設計 負担事業（中央図書館・共用部）	32,900			32,900
青少年センター改修事業	12,046			12,046
豊田参合館長寿命化等改修設計 負担事業（コンサートホール・ 能楽堂・共用部）	39,487			39,487
スカイホール豊田施設保全事業	15,000			15,000
豊田スタジアム施設保全事業	21,400			21,400
高橋節郎館改修事業	36,520			36,520
土木施設災害復旧事業	20,000			20,000
合計（65事業）	8,268,483		2,471,930	5,796,553

○事故繰越し繰越額

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
公共施設管理者負担事業 （土橋土地区画整理事業）	14,580		13,790	790
合計（1事業）	14,580		13,790	790

2 一般会計予算の編成状況

第3表 一般会計予算

(歳入)

款	当 初	4月専決	5月専決	6月補正	9月補正	9月専決	11月専決
1 市 税	110,191,731						
2 地方譲与税	1,384,720						
3 利子割交付金	38,000						
4 配当割交付金	486,000						
5 株式等譲渡 所得割交付金	357,000						
6 法人事業税金 交 付 金	2,647,000						
7 地方消費税金 交 付 金	10,593,000						
8 ゴルフ場利用 税 交 付 金	336,000						
9 自動車取得税 交 付 金	1						
10 環境性能割 交 付 金	400,000						
11 地方特例 交 付 金	446,000						
12 地方交付税	150,000						
13 交通安全対策 特別交付金	59,000						
14 分担金及び 負 担 金	103,478						
15 使用料及び 手 数 料	2,652,959						
16 国庫支出金	24,642,512		851,172	1,020,208	86,565	1,961,498	226,000
17 県支出金	11,255,271	3,113,601		23,890	51,782	1,990,219	486,000
18 財産収入	358,129						
19 寄 附 金	163,677						
20 繰 入 金	3,338,243						
21 繰 越 金	2,000,000			283,001	1,606,814		
22 諸 収 入	5,497,279						
23 市 債	3,000,000						
歳 入 合 計	180,100,000	3,113,601	851,172	1,327,099	1,745,161	3,951,717	712,000

の 編 成 状 況 等

(単位：千円、%)

12月補正	3月補正	計	継続費及 繰越事業費 繰越額	合 計 (A)	決 算 額		差 引 (B) - (A)
					(B)	構成比	
7,600,000	3,326,000	121,117,731		121,117,731	121,306,134	56.0	188,403
	△ 32,795	1,351,925		1,351,925	1,355,693	0.6	3,768
	0	38,000		38,000	35,994	0.0	△ 2,006
	145,000	631,000		631,000	630,995	0.3	△ 5
	183,000	540,000		540,000	433,585	0.2	△ 106,415
	338,000	2,985,000		2,985,000	3,090,777	1.4	105,777
	618,000	11,211,000		11,211,000	11,229,638	5.2	18,638
	24,000	360,000		360,000	366,804	0.2	6,804
	0	1		1	17	0.0	16
	△ 81,000	319,000		319,000	281,120	0.1	△ 37,880
	77,724	523,724		523,724	563,678	0.3	39,954
	0	150,000		150,000	273,862	0.1	123,862
	△ 5,000	54,000		54,000	50,058	0.0	△ 3,942
	△ 2,181	101,297		101,297	104,318	0.0	3,021
	△ 60,216	2,592,743		2,592,743	2,634,773	1.2	42,030
613,449	880,040	30,281,444	4,523,393	34,804,837	30,068,092	13.9	△ 4,736,745
73,537	△ 532,152	16,462,148	44,718	16,506,866	14,722,398	6.8	△ 1,784,468
	31,267	389,396		389,396	415,650	0.2	26,254
50,000	266,961	480,638		480,638	513,731	0.2	33,093
	378,175	3,716,418		3,716,418	3,691,228	1.7	△ 25,190
1,864,119	3,167,436	8,921,370	5,304,149	14,225,519	14,225,520	6.6	1
439,101	596,785	6,533,165		6,533,165	6,312,734	2.9	△ 220,431
	0	3,000,000	4,716,200	7,716,200	4,422,800	2.0	△ 3,293,400
10,640,206	9,319,044	211,760,000	14,588,460	226,348,460	216,729,599	100.0	△ 9,618,861

(歳 出)

款	当 初	4月専決	5月専決	6月補正	9月補正	9月専決	11月専決	12月補正
1 議 会 費	877,115							5,406
2 総 務 費	19,068,679				250,071			7,845,994
3 民 生 費	63,639,714		453,158	693,424	179,442	1,550,000	712,000	658,199
4 衛 生 費	18,503,433	3,113,601	398,014		260,550	2,401,717		1,444,329
5 労 働 費	175,505							△ 11,503
6 農林水産業費	2,922,249			43,000				87,395
7 商 工 費	5,672,539			459,965	500,000			34,431
8 土 木 費	26,761,172			6,583	381,315			22,919
9 消 防 費	7,099,583				39,844			180,727
10 教 育 費	26,694,423			124,127	133,939			372,309
11 災 害 復 旧 費	234,000							
12 公 債 費	7,821,588							
13 諸 支 出 金	30,000							
14 予 備 費	600,000							
歳 出 合 計	180,100,000	3,113,601	851,172	1,327,099	1,745,161	3,951,717	712,000	10,640,206

(単位：千円、%)

3月補正	計	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費充用	合計 (A)	決算額		翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)
					(B)	構成比		
△ 4,005	878,516			878,516	837,956	0.4	(16,930) 16,930	23,630
3,778,015	30,942,759	1,022,474	75,182	32,040,415	30,979,006	15.5	(298,761) 298,761	762,648
△ 51,796	67,834,141	1,458,568	13,400	69,306,109	66,916,662	33.5	(147,186) 248,306	2,141,141
△ 220,462	25,901,182	654,440		26,555,622	22,270,807	11.1	(83,955) 83,955	4,200,860
△ 212	163,790			163,790	158,123	0.1		5,667
△ 47,662	3,004,982	147,284		3,152,266	2,912,069	1.5	(82,535) 105,584	134,613
△ 256,944	6,409,991	233,014		6,643,005	4,543,639	2.3	(1,051,418) 1,470,399	628,967
△ 78,136	27,093,853	4,665,978	11,760	31,771,591	24,601,871	12.3	(4,406,963) 6,428,504	741,216
△ 105,267	7,214,887	12,000		7,226,887	6,951,398	3.5	(93,703) 93,703	181,786
6,373,691	33,698,489	6,394,702	81,700	40,174,891	31,716,009	15.9	(4,483,871) 6,650,502	1,808,380
	234,000		139,956	373,956	318,371	0.2	(20,000) 20,000	35,585
△ 38,178	7,783,410			7,783,410	7,777,800	3.9		5,610
△ 30,000	0			0	0	-		0
	600,000		△ 321,998	278,002	0	-		278,002
9,319,044	211,760,000	14,588,460	0	226,348,460	199,983,711	100.0	(10,685,322) 15,416,644	10,948,105

※ () 内の数値は、「翌年度繰越額－未収入特定財源」

3 一般会計歳入決算額の概要

1 款 市 税 (第6表・第7表参照)

法人市民税などの増加により、前年度と比較して、市税総額は増加しています。

1 市 民 税

市民税には、個人市民税と法人市民税があり、それぞれの課税の基準によって均等割と所得割（法人は法人税割）に区分されています。

決算額は、621億14万円（対前年度231億1,421万円の増）でした。

(1) 個 人

個人市民税は、市内に住所がある人は均等割と所得割（納税者の所得金額に応じて負担していただくもの）を、市内に事務所・事業所又は家屋敷がある人で市内に住所のない人は均等割のみを納める仕組みになっています。

決算額は、314億8,662万円（対前年度9,875万円の減）でした。主な減少の要因は、配当所得の減少により、所得割額が減少したことによるものです。

また、東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律に基づく均等割の引上げ分は、1億1,401万円でした。

(2) 法 人

法人市民税は、市内に事務所や事業所などがある法人（会社など）のほか人格のない社団等にかかる税金で、均等割と国税である法人税額に応じて負担していただく法人税割があります。

決算額は、306億1,352万円（対前年度232億1,296万円の増）でした。主な増加の要因は、企業業績の変動によるものです。

2 固定資産税

固定資産税は、土地・家屋・償却資産を所有している人（又は法人）が納める税金です。なお、国・地方公共団体が所有する資産については、国有資産等所在市町村交付金が交付されます。

決算額は、432億7,442万円（対前年度16億5,067万円の増）でした。

(1) 土 地

土地の決算額は、143億3,905万円（対前年度4億5,015万円の増）でした。

主な増加の要因は、評価替えに伴う負担調整や開発等に伴う地目変更によるものです。

(2) 家 屋

家屋の決算額は、161億6,601万円（対前年度9億7,493万円の増）でした。

主な増加の要因は、新增築家屋と滅失家屋との差額による増額及び新型コロナウイルス感染症に係る軽減制度の終了によるものです。

(3) 償却資産

償却資産の決算額は、125億3,007万円（対前年度2億2,537万円の増）でした。

主な増加の要因は、新型コロナウイルス感染症に係る軽減制度の終了によるものです。

(4) 交付金

決算額は、2億3,929万円（対前年度22万円の増）でした。

3 軽自動車税

軽自動車税は、原動機付自転車、小型特殊自動車、軽自動車及び二輪の小型自動車を所有している人にかかる税金で、軽自動車の取得に対して負担していただく環境性能割と、軽自動車等の所有に対して負担していただく種別割があります。

決算額は、10億8,098万円（対前年度6,075万円の増）でした。主な増加の要因は、新税率が適用される軽乗用自家用車の課税台数が増加したことによるものです。

4 市たばこ税

市たばこ税は、製造たばこ製造者、特定販売業者又は卸売販売業者が、市内の小売販売業者に売り渡した製造たばこに対してかかる税金です。

決算額は、29億9,006万円（対前年度1億5,855万円の増）でした。主な増加の要因は、税制改正による税率の引上げ及び売り渡し本数の増加によるものです。

5 鉱産税

鉱産税は、市内の鉱区で鉱物の掘採事業を行う鉱業者に対してかかる税金です。

決算額は、65万円（対前年度7万円の増）でした。

6 入湯税

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他の消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるための目的税であり、鉱泉浴場における入湯客に対してかかる税金です。

決算額は、30万円（対前年度29万円の増）でした。

7 事業所税

事業所税は、より快適な都市づくりに必要な費用に充てるための目的税であり、市内に所在する事業所等に対してかかる税金で、事業年度末時点の床面積に応じて負担していただく資産割と、事業年度中に従業者へ支払った給与総額に応じて負担していただく従業者割があります。

決算額は、75億1,302万円（対前年度285万円の減）でした。

8 都市計画税

都市計画税は、土地区画整理事業などの都市計画事業に要する費用に充てるための目的税であり、課税対象となる資産は、市内の市街化区域内にある土地及び家屋です。決算額は、43億4,658万円（対前年度1億8,160万円の増）でした。

2 款 地方譲与税

地方譲与税は、自動車重量税法などの法律に基づき、徴収財源を各々の定める基準により地方公共団体に譲与されるものです。

決算額は、13億5,569万円（対前年度2,443万円の増）でした。

内訳は、自動車重量譲与税8億9,332万円（対前年度65万円の増）、地方揮発油譲与税2億9,845万円（対前年度1,376万円の減）、森林環境譲与税1億6,392万円（対前年度3,754万円の増）です。

森林環境譲与税は、以下の事業に充当しました。

（単位：千円）

区 分		事 業	事 業 費	森林環境譲与税充当額
農 林 水 産 業 費	林 業 費	水源環境保全林整備費	26,798	26,798
		モニタリング調査費	5,351	5,351
		森づくり人材育成費	2,000	2,000
		森づくり推進組織育成費交付金	22,157	22,157
		間伐促進費補助金	45,952	45,952
		森づくり担い手育成支援費補助金	24,593	19,586
		新規就業者育成推進事業費補助金	18,259	17,659
		テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金	16,421	16,421
教 育 費	小学校費	管理備品整備費	18,591	6,150
	中学校費	管理備品整備費	6,446	1,850
合 計			186,568	163,924

3 款 利子割交付金

利子割交付金は、利子等について5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、3,599万円（対前年度1,740万円の減）でした。

4 款 配当割交付金

配当割交付金は、一定の上場株式等の配当等について5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、6億3,100万円（対前年度2,344万円の減）でした。

5 款 株式等譲渡所得割交付金

株式等譲渡所得割交付金は、一定の特定口座における上場株式等の譲渡による所得の5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、4億3,359万円（対前年度3億1,328万円の減）でした。

6 款 法人事業税交付金

法人事業税交付金は、県税である法人事業税のうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、30億9,078万円（対前年度6億4,039万円の減）でした。

7 款 地方消費税交付金

地方消費税交付金は、人口割、従業者数割により地方消費税の2分の1相当額が県から市町村に交付されるものです。

決算額は、112億2,964万円（対前年度4億7,747万円の増）でした。社会保障財源分は58億9,797万円で、以下のとおり充当しました。

（単位：千円）

区 分	事業費	特定財源		一般財源	引き上げ分の 地方消費税交付金	主な事業
		国県支出金	その他			
社会福祉	障がい者福祉事業	3,769,599	2,233,423	1,536,176	529,695	心身障がい者扶助料給付費
	高齢者福祉事業	127,526		127,526	43,973	老人福祉施設措置費
	児童福祉事業	13,705,806	9,159,952	90,651	4,455,203	子ども医療助成費
	母子福祉事業	1,014,712	338,188		676,524	児童扶養手当給付費
	生活保護扶助事業	3,840,690	2,880,518		960,172	生活保護扶助費
社会保険	介護保険事業	2,867,700		2,867,700	988,823	介護保険事業特別会計繰出金
	国民健康保険事業	1,479,485	1,016,119	463,366	159,775	国民健康保険特別会計繰出金
	その他	3,472,854		3,472,854	1,197,488	療養給付費負担金
保健衛生	疾病予防対策事業	2,575,213	129,835	14,547	2,430,831	定期予防接種費
	医療提供体制確保事業	114,450			114,450	公的病院救命救急センター機能運営費補助金
合 計	32,968,035	15,758,035	105,198	17,104,802	5,897,973	

8 款 ゴルフ場利用税交付金

ゴルフ場利用税交付金は、県税であるゴルフ場利用税の7割相当額が市町村に交付されるもので、市内には交付対象ゴルフ場は20か所あります。

決算額は、3億6,680万円（対前年度272万円の減）でした。

9 款 自動車取得税交付金

自動車取得税交付金は、県税である自動車取得税の95%の額の7割相当額が市町村に交付されるものです。自動車関連税制の見直しにより、令和元年10月1日以降、自動車取得税は廃止となりました。ただし、滞納分の収入があった場合等に交付されることがあります。

決算額は、2万円（対前年度0万円の減）でした。

10 款 環境性能割交付金

環境性能割交付金は、県税である自動車税環境性能割の95%の額の43%相当額が市町村に交付されるものです。

決算額は、2億8,112万円（対前年度4,995万円の増）でした。

11 款 地方特例交付金

地方特例交付金には、個人住民税減収補填特例交付金及び新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金があります。

新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金は、生産性革命の実現に向けた固定資産税の特例措置の拡充による、地方団体の減収を補填するため交付されるものです。

決算額は、5億6,368万円（対前年度12億657万円の減）でした。

12 款 地方交付税

地方交付税には、普通交付税と特別交付税の2種類があります。

決算額は、2億7,386万円（対前年度2,817万円の増）でした。

1 普通交付税

各市町村が一定水準のサービスを供給できるように、財源不足額に応じて交付されるものです。本市の場合、通常の算定では交付対象となりませんが、合併による特例措置（合併算定替）として、合併年度とそれに続く15か年度、普通交付税が交付されてきました。

特例措置が終了しているため、決算額は0円（対前年度同額）でした。

2 特別交付税

普通交付税で捕捉されない特別の財政需要に対して交付されるものです。

決算額は、2億7,386万円（対前年度2,817万円の増）でした。

13 款 交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金は、道路交通法に定める反則金が交通事故発生件数、人口集中地区人口及び改良済道路延長に応じて、算定交付されるものです。

決算額は、5,006万円（対前年度748万円の減）でした。

14 款 分担金及び負担金

分担金及び負担金は、市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するものです。

決算額は、1 億 432 万円（対前年度 27 万円の減）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	4 年度決算額	3 年度決算額	増 減 額	伸 率
児童福祉費負担金	71,420	66,439	4,981	7.5
老人福祉費負担金	22,848	26,617	△ 3,769	△ 14.2

15 款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は、市の施設の利用や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収するものです。

決算額は、26 億 3,477 万円（対前年度 8,185 万円の増）でした。

内訳は、使用料 18 億 6,166 万円（対前年度 7,982 万円の増）、手数料 7 億 7,311 万円（対前年度 203 万円の増）です。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	4 年度決算額	3 年度決算額	増 減 額	伸 率	
使 用 料	1,861,662	1,781,842	79,820	4.5	
主 な もの	住 宅 使 用 料	486,354	513,997	△ 27,643	△ 5.4
	児 童 福 祉 使 用 料	354,320	377,654	△ 23,334	△ 6.2
	文 化 体 育 使 用 料	262,675	159,534	103,141	64.7
	都 市 計 画 使 用 料	234,474	197,848	36,626	18.5
手 数 料	773,111	771,080	2,031	0.3	
主 な もの	清 掃 手 数 料	528,162	525,079	3,083	0.6
	戸 籍 住 民 手 数 料	93,664	91,124	2,540	2.8
	保 健 衛 生 手 数 料	72,330	73,075	△ 745	△ 1.0

16 款 国庫支出金

決算額は、300 億 6,809 万円（対前年度 58 億 9,528 万円の減）でした。

内訳は、国庫負担金 147 億 8,920 万円（対前年度 2 億 14 万円の減）、国庫補助金 151 億 9,713 万円（対前年度 57 億 140 万円の減）、国庫委託金 8,176 万円（対前年度 626 万円の増）です。

なお、主な減少の要因は、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金の減によるものです。

(単位：千円、%)

区 分		4年度決算額	3年度決算額	増減額	伸率
国庫負担金		14,789,205	14,989,345	△ 200,140	△ 1.3
主なもの	児童福祉費負担金	4,924,531	5,220,685	△ 296,154	△ 5.7
	障がい者福祉費負担金	4,669,091	3,976,790	692,301	17.4
	生活保護費負担金	3,055,683	3,098,976	△ 43,293	△ 1.4
	保健衛生費負担金	1,932,670	2,449,749	△ 517,079	△ 21.1
国庫補助金		15,197,125	20,898,524	△ 5,701,399	△ 27.3
主なもの	児童福祉費補助金	3,685,251	9,670,636	△ 5,985,385	△ 61.9
	社会福祉費補助金	2,574,390	2,337,494	236,896	10.1
	総務費補助金	2,276,318	2,001,835	274,483	13.7
	都市計画費補助金	1,682,043	1,031,618	650,425	63.0
	保健衛生費補助金	871,530	1,838,266	△ 966,736	△ 52.6
	社会教育費補助金	858,070	555,949	302,121	54.3
国庫委託金		81,762	75,499	6,263	8.3
主なもの	社会福祉費委託金	61,753	57,958	3,795	6.5
	保健衛生費委託金	7,796	7,350	446	6.1

17款 県支出金

決算額は、147億2,240万円（対前年度38億7,623万円の増）でした。

内訳は、県負担金65億2,111万円（対前年度7億8,340万円の増）、県補助金70億1,851万円（対前年度29億3,431万円の増）、県委託金11億7,460万円（対前年度1億5,863万円の増）、県交付金818万円（対前年度11万円の減）です。

なお、主な増加の要因は、自宅療養者等医療提供事業補助金の増によるものです。

(単位：千円、%)

区 分		4年度決算額	3年度決算額	増減額	伸率
県負担金		6,521,106	5,737,715	783,391	13.7
主なもの	児童福祉費負担金	2,555,190	2,068,861	486,329	23.5
	障がい者福祉費負担金	2,269,074	1,916,537	352,537	18.4
	国民健康保険負担金	1,027,686	1,011,257	16,429	1.6
	老人福祉費負担金	520,262	483,830	36,432	7.5
県補助金		7,018,509	4,084,193	2,934,316	71.8
主なもの	保健衛生費補助金	3,777,707	889,791	2,887,916	324.6
	社会福祉費補助金	1,328,119	1,204,857	123,262	10.2
	児童福祉費補助金	509,892	525,368	△ 15,476	△ 2.9
県委託金		1,174,603	1,015,968	158,635	15.6
主なもの	徴税费委託金	732,002	738,076	△ 6,074	△ 0.8
	選挙費委託金	327,610	140,206	187,404	133.7
県交付金		8,180	8,292	△ 112	△ 1.4
主なもの	市町村事務移譲交付金	7,935	8,049	△ 114	△ 1.4
	戸籍住民基本台帳費交付金	245	243	2	0.8

18 款 財 産 収 入

財産収入は、市有財産の貸付け、売払い等により得た現金収入のことです。普通財産の売払収入や、基金の利子等が該当します。

決算額は、4 億 1,565 万円（対前年度 6 億 5,219 万円の減）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	4 年度決算額	3 年度決算額	増 減 額	伸 率
土地建物貸付収入	202,950	204,652	△ 1,702	△ 0.8
土地売払収入	113,059	726,101	△ 613,042	△ 84.4
利子及び配当金	63,614	80,039	△ 16,425	△ 20.5

19 款 寄 附 金

寄附金は、民法上の譲与で金銭に限られるものです。

決算額は、5 億 1,373 万円（対前年度 3 億 3,602 万円の増）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	4 年度決算額	3 年度決算額	増 減 額	伸 率
教育費寄附金	271,850	6,900	264,950	3,839.9
一般寄附金	195,594	129,550	66,044	51.0
商工費寄附金	28,500	11,000	17,500	159.1
衛生費寄附金	9,194	13,228	△ 4,034	△ 30.5

20 款 繰 入 金

決算額は、36 億 9,123 万円（対前年度 125 億 378 万円の減）でした。

主な内訳は、財政調整基金繰入金 17 億円、保健医療福祉基金繰入金 5 億円、都市高速鉄道整備基金繰入金 5 億円、都市計画事業土地区画整理特別会計繰入金 4 億 6,815 万円などです。

21 款 繰 越 金

繰越金は、前年度の決算上の剰余金です。

令和 3 年度からの繰越金の決算額は、142 億 2,552 万円（対前年度 3 億 8,646 万円の増）でした。

その内容は、継続費遞次繰越額 27 億 2,973 万円、繰越明許費繰越額 25 億 7,442 万円、純繰越金（実質収支額）89 億 2,137 万円です。

22 款 諸 収 入

決算額は、63 億 1,273 万円（対前年度 5 億 7,270 万円の増）でした。

内訳は、雑入 52 億 8,829 万円（対前年度 4 億 9,872 万円の増）、貸付金元利収入 5 億 8,657 万円（対前年度 1,445 万円の増）、受託事業収入 3 億 5,528 万円（対前年度 3,727 万円の増）、延滞金、加算金及び過料 8,020 万円（対前年度 2,354 万円の増）、市預金利子 239 万円（対前年度 128 万円の減）です。

なお、主な増加の要因は、後期高齢者医療療養給付費負担金精算金の増によるものです。

(単位：千円、%)

区 分	4年度決算額	3年度決算額	増減額	伸率	
雑 入	5,288,287	4,789,567	498,720	10.4	
主 な も の	給食費収入	2,317,126	2,365,612	△ 48,486	△ 2.0
	雑 入	1,743,324	1,323,600	419,724	31.7
	医療助成費返納金	276,857	514,011	△ 237,154	△ 46.1
	児童健全育成費負担金	254,236	242,208	12,028	5.0
貸付金元利収入	586,570	572,120	14,450	2.5	
受託事業収入	355,286	318,016	37,270	11.7	
延滞金、加算金及び過料	80,202	56,659	23,543	41.6	
市預金利子	2,391	3,674	△ 1,283	△ 34.9	

23款 市 債

決算額は、44億2,280万円（対前年度 20億8,320万円の減）でした。

※資料編 地方債現在高の状況を参照

第4表 一般会計歳入

款	年 度	平成30年度			令和元年度		
		決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
1	市 税	116,680,140	60.9	10.1	120,828,758	59.7	3.6
2	地 方 譲 与 税	1,195,481	0.6	0.9	1,247,987	0.6	4.4
3	利 子 割 交 付 金	165,365	0.1	3.7	74,827	0.0	△ 54.8
4	配 当 割 交 付 金	471,257	0.2	△ 13.5	520,207	0.3	10.4
5	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	357,791	0.2	△ 32.1	268,512	0.1	△ 25.0
6	法 人 事 業 税 交 付 金	-	-	-	-	-	-
7	地 方 消 費 税 交 付 金	8,629,343	4.5	2.5	8,183,512	4.1	△ 5.2
8	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	361,837	0.2	△ 1.8	359,126	0.2	△ 0.7
9	自 動 車 取 得 税 交 付 金	688,793	0.4	9.0	356,843	0.2	△ 48.2
10	環 境 性 能 割 交 付 金	-	-	-	110,067	0.1	皆増
11	地 方 特 例 交 付 金	369,152	0.2	19.7	1,489,627	0.7	303.5
12	地 方 交 付 税	3,964,414	2.1	△ 21.0	2,234,761	1.1	△ 43.6
13	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	60,468	0.0	△ 6.4	56,458	0.0	△ 6.6
14	分 担 金 及 び 負 担 金	424,365	0.2	3.8	283,746	0.1	△ 33.1
15	使 用 料 及 び 手 数 料	3,259,367	1.7	2.3	2,988,303	1.5	△ 8.3
16	国 庫 支 出 金	17,308,111	9.0	△ 25.9	20,973,140	10.4	21.2
17	県 支 出 金	8,917,912	4.7	△ 6.8	9,343,980	4.6	4.8
18	財 産 収 入	563,822	0.3	△ 11.6	581,888	0.3	3.2
19	寄 附 金	26,981	0.0	33.3	85,620	0.0	217.3
20	繰 入 金	5,316,219	2.8	△ 51.1	2,889,293	1.4	△ 45.7
21	繰 越 金	8,607,677	4.5	△ 2.2	13,582,919	6.7	57.8
22	諸 収 入	9,999,333	5.2	42.9	6,042,736	3.0	△ 39.6
23	市 債	4,265,100	2.2	△ 29.4	9,925,200	4.9	132.7
	歳 入 合 計 (A)	191,632,928	100.0	△ 0.8	202,427,510	100.0	5.6
	予 算 現 額 (B)	197,918,650	-	-	209,862,248	-	-
	差 引 (A) - (B)	△ 6,285,722	-	-	△ 7,434,738	-	-

※予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。

第5表 一般会計年次

区 分	年 度	平成30年度			令和元年度		
		決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
	自 主 財 源	144,877,904	75.6	5.8	147,283,263	72.8	1.7
	依 存 財 源	46,755,024	24.4	△ 16.8	55,144,247	27.2	17.9
	一 般 財 源	145,705,765	76.0	3.4	145,067,118	71.7	△ 0.4
	特 定 財 源	45,927,163	24.0	△ 12.1	57,360,392	28.3	24.9

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和2年度			令和3年度			令和4年度				款
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年増減額	
106,952,270	42.2	△ 11.5	96,142,850	46.0	△ 10.1	121,306,134	56.0	26.2	25,163,284	1
1,311,284	0.5	5.1	1,331,260	0.6	1.5	1,355,693	0.6	1.8	24,433	2
82,506	0.0	10.3	53,390	0.0	△ 35.3	35,994	0.0	△ 32.6	△ 17,396	3
483,259	0.2	△ 7.1	654,438	0.3	35.4	630,995	0.3	△ 3.6	△ 23,443	4
456,610	0.2	70.1	746,869	0.4	63.6	433,585	0.2	△ 41.9	△ 313,284	5
2,926,303	1.2	皆増	3,731,167	1.8	27.5	3,090,777	1.4	△ 17.2	△ 640,390	6
9,885,713	3.9	20.8	10,752,166	5.1	8.8	11,229,638	5.2	4.4	477,472	7
323,435	0.1	△ 9.9	369,523	0.2	14.2	366,804	0.2	△ 0.7	△ 2,719	8
0	-	皆減	19	0.0	皆増	17	0.0	△ 10.5	△ 2	9
239,927	0.1	118.0	231,175	0.1	△ 3.6	281,120	0.1	21.6	49,945	10
548,433	0.2	△ 63.2	1,770,248	0.8	222.8	563,678	0.3	△ 68.2	△ 1,206,570	11
1,010,842	0.4	△ 54.8	245,696	0.1	△ 75.7	273,862	0.1	11.5	28,166	12
60,653	0.0	7.4	57,539	0.0	△ 5.1	50,058	0.0	△ 13.0	△ 7,481	13
176,535	0.1	△ 37.8	104,588	0.1	△ 40.8	104,318	0.0	△ 0.3	△ 270	14
2,541,960	1.0	△ 14.9	2,552,922	1.2	0.4	2,634,773	1.2	3.2	81,851	15
69,372,993	27.4	230.8	35,963,368	17.2	△ 48.2	30,068,092	13.9	△ 16.4	△ 5,895,276	16
10,317,660	4.1	10.4	10,846,168	5.2	5.1	14,722,398	6.8	35.7	3,876,230	17
628,463	0.2	8.0	1,067,836	0.5	69.9	415,650	0.2	△ 61.1	△ 652,186	18
662,059	0.3	673.3	177,707	0.1	△ 73.2	513,731	0.2	189.1	336,024	19
17,484,414	6.9	505.1	16,195,012	7.7	△ 7.4	3,691,228	1.7	△ 77.2	△ 12,503,784	20
15,102,873	6.0	11.2	13,839,061	6.6	△ 8.4	14,225,520	6.6	2.8	386,459	21
4,786,302	1.9	△ 20.8	5,740,036	2.7	19.9	6,312,734	2.9	10.0	572,698	22
7,944,200	3.1	△ 20.0	6,506,000	3.1	△ 18.1	4,422,800	2.0	△ 32.0	△ 2,083,200	23
253,298,694	100.0	25.1	209,079,038	100.0	△ 17.5	216,729,599	100.0	3.7	7,650,561	-
260,332,604	-	-	218,355,273	-	-	226,348,460	-	-	-	-
△ 7,033,910	-	-	△ 9,276,235	-	-	△ 9,618,861	-	-	-	-

別財源内訳表

(単位：千円、%)

令和2年度			令和3年度			令和4年度			
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年増減額
148,334,876	58.6	0.7	135,820,012	65.0	△ 8.4	149,204,088	68.8	9.9	13,384,076
104,963,818	41.4	90.3	73,259,026	35.0	△ 30.2	67,525,511	31.2	△ 7.8	△ 5,733,515
147,270,767	58.1	1.5	141,974,680	67.9	△ 3.6	156,214,941	72.1	10.0	14,240,261
106,027,927	41.9	84.8	67,104,358	32.1	△ 36.7	60,514,658	27.9	△ 9.8	△ 6,589,700

第6表 市税決算額前年度比較表

(単位：千円、%)

年 度		4年度 決算額	3年度 決算額	増 減 額	伸 率
区 分					
市 民 税		62,100,139	38,985,929	23,114,210	59.3
内 訳	個 人	31,486,622	31,585,368	△ 98,746	△ 0.3
	法 人	30,613,517	7,400,561	23,212,956	313.7
固 定 資 産 税		43,274,417	41,623,750	1,650,667	4.0
内 訳	土 地	14,339,050	13,888,901	450,149	3.2
	家 屋	16,166,011	15,191,083	974,928	6.4
	償 却 資 産	12,530,070	12,304,699	225,371	1.8
	交 付 金	239,286	239,067	219	0.1
軽 自 動 車 税		1,080,980	1,020,235	60,745	6.0
市 た ば こ 税		2,990,058	2,831,505	158,553	5.6
鉱 産 税		645	579	66	11.4
入 湯 税		297	7	290	4,142.9
事 業 所 税		7,513,019	7,515,869	△ 2,850	△ 0.0
都 市 計 画 税		4,346,579	4,164,976	181,603	4.4
合 計		121,306,134	96,142,850	25,163,284	26.2

第 7 表 市 税

税 目 別	区 分	調 定 済 額		
		現年課税分	滞納繰越分	合 計 (A)
一 普 通 税		109,502,725	762,100	110,264,825
1 法 定 普 通 税		109,502,725	762,100	110,264,825
(1) 市 民 税		62,168,608	566,201	62,734,809
(7) 個 人 均 等 割		803,908	14,110	818,018
(4) 所 得 割		30,741,138	539,553	31,280,691
上記のうち退職所得分		197,211	0	197,211
(7) 法 人 均 等 割		1,073,769	439	1,074,208
(E) 法 人 税 割		29,549,793	12,099	29,561,892
(2) 固 定 資 産 税		43,261,482	177,162	43,438,644
(7) 純 固 定 資 産 税		43,022,196	177,162	43,199,358
(i) 土 地		14,334,740	59,029	14,393,769
(ii) 家 屋		16,161,152	66,550	16,227,702
(iii) 償 却 資 産		12,526,304	51,583	12,577,887
(4) 交 付 金		239,286	0	239,286
(3) 軽 自 動 車 税		1,081,932	18,737	1,100,669
(7) 環 境 性 能 割		68,254	0	68,254
(4) 種 別 割		1,013,678	18,737	1,032,415
(4) 市 た ば こ 税		2,990,058	0	2,990,058
(5) 鉱 産 税		645	0	645
2 法 定 外 普 通 税		-	-	-
二 目 的 税		11,858,584	30,663	11,889,247
1 入 湯 税		297	0	297
2 事 業 所 税		7,514,860	9,012	7,523,872
3 都 市 計 画 税		4,343,427	21,651	4,365,078
(1) 土 地		2,351,385	11,721	2,363,106
(2) 家 屋		1,992,042	9,930	2,001,972
合 計 (一～二)		121,361,309	792,763	122,154,072

徴収実績表

(単位：千円、%)

収入 済 額			徴収率	
現年課税分	滞納繰越分	合計 (B)	B/A	前年度
109,180,194	266,045	109,446,239	99.3	99.0
109,180,194	266,045	109,446,239	99.3	99.0
61,924,955	175,184	62,100,139	99.0	98.4
798,053	4,366	802,419	98.1	98.1
30,517,258	166,945	30,684,203	98.1	98.1
197,211	0	197,211	100.0	100.0
1,073,281	135	1,073,416	99.9	99.7
29,536,363	3,738	29,540,101	99.9	99.7
43,187,569	86,848	43,274,417	99.6	99.6
42,948,283	86,848	43,035,131	99.6	99.6
14,310,113	28,937	14,339,050	99.6	99.6
16,133,386	32,625	16,166,011	99.6	99.6
12,504,784	25,286	12,530,070	99.6	99.6
239,286	0	239,286	100.0	100.0
1,076,967	4,013	1,080,980	98.2	98.0
68,254	0	68,254	100.0	100.0
1,008,713	4,013	1,012,726	98.1	97.9
2,990,058	0	2,990,058	100.0	100.0
645	0	645	100.0	100.0
-	-	-	-	-
11,848,203	11,692	11,859,895	99.8	99.8
297	0	297	100.0	100.0
7,511,940	1,079	7,513,019	99.9	99.9
4,335,966	10,613	4,346,579	99.6	99.5
2,347,346	5,746	2,353,092	99.6	99.5
1,988,620	4,867	1,993,487	99.6	99.5
121,028,397	277,737	121,306,134	99.3	99.1

第8表 市債の状況

(単位：千円、%、年)

事業名	事業費	借入額	借入先	借入年月日	利率	償還(据置)
地域振興事業債	15,995	15,800	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.300	10 (2)
	707,896	350,400	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
	200,387	115,800	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.070	5 (1)
保健衛生事業債	16,338	16,300	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.070	5 (1)
清掃事業債	270,420	202,800	三菱UFJ銀行	5.5.25	0.250	10 (2)
農地事業債	29,779	29,500	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.300	10 (2)
林業事業債	107,423	39,200	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.300	10 (2)
道路橋りょう 事業債	16,440	8,700	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.300	10 (2)
	170,124	76,600	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
都市計画事業債	1,915,400	855,700	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.300	10 (2)
	1,331,510	591,700	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
交通安全施設 事業債	15,000	6,700	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
	46,000	20,600	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.200	5 (1)
河川事業債	291,820	285,000	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
消防事業債	14,667	14,000	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.070	5 (1)
	8,760	3,900	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
社会教育事業債	424,419	219,300	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.300	10 (2)
	869,919	416,000	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
文化体育事業債	255,690	115,000	財務省 財政融資資金	5.5.26	0.300	10 (2)
	1,185,824	572,900	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
小学校事業債	917,482	302,500	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
中学校事業債	471,900	164,400	財務省 財政融資資金	5.3.27	0.400	10 (2)
合計	9,283,193	4,422,800				

4 一般会計歳出決算額の概要

1 目的別一般会計歳出決算額（款項目別の詳細は第13表を参照）

1 款 議 会 費

議会費の決算額は、8億3,796万円（対前年度17万円の増）でした。

主な内訳は、議員人件費5億9,189万円です。

増加の主な項目は、議会活動費1,754万円の増です。

2 款 総 務 費

総務費の決算額は、309億7,901万円（対前年度68億7,192万円の増）でした。

主な内訳は、公共施設安全安心基金積立金76億円、財政調整基金積立金45億円、職員退職手当16億8,418万円です。

増加の主な項目は、公共施設安全安心基金積立金67億円の増、若園交流館建設費6億54万円の増です。

減少の主な項目は、市役所庁舎等整備費7億9,827万円の減です。

3 款 民 生 費

民生費の決算額は、669億1,666万円（対前年度46億5,245万円の減）でした。

主な内訳は、児童手当給付費65億5,808万円、教育・保育給付費51億9,735万円、生活保護扶助費38億4,069万円です。

増加の主な項目は、子育て世帯臨時特別給付金給付費4億8,310万円の皆増、豊田市子育て世帯臨時特別給付金給付費2億167万円の皆増、私立認定こども園振興費1億9,958万円の増です。

減少の主な項目は、子育て世帯への臨時特別給付金給付費59億5,537万円の減、コロナ禍子ども未来応援給付金給付費11億4,356万円の減です。

4 款 衛 生 費

衛生費の決算額は、222億7,081万円（対前年度15億7,012万円の増）でした。

主な内訳は、自宅療養者等医療提供事業補助金23億2,778万円、渡刈クリーンセンター費21億7,301万円、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費17億8,440万円、予防接種費15億627万円、豊田地域医療センター再整備費12億7,352万円です。

増加の主な項目は、自宅療養者等医療提供事業補助金20億3,854万円の増です。

減少の主な項目は、豊田地域医療センター再整備費14億7,868万円の減です。

5 款 労 働 費

労働費の決算額は、1億5,812万円（対前年度1億6,913万円の減）でした。

主な内訳は、就労支援費 7,085 万円です。

減少の主な項目は、中小企業等雇用調整補助金 1 億 7,325 万円の皆減です。

6 款 農林水産業費

農林水産業費の決算額は、29 億 1,207 万円（対前年度 2 億 6,711 万円の増）でした。

主な内訳は、多面的機能支払費 1 億 7,968 万円、ため池整備費 1 億 4,961 万円です。

増加の主な項目は、ため池整備費 1 億 2,686 万円の増です。

減少の主な項目は、林道改良費 5,261 万円の減です。

7 款 商 工 費

商工費の決算額は、45 億 4,364 万円（対前年度 1 億 9,480 万円の減）でした。

主な内訳は、産業立地政策推進費 7 億 9,290 万円、宿泊事業者等支援事業費 5 億 6,492 万円、資金融資費 5 億 1,200 万円です。

増加の主な項目は、豊田おいでんまつり開催負担金 1 億 7,454 万円の増、カーボンニュートラル創エネ促進補助金 1 億 5,958 万円の皆増です。

減少の主な項目は、新型コロナウイルス環境整備事業補助金 2 億 7,122 万円の皆減、WE LOVE とよた応援飲食券事業費 2 億 6,192 万円の減です。

8 款 土 木 費

土木費の決算額は、246 億 187 万円（対前年度 9 億 399 万円の減）でした。

主な内訳は、下水道事業負担金 24 億 3,862 万円、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 24 億 3,495 万円、路面舗装繕費 10 億 8,191 万円、土地区画整理事業公共施設管理者負担金 8 億 7,715 万円です。

増加の主な項目は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 11 億 824 万円の増、中央公園第二期整備費 4 億 2,253 万円の増です。

減少の主な項目は、土地区画整理事業公共施設管理者負担金 8 億 5,545 万円の減、都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金 6 億 5,553 万円の減、鞍ヶ池緑地整備費 5 億 6,542 万円の減、内環状線建設費（竜宮橋）5 億 3,651 万円の減です。

9 款 消 防 費

消防費の決算額は、69 億 5,140 万円（対前年度 6,637 万円の減）でした。

主な内訳は、常備消防活動通信機器管理費 5 億 5,969 万円、消防車両整備費 3 億 9,502 万円です。

増加の主な項目は、消防車両整備費 1 億 7,185 万円の増です。

減少の主な項目は、災害時情報通信設備整備費 1 億 3,751 万円の減です。

10 款 教 育 費

教育費の決算額は、317 億 1,601 万円（対前年度 20 億 4,796 万円の増）でした。

主な内訳は、教育施設整備基金積立金 40 億 119 万円、博物館建設費 21 億 6,953 万

円、小・中学校保全改修費 19 億 7,370 万円、中央公園施設保全費 14 億 7,161 万円、学校給食協会委託費 14 億 2,965 万円、文化振興財団運営費補助金 12 億 6,965 万円です。

増加の主な項目は、教育施設整備基金積立金 40 億円の増、博物館建設費 13 億 2,906 万円の増、中央公園施設保全費 3 億 8,689 万円の増、世界ラリー選手権開催推進費 2 億 8,384 万円の増です。

減少の主な項目は、市民文化会館施設整備費 14 億 2,968 万円の減、松平体育館施設整備費 14 億 2,338 万円の皆減です。

11 款 災害復旧費

災害復旧費の決算額は、3 億 1,837 万円（対前年度 1 億 7,068 万円の減）でした。

主な内訳は、土木施設災害復旧事業費 1 億 7,889 万円、農業施設災害復旧事業費 1 億 1,044 万円です。

減少の主な項目は、土木施設災害復旧事業費 1 億 5,176 万円の減です。

12 款 公債費

公債費の決算額は、77 億 7,780 万円（対前年度 5 億 3,032 万円の増）でした。

内訳は、元金は 76 億 5,873 万円（対前年度 5 億 6,038 万円の増）、利子は 1 億 1,907 万円（対前年度 3,006 万円の減）です。

13 款 諸支出金

諸支出金の決算額は、0 円（対前年度 同額）でした。

2 性質別一般会計歳出決算額（詳細は第10表を参照）

（1）人件費

人件費の決算額は、310億7,743万円（対前年度1億5,111万円の増）でした。

主な内訳は、一般職人件費229億5,672万円、非常勤一般職人件費50億2,055万円、職員退職手当16億8,418万円です。

増加の主な項目は、職員退職手当1億6,600万円の増です。

（2）物件費

物件費の決算額は、378億1,690万円（対前年度19億29万円の増）でした。

主な内訳は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費17億8,367万円、予防接種費14億9,366万円、学校給食協会委託費14億2,965万円の増、渡刈クリーンセンター費12億9,632万円です。

増加の主な項目は、自宅療養者健康管理事業費3億2,489万円の増、自宅療養者配食サービス事業費3億1,966万円の増、予防接種費2億1,872万円の増です。

減少の主な項目は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費11億3,494万円の減です。

（3）維持補修費

維持補修費の決算額は、22億7,884万円（対前年度4億1,087万円の減）でした。

主な内訳は、道路修繕費7億3,262万円、河川修繕費3億3,966万円、市有建築物長寿命化推進費1億8,318万円です。

減少の主な項目は、中央公園施設保全費1億1,421万円の減です。

（4）扶助費

扶助費の決算額は、373億1,332万円（対前年度45億3,240万円の減）でした。

主な内訳は、児童手当給付費65億5,808万円、教育・保育給付費51億9,735万円、障がい福祉介護給付費43億6,735万円、生活保護扶助費38億4,069万円です。

増加の主な項目は、障がい福祉訓練等給付費4億368万円の増、出産・子育て応援給付金給付事業費補助金3億3,025万円の皆増です。

減少の主な項目は、子育て世帯への臨時特別給付金給付費59億4,460万円の減です。

（5）補助費等

補助費等の決算額は、228億3,847万円（対前年度23億2,174万円の増）でした。

主な内訳は、下水道事業負担金24億3,862万円、自宅療養者等医療提供事業補助金23億2,778万円、文化振興財団運営費補助金12億6,965万円、福祉事業団運営費補助金12億6,212万円、私立認定こども園振興費11億6,909万円です。

増加の主な項目は、自宅療養者等医療提供事業補助金20億3,854万円の増、保健衛生費過年度国県支出金返還金5億2,839万円の増、子育て世帯臨時特別給付金給付費4

億 7,820 万円の皆増です。

減少の主な項目は、コロナ禍子ども未来応援給付金給付費 11 億 4,320 万円の減、新型コロナウイルス環境整備事業補助金 2 億 7,122 万円の皆減、新生児お祝い金給付費 2 億 7,040 万円の減、WE LOVE とよた応援飲食券事業費 2 億 6,192 万円の減です。

(6) 公 債 費

公債費の決算額は、77 億 7,780 万円（対前年度 5 億 3,032 万円の増）でした。

内訳は、元金は 76 億 5,873 万円（対前年度 5 億 6,038 万円の増）、利子は 1 億 1,907 万円（対前年度 3,006 万円の減）です。

(7) 積 立 金

積立金の決算額は、163 億 659 万円（対前年度 109 億 9,852 万円の増）でした。

主な内訳は、公共施設安全安心基金積立金 76 億円、財政調整基金積立金 45 億円、教育施設整備基金積立金 40 億 119 万円です。

増加の主な項目は、公共施設安全安心基金積立金 67 億円の増、教育施設整備基金積立金 40 億円の増、博学未来創造基金積立金 2 億円の皆増、財政調整基金積立金 1 億円の増です。

(8) 投資及び出資金

投資及び出資金の決算額は、2 億 8,000 万円（対前年度 1 億 3,000 万円の減）でした。

内訳は、下水道事業出資金 1 億 4,000 万円（対前年度 2 億 7,000 万円の減）、世界ラリー選手権開催推進費 1 億 4,000 万円（対前年度 皆増）です。

(9) 貸 付 金

貸付金の決算額は、5 億 1,200 万円（対前年度 同額）でした。

内訳は、小規模企業等振興資金預託金 3 億 4,400 万円（対前年度 同額）、商工業者事業資金預託金 1 億 6,800 万円（対前年度 同額）です。

(10) 繰 出 金

繰出金の決算額は、119 億 8,753 万円（対前年度 6 億 3,085 万円の減）でした。

主な内訳は、介護保険事業特別会計繰出金 38 億 2,841 万円、国民健康保険特別会計繰出金 31 億 8,301 万円、療養給付費負担金 34 億 7,285 万円です。

増加の主な項目は、療養給付費負担金 1 億 6,821 万円の増です。

減少の主な項目は、都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金 6 億 5,553 万円の減、国民健康保険特別会計繰出金 2 億 2,998 万円の減です。

(11) 普通建設事業費

普通建設事業費の決算額は、314億4,223万円（対前年度48億7,932万円の減）でした。

主な内訳は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業24億3,495万円、博物館建設費21億6,953万円、小・中学校保全改修費19億7,370万円、中央公園施設保全費14億6,003万円、豊田地域医療センター再整備費12億7,352万円、土地区画整理事業公共施設管理者負担金8億7,715万円です。

増加の主な項目は、博物館建設費13億2,906万円の増、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業11億824万円の増、若園交流館建設費6億54万円の増です。

減少の主な項目は、豊田地域医療センター再整備費14億7,868万円の減、市民文化会館施設整備費14億2,968万円の減、松平体育館施設整備費14億2,338万円の皆減、土地区画整理事業公共施設管理者負担金8億5,545万円の減、市役所庁舎等整備費7億9,827万円の減です。

(12) 災害復旧事業費

災害復旧事業費の決算額は、3億5,260万円（対前年度1億8,836万円の減）でした。

主な内訳は、土木施設災害復旧事業費1億7,889万円、農業施設災害復旧事業費1億1,044万円です。

減少の主な項目は、土木施設災害復旧事業費1億5,176万円の減です。

第9表 一般会計歳出

款	年 度	平成30年度		令和元年度			
			構成比	伸率		構成比	伸率
1	議 会 費	853,622	0.5	△ 0.7	851,124	0.4	△ 0.3
2	総 務 費	19,702,817	11.1	△ 9.2	21,186,795	11.3	7.5
3	民 生 費	52,617,266	29.5	△ 1.1	56,834,002	30.3	8.0
4	衛 生 費	14,127,185	7.9	△ 1.4	15,208,862	8.1	7.7
5	労 働 費	317,924	0.2	23.5	140,876	0.1	△ 55.7
6	農 林 水 産 業 費	2,636,611	1.5	△ 1.6	2,654,988	1.4	0.7
7	商 工 費	4,249,888	2.4	△ 19.5	4,619,441	2.5	8.7
8	土 木 費	33,152,046	18.6	△ 19.4	34,760,526	18.6	4.9
9	消 防 費	7,571,455	4.3	2.1	7,581,608	4.0	0.1
10	教 育 費	30,155,438	16.9	21.2	33,633,225	18.0	11.5
11	災 害 復 旧 費	341,336	0.2	33.2	139,034	0.1	△ 59.3
12	公 債 費	12,295,903	6.9	△ 1.9	9,714,156	5.2	△ 21.0
13	諸 支 出 金	28,518	0.0	皆増	0	-	皆減
14	予 備 費	0	-	-	0	-	-
歳 出 合 計 (A)		178,050,009	100.0	△ 3.5	187,324,637	100.0	5.2
予 算 現 額 (B)		197,918,650	-	-	209,862,248	-	-
差 引 (B-A) (C)		19,868,641	-	-	22,537,611	-	-
(C)の 内訳	翌 年 度 繰 越 額	13,922,248	7.0	-	14,582,604	6.9	-
	不 用 額	5,946,393	3.0	-	7,955,007	3.8	-

※1 予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。

2 「(C)の内訳」欄の構成比は、予算現額に対する比率である。

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和2年度			令和3年度			令和4年度				款
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年増減額	
829,913	0.3	△ 2.5	837,784	0.4	0.9	837,956	0.4	0.0	172	1
68,409,786	28.6	222.9	24,107,082	12.4	△ 64.8	30,979,006	15.5	28.5	6,871,924	2
59,715,540	24.9	5.1	71,569,108	36.7	19.9	66,916,662	33.5	△ 6.5	△ 4,652,446	3
22,974,384	9.6	51.1	20,700,683	10.6	△ 9.9	22,270,807	11.1	7.6	1,570,124	4
421,934	0.2	199.5	327,253	0.2	△ 22.4	158,123	0.1	△ 51.7	△ 169,130	5
2,862,178	1.2	7.8	2,644,964	1.4	△ 7.6	2,912,069	1.5	10.1	267,105	6
5,471,473	2.3	18.4	4,738,439	2.4	△ 13.4	4,543,639	2.3	△ 4.1	△ 194,800	7
34,725,533	14.5	△ 0.1	25,505,861	13.1	△ 26.6	24,601,871	12.3	△ 3.5	△ 903,990	8
7,247,085	3.0	△ 4.4	7,017,764	3.6	△ 3.2	6,951,398	3.5	△ 0.9	△ 66,366	9
27,919,584	11.7	△ 17.0	29,668,047	15.2	6.3	31,716,009	15.9	6.9	2,047,962	10
985,111	0.4	608.5	489,052	0.3	△ 50.4	318,371	0.2	△ 34.9	△ 170,681	11
7,897,112	3.3	△ 18.7	7,247,481	3.7	△ 8.2	7,777,800	3.9	7.3	530,319	12
0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	13
0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	14
239,459,633	100.0	27.8	194,853,518	100.0	△ 18.6	199,983,711	100.0	2.6	5,130,193	-
260,332,604	-	-	218,355,273	-	-	226,348,460	-	-	-	-
20,872,971	-	-	23,501,755	-	-	26,364,749	-	-	-	-
12,875,273	4.9	-	14,588,460	6.7	-	15,416,644	6.8	-	-	-
7,997,698	3.1	-	8,913,295	4.1	-	10,948,105	4.8	-	-	-

第10表 一般会計性質別

区 分	平成30年度			令和元年度		
		構成比	伸率		構成比	伸率
人 件 費	29,337,285	16.5	0.9	29,013,576	15.5	△ 1.1
物 件 費	30,410,287	17.1	2.6	31,767,510	17.0	4.5
維 持 補 修 費	1,285,857	0.7	10.9	1,695,323	0.9	31.8
扶 助 費	29,346,173	16.5	0.5	31,126,564	16.6	6.1
補 助 費 等	16,388,928	9.2	△ 15.2	16,965,081	9.0	3.5
公 債 費	12,295,903	6.9	△ 1.9	9,714,156	5.2	△ 21.0
積 立 金	6,254,934	3.5	28.7	4,012,742	2.1	△ 35.8
投 資 及 び 出 資 金	900,000	0.5	△ 11.0	920,000	0.5	2.2
貸 付 金	560,000	0.3	△ 63.4	490,000	0.3	△ 12.5
繰 出 金	12,519,212	7.0	△ 13.0	13,613,693	7.3	8.7
普 通 建 設 事 業 費	38,385,897	21.6	△ 7.6	47,860,832	25.5	24.7
うち人件費	1,245,535	0.7	△ 8.3	1,373,002	0.7	10.2
災 害 復 旧 事 業 費	365,533	0.2	33.7	145,160	0.1	△ 60.3
うち人件費	33,108	0.0	27.7	16,999	0.0	△ 48.7
失 業 対 策 事 業 費	0	-	-	0	-	-
歳 出 合 計	178,050,009	100.0	△ 3.5	187,324,637	100.0	5.2

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年 増減額
30,069,224	12.6	3.6	30,926,324	15.9	2.9	31,077,430	15.5	0.5	151,106
34,513,492	14.4	8.6	35,916,607	18.4	4.1	37,816,897	18.9	5.3	1,900,290
1,906,384	0.8	12.4	2,689,708	1.4	41.1	2,278,843	1.1	△ 15.3	△ 410,865
33,046,580	13.8	6.2	41,845,717	21.5	26.6	37,313,322	18.7	△ 10.8	△ 4,532,395
62,243,552	26.0	266.9	20,516,724	10.5	△ 67.0	22,838,466	11.4	11.3	2,321,742
7,897,112	3.3	△ 18.7	7,247,481	3.7	△ 8.2	7,777,800	3.9	7.3	530,319
8,263,969	3.4	105.9	5,308,069	2.7	△ 35.8	16,306,589	8.2	207.2	10,998,520
450,560	0.2	△ 51.0	410,000	0.2	△ 9.0	280,000	0.1	△ 31.7	△ 130,000
531,000	0.2	8.4	512,000	0.3	△ 3.6	512,000	0.3	0.0	0
13,376,600	5.6	△ 1.7	12,618,378	6.5	△ 5.7	11,987,529	6.0	△ 5.0	△ 630,849
46,079,565	19.2	△ 3.7	36,321,545	18.6	△ 21.2	31,442,230	15.7	△ 13.4	△ 4,879,315
1,206,430	0.5	△ 12.1	1,016,722	0.5	△ 15.7	915,715	0.5	△ 9.9	△ 101,007
1,081,595	0.5	645.1	540,965	0.3	△ 50.0	352,605	0.2	△ 34.8	△ 188,360
96,484	0.0	467.6	51,913	0.0	△ 46.2	34,234	0.0	△ 34.1	△ 17,679
0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
239,459,633	100.0	27.8	194,853,518	100.0	△ 18.6	199,983,711	100.0	2.6	5,130,193

第11表 一般会計歳出

節	1 議会費	2 総務費	3 民生費	4 衛生費	5 労働費	6 農林水産業費	7 商工費	8 土木費
1 報酬	358,605	574,642	1,655,549	125,673	4,501	63,861	30,095	98,175
2 給料	71,562	2,373,016	2,751,207	1,260,472	20,046	265,061	148,756	1,140,142
3 職員手当等	196,647	3,990,202	2,396,485	1,029,779	17,481	222,704	146,616	973,656
4 共済費	135,951	1,028,629	1,200,932	484,669	8,015	102,517	56,355	436,537
5 災害補償費	0	1,688	0	0	0	0	0	0
6 恩給及び退職年金	0	0	0	0	0	0	0	0
7 報償費	1,031	70,590	125,647	58,909	2,062	3,344	2,646	29,600
8 旅費	9,256	58,091	50,735	7,342	91	3,235	2,768	9,905
9 交際費	1,459	2,193	0	0	0	39	0	0
10 需用費	5,345	889,514	807,037	958,054	1,424	133,022	67,027	2,300,947
11 役務費	12,262	660,057	154,249	294,554	1,103	87,972	25,019	712,804
12 委託料	22,086	4,448,929	4,616,511	10,336,561	66,321	332,570	294,121	4,408,763
13 使用料及び賃借料	6,333	713,336	235,812	51,465	11,375	8,459	27,812	208,965
14 工事請負費	0	1,430,585	417,488	1,727,210	0	409,666	38,813	4,834,111
15 原材料費	0	353	154	5,353	0	3,012	641	24,036
16 公有財産購入費	0	252,999	544,698	0	0	0	34,460	1,443,016
17 備品購入費	652	339,169	192,948	181,496	653	4,490	2,828	27,713
18 負担金補助及び交付金	16,742	1,754,759	10,961,893	4,919,021	25,051	1,223,013	3,138,136	6,909,825
19 扶助費	0	0	31,997,794	4,676	0	0	0	0
20 貸付金	0	0	0	0	0	0	512,000	0
21 補償、補填及び賠償金	0	467	465	0	0	0	0	302,195
22 償還金、利子及び割引料	0	285,740	950,278	821,230	0	195	0	15,667
23 投資及び出資金	0	0	0	0	0	0	0	140,000
24 積立金	0	12,102,953	1,895	0	0	32	243	207
25 寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
26 公課費	25	1,094	14	4,343	0	13	0	46
27 繰出金	0	0	7,854,871	0	0	48,864	15,303	585,561
28 予備費	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	837,956	30,979,006	66,916,662	22,270,807	158,123	2,912,069	4,543,639	24,601,871

決算額節別集計表

(単位：千円、%)

9 消防費	10 教育費	11 災害 復旧費	12 公債費	13 諸 支出金	14 予備費	計	構成比	前年度 構成比
121,159	1,745,822	0	0	0	0	4,778,082	2.4	2.4
2,022,309	885,961	0	0	0	0	10,938,532	5.5	5.6
1,882,843	848,704	0	0	0	0	11,705,117	5.9	6.1
826,052	447,778	0	0	0	0	4,727,435	2.4	2.4
3,431	0	0	0	0	0	5,119	0.0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	-	-
38,355	173,090	0	0	0	0	505,274	0.3	0.3
12,622	59,524	0	0	0	0	213,569	0.1	0.1
10	53	0	0	0	0	3,754	0.0	0.0
456,718	3,310,991	234,661	0	0	0	9,164,740	4.6	5.1
87,100	378,389	32,114	0	0	0	2,445,623	1.2	1.3
302,191	7,748,229	7,974	0	0	0	32,584,256	16.3	16.1
459,726	955,883	0	0	0	0	2,679,166	1.3	1.5
104,996	6,189,812	0	0	0	0	15,152,681	7.6	9.6
209	1,451	208	0	0	0	35,417	0.0	0.0
23,320	242,201	0	0	0	0	2,540,694	1.3	1.4
453,917	569,128	0	0	0	0	1,772,994	0.9	1.1
149,472	2,986,320	43,414	0	0	0	32,127,646	16.1	18.1
0	821,227	0	0	0	0	32,823,697	16.4	16.5
0	0	0	0	0	0	512,000	0.3	0.3
1,049	709	0	0	0	0	304,885	0.2	0.3
0	9,478	0	7,777,800	0	0	9,860,388	4.9	4.3
0	140,000	0	0	0	0	280,000	0.1	0.2
0	4,201,259	0	0	0	0	16,306,589	8.2	2.7
0	0	0	0	0	0	0	-	-
5,919	0	0	0	0	0	11,454	0.0	0.0
0	0	0	0	0	0	8,504,599	4.3	4.8
0	0	0	0	0	0	0	-	-
6,951,398	31,716,009	318,371	7,777,800	0	0	199,983,711	100.0	100.0

第12表 一般会計普通

区 分	補助事業費	単独事業費	計	構成比
1 議 会 費	0	0	0	-
2 総 務 費	872,324	1,755,134	2,627,458	8.4
うち庁舎等	0	155,541	155,541	0.5
3 民 生 費	401,238	1,338,494	1,739,732	5.5
うち保育所	16,912	467,422	484,334	1.5
4 衛 生 費	11,244	3,212,234	3,223,478	10.3
うちごみ処理	0	1,567,276	1,567,276	5.0
うちし尿処理	0	1,660	1,660	0.0
5 労 働 費	0	0	0	-
6 農 林 水 産 業 費	68,800	1,048,324	1,117,124	3.6
うち林道	0	327,411	327,411	1.0
うち農業農村整備	0	702,848	702,848	2.2
7 商 工 費	0	218,666	218,666	0.7
うち観光	0	91,744	91,744	0.3

※県営事業負担金等は単独事業に含む。

建設事業費の状況

(単位：千円、%)

区 分	補助事業費	単独事業費	計	構成比
8 土 木 費	5,005,692	8,309,174	13,314,866	42.3
うち 道路橋りょう	909,797	3,014,889	3,924,686	12.5
う ち 河 川	39,000	1,313,245	1,352,245	4.3
う ち 街 路	2,167,688	2,454,832	4,622,520	14.7
う ち 区 画 整 理	879,152	18,914	898,066	2.9
う ち 公 園	728,941	232,481	961,422	3.1
う ち 住 宅	0	285,497	285,497	0.9
9 消 防 費	150,942	557,455	708,397	2.3
10 教 育 費	4,862,676	3,629,833	8,492,509	27.0
う ち 小 学 校	1,192,756	1,281,885	2,474,641	7.9
う ち 中 学 校	530,705	610,026	1,140,731	3.6
う ち 幼 稚 園	10,731	9,583	20,314	0.1
う ち 社 会 教 育	1,677,970	1,091,760	2,769,730	8.8
11 そ の 他	0	0	0	-
合 計	11,372,916	20,069,314	31,442,230	100.0

第13表 一般会計目別歳出決算額の概要

1款 議会費

1款 議会費		(前年度)	
当初予算額	877,115,000円	(894,316,000円)
予算現額	878,516,000円	(870,799,000円)
決算額	837,956,322円	(837,783,858円)
翌年度繰越額	16,930,000円	(0円)
不用額	23,629,678円	(33,015,142円)
1- 1- 1目 議会費		(前年度)	
当初予算額	877,115,000円	(894,316,000円)
予算現額	878,516,000円	(870,799,000円)
決算額	837,956,322円	(837,783,858円)
翌年度繰越額	16,930,000円	(0円)
不用額	23,629,678円	(33,015,142円)
●翌年度繰越額			
☆繰越明許費☆			16,930,000円
公用車取得事業			16,930,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
※【課名】は、令和5年度の所管部局を示しています。			
1 人件費(議員45人、一般職18人、非常勤一般職5人)			
【(議)総務課・人事課】			762,765,370円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】			536,240円
3 議会活動費【(議)総務課・議事調査課】			65,171,655円
(1) 議案審議等			
ア 本会議 定例会4回(会期日数96日、開議日数25日)			
臨時会2回(会期日数 2日、開議日数 2日)			
イ 委員会			
議会運営委員会			26回
企画総務委員会			7回
地域生活委員会			7回
教育社会委員会			7回
環境福祉委員会			7回
産業建設委員会			9回
予算決算委員会			31回
大規模イベントを生かしたまちづくり特別委員会			15回
議会デジタル化推進特別委員会			11回

1款 議会費

議会だより編集委員会	17回
ウ 審議案件等	
議案	146件 承認 4件 認定 13件
報告	10件 同意 7件 意見書 2件
議員提出議案	4件 請願 4件 陳情 17件
(2) 各種加盟協議会等出席	
全国市議会議長会、東海市議会議長会、中核市議会議長会、 愛知県市議会議長会、三河部市議会議長会、 愛知県中核市議会議長協議会、西三河市議会議長協議会 ほか	
(3) 調査研究	
<政務活動費>	14,803,220円
-内訳-	
豊田市議会自民クラブ議員団28名	8,822,017円
豊田市議会市民フォーラム 10名	2,995,899円
公明党豊田市議団 4名	2,036,914円
諸派(とよた市民の会) 1名	359,639円
諸派(日本共産党豊田市議団) 1名	348,429円
諸派(心が聴こえる市政の会) 1名	240,322円
<委員会視察>	
議会運営委員会(山形市、宇都宮市)	
企画総務委員会(深谷市、三鷹市、富士宮市)	
地域生活委員会(綾部市、呉市、香川県)	
教育社会委員会(広島県、北九州市、宝塚市)	
環境福祉委員会(上山市、柏市、さいたま市)	
産業建設委員会(福岡市、大阪市、神戸市)	
大規模イベントを生かしたまちづくり特別委員会 (帯広市、札幌観光協会、札幌商工会議所)	
議会デジタル化推進特別委員会 (藤沢市、NEC、総務省、横浜市)	
<議員研修会>	
第1回「最近のアレルギー疾患の話題 -愛知県における取組みも含めて-	
第2回「モノづくりは人づくり~技能伝承と人材育成~」	
(4) 議会だより発行	9,726,612円
定例会号4回、臨時会号1回を発行し、市内全戸へ配布しまし た。	
4 事務局費【(議)総務課・議事調査課】	9,031,867円
(1) 情報提供の推進	

1款 議会費

各種会議録の調製、執行部情報の提供

(2) 行政視察の対応

他市議会等から83件699人の視察受入れ

うち 議会ICT、政治倫理条例、議会改革の取組等 8件
(東京都目黒区、東京都町田市、埼玉県東松山市等)

(3) 議会に関するPR活動の充実

ケーブルテレビ、FMラジオ、インターネット放映

議会要覧、議会年報等の刊行

<本会議傍聴者数>

5月臨時会 1人

6月定例会 134人

9月定例会 157人

12月定例会 153人

3月定例会 203人

3月臨時会 0人

(計) 648人

5 議会活性化推進費【議事調査課】 451,190円

(1) 市議会報告会兼意見交換会

地域生活委員会 11月11日(金)

団体名 井郷地域会議ほか6団体

テーマ「地域課題の解決や地域活性化に向けた地域会議の
取組の現状と今後について」

教育社会委員会 11月29日(火)

団体名 こどものマイクけんきゅうかい

テーマ「豊田市子ども条例と子どもの意見表明・
アドボカシーについて」

環境福祉委員会 11月18日(金)

団体名 豊田市療法士会

テーマ「長寿社会のまちづくりに向けたフレイル予防」

産業建設委員会 11月 4日(金)

団体名 旭観光協会ほか7団体

テーマ「豊田市観光の未来」

(2) 市民シンポジウム

1月14日(土) 市民文化会館 参加者 170名

テーマ「データ活用で変わる社会

～豊田市のDXとわたしたちの暮らし～」

第1部 基調講演

講師：株式会社三菱総合研究所

主席研究員 村上 文洋氏

第2部 パネルディスカッション

テーマ「市民一人ひとりに合った

サービスのために」

◆特記事項

- ・地方議会議員年金制度廃止後の年金等の給付に要する経費として、負担金107,805,600円を執行しました。【(議)総務課】
- ・公用車取得事業において、新型コロナウイルス感染症や半導体不足等による車両納期の長期化により年度内での納入が難しくなったため、12月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。

【(議)総務課】

2款 総務費

2款 総務費	
	(前年度)
当初予算額	19,068,679,000円 (19,374,050,000円)
予算現額	32,040,415,300円 (25,764,053,500円)
決算額	30,979,006,079円 (24,107,081,840円)
翌年度繰越額	298,760,628円 (1,022,474,200円)
不用額	762,648,593円 (634,497,460円)
2- 1- 1目 一般管理費	
	(前年度)
当初予算額	4,657,178,000円 (4,791,365,000円)
予算現額	4,637,167,539円 (4,721,437,128円)
決算額	4,510,595,041円 (4,618,691,098円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	126,572,498円 (102,746,030円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(不当要求行為等審査会委員5人、行政不服審査会委員5人、特別職3人、一般職488人、非常勤一般職270人)	
	【法務課・行政改革推進課・人事課】4,379,143,269円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 15,905,360円	
3 庶務費【(総)庶務課】 267,402円	
4 車両管理費【(総)庶務課】 89,761,633円	
(1) 業務費 32,820,119円	
ア 車検・点検	
(ア) 対象車両	221台
(イ) 定期点検整備	延べ 295台
(ウ) 車検前点検整備	70台
(エ) 車検等外注	202台
(オ) その他修理	延べ 236台
イ 公用車事故件数	
	加害 双方 自損 小計 被害 総計
	8件 1件 10件 19件 3件 22件
(2) 車両導入費 56,941,514円	
	総リース車両 182台(うち、更新リース車両18台)
5 安全運転推進費【(総)庶務課】 2,602,760円	
<研修会等>	
	正副安全運転管理者講習会 14人

2款 総務費

運転技能講習会（採用10年目職員、事故当事者等）	78人
安全運転講習会（新規採用職員）	70人
外部講師による運転業務添乗チェック研修	18人
運転に不慣れな職員に対する安全運転技能講習	14人
運転苦手克服カリキュラム	8人
安全運転所属長研修（3回）	延べ302人
各部局による安全運転講習会	166人
6 行政不服審査会事務費【行政改革推進課】	1,420円
7 法務費【法務課】	12,473,787円
（1）事務費	4,964,056円
内部弁護士職員による法律相談	474件
ア 職員（学校教職員を除く。）からの業務上の法律相談	378件
イ 学校からの業務上の法律相談（スクールロイヤー機能）	96件
（2）電子例規システム費	1,067,031円
<データ更新に係る例規の制定改廃別状況>	
	制定 全部改正 一部改正 廃止
条 例	71件 3件 1件 67件 0件
規 則	105件 2件 0件 99件 4件
規程等	23件 1件 0件 22件 0件
（3）訴訟等事務費	6,442,700円
<令和4年度中に解決した訴訟事件等>	
・令和3年（ネ）第928号 損害賠償請求控訴事件	
・2022年（仲）第16号 損害賠償請求あっせん事件	
<令和4年度末係属中の訴訟事件等>	
・令和4年（ワ）第5165号 不当利得返還請求事件※	
・令和5年（ワ）第147号 損害賠償請求事件※	
※は、代理人の委任に係る弁護士報酬について、令和4年度の支出がないもの	
8 政策法務推進費【法務課】	1,199,410円
（1）法務研修	
法治主義を貫く職員力の向上を図るため、弁護士職員や外部有識者による法務研修を実施しました。	
	研修区分 開催回数 参加人数（累計）
弁護士職員による法務研修	2回 140人
外部有識者による法務研修	3回 211人
（2）派遣研修	

2款 総務費

政策法務担当等の能力向上と機能強化を図るため、民間研修機関主催の法務研修に12人の職員を派遣しました。

(3) 書籍の更新等

法執行環境の向上に資するため、各部局に配置している自治六法を更新したほか、参考図書を購入しました。

(4) 自治体法務検定の団体受検

職員の能力育成効果を検証するため、自治体法務検定の団体受検を実施しました。

9 外部監査費【法務課】 9,240,000円

地方自治法に基づく包括外部監査契約を締結し、監査結果の報告を受けました。監査の実施状況は次のとおりです。

包括外部監査人 公認会計士 林 伸一(補助者5人)

監査テーマ 産業振興事業、商業活性化事業及び観光振興事業に関する財務事務の執行について

2- 1- 2目 秘書費

		(前年度)
当初予算額	39,595,000円	(23,753,000円)
予算現額	39,410,000円	(33,088,717円)
決算額	17,596,489円	(28,155,595円)
翌年度繰越額	16,930,000円	(0円)
不用額	4,883,511円	(4,933,122円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	16,930,000円
公用車取得事業	16,930,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(表彰審査委員会委員5人)【秘書課】 40,000円
- 2 秘書事務費【秘書課】 15,677,722円
 - (1) 名義後援等申請 258件
 - (2) 名誉市民・市政功労者懇談会 11月2日(34人出席)
 - (3) 新年あいさつ会 1月4日(約150人出席)
- 3 市制記念式典開催費【秘書課】 1,878,767円

市制72周年記念式典3月4日(約350人出席)

 - (1) 市政功労者に田端稔様と小島洋一郎様を推挙しました。
 - (2) 表彰条例に基づき191人、19団体を表彰しました。

◆特記事項

公用車取得事業において、新型コロナウイルス感染症や半導体不足等に

2款 総務費

よる車両納期の長期化により年度内での納入が難しくなったため、12月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。【秘書課】

2- 1- 3目 広報費

		(前年度)
当初予算額	238,674,000円	(239,584,000円)
予算現額	216,283,000円	(231,984,000円)
決算額	202,606,532円	(220,632,448円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	13,676,468円	(11,351,552円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 広報事務費【市政発信課】 91,260,242円
 - (1) 広報活動
 - ア 広報とよた等の発行
 - ・広報とよた（月1回） 1回平均 172,513部
 - ・広報とよた点字版（月1回）1回平均 54部
 - ・声の広報（月1回） 1回平均 41部
 - イ 広報モニター制度
 - ・アンケート実施 12回
 - ・モニター数 前後期各25人
 - (2) 市政記録映像
 - ・「市政の歩み」の制作（主要な事業や出来事を映像で記録）
 - (3) Eモニター制度
 - ・アンケート実施 8回
 - ・モニター数 185人
 - (4) シティプロモーション
 - ・外国人向け短編動画をイベント会場やYouTube等で配信 約100万回再生
 - ・ジブリパークの開園に合わせ、本市の魅力的な写真・動画をSNSで募集 応募件数 約2,400件
 - ・市が保有する写真のデータ化及び写真や動画のデータを管理するシステムを構築
 - (5) ホームページ管理運営
 - ・ページビュー数 約2,837万件
- 2 テレビ・ラジオ等広報費【市政発信課】 111,346,290円
 - (1) CATV放送
 - ・市政情報提供番組「とよたNOW」（放送時間20分、1日

2款 総務費

10回)	
(2) コミュニティFM放送	
・市政情報提供番組「ホットニュースとよた」(平日放送時間 10分、1日2回、土日放送時間20分、1日1回)	
2- 1- 4目 人事管理費	
(前年度)	
当初予算額	2,106,961,000円 (1,947,347,000円)
予算現額	2,241,988,061円 (2,127,347,000円)
決算額	2,218,549,740円 (2,067,700,602円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	23,438,321円 (59,646,398円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費【人事課】	1,963,430,386円
(1) 職員退職手当	1,684,179,061円
	支給者数 平均支給額
定年退職者	71人 19,272千円
定年以外	67人 4,708千円
(2) 児童手当	192,135,000円
	年3回支給(6月・10月・2月)延べ2,589人分
(3) 公務災害補償基金負担金	26,452,609円
	職員 3,220人分
(4) 労働保険	58,891,294円
	会計年度任用職員等 2,300人分
(5) 災害補償費	1,688,147円
	非常勤職員の療養補償費等を15人に支払いました。
(6) 恩給及び退職年金	84,275円
2 人事管理事務費【人事課】	217,708,523円
(1) 事務費	11,231,601円
(2) 職員採用試験費	5,622,042円
	採用者数
	行政職 62人
	消防職 14人
	教育保育職 40人
	技能労務職 11人
	計 127人
(3) 職員人事考課費	3,503,060円

職員の能力・成果主義を徹底するため、目標管理を活用した人事考課制度を実施するとともに、必要に応じて能力開発プログラムを実施しました。

ア 対象者：全職種・職位（3,423人）

イ 特色：制度運用を通じた人材マネジメント

考課結果を得点化し、賞与・昇任・昇給へ反映

目標管理による組織パフォーマンスの向上

ウ 研修：年2回の研修を実施

(4) 職員昇任試験費 3,776,033円

職員の資質向上や人材発掘を推進するため、能力・実績に基づく昇任試験を実施しました。

ア 対象：行政職課長級昇任試験

行政職主任主査昇任試験

消防職司令長昇任試験

消防職司令補昇任試験

教育保育職上級保育師昇任試験

技能労務職主任昇任試験

イ 試験内容：筆記・論述（論文）・面接・人事考課のうちから試験区分によって実施

ウ 試験結果：行政職課長級 受験者 55人 合格者21人

行政職主任主査 受験者212人 合格者28人

消防職司令長 受験者 27人 合格者 6人

消防職司令補 受験者 31人 合格者12人

教育保育職上級保育師

受験者 46人 合格者15人

技能労務職主任 受験者 16人 合格者 8人

(5) 人事管理システム費 4,621,116円

(6) 安全衛生委員会費 5,639,288円

メンタルヘルス研修の実施、非常勤産業医による復職相談等、特に職員の心のケアに力を入れて活動しました。

・非常勤産業医による相談 延べ138人

・安全衛生委員会研修受講者 34人

・衛生管理者免許の取得 免許取得者 6人

(7) 職員厚生費 114,373,502円

ア 健康管理の充実

職員の健康把握と疾病予防のため、労働安全衛生法に基づく健康診断等を実施しました。

<令和4年度実施人数>

2款 総務費

定期健康診断	660人
深夜勤務者健診	415人
VDT健診	28人
業務別特殊健康診断 有機溶剤	42人
業務別特殊健康診断 特定化学物質	14人
人間ドック	2,501人
追加検診 子宮ガン	576人
乳ガン	111人
前立腺ガン	360人
血圧脈波検査	226人
脳ドック	217人
B型肝炎抗体確認検査	28人
B型肝炎予防接種	80人
破傷風予防接種	100人
麻しん抗体検査	0人
ストレスチェック	4,091人
イ 福利の推進	
(ア) 被服貸与規程に基づき、作業服を貸与しました。	
(イ) 法令及び条例に基づき、愛知県都市職員共済組合と職員互助会に対して負担金を支出しました。	
(8) 非常勤職員管理費	68,941,881円
労務管理や報酬支払業務等を民間委託により実施しました。	
3 職員研修費【人事課】	37,410,831円
(1) 事務費	5,264,582円
(2) 一般研修費	13,864,086円
能率的な行政経営を担う人材を育成するため、各階層に応じて研修を実施しました。	26コース 延べ998人 46日
(3) 特別研修費	8,128,883円
特定の職員の能力開発のため、テーマや課題を設定して研修を実施しました。	9コース 延べ1,085人 14日
(4) 部局研修費	1,565,621円
仕事を通して自己実現を図ることや活力ある職場づくりを推進するため、部局が自発的に実施する人材育成を支援しました。	
研修会、講演会、先進地視察	17回
(5) 自己啓発研修費	796,924円
職員一人ひとりが、自らの適性や志向を生かした能力開発に励むため、自己啓発を奨励し支援を行いました。	
自主研究サークル	6グループ

2款 総務費

自主学習援助	48人
(6) 短期派遣研修費	3,264,473円
業務に必要な専門的な知識や技能を修得するため、専門団体や研修機関等へ短期的(1年未満)に職員を派遣しました。	
市町村アカデミー	19人
国際アカデミー	10人
愛知県市町村振興協会研修センター	21人
国土交通大学校、全国建設研修センター	14人
自治大学校	1人
(7) 長期派遣研修費	4,526,262円
多角的な視野や専門的な知識を習得するため、組織風土の異なる国や民間企業等へ長期的(1年以上)に職員を派遣しました。	
省庁派遣	3人
民間企業派遣	1人
政策研究大学院大学	1人
事業構想大学院大学	1人
愛知教育大学大学院	1人
2- 1- 5日 検査費	
	(前年度)
当初予算額	17,007,000円 (14,847,000円)
予算現額	16,927,000円 (15,452,790円)
決算額	16,010,613円 (13,216,526円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	916,387円 (2,236,264円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 検査事務費【技術管理課】	16,010,613円
検査実施件数	225件
完成検査	202件
中間・既済部分検査等	23件
査察実施件数	6件

2款 総務費

2- 1- 6目 事務管理費		(前年度)
当初予算額	79,769,000円	(39,499,000円)
予算現額	97,472,308円	(48,882,376円)
決算額	95,626,655円	(47,496,686円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,845,653円	(1,385,690円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（地域経営懇話会委員12人）【行政改革推進課】

107,700円
- 2 事務管理事務費【経営戦略課・行政改革推進課】

75,800,868円

 - (1) 事務改善費

7,700,704円

 - ア 公共施設予約システムの改修を実施しました。
 - イ 地方分権改革に関する提案募集を活用して、7件の規制緩和の提案を行いました。
 - (2) 職員提案費

500,000円

改善提案 8,404件
 - (3) 経営戦略推進費

5,060円
 - (4) 官民連携事業推進費

19,700円

指定管理者の更新に際し、適正な事業者選定に努めました。
 - (5) 行政改革推進費

874,066円

 - ア 相互理解の促進と意思疎通の円滑化を図るため、市民・事業者向けのガイドラインを作成しました。
 - イ キャッシュレス決済、事務室フリーアドレス化の検証に必要な物品を購入しました。
 - ウ 内部統制制度に関する職員研修を実施しました。
 - (6) 個人番号カード利用環境整備事務費

66,701,338円

国のマイナポイント事業について、市民の申込みを支援するためのコールセンター及び支援窓口を設置しました。
- 3 中核市市長会事務費【経営戦略課】

11,308,129円

中核市市長会の役員市として各種会議等に参加し、国への提言活動等に取り組みました。また、10月に中核市サミット2022 in 豊田を開催しました。
- 4 東京事務所費【東京事務所】

8,409,958円

首都圏における情報の収集・発信や本庁業務の支援等を行いました。

2款 総務費

2- 1- 7目 文書管理費			(前年度)
当初予算額	271,331,000円	(281,432,000円)
予算現額	245,156,400円	(267,361,000円)
決算額	237,671,821円	(253,660,703円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	7,484,579円	(13,700,297円)
<hr/>			
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	人件費(情報公開・個人情報保護審査会委員6人)【法務課】		
			1,615,400円
2	文書管理業務費【(総)庶務課・法務課】		210,995,375円
(1)	文書管理運営費		6,242,161円
(2)	文書郵送集配費		204,132,814円
	発送文書数		4,418,531通
(3)	文書マイクロフィルム化費		620,400円
3	印刷業務費【(総)庶務課】		24,974,718円
	電子印刷機(印刷室大型機)		2台
	カラー印刷機		1台
	簡易印刷機		2台
	電子複写機(複合機)		142台
4	歴史公文書管理業務費【法務課】		86,328円
	公開歴史公文書数(令和4年度末)		9,307文書
<hr/>			
2- 1- 8目 公平委員会費			(前年度)
当初予算額	771,000円	(690,000円)
予算現額	257,000円	(322,000円)
決算額	126,210円	(179,500円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	130,790円	(142,500円)
<hr/>			
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	人件費(公平委員会委員3人)【法務課】		59,400円
2	公平委員会事務費【法務課】		66,810円

2款 総務費

2- 1- 9目 財政管理費		(前年度)
当初予算額	103,010,000円	(104,246,000円)
予算現額	12,104,026,400円	(5,304,367,000円)
決算額	12,103,778,118円	(5,304,230,198円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	248,282円	(136,802円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 財政事務費【財政課】 614,738円

<参考>

●普通建設事業費

当初予算額	31,306,969千円
令和3年度からの繰越額	13,729,526千円
執行額	31,443,420千円

●市債の発行により、将来のまちづくりに必要な投資額を確保しました。

新規借入額	4,422,800千円
元金償還額	7,658,734千円

●基金に関しては、将来の財政需要に弾力的に対応する財源として一定規模の資金積立基金残高を確保することとしました。

令和4年度末資金積立基金残高	78,890,640千円
----------------	--------------

2 公会計改革推進費【財政課】 2,028,400円

発生主義や複式簿記の考え方を導入して、貸借対照表等の財務書類を作成しました。

3 財政調整基金積立金【財政課】 4,500,000,000円

将来にわたって財政の健全な運営を図るため、財政調整基金への積立てを行いました。

令和4年度末基金残高	34,900,000千円
------------	--------------

4 減債基金積立金【財政課】 1,134,980円

減債基金の利子を同基金に積み立てました。

令和4年度末基金残高	2,160,369千円
------------	-------------

5 公共施設安全安心基金積立金【財政課】 7,600,000,000円

増加する公共施設の維持補修等に備えるため、公共施設安全安心基金への積立てを行いました。

令和4年度末基金残高	13,600,000千円
------------	--------------

2款 総務費

2- 1-10目 財産管理費

(前年度)

当初予算額	1,252,483,000円	(1,534,059,000円)
予算現額	1,384,264,100円	(2,020,644,865円)
決算額	1,250,985,710円	(1,929,281,229円)
翌年度繰越額	39,071,512円	(69,235,100円)
不用額	94,206,878円	(22,128,536円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	39,071,512円
旧学校下住宅解体事業	3,409,512円
西庁舎・環境センター改修設計事業	35,662,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 財産管理費【財産管理課】 86,094,486円
- 2 庁舎管理費【財産管理課・建築予防保全課】 690,451,740円
 - (1) 事務費 683,131,240円
 - (2) 施設保全費 7,320,500円

東庁舎吸収式冷温水機送風機取替修繕等を行いました。
- 3 庁舎等整備費【財産管理課】 74,652,820円

東庁舎無停電電源装置蓄電池取替修繕等を行いました。
- 4 有料駐車場管理費【財産管理課】 89,143,442円

委託業者 (一社)豊田市身障協会
利用実績 年間総駐車台数(4か所) 766,300台
- 5 市有建築物長寿命化推進費【建築予防保全課】 310,643,222円

個別施設計画に基づき9施設の長寿命化改修設計委託等を行いました。

◆特記事項

- ・旧学校下住宅解体事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で4,800千円増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【財産管理課】
- ・西庁舎・環境センター改修設計事業において、当初予定していた設計内容の見直しが必要になったため、9月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。【財産管理課】

2- 1-11目 情報システム費

(前年度)

当初予算額	1,057,996,000円	(663,500,000円)
予算現額	982,143,000円	(642,367,000円)
決算額	907,658,012円	(632,584,202円)
翌年度繰越額	58,000,000円	(0円)
不用額	16,484,988円	(9,782,798円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	58,000,000円
標準システム移行計画策定事業	58,000,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 情報システム事務費【情報システム課】 90,603,209円
- 2 情報システム基盤費【情報システム課】 674,840,184円

(1) 基幹業務系システム及び行政情報ネットワークを活用した内部情報系システムの運用・開発・改修を実施しました。

基幹業務系システム数 住民記録システム始め36システム

内部情報系システム数 文書管理システム始め31システム

(2) 事務用パソコンやインターネットパソコン、ファイルサーバなど各種サーバを配備しました。

事務用パソコン 3,872台

インターネットパソコン 621台

サーバ 142台

(3) 本庁と庁外施設間のネットワークの管理を行いました。また、本庁舎においてインターネットを活用しやすい形態にLANを再構築しました。

庁外施設数 169施設

(4) インターネットを利用した市民向け地図情報サービス「とよたiマップ」で情報提供を行いました。

提供情報数 12マップ、52種類の情報

- 3 情報セキュリティ推進費【情報システム課】

142,214,619円

ICカードを利用した庁舎入退や業務用コンピュータ及びネットワークへの接続権限の管理を行うとともに、ウイルス対策ソフト、インターネット通信の監視、ファイアウォール、情報漏えい対策ソフト、EDRソフト、ファイル無害化システム等、重層的な対策を講じました。

◆特記事項

2款 総務費

標準システム移行計画策定事業において、国からの標準準拠仕様書の発表遅延に伴い、導入スケジュール及び手法を変更するため、12月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。【情報システム課】

2- 1-12目 契約費

		(前年度)
当初予算額	27,529,000円	(27,874,000円)
予算現額	27,092,850円	(27,874,000円)
決算額	23,325,049円	(25,869,010円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,767,801円	(2,004,990円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 契約事務費【契約課】 14,550,961円

<参考>

種別	競争入札	随意契約	合計契約金額
工事	203件	2件	20,860,832千円
工事関係委託	134件	9件	1,855,992千円
その他委託	459件	286件	17,407,612千円
物品購入	318件	23件	2,119,615千円
物品借入	28件	59件	1,467,698千円

工事契約全体に占める市内本店業者受注割合は、件数で93.2%と引き続き高い水準で推移しているものの、金額では53.9%となり、令和3年度の71.4%と比較して17.5ポイント減少しました。

また、入札不調・不成立の発生割合は、建設工事全体で10.3%となり、令和3年度の18.5%と比較して8.2ポイント減少しました。

2 物品管理費【契約課】 8,774,088円

庁用消耗品及び庁用備品の調達・管理を行いました。

2款 総務費

2- 1-13目 企画費		(前年度)
当初予算額	170,576,000円	(201,305,000円)
予算現額	179,575,000円	(175,333,624円)
決算額	163,494,642円	(154,907,688円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	16,080,358円	(20,425,936円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 企画事務費【企画課】 959,427円
- 2 ふるさと寄附金推進費【企画課・財政課】 82,715,245円
 ふるさと寄附金を通じて、とよたの魅力を発信し、返礼サービスや寄附を募るためのPRを実施しました。
 寄附総額：204,787,761円（個人）
- 3 総合計画事業調整費【企画課】 9,087,100円
 本市を取り巻く社会環境の変化を整理、分析するとともに、中長期を見据え重点的に取り組むべき行政課題とその対応策に関する調査を行いました。
- 4 経営戦略策定費【経営戦略課・市民活躍支援課】 644,442円
 豊田市名誉市民である藤嶋昭東京理科大学名誉教授から同氏の経験や発想を学ぶ「藤嶋塾」を4回開催し、727人が受講しました。
- 5 情報政策推進費【情報戦略課】 17,067,450円
 - (1) スマート窓口の一環としてあいち電子申請・届出システムへ、オンライン決済システムを導入しました。
 - (2) デジタル技術を活用した業務効率化を促進するために、AI議事録・AI-OCR等の普及・活用支援・運用を行いました。また、RPAについても積極的な普及を行いました。
- 6 公共施設等総合管理計画推進費【資産経営課】 4,449,056円
 公共建築物のうち、585施設を対象に施設単位で基本情報、利用状況、ランニングコスト等の情報を取りまとめ、施設カルテを更新しました。
- 7 都市と山村の共生推進費【企画課】 1,697,000円
 - (1) 地域住民主体による定住計画策定に関する効果検証を行いました。
 - (2) 山村地域への交流・移住を促進するため、愛知県交流居住センターに対し負担金を支出しました。
- 8 交流コーディネート事業推進費【企画課】 38,903,980円
 都市と山村の交流をコーディネートする中間支援組織「おいでん・

2款 総務費

さんそんセンター」を運営し、いなか暮らしに関する総合相談窓口、都市と山村の交流事業、移住プロモーションを行いました。

9 大学等との包括連携協定推進費【経営戦略課】 3,476,116円

(1) 大学等連携協議会を2回、市長・学長・校長懇談会を1回開催しました。

(2) 大学・高専発の研究提案を募集し、「FIA世界ラリー選手権による豊田市の山村地域の活性化事業」と「水道水中の消毒副生成物低減対策調査事業」を実施しました。

(3) 地域・大学等連携シンポジウムを10月に開催し、489人が参加しました。

10 WE LOVE とよた推進費【経営戦略課・市民活躍支援課】

4,494,826円

市民等がまちの魅力に改めて気づき、愛情と誇りを持って行動し、魅力にあふれたまちを次の世代に引き継いでいく「WE LOVE とよた」の取組の推進を図りました。

(1) WE LOVE とよたフェスタを開催し、およそ130の団体が出展し、約8,000人が来場しました。

(2) とよたの魅力の発信力を高めるために、WE LOVE とよたスペシャルサポーターを2組任命しました。

2- 1-14目 土地利用調整費

		(前年度)
当初予算額	57,003,000円	(60,030,000円)
予算現額	63,703,000円	(53,107,000円)
決算額	58,894,651円	(35,969,122円)
翌年度繰越額	0円	(14,700,000円)
不用額	4,808,349円	(2,437,878円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	土地取得調整事務費【用地審査課】	16,023,619円
	公有地取得処分審査会審査件数	6件
	公有地価格査定委員会査定件数	153件
2	土地開発基金管理事務費【用地審査課】	6,827,137円
3	土地取引届出等調整費【都市計画課】	94,424円
	国土利用計画法に基づく届出等に関する事務を行いました。	
	土地売買等届出件数	70件
4	土地利用調整費【都市計画課】	128,946円
	大規模開発行為等に対する適正な指導及び全市的な土地利用の総	

2款 総務費

合調整を行いました。	
土地利用対策会議審議件数	18件
5 土地利用対策調整費【都市計画課】	5,280,000円
居住誘導拠点である御幸地区の市街地整備の実現に向け、地域における機運醸成を図るため、勉強会を3回開催しました。	
6 土地利用構想調査費【都市計画課】	18,885,720円
現況土地利用の分析に加え、人口動態やコロナ後の社会変化の影響を踏まえた今後の土地利用の方向性について検討を行いました。	
居住誘導拠点における市街地整備の検討に当たり、土地権利関係の調査及び地権者の意向調査を行いました。	
7 土地開発公社運営費補助金(10/10)【用地審査課】	11,654,805円

2- 1-15日 会計管理費

		(前年度)
当初予算額	17,070,000円	(17,784,000円)
予算現額	17,070,000円	(17,734,000円)
決算額	16,688,980円	(17,344,507円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	381,020円	(389,493円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 会計事務費【会計課】 16,688,980円

(1) 出納事務及び決算調製

- ア 支出伝票数 125,860件
- イ 支払件数 715,249件
- ウ 納入件数 1,843,217件

(2) 公金の保管及び運用

金融機関の経営状況に関する情報収集を行い、指定金融機関等の健全性を確認しつつ、決済用口座を使うことで公金を安全、確実に保管しました。

また、超低金利状況下でありましたが、歳計・歳計外現金及び基金の金利入札による預金預け入れにより、効率的な運用に努めました。

令和4年度 公金の入札及び運用状況

<区分>	<歳計・歳計外現金>	<基金>
入札回数	6回	13回
運用件数	16件	76件

2款 総務費

最高利率	0.075%	0.202%
最低利率	0.003%	0.001%
加重平均利率	0.032%	0.096%
平均運用額	2,500百万円	1,155百万円
平均運用期間	203日	318日
年間運用益	3,105千円	40,194千円
(普通預金利息 119千円含む。)		

(3) 指定金融機関への手数料

ア 歳入システム使用手数料	13,200,000円
イ 派出業務手数料	858,000円
ウ 組戻訂正手数料	1,239,920円

2- 1-16目 国際交流費

		(前年度)
当初予算額	70,363,000円	(97,195,000円)
予算現額	67,867,000円	(62,543,000円)
決算額	63,056,732円	(58,293,381円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	4,810,268円	(4,249,619円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 国際まちづくり推進事務費【国際まちづくり推進課】

7,268,638円

仏国エクサンプロヴァンス市で開催された第7回日仏自治体交流会議に参加し本市の取組をPRしたほか、国際都市地域間協力(IURC)プログラムのパートナー都市である、グルノーブル・アルプス都市圏(GAM)のトップ間における面談・交流を通じて、豊田市、GAM、エッセン市(ドイツ連邦共和国)、郡山市の4都市間によるIURC連携協定を締結しました。

2 豊田・ダービーシャー姉妹都市提携費【国際まちづくり推進課】

13,432,278円

(1) 交流推進費

6,511,822円

令和5年度に提携25周年を迎える姉妹都市ダービーシャーとの事業連携の深化を図るため、市長及び議長がダービーシャーを訪問し、ゼロカーボンの実現に向けた事業協力に関する覚書を締結したほか、世界ラリー選手権の海外からの誘客に向け、在英国日本大使館、クレアロンドン事務所、JNTOロンドン事務所に対しトップセールスを行いました。

(2) 高校生派遣費 988,640円

市内の高等学校・高等専門学校に在学中の16人をダービーシャーの学校バートン&サウスダービーシャーカレッジに4年ぶりに派遣し、英語レッスンをはじめとするカレッジのプログラムに参加したほか、現地の学生を含む英国在住者との交流を実施しました。

また、派遣前の英語研修を3回実施しました。

(3) 高校生派遣費補助金(10/10・1/2)

5,931,816円

高校生派遣団に対し渡航費等の補助を行いました。

派遣人数：18人(引率教諭2人、高校生16人)

派遣期間：令和5年3月18日～26日

3 多文化共生推進費【国際まちづくり推進課】30,794,256円

(1) 多文化共生まちづくり推進費 22,998,746円

ア 豊田市に在住する外国人と共に、互いに尊重しあい安心して暮らすことのできるふれあいのあるまちづくりを進めるため、豊田市多文化共生推進協議会を2回開催し、問題解決に向けた協議を行いました。

また、多文化子育てワーキング部会を3回開催し、次年度以降の外国人の幼児向け日本語教室及び多文化子育てサロンの市内展開に向けた方針を策定しました。

イ 多文化共生に関する施策の参考とするため、外国人の意見を聴く会を開催しました(5か国、10人)。

ウ 日系人を中心とした外国人が多数在住する全国13都市で構成される外国人集住都市会議に参画し、外国人の受入体制に係る制度上の問題について研究するとともに、都市間の情報交換を通して連携を図りました。対面及びオンラインで開催された全体会に2回、ブロック会議に6回参加しました。

また、会員都市における取組の発表や討論等を行う「外国人集住都市会議おおいずみ2022」(1月27日 於：群馬県大泉町)に参加しました。

エ 外国人青少年に対する学習支援事業をNPO法人子どもの国に委託し、日本社会に適応していくためのケア、日本語指導や健全育成のための学習支援、キャリア形成支援を実施しました。

教室：275日 延べ参加者数：2,706人

オ 外国人の子どもに対する社会適応サポート事業をNPO法人トルシーダに委託し、公立小中学校に通っていない外国人の子どもへの初期日本語教室を開催しました。

教室：223日 延べ参加者数：1,560人

カ 外国人の幼児に向けて就学前から日本語に触れる機会を創り、また、保護者に対しても子どもの言語習得等について共に考える場を提供することで、外国人の幼児に対して日本語の定着を図るため、NPO法人子どもの国に委託し、幼児向け日本語教室を開催しました。

日本語教室

保見団地教室：45日 延べ参加者数：212人

伊保こども園：43日 延べ参加者数：243人

美和こども園：17日 延べ参加者数：137人

保護者向け啓発

保見団地教室：3日 延べ参加者数：12人

伊保こども園：3日 延べ参加者数：9人

キ 未就園児を持つ外国につながるのある保護者等に、母語・継承語の重要性を啓発するとともに、多言語環境で育つ子どもの特徴に関する理解を促進することを目的に、一般社団法人ぶんぱっばに委託し、多文化子育てサロンを開催しました。

10回（対面：5回、オンライン：5回）

延べ参加者数：228人

ク 多文化共生分野における情報発信の強化を図るため、本市の多文化共生に関する事業や行政情報発信等に協力する個人又は団体を認定する「とよたフレンズ制度」に基づき、新たに1個人と6団体を認定するとともに、認定セレモニーを開催しました。

また、外国人を対象とした市の事業及び制度を周知するため、「モニカ&フレンズ」のロゴマークを活用した啓発シール及びウォールバナーを作成しました。

ケ （公財）豊田市国際交流協会と「多文化共生及び国際交流事業等の実施に関する年度協定」を締結し、以下の通り異文化理解促進のための事業及び市内在住外国人に対する支援事業等を実施しました。

外国人相談事業：ポルトガル語 土・日曜日

中国語 火曜日～日曜日

英語 火曜日～日曜日

相談件数：438件

外国人こども教育支援事業：外国人教育支援員の派遣 1人

言語：ポルトガル語

派遣日数：195日

派遣先：1校、2団体

母語・継承語保持事業

保護者らの有志で開催されるポルトガル語を学ぶ教室に対し、学習者募集の宣伝、場所の提供等の支援を行いました。

外国人防災事業：防災講座 4回

「にほんごひろばオンライン」学習者6人、日本語パートナー8人

「にほんごひろば読み書き・会話」学習者14人、日本語パートナー14人

「つながるにほんご」学習者7人、日本語パートナー8人

「アバンセ日本語教室」学習者12人、日本語パートナー11人

外国人向け多言語情報発信事業

外国人住民が生活する上で有益な情報を多言語（ポルトガル語、中国語、英語等）で提供しました。

通訳派遣・翻訳事業

通訳派遣：4件（英語2件、ポルトガル語1件、タイ語1件）

翻訳：21件（英語6件、ベトナム語6件、ポルトガル語3件、インドネシア語2件、タガログ語1件、中国語1件、モンゴル語1件、タイ語1件）

マイカントリーリーダー事業：2回 延べ参加者数：44人

国際理解推進事業

こども国際クラブ：全15回 参加者数：15人

国際理解教育：10回 延べ参加者数：584人

国際理解セミナー：1回 参加者数：17人

(2) 日本語学習支援費 7,795,510円

外国人住民が生活に必要な日本語能力を習得できるよう、「とよた日本語学習支援システム」の運営を（公財）豊田市国際交流協会に委託し、企業や地域における日本語教室の運営、普及、人材育成等の各種支援を行いました。

教室数：7教室 延べ回数：162回

教室利用者数：578人

<内訳>外国人学習者：246人

日本人支援者：332人

4 国際交流協会運営費補助金（10/10）【国際まちづくり推進課】

11,561,560円

（公財）豊田市国際交流協会の持続的な運営のため、従来の市派遣職員の社会保険等事業主負担金に加え、当協会の正規職員4名のうち担当3名分及び臨時職員8名のうち2名分の年間実給与支給額を補助

2款 総務費

しました。

2- 1-17目 未来都市推進費

		(前年度)
当初予算額	308,477,000円	(266,126,000円)
予算現額	234,926,442円	(229,858,000円)
決算額	224,283,990円	(211,131,347円)
翌年度繰越額	0円	(6,300,000円)
不用額	10,642,452円	(12,426,653円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 未来都市推進事務費【未来都市推進課】 19,529,433円
 - (1) 未来都市推進事務費 8,957,372円

とよたSDGsパートナーの共働事業の支援を行いました。

とよたSDGsパートナー登録企業・団体数 482団体
共働事業 20件

自発的自治体レビューを作成し、国連本部での国際会議で発信を行ったほか、欧州等の都市と地域連携事業を行いました。
 - (2) SDGs推進費 10,572,061円

豊田市SDGs認証制度の構築を行いました。

豊田市SDGs研修カードゲーム「とよたSDGsマスター」を市民共働ワークショップを実施して作成しました。
- 2 低炭素社会モデル地区推進費【未来都市推進課】 127,566,726円
 - (1) SDGs情報発信拠点として、「とよたエコフルタウン」を運営しました。

来館者数 25,772人、ガイドツアー数 188件
 - (2) 企業向けにSDGsへの理解を深めるオンラインセミナー及びイベント出展等を6回実施しました。
 - (3) 一般向けにSDGsをテーマにしたイベント、マルシェ等を18回実施しました。
- 3 次世代エネルギーシステム推進費【未来都市推進課】 16,083,682円
 - (1) 再生可能エネルギーの普及を図ることを目的に設置した蓄電システムの維持管理を行いました。（とよたエコフルタウン）
 - (2) 燃料電池自動車及び電気自動車を導入し、移動の脱炭素化を推進しました。
- 4 次世代自動車普及促進事業費【未来都市推進課】

2款 総務費

3,729,000円

次世代自動車の普及に向けて市内の公共施設等に整備した普通充電器9基の更新を行いました。

5 先進技術等移動支援事業費【未来都市推進課】

3,728,744円

(1) 短距離・低速型バッテリーEV「APM」を鞍ヶ池公園で活用し、高齢者や障がい者などの移動支援への活用を検討しました。

(2) 超小型EVシェアリング事業の普及促進に向けたPRを実施しました。

(3) 里モビリティプロジェクトの取組を推進しました。

6 次世代社会システム実証推進費【未来都市推進課】

51,958,411円

豊田市つながる社会実証推進協議会の取組として、社会参加型介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」を展開しました。

7 介護予防事業推進基金積立金【未来都市推進課】 260,651円

介護予防事業推進基金の利子を同基金に積み立てました。

8 脱炭素社会推進基金積立金【未来都市推進課】 1,427,343円

脱炭素社会実現に向けた取組に活用するため、6事業者(10件)からの寄附金等を積み立てました。

2- 1-18日 諸費

(前年度)

当初予算額	280,000円	(230,000円)
予算現額	369,000円	(280,000円)
決算額	369,000円	(280,000円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	0円	(0円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 総務事務費【(総)庶務課】 369,000円

防衛省からの委託を受け、自衛官の募集事務を実施しました。

CATV静止画像による募集告知 2月26日～ 3月31日

おいでんバス車内広告掲載 年間4回

自衛官募集看板付け替え 1か所

2款 総務費

2- 1-19目 特別給付金費	
	(前年度)
当初予算額	26,310,000円 (393,483,000円)
予算現額	18,500,000円 (337,150,000円)
決算額	18,500,000円 (323,534,141円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	0円 (13,615,859円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 新生児お祝い金給付費【総務監査課】	18,500,000円
(1) 新生児お祝い金給付費補助金(定額)18,500,000円	
令和3年4月2日から令和4年4月1日までに生まれ、豊田市に最初の住民登録をした子の父又は母に対して、市独自で給付金を給付しました。	
支給者数 185人	
2- 2- 1目 地域振興費	
	(前年度)
当初予算額	437,472,000円 (391,393,000円)
予算現額	421,707,352円 (377,425,089円)
決算額	394,395,987円 (355,878,451円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	27,311,365円 (21,546,638円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(市民活動促進委員9人)【市民活躍支援課】	95,400円
2 地域支援事務費【地域支援課】	16,600,398円
3 市民活動事務費【市民活躍支援課】	31,500円
4 地域各種大会表彰費【地域支援課】	190,080円
5 自治区活動推進費【地域支援課】	700,000円
住民自治活動を推進するため、豊田市区長会へ「自治区運営の手引」の作成費用等を助成しました。	
6 犯罪のないまちづくり活動推進費【交通安全防犯課】	79,803,957円
(1) 民間警備会社に地域安全巡回業務を委託し、登下校時における子どもの見守り活動及び夜間等の青色防犯パトロールを実施しました。また、新たに特殊詐欺被害防止のため巡回車両を1台追加しました。	

- 午前6時30分～午後0時30分 学校開校日の月、水、金
午後2時～午後8時 学校開校日
午後10時～午前4時 毎日
午前10時～午後4時 毎日 ※特殊詐欺被害防止啓発
- (2) 地域安全指導員(警察官OB)を配置し、青色防犯パトロール及び地域の自主防犯活動団体の活動支援、子どもの防犯教室を実施しました。
子どもの防犯教室 37校実施
- (3) 自主防犯活動に必要な物品の支給等により、地域の犯罪のないまちづくり活動を支援しました。
自主防犯活動団体 367団体(廃止3団体)
- (4) 「犯罪のないまちづくり推進強化地区」を指定し、地域安全巡回の強化等の取組を実施しました。
住宅対象侵入盗対策推進強化地区 1地区(竹村小学校区)
自動車関連窃盗対策推進強化地区 1地区(堤小学校区)
- (5) 身の安全を確保するとともに防犯意識の向上を図るため、新入学児童や転入児童に対して、防犯ブザーを配付しました。
防犯ブザー配付数 3,613個
- (6) 豊田・みよし防犯協会連合会及び足助防犯協会との間で地域安全活動に関する協定を締結し、関係機関・団体との連携を密にして、安全で安心なまちづくりに努めました。
- (7) 市民の防犯意識を高めるとともに犯罪等に対する注意喚起を促すため、「緊急メールとよた」等により、不審者情報や詐欺情報等の迅速な提供に努めました。
「緊急メールとよた」登録件数 35,400件(犯罪情報)
- (8) 市民、事業者及び関係機関が連携して犯罪のないまちづくりを推進するため、豊田市防犯ネットワーク会議の適正な運営に努めました。
防犯ネットワーク会議 2回開催
- (9) 地域の防犯力の向上を図るため、自主防犯活動団体等を対象に地域防犯ボランティア・ステップアップ講座を開催しました。
地域防犯ボランティア・ステップアップ講座 4回 125人
- (10) 身近で起こる犯罪から身を守る対応策などを学ぶ機会として生涯学習出前講座を実施しました。
出前講座実施 17回 受講者 459人
- (11) 年末年始に向けて市民の防犯意識の向上を図るため、年末の安全なまちづくり市民大会を開催しました。
- 7 防犯設備設置支援費【交通安全防犯課】 13,297,000円

2款 総務費

(1) 防犯設備整備費補助金により自治区等の防犯カメラ等の設置を
支援しました。(補助率4/5・1/2)

交付件数 28件 (新設58台、更新・移設11台)

8 自治区施設整備費【地域支援課】 657,020円

(1) 地域集会施設耐震診断等事業費補助金(8/10)

1件 551,000円

(2) 地域集会施設整備資金利子補給補助金

7件 106,020円

9 共働推進費【市民活躍支援課】 116,880円

市民との共働によるまちづくりを推進するために、「みんなでデザインとよたのSDGs」を開催しました。

参加人数 98人

10 市民活動センター費【市民活躍支援課】 90,761,854円

とよた市民活動センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター

利用者総数 61,820人

利用団体数 3,743団体

11 市民活動促進費【市民活躍支援課】 14,128,994円

(1) 市民活動団体の活動支援を実施しました。また、ボランティア
と団体をマッチングし、課題解決を図るプロボノプロジェクトを
実施しました。市民活動の情報を集約し、個人が気軽に市民活動
に触れる機会を創出する「つながる博」を実施しました。

スキルアップ講座 4回 85人

会計税務相談会 3回 3団体

運営相談会 5団体

広報紙(年6回発行) 3,500部/回

プロボノプロジェクト 3団体 プロボノ15人

つながる博 105プログラム 1,679人

(2) シニア世代の学びを通じた活躍を支援しました。

シニアアカデミー 通年コース 3学科 90人

はじめの一步講座・専門コース 155人

12 市民活動促進補助金(10/10・2/3・1/3)

【市民活躍支援課】 1,230,000円

立上期:はじめの一步部門(設立5年未満)

<1年目> 9団体(補助率10/10 限度額:10万円)

<2年目> 1団体(補助率10/10 限度額:5万円)

継続期:活動ステップアップ部門(設立3年以上)

<1年目> 1団体(補助率2/3 限度額:20万円)

	<2年目> 1団体(補助率1/3 限度額:10万円)	
13	都市美化運動費【地域支援課】	40,110,070円
	「まちと川を美しくする会」を中心とした地域住民の積極的な参加による環境美化活動を支援しました。	
	環境美化の日 6月19日、9月18日	
	参加人数 6月 71,643人	
	9月 66,641人 計138,284人	
14	コミュニティ推進費【地域支援課】	5,000,000円
	(一財)自治総合センターの助成を受けて地区コミュニティ会議の備品を整備しました。	
	2地区コミュニティ会議(猿投台・藤岡南)	
15	広域課題解決事業費	5,418,600円
	【猿投支所・藤岡支所・小原支所・下山支所・旭支所・稲武支所】	
	広域的な地域課題に対し、複数支所で課題解決を目指す広域課題解決事業を実施しました。	
	3地域(旭・稲武・下山)	
	エンジョイ・ドライビング in 豊田オートテスト	
	4,471,500円	
	4地域(小原・石野・藤岡・藤岡南)	
	次世代につなごう!「47災害体験者の記録」語り継ぎ事業	
	947,100円	
16	わくわく事業補助金【地域支援課・各支所】	92,799,000円
	地域の活動団体を支援し、地域の知恵や工夫を生かした地域課題の解決や個性豊かな地域づくりを推進しました。	
	<事業種別>	
	保健、医療又は福祉を通して地域づくりを推進する事業	18件
	地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツを通して地域づくりを推進する事業	40件
	安全・安心な地域づくりを推進するための事業	16件
	地域の生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全を図る事業	116件
	子どもの健全育成を通して地域づくりを推進する事業	49件
	地域の特性を生かした産業振興のための事業	4件
	地域づくりに有効な助言や提言を受けるための事業	2件
	その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業	23件
	計	268件

<地区別>

旭	12件	6,593千円
足助	12件	6,195千円
稲武	7件	3,745千円
小原	14件	4,147千円
上郷	8件	2,010千円
末野原	7件	3,243千円
逢妻	9件	3,028千円
朝日丘	5件	2,272千円
梅坪台	5件	1,447千円
浄水	8件	2,780千円
崇化館	4件	1,111千円
豊南	13件	3,811千円
井郷	14件	3,890千円
石野	10件	3,425千円
猿投	8件	5,358千円
猿投台	8件	4,268千円
保見	5件	1,677千円
下山	18件	6,785千円
前林	14件	2,967千円
竜神	15件	3,028千円
若園	8件	3,049千円
若林	6件	2,562千円
高橋	7件	1,046千円
益富	11件	1,048千円
美里	13件	1,786千円
藤岡	11件	4,200千円
藤岡南	6件	2,210千円
松平	10件	5,118千円

17 住民自治推進費【地域支援課】 32,901,292円

(1) 地域における外国人住民と日本人住民の共生をめざし、自治区に対し、翻訳支援を行いました。

1自治区1回 45,860円

(2) 自治区のたより編集担当者を対象に、誌面づくりの手法などを紹介するたより編集研修会の開催等、自治区を支援しました。

33,000円

(3) 自治区の業務負担軽減を検証するため、豊田市区長会と共働でタブレットを使用した自治区デジタル実証実験を実施しました。

2款 総務費

	タブレット端末の導入等	3,338,936円
(4)	山村地域等に新たな定住者を確保するため、空き家情報バンクで成約した物件の改修に係る費用を補助しました。	
	24件	26,178,000円
(5)	空き家情報バンクへの登録を促進するため、空き家の家財処分等に係る費用を補助しました。	
	18件	3,115,000円
(6)	山村地域等の地域活性化のため、当該地域の空き家を活用し、起業する者に対し、利子補給を実施しました。	
	2件	136,101円
(7)	山村地域等の農地所有者で、農地に住宅建築を考えている者に対し、行政書士による相談を実施しました。	
	1件	5,500円
(8)	空き家情報バンク啓発のため、地域向けに空き家の発掘に関する講座を実施するとともに、パンフレットを増刷しました。	
		48,895円
18	市民の誓い推進費【地域支援課】	165,742円
	明るく住みよい地域社会づくりを推進するため、市民の誓いの啓発・普及に努めました。	
	市内全小中学校、特別支援学校へ市民の誓い啓発チラシ、ポスター及びひまわりのたね賞シール配布を実施しました。	
19	都市内分権推進費【地域支援課】	388,200円
	地域会議の効果的な運営のために、ファシリテーション研修等を実施しました。	
2- 2- 2目 安全対策費		
		(前年度)
	当初予算額	458,039,000円 (478,569,000円)
	予算現額	457,595,000円 (459,011,000円)
	決算額	450,340,133円 (451,592,085円)
	翌年度繰越額	0円 (0円)
	不用額	7,254,867円 (7,418,915円)
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>		
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	安全対策事務費【交通安全防犯課】	4,631,489円
	新入学児童に反射材付黄色帽子を配付したほか、国道153号上の電光掲示板の点検、補修を実施しました。	
2	交通指導員活動費【交通安全防犯課】	1,091,410円

児童等の登下校時の交通指導及び交通安全の啓発活動のため、交通指導員30人を配置し、交通事故防止に努めました。

3 高齢者交通安全費【交通安全防犯課】 13,640,738円

(1) 交通安全教育費 11,199,738円

75歳以上の高齢者が住む世帯を訪問し、交通安全指導を行い高齢者の交通事故防止に努めました。

訪問地区 市木小学校区始め20小学校区

訪問世帯数 9,192世帯

(2) 後付け安全運転支援装置設置費補助金(9/10)

2,441,000円

65歳以上の高齢ドライバーに対して、後付けのアクセルとブレーキの踏み間違い加速抑制装置の設置を促進しました。

交付台数 45台

4 安全対策推進費【交通安全防犯課】 6,935,600円

(1) 安全教育費 1,442,100円

高齢ドライバーを対象に交通の状況に応じた実践的な安全運転技能の習得を図る講習を実施しました。

実施回数 8回

受講者数 192人

(2) 自転車安全教育費 2,002,000円

自転車の安全利用に関する知識や技能を習得するための実践的な講習を実施しました。

実施回数 18回

受講者数 164人

(3) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金(1/2)

3,491,500円

自転車利用者に対して、ヘルメットの着用を促進しました。

交付個数 1,842個

5 交通安全推進調査費【交通安全防犯課】 1,628,000円

交通事故発生状況を把握し交通安全対策の基礎資料とするため、小学校区別の交通事故マップを作成しました。

6 交通安全学習センター費【交通安全防犯課】

385,815,492円

(1) 管理運営費 212,696,970円

指定管理者 豊田交通教育(株)

一般来場者数 84,459人

団体講習受講者数 9,008人/286回

出張講習受講者数 9,055人/88回

2款 総務費

事業評価と次期事業手法の提案を受ける委託を実施しました。

(2) 施設整備費 173,118,522円
交通安全学習センターの施設整備費用を平成22年4月から令和7年3月まで年4回、計60回に分割して支払います。

7 県派遣職員人件費負担金【交通安全防犯課】10,502,466円
派遣職員数 1人

8 交通安全市民会議負担金【交通安全防犯課】11,972,938円
(1) 警察、交通安全関係団体等との密接な連携の下、全市的な啓発活動や地域・職域を中心とした交通安全運動を積極的に展開しました。
(2) 歩行者側からドライバーに対し「とまってくれてありがとう」と感謝を伝える取組を全市的に展開しました。
(3) 交通安全の推進に尽力された個人・団体の表彰を行いました。
交通安全功労者 2名
交通安全グリーン功労章 15名・4団体
(4) 交通事故死ゼロの日、交通安全市民運動期間中及び交通死亡事故多発非常事態宣言発令期間中などに広報活動を行い、啓発に努めました。また、運動期間中には関係機関・団体と協力して街頭活動を行い、交通安全意識を高めました。

9 県交通安全協会豊田・足助支部負担金【交通安全防犯課】
4,108,000円

10 校区交通安全推進協議会補助金(10/10)【交通安全防犯課】
58校区 10,004,000円

11 交通安全基金積立金【交通安全防犯課】 10,000円
一般会計から交通安全基金に積立を行いました。

2- 2- 3目 市民相談費

		(前年度)
当初予算額	20,173,000円	(15,625,000円)
予算現額	16,491,000円	(12,926,000円)
決算額	14,311,900円	(12,444,725円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,179,100円	(481,275円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 市民相談事務費【市民相談課】	12,599,381円
(1) 職員による相談受付及び関係機関との連携	822件
(2) 専門家による相談	1,730件

2款 総務費

主な内訳：法律相談	1,066件
家庭悩みごと相談	187件
税務相談	134件
登記相談(名義変更)	156件
その他	187件
(3) 通訳職員による外国語対応	8,072件
(ポルトガル語・スペイン語・英語)	
通訳(7,850件)、翻訳(222件)	
(4) 遠隔通訳サービス事業(映像・電話)	2,850件
(ポルトガル語始め14言語)	
(5) 陳情・要望等	20件
(6) おくやみコーナー	利用実績：1,429件
2 市政情報コーナー費【市民相談課】	165,134円
配架：本市の要綱や会議録、パンフレット、チラシ、国県の行政資料、官報、愛知県公報、統計資料ほか	
コピーサービス： 利用実績 7,586枚	
3 人権推進費【市民相談課】	1,200,285円
(1) 人権を考える集い	13回開催 3,479人参加
対象：小中学校	
内容：講演会又は人権擁護委員によるワークショップ	
(2) 人権移動教室	19回開催 2,822人参加
対象：こども園、小中学校、高等学校	
内容：人権擁護委員によるクイズや映像による人権教室	
4 豊田人権擁護委員協議会負担金【市民相談課】	347,100円

2- 2- 4目 交流館費

		(前年度)
当初予算額	904,804,000円	(1,256,080,000円)
予算現額	1,660,049,100円	(1,883,993,570円)
決算額	1,634,998,894円	(1,045,517,970円)
翌年度繰越額	0円	(825,873,100円)
不用額	25,050,206円	(12,602,500円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 交流館事務費【市民活躍支援課】	20,787,007円
2 交流館施設管理運営費【市民活躍支援課】	551,983,000円
指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団	
施設利用者数(交流館全28館)	

2款 総務費

ア	総利用者	延べ	1,890,726人
イ	うち講座参加者	延べ	25,393人
ウ	うち図書利用者	延べ	262,839人
3	地域交流館施設管理運営費【藤岡支所・小原支所】		819,606円
(1)	藤岡地域交流館管理運営費		564,950円
(2)	小原地域交流館管理運営費		254,656円
4	交流館施設保全費【建築予防保全課】		138,101,073円
	逢妻交流館外壁・屋根改修工事等を行いました。		
5	交流館施設整備費【市民活躍支援課】		54,354,530円
(1)	諸営繕工事		50,205,730円
	ア 逢妻交流館大規模改修工事、猿投北交流館トイレ洋式化工事を行いました。		
	イ 保見交流館で電話機更新、下山交流館で音響設備更新を行いました。		
(2)	駐車場整備費		4,148,800円
	若園交流館駐車場造成工事設計委託を行いました。		
6	地域交流館施設整備費【足助支所】		1,265,000円
	足助交流館の空調設備が故障したため、修繕完了までリースで対応しました。		
7	交流館建設費【市民活躍支援課】		864,381,178円
(1)	若園交流館（単年度）		37,209,178円
	仮設交流館等の賃貸借や若園交流館改築に伴う備品等の購入を行いました。		
(2)	若園交流館（継続費）		827,172,000円
	若園中学校技術科棟との合築に向けた改築事業（令和2～4年度）を行いました。		
8	交流館活動費【市民活躍支援課】		3,307,500円
	交流館ふれあいまつりに補助金を交付しました。		
	参加市民		54,495人
	開催地区		27地区

2款 総務費

2- 2- 5目 拳母地域振興費

(前年度)

当初予算額	347,290,000円	(329,918,000円)
予算現額	524,737,000円	(307,057,310円)
決算額	331,904,591円	(304,039,076円)
翌年度繰越額	184,759,116円	(0円)
不用額	8,073,293円	(3,018,234円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	184,759,116円
西部コミュニティセンター長寿命化改修事業	184,759,116円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【地域支援課】 827,000円

市からの諮問に対する答申や地域の課題解決のための提言を行いました。

逢妻地域会議(委員18人)10回開催

交通安全・後継者不足・多世代交流に関する地域課題の解決に向けた取組について検討しました。

朝日丘地域会議(委員15人)10回開催

「カーボンニュートラル実現に向けた地域や家庭での環境配慮行動の促進」の諮問に対し、9つの環境配慮行動を市長に答申しました。

梅坪台地域会議(委員12人)11回開催

梅坪台地域会議などが策定した「梅坪台健康づくり計画」に基づき、関係機関等と連携した新規取組の立上げや事業実施に伴う支援などについて市長へ提言を行いました。

浄水地域会議(委員11人)7回開催

地域総合防災訓練の振り返りや地域の情報誌の発行など防災・多世代交流に関する地域課題の解決に向けた取組について検討しました。

崇化館地域会議(委員17人)9回開催

マイ・タイムライン講座の促進や水害リーフレットの作成などにより、水害に関する地域課題の解決に向けた取組を行いました。

豊南地域会議(委員18人)10回開催

高齢者の移動支援について、市への提言に向けて協議を行いました。

拳母代表者会議(委員12人)4回開催

「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例」の理念を実現する取組についての諮問に対し、都市部の地域が行政と共に実施すべき取組などを市長に答申しました。

2 地域振興事業費【地域支援課】 256,487,502円

(1) 地域振興事務交付金

自治区が実施する環境美化、地域福祉等の活動の活性化を図り住みよい生活環境を築きました。

48自治区 140,166,502円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

地区コミュニティ会議が実施する青少年育成、地域福祉、環境保全等の取組を通して、コミュニティの健全な発展を図るとともに、ふれあい豊かで住みよい地域社会を築きました。

6地区コミュニティ会議 2,220,000円

逢妻、朝日丘、崇化館、豊南 各380千円

梅坪台 360千円

浄水 340千円

(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)

自治区活動に使われる机、イス、パソコン、AED等の備品の整備に対する補助を行い、自治区活動の推進を図りました。

37件 5,962,000円

(4) 防犯灯設置費補助金(定額)

自治区に対し、防犯灯の設置を助成し、安全で安心な地域づくりを推進しました。

省エネ型 新設42灯、更新378灯、移設6灯

ポール 新設3本 14,037,000円

(5) 放送施設整備費補助金(5/10)

放送施設の整備に対する補助により、自治区活動の推進を図りました。

改修1件 200,000円

(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)

集会施設の整備に対する補助により、ふれあい豊かな住民自治の推進を図りました。

新築2件、改修23件、バリアフリー4件、増築1件

91,222,000円

(7) 自主防災事業補助金(1/2)

自主防災会の育成及び活動を支援するため、防災倉庫の設置及び防災資機材の整備等に対し補助金を交付しました。

防災倉庫1件、資機材25件、防災マップ2件

		2,680,000円
3	地域課題解決事業費【地域支援課】	4,584,927円
	地域会議等で集約した地域意見を基に、地域の活性化などに取り組み、地域課題の解決を図りました。	
	管理費	829,700円
	逢妻地域	災害に強い人・家庭・地域づくり事業
		383,320円
		安全・安心・ゆとりの交通安全事業
		566,984円
	梅坪台地域	梅坪台地域健康づくり事業
	朝日丘地域	朝日丘の災害に強いまちづくり事業
		123,530円
	浄水地域	浄水多世代交流事業
		1,880,109円
		防災力の高い安全安心なまちづくり事業
		115,500円
	崇化館地域	水害対策事業
	豊南地域	大規模地震への対応力があるまちづくり事業
		258,984円
4	西部コミュニティセンター費【地域支援課】	70,005,162円
(1)	管理運営費等	49,105,162円
	西部コミュニティセンターの適切な維持管理に努めました。	
	また、備品等を更新しました。	
	指定管理者	(株)豊田ほっとかん
	施設利用者数	71,967人
(2)	長寿命化推進費	20,900,000円
	長寿命化改修工事に着手しました。	

◆特記事項

西部コミュニティセンター長寿命化改修事業において、工事の平準化を図るため、9月議会で197,660千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【地域支援課】

2- 2- 6目 高橋地域振興費		(前年度)
当初予算額	217,952,000円	(177,607,000円)
予算現額	214,196,551円	(171,073,088円)
決算額	212,268,100円	(167,634,676円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,928,451円	(3,438,412円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【高橋支所】 793,560円

高橋地域会議（委員14人）10回開催
「危険箇所みんなで共有 交通安全大作戦事業」において、交通危険箇所マップの作成に向けた検討を行いました。また、自治区への出前講演会を開催しました。

益富地域会議（委員19人）13回開催
中長期的な視点で地域課題をとらえ、住民と各種団体が連携して総合的なまちづくりを目指す「益富地区まちづくり計画」の策定について、市長へ提言を行いました。また、高齢者の見守りネットワークの強化に関する取組についての諮問に対して、高齢者の見守りに関する課題及び今後地域において必要な取組について市長に答申しました。

美里地域会議（委員16人）12回開催
「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例」の理念を実現する取組についての諮問に対して、都市部の地域が行政と共に実施すべき取組について市長に答申しました。

高橋代表者会議（委員6人）1回開催
地域自治システムの見直しによるわくわく事業の運営方法の変更に関する報告、地域課題の集約方法についての協議を行いました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【高橋支所・建築予防保全課】 96,021,198円

コミュニティセンター大会議室雨漏り修繕等を行いました。

指定管理者 ホームメックス（株）
施設利用者数 131,544人

3 地域振興事業費【高橋支所】 107,057,179円

(1) 地域振興事務交付金

43自治区 62,652,179円

2款 総務費

(2)	地区コミュニティ推進交付金		
	3地区コミュニティ会議	1,120,000円	
	高橋・美里 各380千円		
	益富 360千円		
(3)	自治区活動備品整備費補助金(5/10)		
	21件	2,933,000円	
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)		
	省エネ型 新設60灯、移設9灯、更新354灯		
	ポール設置 3本	14,257,000円	
(5)	放送施設整備費補助金(5/10)		
	増設・修理 8件	1,209,000円	
(6)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)		
	改修・増築・バリアフリー19件	23,111,000円	
(7)	自主防災事業補助金(1/2)		
	資機材26件		
	マップ 1件	1,775,000円	
4	地域課題解決事業費【高橋支所】	8,396,163円	
	管理費	46,750円	
	高橋地域 危険箇所みんなで共有 交通安全大作戦		
		5,309,097円	
	安心して暮らせる高橋(防犯)496,936円		
	益富地域 地域の防災力向上事業	2,409,000円	
	美里地域 「みさと」の「みんな」で防災力アップ		
		134,380円	

2- 2- 7目 上郷地域振興費

		(前年度)
当初予算額	84,458,000円	(140,733,000円)
予算現額	79,286,000円	(123,225,000円)
決算額	75,637,712円	(116,773,514円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,648,288円	(6,451,486円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	地域会議運営費【上郷支所】	407,564円
	上郷地域会議(委員16人)12回開催	
	上郷地域会議が立案した地域課題解決事業「上郷に住むと健康になる事業」について、事業推進のための意見交換を行いました	

た。

末野原地域会議（委員16人）13回開催

末野原地域会議が立案した地域課題解決事業「末野原キラッとあかるいまちづくりプロジェクト」について、事業推進のための意見交換を行いました。また、「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例」の理念を実現する取組についての諮問に対して、都市部の地域が行政とともに実施すべき取組などを市長に答申しました。

上郷代表者会議（委員4名）1回開催

各地域会議の取組について情報共有しました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【上郷支所・建築予防保全課】	9,505,450円
(1) 事務費	599,086円
(2) 施設管理費	6,006,500円
(3) 施設保全費	2,899,864円
指定管理者	(公財)豊田市文化振興財団
上郷公園グラウンドの施設利用者数	13,711人
3 地域振興事業費【上郷支所】	61,712,899円
(1) 地域振興事務交付金	
28自治区	46,076,899円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
2地区コミュニティ会議	740,000円
上郷 360千円 末野原 380千円	
(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
21件	2,304,000円
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
省エネ型 新設22灯、更新75灯、移設11灯	
	2,976,000円
(5) 放送施設整備費補助金(5/10)	
改修2件	389,000円
(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
改修16件、災害復旧1件	7,558,000円
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
資機材19件、防災倉庫1件、防災マップ1件	
	1,669,000円
4 地域課題解決事業費【上郷支所】	3,630,145円
管理費	388,995円
上郷地域 上郷に住むと健康になる事業	440,440円

2款 総務費

末野原地域 末野原キラッとあかるいまちづくりプロジェクト
655,336円

2地域 上郷地域バス利用促進事業 2,145,374円

5 地域交通推進費【上郷支所】 381,654円

上郷・末野原地域の生活交通手段の確保及び利用促進を図るため
に上郷地域バス運営協議会を開催しました。

利用者数 4,156人

2-2-8目 高岡地域振興費

		(前年度)
当初予算額	395,279,000円	(282,579,000円)
予算現額	373,608,835円	(282,565,000円)
決算額	366,249,565円	(270,163,532円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	7,359,270円	(12,401,468円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【高岡支所】 822,000円

前林地域会議（委員19名）12回開催

避難行動要支援者（高齢者、障がい者等）への避難支援の実効性を高める取組についての諮問に対して、個別支援台帳の作成における課題及び地域で取組が可能な個別支援台帳の活用方法について、市長に答申を行いました。

また、地域課題解決に向けて、地域の現状把握や課題整理を行い、商業機能、交通安全、防災をテーマとした提言に向け、検討を行いました。

竜神地域会議（委員18名）12回開催

地域課題解決に向けて、地域の現状把握や課題整理を行い、交通安全をテーマとした提言に向け、検討を行いました。

若園地域会議（委員20名）12回開催

地域課題解決に向けて、地域の現状把握や課題整理を行い、多世代交流をテーマとした提言に向け、検討を行いました。

若林地域会議（委員19名）11回開催

第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本目標である「地域の支え合いの仕組みづくり」、「地域福祉の担い手づくり」に資する地域発の取組提案についての諮問に対して、地域で支援対象者を発見するアイデア・手法や「地域の支え合いを推進する、地域福祉の担い手を創出する」アイデア・手法を市長に

答申を行いました。

また、地域課題解決に向けて、地域の現状把握や課題整理を行い、多世代交流、防災をテーマとした提言に向け、検討を行いました。

高岡代表者会議（委員8名） 2回開催

高岡地区（4地域）地域課題解決事業の連携した取組及び支え合いの地域づくりについて、意見交換を行いました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【高岡支所・建築予防保全課】

103,959,559円

指定管理者 アクティオ（株）

施設利用者数 149,414人

コミュニティセンター空調リモートユニット修繕を行いました。

また、運動広場の防球ネット嵩上げ工事を行い、利便性の向上を図りました。

3 地域振興事業費【高岡支所】 157,683,902円

(1) 地域振興事務交付金

26自治区 74,929,902円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

4地区コミュニティ会議 1,480,000円

前林、竜神 各380千円 若園、若林 各360千円

(3) 自治区活動備品整備費補助金（5/10）

22件 3,231,000円

(4) 防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型 新設49灯、更新348灯、移設4灯

ポール 新設 1本 13,729,000円

(5) 放送施設整備費補助金（5/10）

2件 389,000円

(6) 地域集会施設整備費補助金（8/10・5/10）

建替1件、増築1件、バリアフリー2件、改修25件

62,255,000円

(7) 自主防災事業補助金（1/2）

防災倉庫2件、資機材22件 1,670,000円

4 地域課題解決事業費【高岡支所】 8,290,511円

管理費 176,780円

前林地域 災害に強いまちづくり事業

5,235,818円

竜神地域 メタボリックシンドローム対策による竜神げんきプロジェクト 488,681円

2款 総務費

	竜神防災力向上事業	731,115円
若園会議	地域で取り組む防災対策事業	152,900円
	地震時の減災対策普及事業	258,257円
若林地域	高美町桜並木の保存	870,100円
	地震災害に強い防災事業	91,575円
4地域	青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動	285,285円
5	地域交通推進費【高岡支所】	95,493,593円
	前林地域の通勤者、通学者、高齢者等の生活交通手段の確保を図るため、ふれあいバスの運行を行いました。	
	年間利用者数 2路線 132,621人	

2- 2- 9目 猿投地域振興費

		(前年度)
当初予算額	267,925,000円	(181,753,000円)
予算現額	202,939,582円	(157,541,000円)
決算額	191,597,938円	(149,849,317円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	11,341,644円	(7,691,683円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【猿投支所】 1,133,681円

井郷地域会議（委員19人）12回開催

事業計画に基づき、立体路面標示の設置や井郷まちづくりプランの周知啓発等2分野の事業に取り組みました。

「高齢者の社会参加に関する取組」についての諮問に対して、協議を行いました。

また、提言に向けた協議検討を行いました。

石野地域会議（委員17人）11回開催

「避難行動要支援者（高齢者、障がい者等）への避難支援の実効性を高める取組」についての諮問に対して、個別支援台帳の作成における課題などを市長に答申を行いました。

また、提言に向けた協議検討を行いました。

猿投地域会議（委員19人）12回開催

「高齢者の見守りネットワークの強化に関する取組」についての諮問に対して、猿投地域の高齢者の見守りに関する課題などを市長に答申を行いました。

また、提言に向けた協議検討を行いました。

猿投台地域会議（委員20人）12回開催
 新たに環境分野の事業として、「矢作川河畔環境整備事業」を立案しました。
 また、提言に向けた協議検討を行いました。

保見地域会議（委員18人）12回開催
 「カーボンニュートラル実現に向けた地域や家庭での環境配慮行動の促進」についての諮問に対して、地域や家庭において実現可能な活動などを市長に答申を行いました。
 また、提言に向けた協議検討を行いました。

猿投代表者会議（委員10人）1回開催
 諮問答申、地域課題解決事業及びわくわく事業等の意見交換を実施しました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【猿投支所・建築予防保全課】	31,400,411円
(1) 事務費	818,682円
(2) 施設管理費	16,642,320円
体育館・武道場の指定管理者（公財）豊田市文化振興財団	
体育館・武道場の施設利用者数	32,507人
(3) 施設保全費	13,842,554円
猿投コミュニティセンター外壁修繕等を行いました。	
(4) 施設整備費	96,855円
LED照明賃貸借	
3 出張所管理費【猿投支所】	431,766円
4 地域振興事業費【猿投支所】	108,691,774円
(1) 地域振興事務交付金	
56自治区	61,841,885円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
5地区コミュニティ会議	1,579,889円
井郷	219,889円
猿投台	360,000円
猿投・保見	各340,000円
石野	320,000円
(3) 自治区活動備品整備費補助金（5/10）	
31件	3,679,000円
(4) 防犯灯設置費補助金（定額）	
省エネ型 新設143灯、移設25灯、更新132灯	
ポール 新設9本	10,438,000円
(5) 放送施設整備費補助金（5/10）	

2款 総務費

	新設1件、移設1件、増設・更新11件		
			2,682,000円
(6)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)		
	新築1件、改修30件、改修及びバリアフリー1件		
	増築1件		
			25,626,000円
(7)	自主防災事業補助金(1/2)		
	資機材等40件		2,845,000円
5	地域課題解決事業費【猿投支所】		31,800,628円
	管理費		1,435,776円
	井郷地域	井郷まちづくりプラン推進事業	
			4,448,554円
		「ゾーン30」区域を中心とした安全性向上事業	
			1,056,660円
	石野地域	人と人がつながる・石野地区つながる防災事業	
			852,390円
	猿投地域	高齢者健康長寿サポート事業	80,000円
		知って楽しめる猿投の里おいでん事業	
			490,308円
	猿投台地域	矢作川河畔利用促進事業	6,025,250円
	保見地域	すみよい保見地区「生活環境向上事業」	
			17,411,690円
6	地域交通推進費【猿投支所】		14,362,000円
	保見・石野地域の高齢者等の生活交通手段を確保するため、地域バスの運行を行いました。また、地域バス運営協議会では生活交通の改善等に必要な調査を行いました。		
	保見地域バス年間利用者数	3路線	1,384人
	石野地域バス年間利用者数	2路線	982人
7	地域活動推進費【猿投支所】		3,777,678円
	地域が活用している三河線廃線敷の草刈りの実施と5地区スポーツ大会を開催しました。		

2款 総務費

2- 2-10目 松平地域振興費		(前年度)
当初予算額	44,071,000円	(91,028,000円)
予算現額	34,190,000円	(77,389,911円)
決算額	32,439,905円	(74,325,397円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,750,095円	(3,064,514円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【松平支所】	284,127円
松平地域会議（委員16人）9回開催（2分科会23回開催）	
「避難行動要支援者（高齢者、障がい者等）への避難支援の実効性を高める取組」に関する諮問に対し、個別支援台帳の作成における課題や活用方法について答申を行いました。また、松平地域会議などが策定した「第2次松平地域まちづくり構想」に基づき、松平地域と市との共働による事業の推進について市長へ提言を行いました。	
2 支所・コミュニティセンター管理費【松平支所・建築予防保全課】	2,973,202円
松平コミュニティセンター舞台機構修繕を始め、施設の適正な維持管理を行いました。	
3 地域振興事業費【松平支所】	18,360,399円
(1) 地域振興事務交付金	
22自治区	14,748,399円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
松平地区コミュニティ会議	340,000円
(3) 自治区活動備品整備費補助金（5/10）	
8件	669,000円
(4) 防犯灯設置費補助金（定額）	
省エネ型 新設11灯、移設2灯、更新16灯	
ポール 新設2本	
	910,000円
(5) 地域集会施設整備費補助金（8/10・5/10）	
改修・バリアフリー8件	1,161,000円
(6) 自主防災事業補助金（1/2）	
資機材11件	532,000円
4 地域課題解決事業費【松平支所】	10,821,477円
管理費	414,948円

2款 総務費

松平移住定住促進事業	757,225円
持続可能な松平防災事業	2,543,744円
第2次松平地域まちづくり構想策定事業	2,540,560円
支障木の伐採支援事業	4,565,000円
5 地域交通推進費【松平支所】	700円

松平ともえ号の車両売却のために、車検証の変更手続きを行いました。

2- 2-11目 藤岡地域振興費

		(前年度)
当初予算額	221,987,000円	(331,420,000円)
予算現額	199,013,070円	(313,481,000円)
決算額	187,756,076円	(289,916,107円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	11,256,994円	(23,564,893円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【藤岡支所】	346,000円
藤岡地域会議（委員17人）12回開催	
藤岡南地域会議（委員17人）12回開催	
両地域会議において、「避難行動要支援者（高齢者、障がい者等）への避難支援の実効性を高める取組」に関する諮問に対して、個別支援台帳の作成における課題や活用方法について市長に答申を行いました。	
2 支所管理費【藤岡支所】	11,073,118円
(1) 事務費	1,321,894円
(2) 施設管理費	9,751,224円
3 地域振興事業費【藤岡支所】	46,144,226円
(1) 地域振興事務交付金	
24自治区	30,072,226円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
2地区コミュニティ会議	680,000円
藤岡・藤岡南 各340千円	
(3) 自治区活動備品整備費補助金（5/10）	
15件	1,822,000円
(4) 防犯灯設置費補助金（定額）	
省エネ型 新設46灯、更新166灯、移設3灯	
ポール 新設 3本	7,367,000円

2款 総務費

(5)	放送施設整備費補助金(5/10)	
	新設1件	474,000円
(6)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修7件	3,827,000円
(7)	自主防災事業補助金(1/2)	
	防災倉庫2件、資機材13件	1,902,000円
4	地域課題解決事業費【藤岡支所】	10,695,735円
	管理費	113,113円
	藤岡地域	
	安心・安全な防災事業	3,443,830円
	藤岡南地域	
	災害時に行動できる人材育成事業	3,971,829円
	藤岡・藤岡南地域合同	
	健康づくり事業	469,100円
	ふじおか回遊促進事業	87,604円
	石畳ふれあい広場魅力向上事業	2,610,259円
5	地域交通推進費【藤岡支所】	61,598,828円
	藤岡地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バス3路線の運行を行いました。	
	年間利用者数 3路線 29,825人	
6	藤岡地域核まちづくり推進費【藤岡支所】	214,723円
	地域核整備完成イベントを開催し、地元の園児と高齢者でフジバカマの移植を行いました。また、今後の藤岡の賑わいづくりを推進するため「まちづくり勉強会」を開催しました。	
7	地域活動推進費【藤岡支所】	17,864,000円
(1)	地域観光協会補助金(定額)	17,864,000円
	藤岡地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、藤岡観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	飯野川桜ライトアップ 4月 1日～ 3日	1,900人
	ふじまつり 4月23日～5月8日	
		13,900人
	ふじおか夏まつり 7月 9日	2,200人
	ふじおか紅葉まつり 11月18日～ 20日	
		36,300人
8	一般観光施設費【藤岡支所】	5,635,476円
	管理施設 ふじの回廊、城ヶ根山展望台、天狗岩展望台、上川口公衆便所、東海自然歩道、木瀬散策路休憩所	
9	石畳ふれあい広場施設費【藤岡支所】	10,509,796円

2款 総務費

温泉スタンドを適切に維持するため、流量制御装置の修繕を行いました。

指定管理者 藤岡石畳地区地域づくり協議会

施設利用者数 44,234人

10 藤岡ふれあいの館費【藤岡支所】 23,674,174円

指定管理者 ホーメックス(株)

施設利用者数 43,663人

2- 2-12目 小原地域振興費

(前年度)

当初予算額	181,047,000円	(255,037,000円)
予算現額	192,503,110円	(280,032,600円)
決算額	182,857,303円	(253,846,503円)
翌年度繰越額	0円	(13,800,000円)
不用額	9,645,807円	(12,386,097円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【小原支所】 646,287円

小原地域会議(委員15人)13回開催

まちづくり計画「おばらみらいプラン」後期計画の進捗管理を行ったほか、おばらみらいプランを推進するための具体策の検討や勉強会を実施しました。

また、「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例」の理念を実現する取組についての諮問に対して、山村部の地域が行政と共に実施すべき事項などを市長に答申しました。

2 支所管理費【小原支所】 26,808,336円

(1) 事務費 1,211,664円

(2) 施設管理費 11,512,272円

(3) 施設整備費 14,084,400円

小原支所法面補修工事を行いました。

3 地域振興事業費【小原支所】 13,984,276円

(1) 地域振興事務交付金

12自治区 9,029,276円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

小原地区コミュニティ会議 320,000円

(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)

備品購入1件 200,000円

(4) 防犯灯設置費補助金(定額)

	省エネ型 新設20灯、移設1灯、更新74灯	
	ポール 新設2本	3,250,000円
(5)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修4件	1,017,000円
(6)	自主防災事業補助金(1/2)	
	資機材6件	168,000円
4	地域課題解決事業費【小原支所】	15,370,997円
	管理費	46,200円
	まちづくりリーダー育成事業	150,000円
	定住促進サポート事業	654,679円
	高齢者を地域で支える体制づくり	289,030円
	耕作放棄地整備支援事業	399,930円
	おばらマルシェ創出事業	93,720円
	四季桜・紅葉の育成体制の構築事業	5,278,438円
	生活道路環境整備推進事業	8,459,000円
5	地域交通推進費【小原支所】	22,599,974円
	小原地区の生活交通手段の確保のため、おばら桜バスをエリアデマンド方式により運行しました。また、おばら桜バス利用促進会を4回開催し、運行内容などを検討しました。	
	運行日数	243日(平日5日間運行 タクシー車両2台)
	利用者数	3,574人
6	観光交流推進費【小原支所】	118,458円
	川見四季桜の里に設置した和紙原料展示畑を適正管理しました。	
7	地域活動推進費【小原支所】	21,634,935円
(1)	定住促進費	29,700円
(2)	昭和47年7月豪雨災害50周年事業費	1,015,235円
(3)	地域観光協会補助金(定額)	20,590,000円
	四季桜まつり期間における来訪者受入の取組のほか、小原観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	四季桜まつり期間 来訪者数	約52,000人
8	一般観光施設費【小原支所】	8,329,687円
	施設管理費	8,329,687円
	管理施設	小原ふれあい公園、四季桜公園、小原親水公園、平畑公衆便所、樽俣公衆便所、築平公衆便所、有平橋公衆便所、上仁木公衆便所、川見公衆便所、川見駐車場、上仁木駐車場、川見さくら広場
9	小原和紙のふるさと費【小原支所・建築予防保全課】	

		45,144,693円
	豊田小原和紙工芸を世界に向けて情報発信し、地域文化の向上と発展に資する事業を実施しました。	
(1)	施設管理費	28,900,649円
	施設来場者数	10,288人
	紙漉き体験者数	1,614人
(2)	施設保全費	799,040円
	和紙とうるし工房給水管修繕を行いました。	
(3)	施設整備費	245,410円
	使用期限となった消火器を取り替えました。	
(4)	展覧会開催費	4,783,661円
	紙すき村旅日記展等6展覧会を開催しました。	
	展覧会観覧者数(美術館入館者)	3,184人
(5)	小原和紙育成事業費	7,018,533円
	小原地区子ども和紙作品展を開催しました。	
	参加者	186人
	展示	186作品
	ポスト豊田国際紙フォーラム事業として全国手漉き和紙青年の集いを開催するとともにペーパーアート展等を開催しました。	
	全国手漉き和紙青年の集い参加者	80人
	まちなかでのペーパーアート展観覧者	2,000人
	伝統的和紙漉きと豊田小原和紙工芸技術講習を実施し、後継者の育成に努めたほか、和紙原料の地産化を図りました。	
(6)	小原和紙振興費	3,397,400円
	和紙良いフェスタ2022を開催するとともに藤井達吉作品を額装しました。また、多くのイベントに参加し、豊田小原和紙のPRを図りました。	
	カンゾカシキ(コウゾ収穫と皮剥)参加者	100人
	豊田小原和紙工芸作品購入	1点
10	北部生活改善センター費【小原支所】	2,153,810円
	指定管理者	小原北部開発推進協議会
	施設利用者数	1,539人
11	四季の回廊費【小原支所】	24,100,450円
(1)	施設管理費	8,105,350円
	川見四季桜の里の管理委託や、鳥屋平工房跡地の草刈等を行い施設を適正に管理しました。	
(2)	施設整備費	15,995,100円
	雑敷里山林遊歩道において、大雨被害によるかご枠工、側溝工の改良工事を行いました。	

2款 総務費

- 1 2 四季桜まつり渋滞対策費【小原支所】 1,445,400円
 四季桜まつり期間中に、国道419号の渋滞対策を行うことで沿線住民の生活や企業活動への影響の緩和を図りました。
- 1 3 小原歌舞伎伝承活動負担金【小原支所】 520,000円
 年2回の定期公演への補助金交付、出張授業の様子をまとめた動画の配信等を実施し、小原歌舞伎の普及及び人材育成を目的とする小原歌舞伎保存会の活動を支援しました。

2- 2-13目 足助地域振興費

		(前年度)
当初予算額	465,477,000円	(540,133,000円)
予算現額	537,558,000円	(608,782,100円)
決算額	499,053,875円	(544,934,101円)
翌年度繰越額	0円	(45,300,000円)
不用額	38,504,125円	(18,547,999円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 地域会議運営費【足助支所】 288,000円
 足助地域会議(委員17人)12回開催(3分科会22回開催)
 整備方針がまとまらず、空き地のままの状態になっていた旧愛知県東加茂事務所跡地(通称:陣屋跡地)の有効活用などについて市長へ提言を行いました。また、「第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を現実にする取組についての諮問に対して、地域における支え合いの取組を市長に答申しました。
- 2 支所管理費【足助支所】 15,538,722円
 (1) 事務費 2,005,106円
 (2) 施設管理費 12,939,616円
 (3) 施設整備費 594,000円
- 3 地域振興事業費【足助支所】 24,179,441円
 (1) 地域振興事務交付金
 14自治区 15,843,441円
 (2) 地区コミュニティ推進交付金
 足助地区コミュニティ会議 340,000円
 (3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)
 7件 802,000円
 (4) 防犯灯設置費補助金(定額)
 省エネ型 新設38灯、移設8灯、更新28灯

2款 総務費

	ポール 新設 7本	2,460,000円
(5)	放送施設整備費補助金(5/10)	
	2件	234,000円
(6)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修・バリアフリー等 5件	3,317,000円
(7)	自主防災事業補助金(1/2)	
	資機材 4件	383,000円
(8)	財産区まちづくり支援交付金	
	盛岡財産区	800,000円
4	地域課題解決事業費【足助支所】	21,533,000円
	森と緑の里山づくり推進事業	14,036,340円
	足助通信によるUターン促進事業	495,890円
	子どもの遊び場事業	400,770円
	旧愛知県東加茂事務所跡地(通称:陣屋跡地)整備事業	6,600,000円
5	地域活動推進費【足助支所】	173,762,150円
(1)	観光まちづくり事業推進費	14,425,950円
	足助地区のまちづくりを推進するため、足助地域核エリア再生総合プロデュース業務委託を実施しました。	
(2)	地域観光協会補助金(定額)	21,687,772円
	足助地区の観光客の誘致及び地域活性化のため、足助観光協会が行う観光事業に対し補助しました。	
	香嵐溪もみじまつり	11月1日～30日
		約520,000人
	中馬のおひなさん	2月11日～3月12日
		約20,000人
(3)	足助バス運行費	132,526,638円
	スクールバス及び地域巡回バス(あいま〜る)を運行し、移動が困難な地区に居住する高齢者や児童・生徒等の生活交通手段を確保しました。	
	スクールバス年間利用者数	8路線 28,880人
	地域巡回バス年間利用者数	13路線 3,802人
(4)	定住促進費	50,000円
	移住定住を促進するための候補地の草刈を2回実施しました。	
(5)	中学校生徒通学費補助金(10/10)	3,991,790円
	通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期代を補助しました(名鉄バス利用)。	
	生徒数	23人

- (6) 中学校生徒通学支援費 1,080,000円
 通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期券を配付しました(おいでんバス利用)。
 生徒数 22人
- 6 一般観光施設費【足助支所】 7,490,694円
 (1) 施設管理費 7,490,694円
 観光施設の適切な維持管理に努めました。
 管理施設
 公衆便所 5か所(追分・藤ノ木・伊勢神・本町・陣屋)
 一般観光施設 3か所(東海自然歩道・鈴木正三史跡公園・旧田口家住宅)
 指定管理施設 2か所
 ア 田町活性化施設
 指定管理者 田町自治会
 イ 西町活性化施設
 指定管理者 (有)あすけ町づくり工房
- 7 香嵐溪費【足助支所】 175,788,137円
 (1) 施設管理費 114,347,718円
 指定管理者 (株)三州足助公社
 駐車場利用台数 小型 105,026台
 大型 1,313台
 足助屋敷入館者数 43,380人
 足助村利用者数 4,684人
- (2) 施設整備費 53,466,044円
 宮町駐車場用地の取得と宮町駐車場ほか公衆便所公共下水道接続工事を行いました。
- (3) 再整備費 7,974,375円
 香嵐溪を観光資源として健全に保全していくため、支障木・危険木の除伐を実施しました。また、樹木整備計画策定に向け、事前調査等の香嵐溪100年プロジェクト推進業務委託を実施しました。
- 8 百年草費【足助支所・建築予防保全課】 69,407,230円
 (1) 管理運営費 67,647,230円
 指定管理者 (株)三州足助公社
 施設利用者数 宿泊2,178人 入浴11,790人
- (2) 施設保全費 1,760,000円
 Z i Z i 工房加工室天井、空調配管修繕等を行いました。
- 9 御内製作工房費【足助支所・建築予防保全課】 1,615,800円

2款 総務費

(1) 管理運営費	698,400円
御内製作工房、鼎館について適切な維持管理に努めました。	
指定管理者 御内自治区	
施設利用者数 724人	
(2) 施設保全費	917,400円
屋根の修繕を行いました。	
10 里山耕費【足助支所】	9,330,701円
(1) 施設管理費	9,146,867円
「里山くらし体験館 すげの里」について適切な維持管理に努めました。	
延べ来館者 3,176人	
うち簡易宿泊利用者 473人	
(2) 里山耕流塾負担金	183,834円
イベント開催のため、消耗品等の購入を行いました。	
11 足助観光施設整備基金積立金【足助支所】	120,000円
香嵐渓産間伐材活用パートナーシップ事業における分配金を積み立てました。	

2- 2-14日 下山地域振興費

		(前年度)
当初予算額	225,060,000円	(324,716,000円)
予算現額	210,166,000円	(303,491,912円)
決算額	202,667,488円	(297,569,285円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	7,498,512円	(5,922,627円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【下山支所】	235,680円
下山地域会議（委員16人） 12回開催	
「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例」の理念を実現する取組についての諮問に対して、地区の歴史や伝統をつなぐ取組などを市長に答申しました。また、提言に向けた協議検討を行いました。	
2 支所管理費【下山支所】	23,139,893円
(1) 事務費	1,218,076円
(2) 施設管理費	21,921,817円
3 地域振興事業費【下山支所】	18,129,171円
(1) 地域振興事務交付金	

2款 総務費

7 自治区	8,490,171円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
下山地区コミュニティ会議	320,000円
(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
3件	320,000円
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
省エネ型 新設78灯、更新58灯	
ポール 新設 10本	4,631,000円
(5) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
改修 6件	3,737,000円
(6) 自主防災事業補助金(1/2)	
資機材 5件、マップ 7件	631,000円
4 地域課題解決事業費【下山支所】	14,720,812円
管理費	153,494円
暮らしの豊かさ推進事業	1,227,918円
しもやま住んでみりん定住促進事業	932,700円
しもやま観光戦略プラン推進事業	3,496,700円
下山地区支障木伐採事業	8,910,000円
5 地域交通推進費【下山支所】	28,743,568円
地域バス利用者数 12,806人	
6 地域活動推進費【下山支所】	15,833,000円
(1) 地域観光協会補助金(定額)	
下山地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、豊田市しもやま観光協会が行う観光事業を支援しました。	
しもやま三河湖花火大会	8月 参加者 300人
三河湖ウォーキング	10月 参加者 238人
三河高原アドベンチャー	10~11月 参加者 483人
レンタサイクル実証	6~12月 参加者 37人
フォトコンテスト	応募数 177点
7 観光交流推進費【下山支所】	6,808,417円
関係人口を創出する事業を実施しました。また、三河湖観光周辺整備活用計画を策定しました。	
8 一般観光施設費【下山支所】	16,775,000円
(1) 施設管理費	660,000円
(2) 施設整備費	16,115,000円
新井前公衆便所跡地の浄化槽を撤去しました。	
9 下山基幹集落センター費【下山支所】	4,224,115円
(1) 管理運営費	

2款 総務費

下山基幹集落センターの適切な維持管理に努めました。

指定管理者 (公社) 豊田市シルバー人材センター

施設利用者数 5, 163人

10 下山憩の家費【下山支所】 6, 429, 387円

(1) 管理運営費

下山憩の家の適切な維持管理に努めました。

指定管理者 (公社) 豊田市シルバー人材センター

施設利用者数 3, 151人

11 香恋の里費【下山支所】 63, 986, 434円

(1) 施設管理費 62, 347, 434円

指定管理者 (株) 香恋の里

施設利用者数 香恋の館 67, 311人

手づくり工房山遊里 60, 351人

ふれあい公園 33, 656人

(2) 施設整備費 1, 639, 000円

手づくり工房山遊里の冷蔵ショーケース等を更新しました。

12 三河湖観光費【下山支所】 3, 642, 011円

(1) 施設管理費

三河湖観光センター及び三河湖園地の適切な維持管理に努めました。

施設利用者数 三河湖観光センター 71, 418人

三河湖園地 14, 842人

2- 2-15目 旭地域振興費

(前年度)

当初予算額 300,963,000円 (251,939,000円)

予算現額 329,267,400円 (270,066,900円)

決算額 323,737,216円 (260,611,377円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 5,530,184円 (9,455,523円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【旭支所】 157, 853円

旭地域会議(委員15人)12回開催

第2次旭地区まちづくり計画からみた地域課題について検討しました。

また、第8期高齢者保健福祉計画重点施策「見守りネットワークの強化」の取組についての諮問に対して、旭地域において必要な見

2款 総務費

守りの取組などを市長に答申しました。

2	支所管理費【旭支所・建築予防保全課】	11,244,746円
	(1) 事務費	941,256円
	(2) 施設管理費	9,808,490円
	(3) 施設保全費	495,000円
	旭支所玄関風除室の雨漏り修繕を行いました。	
3	地域振興事業費【旭支所】	6,943,181円
	(1) 地域振興事務交付金	
	5自治区	5,713,181円
	(2) 地区コミュニティ推進交付金	
	旭地区コミュニティ会議	320,000円
	(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
	1件	29,000円
	(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設3灯、更新18灯	
	ポール 新設2本	719,000円
	(5) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修1件	162,000円
4	地域課題解決事業費【旭支所】	17,165,343円
	旭木の駅プロジェクト推進事業	450,000円
	定住促進事業	705,000円
	あさひ高齢者見守り事業	1,573,405円
	地域資源を活かした「花の里づくり事業」	6,700,000円
	通行支障木の伐採支援事業	6,688,000円
	ツキノワグマ対策事業	1,048,938円
5	観光交流推進費【旭支所】	6,214,473円
	観光拠点周辺の渋滞対策として、案内看板等を設置し、観光客や地元住民への影響を緩和しました。	
6	地域活動推進費【旭支所】	39,171,190円
	(1) 地域観光協会補助金(定額)	11,000,000円
	旭地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、旭観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	上中のしだれ桃 4月上・中旬	12,000人
	小渡夢かけ風鈴 7月17日～8月31日	7,000人
	旭やまびこ花火大会 8月15日	2,000人
	(2) 旭バス運行費	28,171,190円
	旭地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスを運行しました。	

2款 総務費

	地域バス利用者数	1,950人
7	一般観光施設費【旭支所】	6,406,245円
	(1) 施設管理費	
	管理施設 東海自然歩道・矢作ダム周辺施設・笹戸園地・公衆 便所	
8	旭高原自然活用村費【旭支所・建築予防保全課】	
		219,860,825円
	(1) 管理運営費	123,620,325円
	指定管理者 (株)旭高原	
	施設利用者数 113,192人(愛知県自然の家含む。)	
	(2) 施設保全費	792,000円
	バーベキュー場の浄化槽蓋修繕を行いました。	
	(3) 施設整備費	95,448,500円
	バンガローを解体し、新たにキャンプデッキ整備等を行いまし た。	
9	笹戸生活改善センター費【旭支所】	706,204円
	(1) 管理運営費	
	指定管理者 笹戸自治区	
	施設利用者数 1,000人	
10	つくば工房費【旭支所】	133,480円
	(1) 管理運営費	
	管理施設 農林水産物処理加工施設「つくば工房」	
11	旭農林会館費【旭支所】	4,355,000円
	(1) 管理運営費	
	指定管理者 旭観光協会	
	施設利用者数 2,001人	
12	浅野会館費【旭支所】	816,408円
	(1) 管理運営費	
	指定管理者 浅野自治区	
	施設利用者数 820人	
13	敷島農村環境改善センター費【旭支所】	1,310,458円
	(1) 管理運営費	
	指定管理者 敷島自治区	
	施設利用者数 5,315人	
14	築羽農村環境改善センター費【旭支所】	1,109,420円
	(1) 管理運営費	
	指定管理者 築羽自治区	
	施設利用者数 3,145人	

2款 総務費

15	城山森林公園費【旭支所】	704,000円
(1)	管理運営費 森林環境の学習の場としての「城山森林公園」について適切な維持管理に努めました。	
16	介護予防拠点施設老人憩の家あさひ荘費【旭支所】	7,438,390円
(1)	管理運営費 指定管理者 敷島自治区加塩町内会 施設利用者数 3,664人	
2- 2-16目 稲武地域振興費		
		(前年度)
	当初予算額	782,104,000円 (558,893,000円)
	予算現額	835,529,200円 (895,127,520円)
	決算額	808,374,415円 (838,809,912円)
	翌年度繰越額	0円 (46,606,000円)
	不用額	27,154,785円 (9,711,608円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	地域会議運営費【稲武支所】	173,082円
	稲武地域会議(委員15人)13回開催 「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例」の理念を実現する取組についての諮問に対して、山村部の地域が行政とともに実施すべき取組など市長に答申を行いました。	
2	支所管理費【稲武支所】	7,026,333円
(1)	事務費	1,585,585円
(2)	施設管理費	1,222,248円
(3)	施設整備費	4,218,500円
	稲武支所法面補修工事を行いました。	
3	地域振興事業費【稲武支所】	106,178,523円
(1)	地域振興事務交付金	
	13自治区	8,404,872円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	
	稲武地区コミュニティ会議	320,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
	3件	300,000円
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設16灯、更新11灯	1,395,000円

2款 総務費

(5)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	新築1件、改修1件	19,977,000円
(6)	自主防災事業補助金(1/2)	
	資機材1件	206,000円
(7)	財産区まちづくり支援交付金	
	10自治区	75,575,651円
4	地域課題解決事業費【稲武支所】	13,219,299円
	管理費	81,504円
	城山整備事業	7,194,000円
	生活道路における支障木伐採事業	4,015,000円
	移住定住促進計画策定事業	1,928,795円
5	観光交流推進費【稲武支所】	4,600,000円
	国内ラリー競技の開催に合わせて、地域を盛り上げるためのイベント等を実施しました。	
6	地域活動推進費【稲武支所】	72,891,258円
(1)	地域観光協会補助金(定額)	16,863,000円
	稲武地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、いなぶ観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	ひな祭り	2月から4月上旬 4,411人
	大井平公園もみじまつり	11月 約35,936人
	いなぶの四季を写そう写真大会	応募数302点
(2)	稲武地域バス運行費	41,385,458円
	稲武地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスの運行とイベント開催時にあわせた利用促進活動を行いました。	
	年間利用者数	7,818人
(3)	雇用定住促進費	11,903,100円
	稲武地区の雇用と定住の推進を図るため、サテライトオフィスの整備を行い、テレワーク利用や地域交流会を実施しました。	
(4)	児童生徒通学支援費	1,155,600円
	遠距離通学者の利便を図るために、路線バス利用者に通学定期券を支給しました。	
	通学定期券支給者数	児童27人 生徒11人
(5)	三市ふれあい協定事業費	1,584,100円
	ふるさとふれあいウォーキング大会を開催しました。また、名古屋市中学生の植樹体験事業を実施しました。	
7	一般観光施設費【稲武支所】	11,081,652円
(1)	施設管理費	6,879,652円
	観光施設の適切な維持管理に努めました。	

	管理施設 水別広場・大井平公園・城山公園・押川大滝公園 名倉川遊歩道・どんぐりの森	
(2)	施設整備費	4,202,000円
	風のつり橋人道橋定期点検業務委託を行いました。	
8	どんぐりの里費【稲武支所】	550,872,476円
(1)	管理運営費	142,463,687円
	指定管理者 (株)どんぐりの里いなぶ	
	施設利用者数 どんぐりの湯 89,218人 どんぐり横丁 337,124人	
(2)	長寿命化推進費	250,778,000円
	どんぐりの湯のボイラー、空調設備等の更新や、屋根、外壁等の改修工事を行いました。	
(3)	施設整備費	50,160,430円
	駐車場用地を取得しました。	
(4)	再整備費(単年度)	68,577,359円
	どんぐり横丁仮設店舗の賃貸借や、どんぐり横丁の備品を購入しました。	
(5)	再整備費(継続費)	38,893,000円
	どんぐり横丁の増築建築工事等を実施しました。	
9	稲武どんぐり工房費【稲武支所】	10,105,860円
	山里体験プログラムをコーディネートし、体験型観光を推進しました。	
	指定管理者 いなぶ観光協会	
	施設利用者数 13,667人	
10	帰農者滞在施設費【稲武支所】	901,449円
	帰農者滞在施設の適切な維持管理に努めました。	
11	農林漁家高齢者センター費【稲武支所】	6,099,000円
(1)	管理運営費	4,603,000円
	指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数 1,007人	
(2)	施設整備費	1,496,000円
	老朽化した炭窯の解体工事を行いました。	
12	面ノ木風力発電所費【稲武支所】	20,240,329円
	面ノ木風力発電施設3基の適切な維持管理に努めました。	
	売電電力量 2,121,065kwh	
13	養蚕・製糸文化伝承活動負担金【稲武支所】	4,985,154円
	稲武地区の養蚕文化を伝承するため、稲武KAIKO学を始めた実行委員会による取組を実施しました。	

2款 総務費

2- 3- 1目 税務総務費	
	(前年度)
当初予算額	940,848,000円 (951,128,000円)
予算現額	944,867,000円 (963,823,000円)
決算額	912,240,436円 (952,396,833円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	32,626,564円 (11,426,167円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(固定資産評価審査委員会委員6人、一般職116人、非常勤一般職49人)【市民税課・人事課】	906,361,496円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	3,362,410円
3 固定資産評価審査委員会事務費【市民税課】	65,100円
4 市民税税務事務費【市民税課】	1,766,580円
5 資産税税務事務費【資産税課】	684,850円

2- 3- 2目 賦課費	
	(前年度)
当初予算額	391,051,000円 (279,420,000円)
予算現額	371,756,000円 (307,100,504円)
決算額	350,117,935円 (298,506,885円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	21,638,065円 (8,593,619円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 市民税等賦課事務費【市民税課】	45,178,334円
個人市民税納税義務者	234,001人
法人市民税納税義務者	8,726人
事業所税納税義務者	700人
申告相談受付	6,806人
不申告等調査	3,432件
扶養調査	12,584件
法定資料箋調査	2,768件
2 資産税等賦課事務費【資産税課】	269,237,344円
固定資産税納税義務者	
土地	137,786人
家屋	126,174人

2款 総務費

償却資産	12,064人
土地現況地目調査	10,866件
土地路線調査	37本
家屋調査(新增築等調査)	2,450件
〃(取壊し調査)	1,813件
償却資産の実地調査等	589件
3 軽自動車税賦課事務費【市民税課】	11,135,177円
軽自動車税課税件数	137,253件
軽自動車申告等処理	53,821件
軽自動車税未納分等調査	201件
4 電子申告システム推進費【市民税課】	24,567,080円
エルタックス電子申告	34,466件
国税連携データ	71,940件

2-3-3目 徴収費

		(前年度)
当初予算額	544,434,000円	(562,869,000円)
予算現額	533,378,000円	(514,718,496円)
決算額	422,014,524円	(381,500,041円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	111,363,476円	(133,218,455円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 徴収事務費【債権管理課】	89,779,093円
(1) 現年滞繰合計収納率	目標99.18% 実績99.31%
滞納繰越分市税徴収額	目標2.8億円 実績2.7億円
(2) 口座振替加入率(R5年度当初)	47.18%
口座振替新規加入件数	11,092件
口座振替新規加入増加率	6.12%
督促状、催告書発行件数	183,881件
(3) 電話等催告件数(委託)	54,322件
返戻督促状処理件数(調査推進員)	3,632件
差押件数(不動産、動産、債権、参加差押)	3,989件
猶予件数(徴収、換価)	58件
2 電子収納システム推進費【債権管理課】	39,722,565円
ペイジー納付件数	19,109件
ゆうちょ銀行納付件数	30,255件
コンビニ納付件数	366,512件

2款 総務費

	(内訳 税)	338,667件)
	(公課	26,138件)
	(その他債権	1,707件)
	スマートフォン決済納付件数	21,516件
	(内訳 税)	20,990件)
	(公課	468件)
	(その他債権	58件)
	クレジット納付件数	11,349件
3	債権管理推進費【債権管理課】	6,813,422円
	弁護士委託件数	144件
	回収額	14,246,195円
4	過誤納還付金【債権管理課】	285,699,444円
	税額更正、誤って納付された市税の還付等を4,619件執行しました。	

2- 4- 1目 戸籍住民基本台帳費

		(前年度)
当初予算額	832,524,000円	(963,228,000円)
予算現額	840,635,000円	(882,379,000円)
決算額	814,209,860円	(844,242,126円)
翌年度繰越額	0円	(660,000円)
不用額	26,425,140円	(37,476,874円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	人件費(一般職50人、非常勤一般職51人)【人事課】	506,513,026円
2	非常勤一般職管理事務費【人事課】	3,747,400円
3	戸籍住民基本台帳費【市民課】	285,854,717円
(1)	戸籍住民基本台帳事務費	140,109,822円
	<年間処理件数>	
	戸籍届	16,305件(送付分を含む。)
	住民基本台帳異動処理	94,846件
	印鑑登録	13,646件
	出入国在留管理庁連携処理	19,449件
	住民票等発行	459,445件(公用・無料含む。)
	税証明等発行	126,678件(公用・無料含む。)
	臨時運行許可	1,218件
	住民実態調査(消除件数)	42件

<参考> (3月31日現在)

本籍数	153,403戸
本籍人口	396,133人
住民登録人口	416,747人
日本人	398,007人
外国人	18,740人
住民登録世帯数	184,884世帯
日本人	174,527世帯
外国人	10,357世帯
印鑑登録者数	269,783人

<その他の取組事業>

- ・年度末、年度始めの市民窓口の混雑緩和と市民サービスの向上のため、南庁舎1階で休日臨時窓口を開設しました。

実施日及び処理件数

R 4. 4. 10	498件
R 4. 4. 23	299件
R 5. 3. 25	356件

- ・戸籍届出が多い特異日において、時間外窓口の混雑緩和のため南庁舎1階で婚姻届提出窓口を開設しました。

実施日及び婚姻届出件数

R 5. 3. 21 (天赦日・一粒万倍日・先勝)	67件
---------------------------	-----

<参考>窓口での婚姻届出件数

1,751件/年 (4.8件/日)

- ・豊田市オリジナル婚姻届を作成し、婚姻届を提出したカップルに記念品と記念写真をプレゼントする結婚お祝い事業を実施しました。

記念品配付数(木製写真立て)1,690個/年

- ・豊田市オリジナル和紙製フォトスタンドとクリアファイルを作成し、出生届を提出した方にプレゼントする出生お祝い事業を開始しました。

記念品配付数(和紙製フォトスタンド)2,768個/年

(2) 住民基本台帳ネットワークシステム管理費

29,571,691円

<年間処理件数>

広域住民票交付 328件(3の(1)内の再掲)

(3) 個人番号カード交付事務費 95,063,969円

<年間処理件数>

個人番号カード交付(再交付を含む) 88,368件

公的個人認証発行 署名用 21,568件
利用者証明用 9,216件

<参考> (3月31日現在)

個人番号カード交付数 291,538件
個人番号カード交付枚数率 69.54%

<その他の取組事業>

・市民サービス向上のため、休日窓口を月2回(年24回)開設しました。

個人番号カード交付 7,098件
個人番号カード申請(申請時来庁) 461件

・期日前選挙期間中の時間外交付窓口(11日間)を開設しました。

個人番号カード交付 796件

・高岡支所ふれあいまつりで臨時交付窓口を開設しました。

個人番号カード交付 78件

・申請機会増加のため、支所・出張所、店舗、自治区等において個人番号カード申請出張窓口(委託含む)を101回開設しました。

個人番号カード申請 8,144件

(4) コンビニエンスストアにおける証明書交付推進費

21,109,235円

全国のコンビニエンスストア等の店舗にて証明書交付サービスを実施しました。

コンビニ交付取扱事業者件数 6件

<年間処理件数> (3の(1)内の再掲)

住民票の写し 33,069件

印鑑登録証明書 25,834件

所得課税証明書 4,433件

戸籍全部(個人)事項証明書 7,118件

4 豊田市駅西口サービスセンター費【市民課】18,094,717円

<年間処理件数>

住民票等発行 31,678件(3の(1)内の再掲)

税証明等発行 7,209件(3の(1)内の再掲)

税等の収納 2,658件

県証紙等の売りさばき 9,410件

来客数 31,918人

2款 総務費

2- 5- 1目 選挙管理委員会費	
	(前年度)
当初予算額	2,920,000円 (2,393,000円)
予算現額	2,110,000円 (1,884,000円)
決算額	1,831,012円 (1,680,974円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	278,988円 (203,026円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(選挙管理委員4人)【選挙管理委員会事務局】	937,000円
2 選挙管理委員会事務費【選挙管理委員会事務局】	821,040円
(1) 委員会の開催(開催回数19回)	
任期満了に伴う参議院議員通常選挙を7月に、愛知県知事選挙を2月に執行しました。	
(2) 選挙人名簿の登録	
登録者数 335,980人(3月1日現在)	
3 在外選挙人名簿登録事務費【選挙管理委員会事務局】	72,972円
登録者数 223人(3月1日現在)	

2- 5- 2目 選挙啓発費	
	(前年度)
当初予算額	710,000円 (710,000円)
予算現額	516,000円 (510,000円)
決算額	477,425円 (420,184円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	38,575円 (89,816円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 選挙啓発事務費【選挙管理委員会事務局】	477,425円
(1) 選挙出前トーク事業	
職員による選挙出前トーク(選挙の話、模擬投票)を実施し、選挙に対する意識啓発を図りました。	
小学校27校 中学校1校 計28校	
(2) 啓発ポスター募集事業	
市内の小・中・高等学校の児童生徒を対象に募集を行い、表彰及び展示を行いました。	
応募点数 264点 入選作品 47点	

- (3) 啓発グッズの配布
 蛍光マーカーを購入し、交流館祭等に提供しました。
 啓発用品支給 15回

2- 5- 3目 参議院議員通常選挙費

当初予算額	181,568,000円
予算現額	161,285,000円
決算額	161,276,794円
翌年度繰越額	0円
不用額	8,206円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（投票管理者128人、投票立会人261人、開票管理者1人、開票立会人11人、期日前投票管理者154人、期日前投票立会人190人、非常勤一般職9人、投開票事務等職員）
【選挙管理委員会事務局】 57,905,895円
- 2 参議院議員選挙事務費**【選挙管理委員会事務局】**
 103,370,899円

任期満了による参議院議員通常選挙を7月10日に、127か所の投票所及び1か所の共通投票所で事務従事者956人によって行いました。当日の指定投票所によらず誰でも投票することができる共通投票所を開設しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、投票所に消毒液等の感染対策用品を設置しました。また、選挙人の分散を図るため、ホームページにて投票所の混雑状況を配信しました。さらに、複合商業施設（T-FACE A館）内に期日前投票所を7日間開設しました。

開票については、当日午後9時からスカイホール豊田にて、事務従事者516人によって行い、選挙区が午前1時30分に、比例代表が午前6時50分に終了しました。

	(選挙区)	(比例代表)
当日の有権者数	336,415人	336,415人
投票者数	207,694人	207,691人
投票率	61.74%	61.74%

2款 総務費

2- 5- 4目 県知事選挙費	
当初予算額	160,644,000円
予算現額	160,644,000円
決算額	138,615,953円
翌年度繰越額	0円
不用額	22,028,047円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 人件費（投票管理者128人、投票立会人267人、開票管理者1人、開票立会人3人、期日前投票管理者156人、期日前投票立会人188人、非常勤一般職8人、投開票事務等職員）	
【選挙管理委員会事務局】	46,660,706円
2 県知事選挙事務費【選挙管理委員会事務局】91,955,247円	
任期満了による愛知県知事選挙を2月5日に、127か所の投票所及び1か所の共通投票所で事務従事者878人によって行いました。当日の指定投票所によらず誰でも投票することができる共通投票所を開設しました。	
新型コロナウイルス感染症対策として、投票所に消毒液等の感染対策用品を設置しました。また、選挙人の分散を図るため、ホームページにて投票所の混雑状況を配信しました。さらに、複合商業施設（T-FACE A館）内に期日前投票所を7日間開設しました。	
開票については、当日午後9時からスカイホール豊田にて、事務従事者464人によって行い、午後11時1分に終了しました。	
当日の有権者数	334,198人
投票者数	145,440人
投票率	43.52%
2- 5- 5目 県議会議員一般選挙費	
当初予算額	45,666,000円
予算現額	45,666,000円
決算額	27,644,314円
翌年度繰越額	0円
不用額	18,021,686円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 人件費（選挙長1人、非常勤一般職7人、投開票事務等職員）	
【選挙管理委員会事務局】	2,048,523円
2 県議会議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】	

2款 総務費

		25,595,791円
<p>任期満了による愛知県議会議員一般選挙が、3月31日に告示され、選挙による議員定数(5人)を超えなかったため無投票になりました。</p>		
2- 5- 6目 市議会議員一般選挙費		
当初予算額	6,430,000円	
予算現額	6,430,000円	
決算額	4,636,940円	
翌年度繰越額	0円	
不用額	1,793,060円	
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 市議会議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】</p> <p style="text-align: right;">4,636,940円</p> <p>任期満了による豊田市議会議員一般選挙を4月23日に執行するため、立候補予定者説明会や立候補届事前審査などを行いました。</p>		
2- 6- 1目 統計調査総務費		
		(前年度)
当初予算額	972,000円	(1,054,000円)
予算現額	636,000円	(632,000円)
決算額	514,403円	(558,781円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	121,597円	(73,219円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 統計事務費【(総)庶務課】 146,303円</p> <p>2 統計書等発行費【(総)庶務課】 364,100円</p> <p style="padding-left: 20px;">(発行図書名) (発行部数)</p> <p style="padding-left: 40px;">『豊田市統計書』 100冊</p> <p style="padding-left: 40px;">『豊田市の人口』 50冊</p> <p>3 調査員研修費【(総)庶務課】 4,000円</p>		

2款 総務費

2- 6- 2目 基幹統計費		
		(前年度)
当初予算額	8,957,000円	(23,324,000円)
予算現額	4,989,000円	(12,135,000円)
決算額	4,562,553円	(11,554,665円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	426,447円	(580,335円)
<hr/>		
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	人件費(基幹統計調査指導員38人、基幹統計調査調査員54人、 非常勤一般職6人)【(総)庶務課】	4,072,528円
2	基幹統計調査費【(総)庶務課】	436,025円
(1)	就業構造基本調査費	420,595円
	調査目的:就業構造に関する基礎資料を得る。	
	基準日:令和4年10月1日	
	調査対象:56調査区、848世帯(抽出調査)	
	実施体制:指導員6人、調査員54人、調査委託1件	
(2)	経済センサス調査区管理費	3,906円
	事業所の新設、異動等の情報を基に調査区地図を最新の状態に 修正しました。	
(3)	住宅・土地統計調査単位区設定費	11,524円
	調査目的:令和5年度に行う本調査の円滑な実施と結果精度の 向上のため、調査区の住宅等を漏れなく把握する。	
	基準日:令和5年2月1日	
	調査対象:414調査区	
	調査従事者数:指導員38人	
3	統計調査員確保対策費【(総)庶務課】	54,000円
	常任統計調査員221人	
<hr/>		
2- 7- 1目 監査委員費		
		(前年度)
当初予算額	95,471,000円	(100,958,000円)
予算現額	104,468,000円	(95,770,000円)
決算額	102,454,847円	(94,400,536円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,013,153円	(1,369,464円)
<hr/>		

2款 総務費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- | | | |
|---|-------------------------|-------------|
| 1 | 人件費（監査委員4人、特別職1人、一般職9人） | |
| | 【監査委員事務局・人事課】 | 98,229,575円 |
| 2 | 監査事務費【監査委員事務局】 | 4,225,272円 |
- ・定期監査
 - 部局監査
 - 工事監査（技術士の協力を得て実施）
 - 学校・こども園監査
 - ・行政監査
 - ・財政援助団体監査
 - ・出資団体監査（公認会計士の協力を得て実施）
 - ・指定管理者監査（公認会計士の協力を得て実施）
 - ・例月出納検査
 - ・決算等審査
 - ・健全化判断比率等審査
 - ・財産区の定期監査及び決算審査
 - ・内部統制評価報告書審査

3款 民生費

3款 民生費	
	(前年度)
当初予算額	63,639,714,000円 (63,290,135,000円)
予算現額	69,306,108,690円 (75,260,645,070円)
決算額	66,916,662,207円 (71,569,108,164円)
翌年度繰越額	248,306,224円 (1,458,567,690円)
不用額	2,141,140,259円 (2,232,969,216円)
3- 1- 1目 社会福祉総務費	
	(前年度)
当初予算額	7,890,675,000円 (7,660,893,000円)
予算現額	9,215,764,146円 (8,981,485,644円)
決算額	8,899,023,071円 (8,677,377,790円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	316,741,075円 (304,107,854円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 人件費(民生委員推薦会委員4人、社会福祉審議会委員52人、一般職99人、非常勤一般職57人)923,888,570円 【福祉総合相談課・総務監査課・人事課】</p> <p>2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 4,137,180円</p> <p>3 社会福祉総務事務費【総務監査課・福祉総合相談課】 1,348,828円</p> <p>4 地域福祉計画推進費【地域包括ケア企画課】 21,160円 第2次地域福祉計画の推進を図るとともに、計画の進捗や社会状況の変化を踏まえて、中間年度における見直しを行い、計画を改訂しました。</p> <p>5 再犯防止推進計画推進費【地域包括ケア企画課】 112,600円 再犯防止推進計画の推進を図るとともに、関係機関等で構成する推進委員会を立ち上げ、計画の進捗管理、支援の現状について意見交換しました。また、再犯防止について弁護士会や協力雇用主会に対して研修を行い、理解促進・周知啓発に努めました。</p> <p>6 社会福祉援護費【福祉総合相談課・生活福祉課】 5,572,373円 緊急的に保護を必要とする人の一時宿泊費、医療費、その他日用品費等や、引き取り手のない人の葬儀費用を支援しました。</p> <p>7 指導監査費【総務監査課】 26,017,078円 社会福祉法人・施設、介護保険及び障がい福祉サービス事業者の</p>	

3款 民生費

適正な運営及び報酬請求を確認するため、指導、監査業務を実施しました。

社会福祉法人・施設指導監督業務

許認可・届出受理件数

社会福祉法人・定款変更 4件

指導監査実施件数

社会福祉法人監査 9法人(対象法人17法人)

社会福祉施設等監査 46施設(対象施設67施設)

児童福祉関係 35施設(対象施設35施設)

老人福祉関係 10施設(対象施設28施設)

障がい福祉関係 1施設(対象施設4施設)

介護保険サービス事業者指導・ケアプランチェック業務

運営指導件数 196事業所(対象事業所834事業所)

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数141事業所

ケアプランチェック件数

50事業所(対象事業所201事業所)

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数44事業所

実地監査件数 5事業所(1法人)

障がい福祉サービス事業者指導業務

実地指導件数 85事業所(対象事業所370事業所)

8 民生児童委員活動費【福祉総合相談課】 86,453,060円

(1) 活動事務費 78,291,447円

民生委員児童委員の活動の充実を図るための指導や委員の資質向上のための研修事業を実施しました。また、民生委員の活動及び地区協議会に対し、活動の推進を図るため費用弁償等の支給を行いました。一斉改選で594名の方に委嘱状を伝達しました。

(研修実績)

地区会長研修 1回

新任委員研修 3回

主任児童委員研修 1回

(2) 地区協議会活動助成費補助金(定額) 8,161,613円

9 遺家族援護費【総務監査課】 578,640円

(1) 遺家族援護事務費 2,640円

(2) 戦没者遺族連合会事業費補助金(10/10)

576,000円

戦没者遺族連合会が実施する「平和をかたりつぐ事業」に補助を行いました。

内容 「うすれゆく戦中戦後の記憶 第五集」作成

3款 民生費

10	戦没者追悼費【総務監査課】	3,207,336円
(1)	戦没者追悼事務費	1,864,336円
	戦没者に対し追悼の意を表し平和を祈念するため、豊田市戦没者追悼式を開催しました。	
	開催日 4月16日(土)	
	参加者 152人	
(2)	戦没者追悼費補助金(10/10)	1,343,000円
	地区遺族会が開催する追悼式に対し、補助を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、挙母、高橋、上郷、高岡、猿投、小原及び下山の7地区のみ開催されました。	
11	中国残留邦人等地域生活支援費【生活福祉課】	1,501,216円
(1)	中国残留邦人等地域生活支援費	1,499,556円
	中国残留邦人等が、地域で生き生きとした暮らしを実現するため、支援・相談員を配置しました。	
(2)	中国残留邦人等地域生活支援事業費補助金(10/10)	1,660円
	中国帰国者支援交流センター等が行う日本語教室等、交流事業に通所するための交通費の助成を行いました。	
12	生活困窮者自立支援費【福祉総合相談課・生活福祉課】	95,960,333円
	社会福祉協議会に委託し、生活困窮者の相談窓口を設置し生活相談や就労支援を行いました。また、家計改善や健康管理が必要な被保護世帯に対する支援を行いました。	
	相談件数 延べ 7,205件	
	家計改善支援 33件	
	健康管理支援 356世帯	
13	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付費【福祉総合相談課】	98,343,660円
	新型コロナウイルス感染拡大により生活に困窮する世帯に対して支援金を給付しました。	
	新規申請数 151件	
	再申請数 171件	
14	重層的支援体制整備事業費【福祉総合相談課】	145,131,272円
(1)	生活困窮者自立支援費	95,884,000円
(2)	多機関協働費	42,799,505円
	個別支援と支え合いの地域づくりのため、コミュニティーソーシ	

3款 民生費

ャルワーカーを配置し（社会福祉協議会委託）、包括的な支援体制の推進を図りました。

(3) 共助の基盤づくり費 6,447,767円

地域での居場所となる子ども食堂の新規開設や運営の相談を行い、子ども食堂の地域の支え合いの基盤づくりの推進を図りました。

子ども食堂の立上げ・運営相談件数 504件

子ども食堂 開設箇所数 32か所

15 子どもの貧困対策費【福祉総合相談課】 17,996,528円

(1) ヤングケアラー支援費 87,050円

ヤングケアラーへの適切な対応と支援の推進のため、関係機関との連携協力体制を整備しました。

(2) 子どもの学習支援費 17,786,028円

経済的理由等により学習環境が整っていない子どもに対し、ボランティア等による集合型及び訪問型の学習支援を市内6か所で実施しました。

開催回数 延べ 486回（集合型270回、訪問型216回）

利用者数 111人（集合型102人、訪問型 9人）

(3) 子ども食堂安全確保費補助金（10/10）123,450円

子ども食堂が安全に運営されるための環境整備に対して助成し、地域において子どもが心身ともに安心できる居場所の確保を推進しました。

補助金に関する相談件数 7団体

補助金交付決定団体 6団体

16 地域共生社会推進全国サミット開催推進費【福祉総合相談課】

1,787,584円

サミットの開催に向けた関係機関調整、プログラム検討、PR活動を実施しました。

17 社会福祉大会負担金【総務監査課】 376,314円

福祉功績者を顕彰する社会福祉大会を豊田市社会福祉協議会との共催で開催しました。

開催日 11月26日（土）

顕彰者 個人 372人、法人・団体 55団体

18 社会福祉協議会運営費補助金（10/10）【福祉総合相談課】

67,001,475円

19 シルバー人材センター運営費補助金（10/10）

【市民活躍支援課】 919,726円

会員数 2,081人

受注件数 6,329件

20	生活困窮者仕事と住まいの一体支援補助金【福祉総合相談課】	1,795,000円
	新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響により、就労と住居を同時に失ってしまった生活困窮者を寮付きで雇用した事業所に対し費用支援をすることで、不安定な状態にある生活困窮者への雇用機会の拡大と継続的な雇用、住居を確保しました。	
	補助実績 7件	
21	社会福祉基金積立金【総務監査課】	1,895,153円
	多くの市民の善意を福祉基金として積み立て、基金の利子を福祉事業に活用しました。	
	令和4年度寄附金件数 6件(個人 2件、法人・団体 4件)	
	基金現在高(令和4年度末)	512,343,940円
22	国民健康保険特別会計繰出金【国保年金課】	3,183,011,163円
	(内訳)	
	保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)	844,255,875円
	保険基盤安定繰出金(未就学児軽減分)	15,423,389円
	保険基盤安定繰出金(保険者支援分)	510,569,380円
	職員給与費等繰出金	371,638,814円
	出産育児一時金等繰出金	46,601,809円
	財政安定化支援事業繰出金	124,660,000円
	保健事業繰出金	224,039,272円
	その他繰出金	1,045,822,624円
23	介護保険事業特別会計繰出金【介護保険課】	3,828,408,966円
	介護保険財政運営のため、介護給付費に対する12.5%、地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業に対する12.5%、地域支援事業の包括的支援事業等に対する19.25%を市の負担分として繰り出しました。また、低所得者に対して保険料の軽減を行うため、保険料軽減分を繰り出しました。	
	(内訳)	
	介護給付費繰出金	2,867,699,855円
	地域支援事業繰出金	106,022,063円
	包括的支援事業等繰出金	49,118,593円
	職員給与費等繰出金	216,600,792円
	介護保険事務費等繰出金	407,114,563円
	低所得者保険料軽減繰出金	181,853,100円
24	社会福祉費過年度国県支出金返還金	403,557,856円

3款 民生費

【総務監査課・福祉総合相談課・生活福祉課】

令和3年度の国県支出金の清算により超過交付分を返還しました。

- (1) 非課税世帯等給付金推進室過年度国県支出金返還金
187,688,668円
- (2) 福祉総合相談課過年度国県支出金返還金
46,464,000円
- (3) 生活福祉課過年度国県支出金返還金169,405,188円
(内訳)
生活保護費等国庫負担金の返還金 162,249,428円
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金の返還金
7,138,000円
中国残留邦人支援・相談員業務委託費の返還金 17,760円

3- 1- 2目 国民年金事務費

		(前年度)
当初予算額	2,567,000円	(1,511,000円)
予算現額	2,402,000円	(1,393,000円)
決算額	2,172,115円	(1,235,631円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	229,885円	(157,369円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 国民年金事務費【国保年金課】 2,172,115円

3- 1- 3目 医療助成費

		(前年度)
当初予算額	4,435,020,000円	(4,501,969,000円)
予算現額	4,435,013,000円	(4,242,076,000円)
決算額	4,278,886,721円	(4,172,839,446円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	156,126,279円	(69,236,554円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 福祉医療総務事務費【福祉医療課】 1,133,785円
- 2 子ども医療助成費【福祉医療課】 1,950,372,351円

市条例・規則に基づき、小学校就学前までの乳幼児及び小中学生の入院医療並びに高校生世代及び大学生等の入院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。このうち小中学生の通院医療並び

に高校生世代及び大学生等の入院医療については市単独事業として実施しました。

なお、市単独事業以外の部分は、県補助制度により1/2補助を受けました。

受給者証交付者数	乳幼児	20,771人(年度平均)
	小中学生	32,962人(年度平均)
入院助成申請人数	高校生世代	74人
	大学生等	45人

- 3 心身障がい者医療助成費【福祉医療課】 859,736,019円
市条例・規則に基づき、心身障がい者(身体障がい者手帳1級から3級所持者、療育手帳A・B判定所持者、自閉症と診断された人等)の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数 5,043人(年度平均)

- 4 母子・父子家庭医療助成費【福祉医療課】215,840,821円
市条例・規則に基づき、母子・父子家庭世帯(所得制限あり)の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数 5,338人(年度平均)

- 5 精神障がい者医療助成費【福祉医療課】 454,061,340円
市条例・規則に基づき、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。また、この対象外の人でも、自立支援医療(精神通院)による通院医療の自己負担額を全額、精神疾患の診断書による精神科入院医療については、アルコール依存症等を対象に含め、健康保険自己負担額の半額を助成しました。このうち、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者の精神疾患以外に係る入通院医療、自立支援医療(精神通院)による通院医療及び診断書による精神科入院医療は市単独事業として実施しました。

受給者証交付者数

精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者

1,931人(年度平均)

自立支援医療(精神通院)による通院医療

4,641人(年度平均)

診断書による精神科入院医療

157人(年度平均)

- 6 福祉給付金助成費【福祉医療課】 797,742,405円
市要綱に基づき、後期高齢者医療制度の被保険者で、一定の条件(身体障がい者手帳1級から3級所持者、戦傷病者手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者、独居老人等)を満たす人

3款 民生費

の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。
このうち、独居老人等一部の条件の対象者は市単独事業として実施
しました。

受給者証交付者数 県補助対象者 6,620人(年度平均)
市単独事業対象者 860人(年度平均)

3- 1- 4目 福祉センター費

		(前年度)
当初予算額	440,733,000円	(761,279,000円)
予算現額	415,901,000円	(655,369,000円)
決算額	407,819,516円	(638,344,544円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	8,081,484円	(17,024,456円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 福祉センター費【総務監査課・建築予防保全課】
 - 106,432,989円
 - (1) 管理運営費 98,457,989円
指定管理者 (社福)豊田市社会福祉協議会
施設利用者数 135,907人
 - (2) 施設保全費 990,000円
中央監視装置修繕を行いました。
 - (3) 施設整備費 6,985,000円
電話設備を更新しました。
- 2 藤岡福祉センターふじのさと費【総務監査課・建築予防保全課】
 - 47,269,000円
 - (1) 管理運営費 38,898,000円
指定管理者 (社福)豊田市社会福祉協議会
施設利用者数 9,825人
 - (2) 施設保全費 8,371,000円
ろ過設備修繕等を行いました。
- 3 小原福祉センターふくしの里費【総務監査課】
 - 59,512,260円
 - 指定管理者 (社福)豊田市社会福祉協議会
施設利用者数 10,196人
- 4 介護予防拠点施設足助まめだ館費【総務監査課】
 - 32,158,000円
 - 指定管理者 (社福)豊田市社会福祉協議会

3款 民生費

施設利用者数	4,591人	
5 百年草老人デイサービスセンター費【総務監査課】		12,006,000円
指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会		
施設利用者数	4,523人	
6 下山保健福祉センターまどいの丘費【総務監査課・建築予防保全課】		50,586,890円
(1) 管理運営費		49,421,000円
指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会		
施設利用者数	16,140人	
(2) 施設保全費		1,012,770円
	消防設備修繕を行いました。	
(3) 施設整備費		153,120円
	車いす用体重計を購入しました。	
7 老人福祉センターぬくもりの里費【総務監査課】		44,619,292円
指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会		
施設利用者数	12,052人	
8 稲武福祉センター費【総務監査課・建築予防保全課】		55,235,085円
(1) 管理運営費		44,147,855円
指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会		
施設利用者数	14,634人	
(2) 施設保全費		11,087,230円
	消防設備修繕を行いました。	
3- 1- 5目 非課税世帯等臨時特別給付金費		
		(前年度)
当初予算額	0円	(0円)
予算現額	952,595,804円	(3,085,549,356円)
決算額	950,550,128円	(1,966,842,732円)
翌年度繰越額	0円	(935,000,000円)
不用額	2,045,676円	(183,706,624円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(非常勤一般職4人、非課税世帯等臨時特別給付金給付事務職員手当)【総務監査課】		4,187,295円
2 非課税世帯等臨時特別給付金給付費【総務監査課】		

3款 民生費

	946,362,833円
(1) 事務費	6,862,833円
(2) 非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費補助金(定額)	
	939,500,000円
<p>基準日(令和3年12月10日又は令和4年6月1日)において、世帯全員の住民税均等割が非課税である世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税均等割が非課税である世帯と同様の状況にあると認められる世帯に対して、1世帯当たり10万円を給付しました。</p> <p>支給世帯数 9,395世帯</p>	

3-1-6目 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付費

当初予算額	0円
予算現額	1,491,342,050円
決算額	1,371,755,737円
翌年度繰越額	0円
不用額	119,586,313円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(非常勤一般職3人、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事務職員手当)【総務監査課】

	4,578,851円
--	------------
- 2 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付費【総務監査課】

	1,367,176,886円
(1) 事務費	32,376,886円
(2) 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金(定額)	1,334,800,000円

基準日(令和4年9月30日)において、世帯全員の住民税均等割が非課税である世帯及び予期せず家計が急変し、住民税均等割が非課税である世帯と同様の状況にあると認められる世帯に対して、1世帯当たり5万円を給付しました。

支給世帯数 26,696世帯

3款 民生費

3- 2- 1目 障がい者福祉総務費		(前年度)
当初予算額	2,426,944,000円	(2,435,193,000円)
予算現額	2,487,480,083円	(2,563,207,140円)
決算額	2,433,017,934円	(2,449,466,957円)
翌年度繰越額	1,680,000円	(9,560,000円)
不用額	52,782,149円	(104,180,183円)
<hr/>		
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		1,680,000円
サービス継続支援事業費補助事業		1,680,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	人件費(身体障がい程度判定医5人、生活のしづらさなどに関する調査員15人)【障がい福祉課】	4,980,181円
2	障がい者福祉事務費【障がい福祉課】	2,209,322円
3	発達障がい児者支援費【障がい福祉課】	78,150円
	発達障がい児の子育て経験のある方を相談役とした情報交換会を7回開催しました。	
4	障がい者相談員費【障がい福祉課】	434,000円
	4人の身体障がい者相談員及び3人の知的障がい者相談員が、本人や家族の相談に応じ、必要な援助や助言を行いました。	
5	障がい者計画策定費【障がい福祉課】	1,980,000円
	障がい者計画等に係る実態調査を実施しました。	
6	身体障がい者手帳交付費【障がい福祉課】	291,192円
	身体障がい者手帳交付者(再交付を含む。) 1,483人	
7	障がい者生活支援サービス費【障がい福祉課】	2,711,640円
(1)	位置情報支援サービス費	
	行方不明になるおそれのある障がい者の家族の不安を解消するために、GPSシステムを利用した位置情報提供による支援を実施しました。	
	利用登録者数(3月末現在) 12人	
(2)	「食」の自立支援費	
	「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし障がい者等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。	
	利用登録者数(3月末現在) 19人	
	延べ配食数 5,436食	
(3)	訪問理美容サービス費	

外出困難な障がい者の保健衛生の向上を図るため、理美容師の出張費相当額の助成を行いました。

利用回数 延べ100回

8 障がい者就労・生活支援センター費【障がい福祉課】

3,004,000円

運営を豊田市福祉事業団に委託し、障がい者が地域生活において自立と社会参加ができるよう関係機関とのネットワークを活用することで、個々のニーズに応じた就労・生活支援を行いました。

9 障がい者就業・生活支援センター運営費補助金(10/10)

【障がい福祉課】 205,000円

10 障がい者理解・啓発促進事業費【障がい福祉課】126,000円

市民活動団体等との共働による世界自閉症啓発デー等に合わせた啓発事業や障がい当事者による講演を含む心のバリアフリー推進講座を実施し、障がい理解の推進を図りました。

11 障がい者優先調達推進費【障がい福祉課】10,284,500円

障がい者就労施設等の製品を販売する置き型菓子ボックスを公共施設等に設置したほか、共同受注窓口として発注や相談に応じることで、販路の拡大を図りました。

12 障がい福祉事業従事者育成確保費【障がい福祉課】

1,175,000円

強度行動障がい支援者養成研修として、基礎研修に加えて新たに実践研修を実施し、強度行動障がい者支援の充実を図りました。

13 障がい福祉事業所等災害・感染症対策費【障がい福祉課】

49,187,270円

障がい福祉サービス等事業所の職員に対し、新型コロナウイルス感染症のスクリーニング検査を実施しました。

延べ 10,037人

14 障がい者社会参加促進費【障がい福祉課】 118,000円

(1) 自発的活動費補助金(1/2)

障がい者等で構成される団体が行う、地域での自発的な活動及び事業に対して補助しました。

(2) 全国ろうあ者体育大会派遣費補助金(1/4)

全国ろうあ者体育大会に愛知県代表選手として出場する聴覚障がい者の派遣費用の一部を補助しました。

15 障がい者虐待防止・養護者支援費【福祉総合相談課】

22,650円

障がい者虐待への適切な対応と支援を図るため、関係機関との連携協力体制を整備し、障がい者虐待の早期発見及び防止に努めまし

た。

16 福祉交通対策費【障がい福祉課】 29,371,042円

(1) ハンディキャブ運行費補助金(2/3)

ボランティアによるリフト付き福祉車両を運行する団体に対し
事業費の一部を補助しました。

送迎回数 1,403回

(2) 福祉交通対策負担金

単独で公共交通機関を利用することが困難な障がい者等の外出
手段を確保するため、施設送迎車両の空き時間を利用して送迎を
行いました。

送迎回数 883回

(3) 外出支援サービス委託費

公共交通機関を利用できない障がい者等に対して、通院等の移
送サービスを実施しました。

旭地区 38回

(4) 福祉有償運送運営協議会費

障がい者等の移動制約者の生活に必要な輸送を確保するため、
NPO法人等が行う福祉有償運送に関し、必要な事項を協議しま
した。

17 福祉事業団運営費補助金(10/10)【障がい福祉課】

1,262,122,362円

18 サービス継続支援事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】

2,304,000円

新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合において、
必要な障がい福祉サービスが継続して提供されるよう、感染拡大防
止に係る消毒液等の購入費や人員不足の事業所に対する職員の応援
派遣に係る経費を補助しました。

補助件数 5件

19 ICT導入モデル事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】

5,654,000円

障がい福祉サービス等事業所が新型コロナウイルス感染拡大防止
と生産性向上のためにICTを導入する際の経費を補助しました。

補助件数 10件

20 ロボット等導入支援事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】

882,000円

障がい者支援施設等事業者が介護業務の負担軽減等を図るために
ロボット技術を導入する際の経費を補助しました。

補助件数 2件

2 1 特別障がい者手当等給付費【障がい福祉課】

193,434,100円

日常生活において常時特別な介護を必要とする最重度の身体・知的障がい者（児）の生活安定のため、手当を支給しました。

受給者数（3月末現在）

特別障がい者手当 420人

障がい児福祉手当 224人

経過福祉手当 3人

2 2 障がい者手当給付費【障がい福祉課】 771,002,500円

(1) 心身障がい者扶助料給付費

障がい者（児）の生活安定と福祉増進を図るため、手当を支給しました。

助成額（月額）

4,500円 身体1・2級、知的A判定、精神1級

4,000円 身体3級、知的B判定、精神2級

2,500円 身体4～6級、知的C判定、精神3級

受給者数（3月末現在） 16,416人

(2) 在宅重度心身障がい者手当給付費

日常生活に介護を要する在宅の重度障がい者（児）の福祉増進を図るため、手当を支給しました。

受給者数（3月末現在） 536人

2 3 障がい者更生援護費【障がい福祉課】 41,617,383円

(1) タクシー料金助成費

公共交通機関による移動が困難な障がい者にタクシー料金の一部を助成することで、障がい者の社会参加の促進を図りました。

助成額（年額）

16,000円 身体1・2級、知的A判定、精神1級

12,000円 身体3級、知的B判定、精神2級

4,000円 視覚障がい4～6級、下肢障がい4級

交付者数 10,555人

(2) 心身障がい者扶養共済掛金助成費

障がい者の保護者が死亡又は重度障がい者となった場合の経済的保障となる愛知県心身障がい者扶養共済制度の掛金の一部（一口目の60%）を補助しました。

助成者数（3月末現在） 92人

(3) 福祉電話設置費

ひとり暮らしの在宅重度障がい者の自宅に、福祉電話の設置を行い、コミュニケーション手段の確保を行いました。また、緊急

通報システムの設置により、安心かつ安全な生活の確保に努めました。

福祉電話訪問利用者数(3月末現在) 1人

緊急通報システム設置者数(3月末現在) 22人

(4) 中等度難聴児支援費

中等度以下の難聴児に対して適切な補聴器装用を奨励するために補聴器の購入等費用の3分の2を助成しました。

助成件数 31件

24 難病患者支援費【保健支援課】 46,099,074円

特定医療費受給者又は特定疾患医療給付事業受給者のうち対象となる方に支援金を支給しました。

給付者数 1,536人

25 障がい者福祉費過年度国県支出金返還金 3,724,568円

【福祉総合相談課・障がい福祉課】

◆特記事項

・福祉事業団運営費補助金において、人件費の精算を行ったことにより、

27,878千円の不用額が生じました。【障がい福祉課】

・サービス継続支援事業費補助事業において、国の補正予算(第2号)

に対応し、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【障がい福祉課】

3- 2- 2目 障がい者自立支援費

		(前年度)
当初予算額	7,744,529,000円	(7,238,007,000円)
予算現額	8,059,033,917円	(7,412,914,000円)
決算額	8,053,273,965円	(7,410,003,577円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	5,759,952円	(2,910,423円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(障がい支援区分等認定審査会委員10人)【障がい福祉課】

1,753,300円

2 自立支援事務費【障がい福祉課】 17,032,459円

3 自立支援協議会運営費【障がい福祉課】 104,100円

4 介護給付費【障がい福祉課】 4,367,352,166円

(1) 居宅介護費

日常生活に支障のある障がい者(児)の家庭で食事・入浴等の介護や調理、清掃等の援助を行い、障がい者(児)の自立支援と

家族の介護負担の軽減を図りました。

利用者数 444人(3月利用実績)

延べ提供量 247,036時間

(2) 生活介護費

障がい者の自立促進、生活能力向上のため、食事、入浴、創作的活動、生産活動等の日中活動を提供し、自立の支援と家族の負担軽減を図りました。

利用者数 868人(3月利用実績)

延べ提供量 196,776日

(3) 短期入所費

障がい者(児)の在宅生活の維持向上等のために、短期間入所施設等で食事や入浴、排せつ等の介護等を行い、障がい者(児)の家族の介護負担の軽減を図りました。

利用者数 173人(3月利用実績)

延べ提供量 10,651日

(4) 療養介護費

18歳以上のALS患者・筋ジス患者・重症心身障がい者について、専門の医療機関において機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を実施しました。

利用者数 33人(3月利用実績)

延べ提供量 12,514日

(5) 施設入所支援費

施設入所する人の安定した日常生活のため、夜間や休日における食事、入浴、排せつの介護等の支援を実施しました。

利用者数 238人(3月利用実績)

延べ提供量 85,532日

5 障がい者福祉サービス費還付金【障がい福祉課】

4,570,277円

同一世帯の障がい者等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払により支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数 高額障がい者福祉サービス費還付金 延べ441件

障がい者福祉サービス費還付金 延べ 17件

6 訓練等給付費【障がい福祉課】 2,597,824,232円

(1) 共同生活援助費

障がい者の地域生活を支援するため、夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行い、障がい者の自立を支援しました。

利用者数 344人(3月利用実績)

延べ提供量 120,114日

(2) 就労継続支援費

一般企業での雇用が困難な障がい者に対し、就労や生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

利用者数 907人(3月利用実績)

延べ提供量 170,244日

(3) 就労移行支援費

企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

利用者数 180人(3月利用実績)

延べ提供量 39,280日

(4) 就労定着支援費

一般就労した障がい者に対し、企業、自宅等へ訪問するなど、課題解決に向けて必要な支援を実施し就労の定着を図りました。

利用者数 44人(3月利用実績)

延べ提供量 486日

(5) 自立訓練費

日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行いました。

利用者数 42人(3月利用実績)

延べ提供量 5,440日

7 更生医療支給費【障がい福祉課】 288,258,161円

身体障がい者(主に腎臓、心臓、免疫機能)の障がいの状態の軽減を図るため、施術等の医療費の一部を支給しました。

給付者数 910人

8 補装具費支給費【障がい福祉課】 70,983,299円

身体障がい者等の身体上の障がいを補うための用具の購入や修理に要する費用の一部を支給しました。

給付件数 649件

9 地域生活支援費【福祉総合相談課・障がい福祉課】 491,435,547円

(1) 移動入浴費

寝たきり等のため家庭において入浴が困難な在宅重度身体障がい者(児)の健康と衛生を維持するため、移動入浴車を各家庭に派遣し、移動入浴を実施しました。

利用者数 66人(3月利用実績)

延べ提供量 6, 853回

(2) 日中一時支援費

障がい者(児)の地域生活を援助するため、食事、入浴、創作的活動、生産活動等の日中活動の提供を行い、障がい者(児)の自立支援と家族の負担軽減を図りました。

地域デイ 利用者数 77人(3月利用実績)

延べ提供量 8, 167日

日中短期 利用者数 111人(3月利用実績)

延べ提供量 4, 281日

(3) ケアスタッフ居宅派遣費

地域で生活する重度全身性障がい者(児)の居宅に、早朝、夜間等のヘルパーが派遣できない時間帯にケアスタッフを派遣し、障がい者(児)の自立生活の支援を実施しました。

利用者数 10人(3月利用実績)

延べ提供量 1, 334時間

(4) 教養教室等開設費

障がい者の教養を高め、自主性の高揚を図るため、各種教養教室を開催しました。また、豊田市民文化会館において障がい者作品展を開催しました。

教養教室 延べ受講者数 2, 443人

作品展 出展者数 692人

入場者数 1, 314人

(5) 成年後見制度利用支援費

判断能力が不十分な障がい者の権利を守り、法的保護を図るため、成年後見制度の利用促進を目的とした豊田市成年後見支援センターの運營業務を委託し、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数 259件(高齢者等を含む。)

利用支援事業助成件数 25件

(6) 意思疎通支援費

意思疎通に支障のある障がい者に手話通訳者等を派遣するとともに手話奉仕員等の養成講座や市民向けの手話体験会を実施しました。新たに点字体験会の実施や医療機関版コミュニケーション支援ボードの作製を行い、意思疎通の円滑化を図りました。

意思疎通支援者派遣回数 708回

手話奉仕員講習会 受講者数 38人

要約筆記奉仕員講習会 受講者数 3人

点訳講習会 受講者数 2人

手話通訳者養成講習会 受講者数 7人

- 要約筆記者養成講習会 受講者数 0人
- (7) 地域活動支援センター費
自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対し、創作的活動や日中活動場所の提供をしました。
利用者数 17人(3月利用実績)
延べ提供量 2,547日
- (8) 福祉ホーム運営費補助金(10/10)
交付団体数 2か所
利用者数 26人(3月末現在)
- (9) 日常生活用具給付費
在宅の障がい者等の日常生活を円滑にするために、日常生活用具及び住宅改修に係る給付を行いました。
ストーマ用装具、紙おむつ、動脈血中酸素飽和度測定器等
給付件数 4,552件
- (10) 移動支援費
屋外での移動が困難な障がい者(児)にヘルパーを派遣し、外出のための支援を行うことで、社会参加の促進を図りました。
利用者数 300人(3月利用実績)
延べ提供量 30,181時間
- (11) 障がい者就労支援奨励金支給費
就労支援事業所等を利用する障がい者に対して、奨励金を支給し、障がい者の就労意欲の向上と継続的な就労活動を支援しました。
利用者数 1,323人
利用施設 143施設
- (12) 自動車運転免許取得・改造助成費
身体障がい者の就労・社会参加促進のため、自動車運転免許取得に要する費用及び免許の条件に合致する自動車改造に要する費用の一部を助成しました。
自動車運転免許取得費助成数 4人
自動車改造費助成数 13人
- (13) 知的障がい者職親費
相当な作業能力を持ちながら就職が難しい知的障がい者を事業主が預かり、職場に定着できるように指導訓練を行いました。
利用者数 2人(3月末現在)
- (14) デイ型地域活動支援センター費
自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対し食事、入浴及び排せつの介護等を行い、創作的活動又は

3款 民生費

生産活動の機会を提供しました。

利用者数 0人(3月利用実績)

延べ提供量 416日

10 重層的支援体制整備事業費 138,983,749円

【障がい福祉課・保健支援課】

(1) 相談支援費

障がい者(児)及び家族に対して生活支援、相談、福祉サービス利用に関する助言等を総合的に行うため、相談支援事業の委託を行い、障がい者(児)が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように支援しました。

実績

福祉サービスの利用に関する支援	8,411件
障がいや病状の理解に関する支援	935件
健康・医療に関する支援	1,043件
不安の解消・情緒安定に関する支援	1,568件
保育・教育に関する支援	355件
家族関係・人間関係に関する支援	801件
家計・経済に関する支援	780件
生活技術に関する支援	837件
就労に関する支援	528件
社会参加・余暇活動に関する支援	339件
権利擁護に関する支援	233件
その他	1,116件
合計	16,946件

(2) 地域活動支援センター運営費

精神障がい者とその家族等に、相談や日中活動場所等を提供するため、医療法人及び社会福祉協議会に事業を委託しました。

委託先 3か所

11 相談支援給付費【障がい福祉課】 74,976,675円

障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細かな支援をしました。

延べ利用者数 4,723人

3款 民生費

3- 2- 3目 障がい者福祉施設費		(前年度)
当初予算額	520,444,000円	(452,698,000円)
予算現額	655,578,000円	(435,793,000円)
決算額	387,024,673円	(395,763,450円)
翌年度繰越額	229,900,000円	(33,153,000円)
不用額	38,653,327円	(6,876,550円)
<hr/>		
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		229,900,000円
民間障がい者施設整備費補助事業		150,000,000円
障がい者福祉会館長寿命化改修事業		79,900,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 障がい者総合福祉会館費【障がい福祉課】	100,156,861円	
施設の長寿命化工事を行いました。		
指定管理者 (社福)豊田市社会福祉協議会		
障がい者福祉会館延べ利用者数	23,950人	
サン・アビリティーズ豊田延べ利用者数	22,041人	
2 けやきワークス費【障がい福祉課】	24,955,944円	
指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団		
定員 50人 契約者 38人(3月末現在)		
3 第二ひまわり費【障がい福祉課】	37,426,970円	
指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団		
定員 70人 契約者 58人(3月末現在)		
4 重症心身障がい者通所施設費(暖)	37,366,874円	
【障がい福祉課・建築予防保全課】		
建具修繕等を行いました。		
指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団		
定員 36人 契約者 31人(3月末現在)		
5 さくらワークス費	78,680,487円	
【障がい福祉課・建築予防保全課】		
浄化槽修繕を行いました。		
指定管理者 (社福)こじま福祉会		
定員 36人 契約者 24人(3月末現在)		
6 知的障がい者グループホーム費【障がい福祉課】	2,051,280円	
指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団		
定員 7人 契約者 4人(3月末現在)		

3款 民生費

- 7 障がい者施設設置支援費【障がい福祉課】 5, 858, 047円
公共施設活用管理費
民間事業所に貸与している施設等の維持管理を行いました。
- 8 民間障がい者施設運営費補助金(10/10)【障がい福祉課】
25, 183, 000円
社会福祉法人等が経営する社会福祉施設の利用者の処遇向上と健全経営への取組に対して、運営費等の一部を補助しました。
運営費補助 17か所
償還金補助 5か所
- 9 グループホーム等設置促進費【障がい福祉課】
52, 487, 380円
障がい者が地域で生活していくための居住の場の運営費の一部を補助しました。
運営費補助 44か所
家賃補助 42か所
賃貸運営費補助 1か所
- 10 重症心身障がい者等支援費【障がい福祉課】
22, 857, 830円
- (1) 移動支援費
重症心身障がい者等本人が希望に沿った生活を送られるよう、日中活動の場への送迎支援を行いました。
送迎回数 延べ136回
- (2) 短期入所利用支援事業費補助金(定額)
重症心身障がい者(児)を受け入れた短期入所事業所に対し、費用の一部を補助し、本人及び家族の福祉の向上を図りました。
交付事業所 2か所
- (3) グループホーム受入促進事業費補助金(10/10)
重度障がい者等を受け入れられる手厚い支援体制を確保するために、グループホームの運営費の一部を補助しました。
交付事業所 2事業所(3住居)
受入日数 2, 058日
- (4) 家族介護者負担軽減事業費補助金(10/10)
緊急時においても、預け先があるといった安心感を確保するとともに、在宅生活を支える重症心身障がい者等の家族負担を軽減するために、受け入れた医療機関に対し、費用の一部を補助しました。
利用者数 28人
利用日数 1, 278日

3款 民生費

◆特記事項

・民間障がい者施設整備費補助事業において、6月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【障がい福祉課】

・障がい者福祉会館長寿命化改修事業において、9月議会で138,860千円増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【障がい福祉課】

3- 3- 1目 老人福祉総務費

(前年度)

当初予算額	1,759,836,000円	(1,659,863,000円)
予算現額	1,985,346,863円	(1,766,471,930円)
決算額	1,687,147,473円	(1,537,182,522円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	298,199,390円	(229,289,408円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(入所判定委員会委員3人)【福祉総合相談課】

142,200円

2 老人福祉総務事務費【高齢福祉課・介護保険課】

1,136,866円

3 介護保険制度施行推進費【介護保険課】

2,711,735円

(1) 社会福祉法人利用者負担軽減対策費補助金(1/2)

1,099,635円

社会福祉法人が行う介護サービスの利用者負担を減額することにより、低所得利用者の負担軽減を図りました。市は社会福祉法人が自ら減額した金額に応じて、社会福祉法人に対して助成を行いました。

助成法人 3法人

(2) 在宅サービス低所得者負担軽減対策費 1,612,100円

低所得者の介護サービスの利用支援として、ホームヘルプ、デイサービス、ショートステイの利用者負担額の2割を軽減しました。

延べ利用者数 468人

4 認知症対策費【高齢福祉課】

630,180円

(1) 認知症地域共生推進費

認知症になっても安心して暮らせる社会を実現するため、若年性認知症を含めた早期発見、本人・家族会の開催等を実施しました。

若年性認知症本人・家族会 11回

- 5 重層的支援体制整備事業費 728,475,591円
 【福祉総合相談課・高齢福祉課・地域保健課】
- (1) 地域包括支援センター運営費 713,763,664円
 市内に29か所(基幹型地域包括支援センター1か所を含む。)設置し、高齢者の介護・福祉・保健・医療等の総合相談、高齢者の権利擁護の支援、地域のネットワークづくりを行いながら、地域における高齢者の生活を支援しました。
 高齢者やその家族に対する相談・対応 延べ187,699件
 介護保険の要支援者の介護予防支援 延べ29,728人
 事業対象者等の介護予防ケアマネジメント延べ16,936人
 介護予防教室・家族介護交流会開催 305回
- (2) 地域介護予防活動支援事業費 1,933,527円
 健康づくり・介護予防事業終了者などの自主活動グループに対し、講師派遣などの支援を実施しました。
 自主活動グループ数 199グループ
- (3) 生活支援体制整備事業費 12,778,400円
 支え合いの地域づくりのため、コミュニティソーシャルワーカーを配置し(社会福祉協議会委託)、高齢者を中心とした地域の課題解決に向けた協議・連携体制づくりを行いました。
- 6 在宅医療・介護連携推進費【地域包括ケア企画課】
 2,698,326円
 在宅療養を支える医療・福祉関係者の情報共有ツール「豊田みよしケアネット」の運用を行いました。
 豊田みよしケアネット登録施設数 458施設(771人)
 登録患者数 205人
- 7 介護人材確保事業費【介護保険課】 8,690,962円
 介護に関わる人材の定着・確保・育成を支援するための取組を行いました。
 キャリアアップ支援研修 受講者数 33人
 介護の仕事セミナー・相談会 参加者数 151人
 外国人材日本語学習支援講座・介護福祉士国家試験対策講座
 受講者数 21人
- 8 介護事業所等災害・感染症対策費【介護保険課】
 228,657,660円
 高齢者施設等職員に対し、新型コロナウイルス感染症のスクリーニング検査を実施しました。
 延べ 48,342人
- 9 生活支援サービス費【高齢福祉課・介護保険課】

- 258,151,234円
- (1) シルバーカー購入費助成費 2,218,907円
 高齢者の外出する機会を増やすことで、介護予防と社会参加の促進を図るため、歩行の補助として使うシルバーカーの購入費を助成しました。
 助成券利用者数 224人
- (2) ひとり暮らし高齢者等移動費助成費 24,214,230円
 日常生活に介護又は支援を要するひとり暮らし高齢者等に地域社会の中で自立した生活を送ることができるように、タクシー料金の助成を行いました。
 助成券交付者数 3,910人
- (3) 「食」の自立支援費 180,901,587円
 「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし高齢者や高齢世帯等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。
 利用登録者数(月平均) 1,617人
 延べ配食数 403,679食
- (4) すこやか住宅リフォーム助成費 44,202,231円
 要支援・要介護認定者に対し、自宅のバリアフリー化により生活環境の改善を図り、住み慣れた地域で継続して生活ができるように住宅改修費の一部を助成しました。
 助成件数 403件
- (5) 寝具貸与・クリーニング等サービス費 884,091円
 衛生管理が困難な高齢者に対し、寝具貸与とクリーニング等のサービスを実施しました。
 延べ利用者数 224人
- (6) 訪問理美容サービス費 157,000円
 理美容所へ出掛けることが困難な高齢者が自宅で散髪などのサービスを受けやすくするために、理美容師の出張費相当額を助成しました。
 交付者数 152人、延べ利用回数 157回
- (7) 家族リフレッシュショートステイ利用費 5,573,188円
 介護する家族の疲れを癒し、介護に対する心身の負担感の軽減を目的として、介護保険の給付限度額を超えた分のショートステイ利用額を1年に5日を上限に助成しました。
 延べ利用件数 338件
 延べ利用日数 693日

10 安心支援サービス費【福祉総合相談課・高齢福祉課】

33,909,077円

(1) 福祉電話設置費 1,556,788円

介護認定のあるひとり暮らし高齢者に対して福祉電話訪問を行い、孤独感の解消と安否確認を行いました。また、呼吸器、循環器等の疾患があるひとり暮らし高齢者に対しては、緊急通報システムを設置し、日常生活での不安解消と安全確保に努めました。

福祉電話訪問利用者数(4年度末) 27人

緊急通報システム設置者数(4年度末) 65人

(2) 成年後見制度利用支援費 31,793,789円

判断能力が不十分な高齢者の権利を守り、法的保護を図るため成年後見制度の利用促進を目的とした豊田市成年後見支援センターの運営委託を行い、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数 259件(障がい者等を含む)

(3) お元気ですかボランティア訪問費 558,500円

ひとり暮らし高齢者等の話を傾聴し、孤独感の解消を図るお元気ですかボランティアによる高齢者宅への訪問活動を実施しました。

ボランティア総数(4年度末) 192人

訪問回数 1,020回

1.1 家族介護支援対策費【福祉総合相談課・高齢福祉課】

11,554,142円

(1) 徘徊高齢者家族支援費 900,600円

高齢者が行方不明となった場合に早期発見並びに保護するために、対象者情報の事前登録、見守り安心マークの配布及び行方不明高齢者情報のメール配信を実施しました。また、事前登録者を対象に、介護する家族の心理的負担を軽減するため、個人賠償責任保険事業を実施しました。

事前登録者数(4年度末) 462人

個人賠償責任保険加入者数(4年度末) 443人

見守り安心マーク配布者数 315人

行方不明高齢者情報配信メール 36件

(2) 生活管理指導短期宿泊費 10,298,572円

日常生活を営むのに支障がある高齢者等に対して、養護老人ホームへの短期宿泊等の支援を行いました。

利用者数 17人 延べ利用日数 970日

(3) 徘徊者搜索機器利用促進費補助金(10/10)

354,970円

認知症により行方不明になるおそれがある高齢者等に対して、

3款 民生費

G P S 機器の導入費用を助成しました。

補助件数 19件

12 老人福祉施設措置費【福祉総合相談課】127,525,624円

日常生活に支障がある高齢者に対して心身の状況、その置かれている環境を勘案し、養護老人ホームへの入所措置を行いました。

措置者数(4年度末) 48人

13 在宅老人緊急保護費【福祉総合相談課】5,676,964円

自立した生活を営むことが困難で身寄りが無い等のやむを得ない事由のある高齢者に対して、特別養護老人ホームへの入所措置を行いました。

措置者数(4年度末) 5人

14 敬老金支給費【高齢福祉課】27,115,753円

贈呈者数: 80歳 3,891人

90歳 1,154人

100歳 75人

15 高齢者住宅等安心確保サービス費【高齢福祉課】796,400円

シルバーハウジング入居者に対して、緊急通報装置を設置し、安心して暮らすことができるように努めました。

設置戸数(4年度末) 136戸

16 高齢者虐待防止・養護者支援費【福祉総合相談課】44,540円

高齢者虐待への適切な対応と支援を図るため、関係機関との連携協力体制を整備し、高齢者虐待の早期発見及び防止に努めました。

17 高齢者活動推進費【市民活躍支援課】123,113,383円

(1) 高齢者活動事務費 791,000円

(2) 作品展開催費 1,064,000円

出品点数 277点 来場者数 2,223人

(日本画、書道、工芸、洋画、写真、手芸)

(3) 高齢者活動事務交付金 32,041,460円

高齢者クラブ活動を通じて、自主的な社会貢献活動を促進し、地域活動の担い手となり共働のまちづくりを推進するため、単位クラブの活動を支援しました。

単位クラブ数 181クラブ 会員数 19,145人

加入率 15.6%(会員数/60歳以上人口)

加入率 18.5%(会員数/65歳以上人口)

(4) 高齢者クラブ連合会補助金(8/10)

10,312,359円

(5) 高齢者能力活用推進費補助金(10/10)

77,364,849円

3款 民生費

高齢者の生きがいづくり及び多様な社会参加の促進を図るため
(公社)豊田市シルバー人材センターに補助を行いました。

会員数 2,081人

就業延べ人数 147,525人

配分金 633,822,792円

(6) 憩の家管理運営費補助金(1/2・定額)

1,539,715円

憩の家数 174か所

18 金婚祝賀会開催費【市民活躍支援課】 2,111,285円

写真撮影組数 432組

19 避難行動要支援者対策費【福祉総合相談課】 2,947,518円

災害時における避難行動要支援者の支援体制の確立を目的として、
対象者リストの整備と地域の避難支援等関係者への情報提供に同意
を得られた人の名簿の配布を行いました。

避難行動要支援者数及び同意者数(4年度末)

対象者8,154人、同意者6,552人、同意率80.4%

20 老人ホーム入所者生活補給金【福祉総合相談課】 441,000円

養護老人ホーム入所者のうち、無収入又は収入が低額な人に対し
生活補給金を支給しました。

支給人数(4年度末) 4人

21 介護事業所等サービス継続支援費補助金(10/10)

【介護保険課】 46,189,000円

新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合において、
必要なサービスが継続して提供されるよう、感染拡大防止に係る消
毒液等の購入費用や人員不足の事業所に対する職員の応援派遣に係
る経費、施設内療養に対する経費を補助しました。

51事業所

22 介護保険関係研修受講料補助金(1/2)【介護保険課】

647,000円

介護サービス事業所職員の研修受講料の助成を行いました。

法人数 13法人

受講者数 19人

23 軽費老人ホーム利用料補助金(10/10)【高齢福祉課】

60,472,200円

軽費老人ホーム利用者の利用料負担の軽減と施設の健全な運営を
図るため、施設を運営する社会福祉法人に補助を行いました。

ホーム利用者数(4年度末) 100人

24 老人保健医療事業費【福祉医療課】 793,188円

3款 民生費

- 小型吸収冷温水機オーバーホール修繕等を行いました。
- (3) 施設整備費 90,833,465円
要介助者向け入浴施設増設工事等を行いました。
- 3 温浴施設費【高齢福祉課】 117,117,877円
指定管理者 (株)豊田ほっとかん
年間利用者数:95,734人
- 4 福祉就業センター費【市民活躍支援課・建築予防保全課】
21,749,158円
(1) 管理運営費 13,939,246円
指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター
(2) 施設保全費 7,809,912円
ふれあいの家軒樋補修修繕等を行いました。
- 5 養護老人ホーム費【高齢福祉課】 440,366,000円
(1) 施設整備費 23,936,000円
養護老人ホームの解体費用の一部を負担しました。
(2) 養護老人ホーム改築費補助金(3/4)
416,430,000円
養護老人ホームの改築に係る費用の一部を補助しました。
- 6 特別養護老人ホーム等費【介護保険課】 39,611,000円
(1) 建設費補助金(1/2・定額) 3,570,000円
緊急ショートステイの建設費等の一部を補助しました。
(2) 施設開設準備経費助成特別対策事業等補助金(定額)
4,200,000円
訪問看護ステーションサテライト型事務所の開設準備経費の一部を補助しました。
(3) 防災改修等補助金(3/4・定額) 3,019,000円
認知症高齢者グループホーム1施設の大規模修繕に係る費用の一部を補助しました。
(4) 施設整備費補助金(定額) 28,822,000円
特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等9施設の家族面会室の整備等経費の一部を補助しました。

3款 民生費

3- 3- 3目 後期高齢者医療費			(前年度)
当初予算額	4,617,656,000円	(4,412,426,000円)
予算現額	4,606,469,000円	(4,358,918,000円)
決算額	4,601,409,739円	(4,344,140,214円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	5,059,261円	(14,777,786円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	後期高齢者医療健診費【(保)総務課】	221,604,400円	
	対象者	後期高齢者医療制度被保険者(おおむね75歳以上)	
	受診者数	16,606人	
	受診率	32.8%	
2	療養給付費負担金【福祉医療課】	3,472,854,000円	
		豊田市の療養給付費負担分(全体のうち約1/12)を負担しました。	
	被保険者数	52,201人(年度平均)	
3	後期高齢者医療広域連合事務費負担金【福祉医療課】	67,246,339円	
		愛知県後期高齢者医療広域連合事務費豊田市分を負担しました。	
4	後期高齢者医療特別会計繰出金【福祉医療課】	839,705,000円	
	(1) 保険基盤安定繰出金	693,683,000円	
	(2) 職員給与費繰出金	75,744,000円	
	(3) 後期高齢者医療事務費繰出金	70,278,000円	
3- 4- 1目 児童福祉総務費			(前年度)
当初予算額	4,352,547,000円	(4,137,396,000円)
予算現額	4,924,333,874円	(4,451,062,887円)
決算額	4,658,261,924円	(4,007,737,130円)
翌年度繰越額	0円	(94,600,000円)
不用額	266,071,950円	(348,725,757円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	人件費(子どもの権利擁護委員4人、子どもにやさしいまちづくり推進会議委員19人、一般職54人、非常勤一般職208人)		
	【こども・若者政策課・人事課】	712,370,395円	

3款 民生費

2	非常勤一般職管理事務費【人事課】	8, 108, 330円
3	児童福祉総務事務費【保育課】	1, 809, 867円
4	児童相談等事務費【こども家庭課】	548, 129円
5	育児電話相談費【こども家庭課】	13, 068, 792円
	コールセンター育児相談件数	3, 363件
6	児童虐待防止費【こども家庭課】	8, 745, 018円
(1)	産前産後支援費	4, 172, 998円
	妊婦又は乳幼児を養育する家庭にヘルパーを派遣しました。	
	派遣時間	1174.5時間
(2)	養育支援訪問費	211, 700円
	養育支援が必要な家庭に対し、ヘルパーを派遣して育児や家事を援助しました。	
	ヘルパー派遣	4家庭 73回
(3)	児童虐待防止対策費	4, 360, 320円
	児童虐待の適切な対応のためスーパーバイザーによる職員向けの研修、助言等を実施し、虐待防止のため市民向けの教育や啓発を実施しました。	
	研修、助言等	52回
	児童虐待防止教育(CAPプログラム)	23か所 77回 1, 439人
	11月の「児童虐待防止推進月間」における広報・啓発活動	
7	児童手当等支給事務費【こども家庭課】	1, 982, 551円
8	特別児童扶養手当支給事務費【障がい福祉課】	246, 168円
9	病児保育事業費【保育課】	23, 860, 770円
	病気やケガの回復期にある児童(病後児)又は回復期に至らない児童(病児)などの集団保育が困難な児童等を市が委託した施設で一時的に預かり、子育てと仕事の両立を支援しました。	
	実施施設	2施設 利用延べ人数 460人
10	子育てサロン管理運営費【保育課】	5, 091, 000円
	実施交流館	23交流館 利用者 59, 741人
11	とよた子育て総合支援センター費【保育課】	12, 357, 672円
	ファミリー・サポート・センター事業活動件数	4, 941件
12	志賀子どもつどいの広場費【建築予防保全課】	165, 429円
	調理室空調機修繕等を行いました。	
13	柳川瀬子どもつどいの広場費【建築予防保全課】	211, 200円
	フェンス門扉修繕を行いました。	
14	子ども条例費【こども・若者政策課】	2, 801, 398円

子どもが幸せに暮らすことができるまちを実現するため、子ども会議の開催や、こども園、小中学校などでの子どもの権利学習プログラムなどの実施を通じて、子ども条例の推進を図りました。

子ども会議の開催 12回

権利学習プログラム実施対象 5歳児、小1、小3、小5、中2

15 子どもの権利相談室費【こども・若者政策課】

1,502,488円

子どもの権利擁護委員・子どもの権利相談員による相談を通して子どもの権利の侵害について、その救済を図り、権利の回復を支援しました。

新規相談件数 95件

相談延べ回数 722回

16 子どもの居場所づくり推進費【こども・若者政策課】

32,104,584円

主に地域住民による運営で、地域の中に子どもたちが活動する場や大人たちと交流する場を提供する「地域子どもの居場所づくり事業」を実施しました。

実施地区 42地区

17 放課後児童健全育成費【こども・若者政策課】

1,369,294,106円

就労等で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後児童クラブを開設し、児童の健全育成に努めました。また、クラブの支援内容充実のため、研修を実施しました。

開設校数 71校

参加人数 3,954人(夏季 5,464人)

市主催研修 10回

18 保育ママ事業費【保育課】

10,415,964円

待機児童対策として、保育ママと市の共働による保育を実施しました。

山之手こども園 延べ利用児童数 18人

19 認証保育所交付金【保育課】

70,160,000円

豊田市独自の認証基準に基づき認可外保育施設を評価し、決定した認証区分に基づき交付金を交付し、保育環境改善を図りました。

認証保育所数 21施設

20 私立こども園振興費【保育課】

515,986,517円

職員の処遇向上、施設の運営改善、保育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。また、物価高騰対策として、給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

私立こども園 9園

園児数 1, 131人(令和4年4月1日時点)

- 2 1 私立認定こども園振興費【保育課】 1, 176, 148, 976円
 職員の処遇向上、施設の運営改善、教育・保育内容及び施設の充
 実を図るため、運営費等の一部を補助しました。また、物価高騰対
 策として給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

私立認定こども園 22園

園児数 4, 199人(令和4年4月1日時点)

- 2 2 家庭的保育事業等振興費【保育課】 3, 328, 440円
 職員の処遇向上を図るため、人件費等の一部を補助しました。ま
 た、物価高騰対策として、給食材料費に係る経費の一部を補助しま
 した。

家庭的保育事業等 4園

- 2 3 認可外保育施設振興費【保育課】 10, 205, 640円
 物価高騰対策として、給食材料費及び光熱費に係る経費の一部を
 補助しました。

交付施設数 56園

- 2 4 新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金(10/10)
 【保育課】 27, 691, 000円
 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、衛生用品の購入等
 に係る経費に対して補助しました。

私立こども園(保育所) 5園

幼保連携型認定こども園 20園

地域型保育事業 2園

認可外保育施設 31施設

一時預かり(幼稚園型II)事業 1園

- 2 5 重層的支援体制整備事業費【保育課】 121, 364, 286円
 (1) 地域子育て支援センター管理運営費 14, 051, 951円
 足助、飯野、伊保、越戸、堤、渡刈、宮口、山之手、若園、稲武
 大草、大沼、杉本の各子育て支援センターにおいて、子育て中の家
 庭への育児支援を目的とした講座等の開催、育児相談、遊び場の提
 供及び情報提供を行いました。

来所者数 13センター 計 53, 696人

相談件数 1, 069件

- (2) とよた子育て総合支援センター管理運営費 86, 316, 619円
 子育て支援の中核施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提
 供及びサークル育成を行いました。

3款 民生費

	来所者数	97,266人
	相談件数	129件
(3)	志賀子どもつどいの広場管理運営費	4,383,614円
	単独型の支援施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提供及び屋外施設等を利用して地域との交流活動を行いました。また、施設の適切な維持管理に努めました。	
	来所者数	26,588人
	相談件数	110件
(4)	柳川瀬子どもつどいの広場管理運営費	16,612,102円
	民間の子育て支援団体との共働で運営し、育児相談、遊び場の提供及び情報提供を行いました。また、施設の適切な維持管理に努めました。	
	来所者数	35,969人
	相談件数	310件
26	児童福祉費過年度国県支出金返還金	528,693,204円
	【こども・若者政策課・こども家庭課・保育課】	

3- 4- 2目 児童措置費

		(前年度)
当初予算額	12,215,412,000円	(12,422,205,000円)
予算現額	11,986,308,325円	(12,083,745,200円)
決算額	11,845,399,740円	(12,014,485,422円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	140,908,585円	(69,259,778円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	教育・保育給付費【保育課】	5,197,354,288円
	私立こども園等の児童の教育・保育の経費(施設型給付費、委託費、地域型保育給付費)を支払いました。	
	また、市外の保育園等に通園した豊田市民の児童の教育・保育に要する費用も支払いました。	
	給付対象児童数	5,665人(令和4年4月1日時点)
2	子育て支援施設等利用給付費【保育課】	46,382,290円
	預かり保育事業、認可外保育施設等における幼児教育・保育の無償化のための費用を支払いました。	
	給付対象児童数	808人
3	母子生活支援施設委託措置費【こども家庭課】	43,133,562円

3款 民生費

3月末入所者数 7世帯20人

4 児童手当給付費【こども家庭課】 6,558,080,000円

3月末受給者数 30,683人

5 子育て短期支援利用費【こども家庭課】 449,600円

保護者の疾病等の理由により、家庭における養育が困難になった児童を児童養護施設等で一時的に保護・養育しました。

利用者数 20人 延べ利用日数 60日

3-4-3目 母子父子福祉費

(前年度)

当初予算額	1,280,787,000円	(1,281,894,000円)
予算現額	1,209,637,000円	(1,281,894,000円)
決算額	1,192,483,204円	(1,224,654,354円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	17,153,796円	(57,239,646円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 ひとり親家庭等日常生活支援費【こども家庭課】 377,580円
4世帯 150回
- 2 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験支援事業費【こども家庭課】 100,000円
認定試験受講者 1人
- 3 母子家庭等就業支援費【こども家庭課】 1,894,248円
就業支援講習会(豊田会場)参加者数 19人
- 4 児童扶養手当給付費【こども家庭課】 1,014,711,840円
3月末受給者数 2,517人
- 5 ひとり親家庭等支援手当給付費【こども家庭課】 159,124,500円
3月末受給者数 2,907人
- 6 母子父子家庭自立支援給付費【こども家庭課】 12,015,036円
自立支援教育訓練給付金(介護実務者研修講座等) 10人
高等職業訓練促進給付金(看護師養成機関等) 12人
高等職業訓練修了支援給付金 2人
- 7 母子生活支援施設運営費補助金(1/2)【こども家庭課】 514,000円
- 8 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出金【こども家庭課】 3,746,000円

3款 民生費

3- 4- 4目 保育園費		
		(前年度)
当初予算額	8,443,313,000円	(8,756,519,000円)
予算現額	8,264,994,344円	(8,633,289,000円)
決算額	7,935,131,859円	(8,342,412,378円)
翌年度繰越額	16,726,224円	(0円)
不用額	313,136,261円	(290,876,622円)
<hr/>		
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		16,726,224円
公共下水道接続事業(平井こども園外1園)		16,726,224円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(こども園医34人、こども園歯科医47人、一般職759人 非常勤一般職1,041人)【保育課・人事課】		6,096,856,490円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		31,343,445円
3 管理運営費【保育課】		385,125,318円
公立こども園 52園		
園児数 4,404人(令和4年5月1日時点)		
4 こども園給食運営費【保育課】		735,013,335円
公立こども園、私立こども園、私立認定こども園の園児及び職員の給食等に要する費用を執行しました。		
5 園児対象事業費【保育課】		6,413,990円
自然とのふれあい事業(総合野外センター)5歳児対象		
動物とのふれあい事業(移動動物園) 全園児対象(隔年)		
6 こども園地域活動費【保育課】		576,795円
こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種の行事を実施しました。		
(1) 子育てひろば利用者(公立こども園分)		3,924人
(2) 老人福祉施設訪問等世代間交流事業		59回
(3) 地域における異年齢児交流事業		37回
(4) 保護者等への育児講座		53回
(5) 郷土文化伝承活動		53回
(6) こども園退園児童との交流事業		43回
7 施設維持補修費【建築予防保全課】		79,695,442円
8 施設保全費【建築予防保全課】		28,778,607円
飯野こども園遊具修繕等を行いました。		
9 長寿命化推進費【保育課】		30,008,000円

3款 民生費

上鷹見こども園、今こども園の長寿命化修繕工事等を行いました。

- | | | |
|-----|--|--------------|
| 10 | 施設整備費【保育課】 | 501,546,966円 |
| (1) | 諸営繕工事 | 117,538,249円 |
| | こども園の保育環境の向上及び施設の充実を図るため、23園のプールに寒冷紗の設置、9園に手洗い場の温水化工事を行いました。 | |
| (2) | トイレ改修費 | 57,075,700円 |
| | 洋式トイレの再整備として、工事を4園、設計を4園に行いました。 | |
| (3) | ICT推進費 | 42,574,752円 |
| | 保育士、保護者の負担軽減及び保育の質の向上を図るため、保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執行しました。 | |
| (4) | 用地取得費 | 284,358,265円 |
| | 中山こども園、美和こども園、若園こども園の駐車場整備のため、用地取得を行いました。 | |
| 11 | 保育備品整備費【保育課】 | 39,773,471円 |
| | 園の環境整備のため、遊具の更新、調理室等へのエアコン設置、お昼寝ベッド等を購入しました。 | |

◆特記事項

平井こども園ほか1園公共下水接続事業において、工事の平準化のため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保育課】

3- 4- 5目 心身障がい児施設費

		(前年度)
当初予算額	1,838,289,000円	(2,138,556,000円)
予算現額	2,024,986,675円	(2,025,056,000円)
決算額	2,024,889,633円	(1,802,547,803円)
翌年度繰越額	0円	(138,716,000円)
不用額	97,042円	(83,792,197円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- | | | |
|-----|---|----------------|
| 1 | 児童発達支援費【障がい福祉課】 | 1,556,667,688円 |
| (1) | 児童発達支援費 | |
| | 未就学の障がい児の日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の療育、指導を行いました。 | |
| | 利用者数 | 327人(3月利用実績) |

延べ提供量 30,840日

(2) 放課後等デイサービス費

就学中の障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進等の療育、訓練を行いました。

利用者数 826人(3月利用実績)

延べ提供量 113,171日

(3) 保育所等訪問支援費

こども園等に訪問し、集団生活に適応することができるよう専門的な支援を行いました。

訪問回数 72回

2 こども発達センター費【障がい福祉課・建築予防保全課】

416,702,550円

(1) 管理運営費

ア 外来相談部門

0歳から3歳頃までの心身の発達の遅れが心配される乳幼児とその保護者を対象として、療育指導、助言に努めました。

外来療育グループ「あおぞら」

登録者 519人 利用延べ人数 12,284人

外来療育グループ「おひさま」

登録者 275人 利用延べ人数 7,413人

相談業務 5,945件

イ 診療部門「のぞみ診療所」

障がいの早期発見、診断、治療及び総合的評価を行い、多職種による専門的な訓練等により、発達の促進と機能の改善を図りました。

診療、訓練等の状況(延べ人数)

児童精神科 6,992人 理学療法 2,800人

小児神経科 3,545人 作業療法 3,336人

小児整形外科 2,136人 言語・聴覚療法 3,105人

耳鼻咽喉科 334人 心理療法・検査 1,637人

泌尿器科 51人 検査 2,124件

小児歯科 2,253人 薬局処方 6,867件

外来栄養相談支援 76人

ウ 通園部門

「なのはな」

就学前の難聴児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 30人 契約者 37人(3月末現在)

「たんぽぽ」

3款 民生費

就学前の肢体不自由児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 40人 契約者 40人(3月末現在)

「ひまわり」

就学前の知的障がい児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 50人 契約者 50人(3月末現在)

(2) 施設保全費(単年度)

ひまわり棟給湯ボイラー修繕を行いました。

(3) 施設保全費(継続費)

ひまわり空調設備修繕工事及び発達センター屋上防水工事を行いました。

3 障がい児通所給付費還付金【障がい福祉課】 3,253,846円

同一世帯の障がい児等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払いにより支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数 高額障がい児通所給付費還付金 延べ127件

障がい児通所給付費還付金 延べ595件

4 相談支援給付費【障がい福祉課】 48,265,549円

障がい児の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細やかな支援を実施しました。

延べ利用者数 2,827人

3- 4- 6目 子育て世帯生活支援特別給付金費

(前年度)

当初予算額	0円	(0円)
予算現額	377,511,334円	(393,182,113円)
決算額	363,755,674円	(381,990,041円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	13,755,660円	(11,192,072円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(非常勤一般職2人、子育て世帯生活支援特別給付金給付事務職員手当(ひとり親世帯)、子育て世帯生活支援特別給付金給付事務職員手当(その他世帯))【こども家庭課】

5,423,787円

2 子育て世帯生活支援特別給付金給付費(ひとり親世帯)

【こども家庭課】

160,907,155円

3款 民生費

(1) 事務費 307,155円

(2) 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金(定額)

160,600,000円

令和4年4月分の児童扶養手当受給者及び家計が急変したひとり親世帯に対して、給付金を給付しました。

対象児童 3,212人

3 子育て世帯生活支援特別給付金給付費(その他世帯)

【こども家庭課】 197,424,732円

(1) 事務費 324,732円

(2) 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金(定額)

197,100,000円

ひとり親世帯以外で18歳未満の児童を扶養している父母等で非課税の方及び非課税相当の収入になった方に対して、給付金を給付しました。

対象児童 3,942人

3- 4- 7日 子育て世帯への臨時特別給付金費

(前年度)

当初予算額	0円	(0円)
予算現額	839,059,138円	(7,457,459,800円)
決算額	752,698,343円	(7,169,009,427円)
翌年度繰越額	0円	(126,942,690円)
不用額	86,360,795円	(161,507,683円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(子育て世帯への臨時特別給付金給付事務職員手当、子育て世帯臨時特別給付金事務職員手当)【こども家庭課】

372,701円

2 子育て世帯への臨時特別給付金給付費【こども家庭課】

53,155,770円

(1) 事務費 55,770円

(2) 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金(定額)

53,100,000円

令和3年10月分の児童手当受給者及び児童手当受給相当の0歳から18歳の児童の養育者のうち令和4年度に申請のあった方に対して、給付金を給付しました。

対象児童 531人

3 コロナ禍子ども未来応援給付金給付費【こども家庭課】

3款 民生費

14,400,000円

子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となった方のうち令和4年度に申請のあった方に対して、市独自で給付金を給付しました。

対象児童 144人

4 子育て世帯臨時特別給付金給付費【こども家庭課】

483,101,734円

(1) 事務費 4,901,734円

(2) 子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金(定額)

478,200,000円

令和4年9月分の児童手当受給者(特例受給者を除く)に対して給付金を給付しました。

対象児童 47,820人

5 豊田市子育て世帯臨時特別給付金給付費【こども家庭課】

201,668,138円

(1) 事務費 4,488,138円

(2) 豊田市子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金(定額)

197,180,000円

子育て世帯臨時特別給付金の対象外となった0歳から18歳までの児童を養育する方に対して、市独自で給付金を給付しました。

対象児童 19,718人

3- 5- 1目 生活保護総務費

(前年度)

当初予算額 256,869,000円 (259,266,000円)

予算現額 269,224,273円 (260,046,240円)

決算額 262,179,250円 (252,007,526円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 7,045,023円 (8,038,714円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(一般職28人、非常勤一般職13人)【人事課】

249,618,116円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 1,721,960円

3 生活保護総務事務費【生活福祉課】 10,839,174円

3款 民生費

3- 5- 2目 扶助費			(前年度)
当初予算額	4,123,724,000円	(4,181,449,000円)
予算現額	4,123,112,727円	(4,181,275,760円)
決算額	3,881,815,099円	(3,993,061,050円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	241,297,628円	(188,214,710円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	生活保護扶助費【生活福祉課】	3,840,689,709円	
	生活に困窮する市民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立ができるよう支援しました。		
	保護世帯の状況 (4年度末)		
	高齢者世帯	799世帯	
	母子世帯	107世帯	
	障がい者世帯	272世帯	
	傷病者世帯	290世帯	
	その他世帯	289世帯	
	計	1,757世帯	
2	中国残留邦人等支援給付費【生活福祉課】	39,699,427円	
	中国残留邦人等の生活の安定のため、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対して、生活支援給付を実施しました。		
	生活支援給付費受給世帯の状況(4年度末) 21世帯 25人		
3	中国残留邦人等配偶者支援金給付費【生活福祉課】	1,425,963円	
	対象者(4年度末) 3人		
3- 6- 1目 災害救助費			(前年度)
当初予算額	23,068,000円	(24,196,000円)
予算現額	22,389,000円	(24,196,000円)
決算額	19,476,148円	(19,507,610円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,912,852円	(4,688,390円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	緊急生活物資備蓄対策費【防災対策課】	18,990,148円	

3款 民生費

(1)	避難者対策費	16,021,048円
	災害時の避難者用に緊急生活物資及び資機材を備蓄しました。	
	飲料水、ミルク（粉、液体）等のほか、避難所における新型コロナウイルス感染対策の物品（段ボール更衣室）	
(2)	帰宅困難者対策費	2,969,100円
	災害時の帰宅困難者用に緊急生活物資を備蓄しました。	
	ライスクッキー、災害用トイレ	
2	災害見舞金支給費【福祉総合相談課】	486,000円
	支給件数 火災・水災による全焼・全壊	8件
	火災・水災による半壊・半焼	4件
	死亡	0件
	入院	1件

4款 衛生費

4款 衛生費		
(前年度)		
当初予算額	18,503,433,000円	(19,620,693,000円)
予算現額	26,555,622,506円	(23,906,952,844円)
決算額	22,270,806,515円	(20,700,683,318円)
翌年度繰越額	83,955,488円	(654,440,506円)
不用額	4,200,860,503円	(2,551,829,020円)
4- 1- 1目 保健衛生総務費		
(前年度)		
当初予算額	4,302,415,000円	(5,370,893,000円)
予算現額	5,364,892,971円	(6,563,673,844円)
決算額	4,554,331,906円	(5,718,553,311円)
翌年度繰越額	505,000円	(255,412,968円)
不用額	810,056,065円	(589,707,565円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		505,000円
地域リハインベーションセンター備品取得事業		505,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(統計調査員14人、地域保健審議会委員11人、一般職19人、非常勤一般職60人)【(保)総務課・人事課】		1,652,365,356円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		3,313,800円
3 保健衛生総務事務費【地域包括ケア企画課・(保)総務課】		11,682,989円
4 地域保健関係職員等研修費【地域保健課】		177,030円
市民の需要に対応した保健・医療・福祉の総合的なサービスを実施するために、地域保健、医療、福祉関係者等に対して、最新情報の提供や研修会等を行いました。		
5 医事監視指導費【(保)総務課】		64,812円
病院等を科学的で適正な医療を行う場にふさわしいものとするため立入検査を実施し、人員や構造設備、管理の状況について検査しました。		
また、医療安全支援センターにおいて、市民からの医療に関する相談に対応しました。		
	立入件数	指導件数
病院	18か所	82件
一般診療所	42か所	143件

4款 衛生費

歯科診療所	25か所	143件
助産所	2か所	8件
歯科技工所	7か所	8件
施術所	36か所	52件
医療安全支援センター相談件数		448件

6 統計調査費【(保)総務課】 657,732円

- (1) 厚生労働省の委託を受けて、人口動態調査を実施しました。
- (2) 厚生労働省の委託を受けて、各種統計調査を実施しました。

<厚生労働統計>

地域保健・健康増進事業報告

衛生行政報告例

福祉行政報告例

医療施設動態調査

病院報告

18施設

国民生活基礎調査(世帯票・健康票)6調査地区

国民生活基礎調査(介護票)2調査地区

国民生活基礎調査(所得票・貯蓄票)4調査地区

医師・歯科医師・薬剤師調査 市内資格保有者

<その他統計>

生活と支え合いに関する調査 1調査地区

社会保障に関する意識調査 1調査地区

家庭の生活実態及び生活意識に関する調査

3調査地区

7 救急医療電話相談費【地域包括ケア企画課】25,211,208円

「とよた急病・子育てコール24」の運営を行い、市民や豊田市への訪問者が急病時に安心して相談できる体制を整えると共に、医療の適正受診を促しました。

相談件数 14,475件(救急相談のみ)

8 医療提供体制強化推進費【地域包括ケア企画課】934,540円

医療対策懇話会を開催し、医療提供体制について協議しました。

休日・夜間の急病時における適切な受診についての啓発資料を作成して市民への情報提供に努めました。

医療対策懇話会の開催 1回

啓発講座の実施 46回(対象者2,364人)

読む救急箱ガイドブック 9,000部

夜間・休日の案内マグネット 13,000枚

9 AED整備費【(保)総務課】23,841,290円

市施設のAED(自動体外式除細動器)を更新しました。

4款 衛生費

	購入台数	81台
10	乙ケ林診療所費【地域包括ケア企画課】	29,389,266円
	乙ケ林診療所の適切な維持管理に努めました。	
	診療日数	196日
	延べ患者数	3,518人
11	古瀬間聖苑費【総務監査課・建築予防保全課】	
		220,570,308円
(1)	管理運営費	168,139,881円
	火葬件数	4,344件
(2)	施設保全費	42,465,500円
	火葬炉設備修繕等を行いました。	
(3)	施設整備費	9,964,927円
	ロビーのソファの更新等を行いました。	
12	豊田地域医療センター施設等整備費【地域包括ケア企画課】	
		1,347,697,910円
(1)	医療機器等整備費	72,197,252円
	内視鏡システム始め89品目を購入しました。	
(2)	地域リハビリテーション推進費	1,650,000円
	リハビリテーションで使用する健康器具を購入しました。	
(3)	施設整備費	328,900円
	豊田地域医療センターの駐車場敷地内における支障木の伐採を行いました。	
(4)	再整備費(単年度)	1,974,345円
	再整備完了式典準備や産業廃棄物処理などを行いました。	
(5)	再整備費(継続費)	1,271,547,413円
	外構工事を行い、再整備に係る全ての工事が完了しました。	
13	医療従事者応援金負担金【地域包括ケア企画課】	
		5,532,000円
	新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れた医療機関に応援金を交付する愛知県の事業費のうち、豊田市民に係る費用の一部を負担しました。	
14	公的病院運営費補助金【地域包括ケア企画課】	
		249,489,000円
(1)	公的病院運営費補助金(定額)	75,039,000円
	補助事業者 豊田厚生病院	
(2)	公的病院救命救急センター機能運営費補助金(2/3)	
		114,450,000円
	補助事業者 愛知県厚生農業協同組合連合会	

(3) へき地医療拠点病院運営費補助金(定額)
60,000,000円

補助事業者 愛知県厚生農業協同組合連合会

15 病院群輪番制病院運営費補助金(10/10)
【地域包括ケア企画課】 23,773,000円

休日・夜間の救急重症患者の入院医療体制を確保しました。

事業参加病院 5病院

補助対象病院 4病院

病院群輪番制病院事業実施日数 365日

入院患者数 1,206人

外来患者数 11,505人

16 公的病院医療機器整備費補助金【地域包括ケア企画課】
116,338,000円

(1) 公的病院医療機器整備費補助金(1/2)
100,000,000円

豊田厚生病院が設置する高額医療機器(内視鏡手術支援ロボット)の整備費を補助しました。

(2) へき地医療拠点病院医療機器整備費補助金(1/2)
16,338,000円

足助病院が設置をする医療機器(生化学自動分析装置始め13品目)の整備費を補助しました。

17 小児救急医療支援病院運営費補助金(10/10)
【地域包括ケア企画課】 12,496,000円

休日・夜間の小児救急重症患者の入院医療体制を確保しました。

補助対象病院 2病院

小児救急医療支援病院事業実施日数 365日

入院患者数 474人

外来患者数 3,909人

18 休日救急診療体制運営費補助金(10/10)
【地域包括ケア企画課】 8,374,000円

休日の初期救急患者の医療体制を確保しました。

在宅当番医制運営事業診療日数 71日

在宅当番医患者数 1,518人

休日救急内科診療所運営事業診療日数 72日

休日救急内科診療所患者数 2,027人

19 地域医療提供体制強化費補助金(1/2)【地域包括ケア企画課】
6,000,000円

地域医療提供体制の強化を図るため、豊田加茂医師会が行う病診連

携体制の維持、難病患者の支援活動、各種調査研究事業・啓発等の活動に対して補助しました。

難病患者療養相談医師派遣

日本プライマリ・ケア学会における発表

市民向け講座の共催、ホームページによる情報提供、交流館における健康教育講演会実施 ほか

20 骨髄提供者等助成事業補助金（定額）【（保）総務課】

770,000円

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄・末梢血幹細胞移植及び骨髄バンク登録者の増加を図るため、骨髄提供者及び骨髄提供者が勤務する事業所に助成金を交付しました。

骨髄提供者 5件

事業所 1件

21 保健衛生費過年度国県支出金返還金 815,653,665円

【（保）総務課・保健衛生課・感染症予防課・保健支援課】

(1) （保）総務課過年度国県支出金返還金 15,000円

(2) 保健衛生課過年度国県支出金返還金 57,475円

(3) 感染症予防課過年度国県支出金返還金
815,283,190円

(4) 保健支援課過年度国県支出金返還金 298,000円

◆特記事項

・豊田地域医療センター運営費負担金において、新型コロナウイルス感染症に係る受取補助金の増加等によって収支黒字となったことにより、650,000千円の不用額が生じました。【地域包括ケア企画課】

・地域リハイノベーションセンター備品取得事業において、事業が年度内に完了しなかったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【地域包括ケア企画課】

・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費において、接種数が見込みよりも少なかったため、令和3年度に交付された新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫負担（補助）金に、742,470千円の返還が生じました。【感染症予防課】

4款 衛生費

4- 1- 2目 健康増進対策費

(前年度)

当初予算額	785,190,000円	(793,854,000円)
予算現額	823,672,000円	(755,999,000円)
決算額	718,262,440円	(694,806,632円)
翌年度繰越額	35,550,488円	(3,500,000円)
不用額	69,859,072円	(57,692,368円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	35,550,488円
旧藤岡保健センター解体事業	35,550,488円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	健康増進対策事務費【地域保健課】	535,487円
2	国民健康栄養調査費【(保)総務課】	56,699円
	伊保町の一部 9世帯 25人	
3	歯科疾患実態調査費【(保)総務課】	54,285円
	伊保町の一部 4世帯 12人	
4	栄養改善推進費【(保)総務課】	504,713円
	栄養相談	7件
	特定給食施設等調査	221か所
	栄養士研修会 5回(うち1回は動画視聴)	102人
5	健康づくり豊田21推進費【(保)総務課・地域保健課】	31,164,919円
(1)	啓発促進費	871,417円
	ア 小中学生向けパンフレットを配布	
	「生活リズム(睡眠)」小中学生用(3種)	12,135部
	「喫煙防止」小中学生用(2種)	8,101部
	「飲酒防止」小中保護者用(3種)	16,464部
	イ 市民が自らの健康づくりの取組を宣言することで行動を開始し 継続するとよた健康マイレージを推進しました。	
	登録者数(令和5年3月31日時点)	1,522人
	ウ 健康づくり豊田21計画(第三次)の重点事業「ベジタブル& トレーニングとよたプラス10」の取組を推進するために、啓発 を行いました。	
	健康づくり啓発シールの配布	2事業所
	野菜の日啓発	174か所
(2)	ヘルスサポートリーダー費	1,311,220円
	ア 養成講座	

4款 衛生費

	修了者数	27人
イ	スキルアップ研修	
	参加者	延べ148人
ウ	ヘルスサポートリーダー講座支援	
	ヘルスサポートリーダーが各地区で開催する健康づくりに関する講座等への支援を行いました。	
	講座開催数 354回 受講者	7,959人
(3)	地域ウォーキング推進費	1,360,150円
	市民が手軽に取り組める健康づくりの1つであるウォーキングを推進するため、地域主催のウォーキング活動の支援、ウォーキング関連情報の発信を行いました。	
ア	ウォーキング地区支援	34団体
イ	ウォーキングに関する情報発信とコース整備を行いました。	
(4)	生活習慣病予防対策費	221,870円
	受動喫煙防止啓発事業のための啓発活動(市内喫煙所等)及び事業所等指導・助言を行いました。	
	ポスター掲示	44か所
(5)	歯科健康診査費	19,161,328円
	歯科健診	
	妊産婦歯科健康診査受診者数	1,927人
	幼児歯科健康診査受診者数	1,763人
(6)	8020運動推進費	1,545,394円
	80歳で20本の自歯を残すことを目標に「8020運動」を推進しました。	
ア	歯の健康教育の実施	
	よい子の歯みがき運動	
	対象 園児及び保護者	
	啓発用教材配布	6,647人
	保護者向けチラシ	3,370人
イ	いい歯の日キャンペーン	
	歯みがきの大切さと正しい知識の普及啓発のため、三師会や豊田信用金庫始め市内事業所等に啓発物等を配布しました。	
	ポスター掲示	236か所
	啓発チラシ配布	4,720部
	啓発品(デンタルフロス)配布	26,800セット
(7)	心の健康づくり推進費	672,220円
ア	「こころの健康づくりニュースレター」(事業所向け)	
	配信回数	3回

4款 衛生費

- イ 自殺予防キャンペーン(9月・3月)
- (8) 健康づくり豊田21計画策定費 6,021,320円
令和6年度を始期とする新たな計画を策定するため、健康に関する市民生活実態調査を実施したほか、計画策定委員会を開催しました。
- 6 食育推進費【(保)総務課】 567,198円
若者向け食育推進費 567,198円
- ア 食育キャラクター「たべまる」を活用した啓発等
啓発用教材配布 98園
- イ 食育月間や食育の日の取組
懸垂幕・横断幕設置 4か所
市内スーパー等にチラシ等の配置 33か所
- ウ 食育人材バンク
登録件数 23件
- エ SNSによる啓発
フェイスブック情報発信 12回
クックパッドレシピ配信 9回
- 7 きらきらウエルネス推進費【地域保健課】 1,396,025円
(1) きらきらウエルネス地域推進費 868,025円
地域健康カルテ等を基に中学校区ごとに住民との共働による健康づくりの取組をするため、健康づくり意見交換会及び計画策定会を開催しました。
稲武地区 2回
- (2) 健康づくり推進費補助金(10/10・9/10・8/10・7/10・5/10) 528,000円
コミュニティ会議が実施する健康づくり関連事業に対し、補助金を交付しました。
補助件数 9件
- 8 保健事業費【(保)総務課・地域保健課】659,691,238円
(1) 保健事業費 659,456,674円
健康増進法に基づいて、生活習慣病等の予防のために健康教育や健康相談を行い、各種がん等の早期発見のために検診を実施しました。また、各種がん検診の要精密検査未受診者に対し、受診を勧奨しました(歯科健診及び各種がん検診の受診率は当該年度の4月1日人口から算出)。
- ア 健康手帳交付
交付者数 3人(40歳以上の希望者)
- イ 歯科健診

対象 20、25、30、35、40、45、50、55、60
65、70、75歳

受診者数 2,329人

受診率 3.8% (令和3年度 3.7%)

ウ がん検診

(ア)胃がん検診

対象 35歳以上(総合がん検診含む。)

	受診者数	要精検者数
エックス線	11,292人	743人
内視鏡	4,242人	475人
受診率	9.0% (令和3年度)	8.4% (令和3年度)

(イ)大腸がん検診

対象 35歳以上(総合がん検診含む。)

受診者数 24,506人 要精検者数 1,768人

受診率 9.2% (令和3年度 9.2%)

(ウ)乳がん検診

対象 30歳以上の偶数年齢及び41歳の女性

(総合がん検診、がん検診推進事業含む。)

	受診者数	要精検者数
超音波検査	4,072人	72人
マンモグラフィ検査	4,904人	212人
受診率	12.7% (令和3年度)	11.9% (令和3年度)

(エ)子宮頸がん検診

対象 20歳以上の偶数年齢及び21歳の女性

(総合がん検診、がん検診推進事業含む。)

受診者数 7,592人 要精検者数 129人

受診率 9.5% (令和3年度 9.1%)

(オ)肺がん検診

対象 40歳以上(総合がん検診含む。)

受診者数 19,857人 要精検者数 700人

受診率 8.2% (令和3年度 8.3%)

(カ)前立腺がん検診

対象 50～70歳の男性(総合がん検診含む。)

受診者数 5,015人 要精検者数 250人

受診率 9.2% (令和3年度 9.0%)

(キ)脳ドック検診

対象 50歳の総合がん検診受診者

受診者数 165人

4款 衛生費

(ク) レディース検診

対象 19～39歳の女性

実施回数 24回

受診者数 134人

(ケ) 骨粗しょう症検診

対象 40、45、50、55、60、65、70歳の女性

総合がん検診と同時受診者数 523人

単独受診者数 217人

(コ) 肝炎検診

対象 40歳以上5歳刻みで過去に肝炎検診を受けていない人

受診者数 2,630人

(サ) 胸部エックス線検査

対象 40歳以上の人

受診者数 20,879人 要精検者数 601人

(シ) 生き生き健診

対象 生活保護受給者、中国残留邦人で40歳以上の人

受診者数 73人

(2) 地域保健事業費 234,564円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、縮小して開催しました。

ア 健康教育事業

地域住民の健康づくりを推進するため、出前講座等で健康に関する正しい知識の普及と健康意識の向上に努めました。

実施回数 17回 参加者数 546人

イ 健康相談事業

市民からの健康保持・増進に関する個別相談を、来所又は電話で行うとともに、交流館、自治区等のイベントなど地域に出向いて実施しました。

(ア) 来所・電話相談

実施回数 62回 延べ件数 62件

(イ) イベント等における健康相談

実施回数 2回 参加人数 31人

9 保健センター費【(保)総務課】 20,951,376円

旧藤岡保健センターの適切な維持管理に努め、施設解体のための工事を行いました。

10 お薬手帳推進費補助金(1/2)【(保)総務課】

100,000円

医薬品の重複処方や飲み忘れ等で生じた残薬の整理及び医薬品等の

4款 衛生費

危険な相互作用の防止を推進するために、薬剤師会が実施する啓発事業の経費を補助しました。

交付先 (一社) 豊田加茂薬剤師会

1 1 歯・口の健康づくり推進費補助金(1/2)【(保)総務課】

90,000円

市民の歯科保健の充実を図るために、歯・口の健康づくり推進事業の経費を補助しました。

交付先 (一社) 豊田加茂歯科医師会

1 2 禁煙治療費助成事業補助金(1/2)【(保)総務課】

15,400円

望まない受動喫煙防止対策として、周囲の人と自身の健康被害を防ぐため、禁煙を希望する市民を対象に、禁煙外来治療費の一部を助成しました。

交付件数 3件

1 3 がん患者補整具購入費補助金(1/2)【(保)総務課】

3,135,100円

がん治療に伴う脱毛等の症状により補整具を必要とする方を対象に、補整具購入費の一部を助成しました。

交付件数 116件

◆特記事項

・食育推進事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により、食育推進会議の開催を中止しました。【(保)総務課】

・旧藤岡保健センター解体事業において、工事の平準化を図るため9月議会で54,400千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【(保)総務課】

4- 1- 3目 高齢者保健費

		(前年度)
当初予算額	1,679,000円	(3,660,000円)
予算現額	509,000円	(2,788,000円)
決算額	356,860円	(2,124,909円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	152,140円	(663,091円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 高齢者保健事業・介護予防一体化事業費【地域保健課】

356,860円

健診・医療・介護のデータ分析により事業の企画・調整等を行い、ハ

4款 衛生費

イリスクアプローチとポピュレーションアプローチを実施しました。

ハイリスクアプローチ実施者数 195人
 ポピュレーションアプローチ実施者数 564人

4- 1- 4目 母子保健費

(前年度)

当初予算額 714,255,000円 (825,247,000円)
 予算現額 1,117,767,000円 (861,215,000円)
 決算額 978,038,480円 (812,771,847円)
 翌年度繰越額 0円 (0円)
 不用額 139,728,520円 (48,443,153円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 母子保健対策費【こども家庭課】 770,866,360円
- (1) 妊産婦・乳幼児健診費 426,021,844円
- | <区分> | <受診者数> | <受診率> |
|-----------|--------|---------------|
| 3、4か月児健診 | 2,832人 | 96.8% |
| 1歳6か月児健診 | 2,876人 | 96.3% |
| 3歳児健診 | 3,041人 | 95.6% |
| 妊婦健診 | | |
| (1回目) | 2,824件 | (2回目) 2,773件 |
| (3回目) | 2,795件 | (4回目) 2,785件 |
| (5回目) | 2,716件 | (6回目) 2,696件 |
| (7回目) | 2,635件 | (8回目) 2,801件 |
| (9回目) | 2,558件 | (10回目) 2,672件 |
| (11回目) | 2,434件 | (12回目) 2,606件 |
| (13回目) | 2,032件 | (14回目) 1,437件 |
| (子宮頸がん検査) | | 2,863件 |
| 産婦健診 | | |
| (1回目) | 2,749件 | (2回目) 2,599件 |
| 新生児聴覚検査 | | |
| | | 2,498件 |
| 乳児健診 | | |
| (1回目) | 2,853件 | (2回目) 1,943件 |
- (2) おめでとう訪問費 4,607,249円
- 訪問件数 2,693件
- 訪問実施率 95.7%
- おめでとう訪問員養成講座(2回) 受講者数 20人
- (3) 妊産婦・乳児健康診査費補助金(定額) 8,865,267円

4款 衛生費

愛知県外で受診された方の健康診査費を払い戻しました。

交付件数 1, 733件

(4) 妊婦のPCR検査費補助金(定額) 1, 122, 000円

実施件数 58件

(5) 出産・子育て応援給付金給付事業費補助金(定額)

330, 250, 000円

出産応援給付金 4, 390件

子育て応援給付金 2, 215件

2 母子健康づくり対策費【こども家庭課・地域保健課】

15, 448, 211円

(1) 母子保健指導費 9, 400, 277円

・母子健康手帳交付(実数) 2, 834件

・パパママ教室 8日(13回) 受講者数 727人

・多胎パパママ教室 4回 受講者数 65人

・2ndマタニティ教室 6回 受講者延べ数 78人

・母子保健推進員養成講座 5回 受講者延べ数 47人

・子育てが楽しくなる教室

1クール 受講者延べ数 32人

・ふれあい子育て教室 12回 受講者組数 177組

・産後ケア 利用件数 106件

・妊婦さん電話 2, 071人

(2) 地域母子保健指導費 1, 821, 544円

・育児相談(延べ件数)

来所相談 1, 557件

電話相談 226件

オンライン相談 29件

(3) 思春期教育費 777, 320円

・思春期教室「自分の体と心を知る」

小・中・特別支援学校 30校

(4) 子育て家庭訪問指導費 3, 449, 070円

・保健師訪問指導 延べ人数 1, 120人

・委託助産師訪問指導 延べ人数 1, 155人

3 医療給付費【こども家庭課・保健支援課】145, 521, 970円

(1) 未熟児養育医療費 14, 547, 738円

新規承認件数 43件

(2) 障がい者育成医療費(自立支援医療給付)

3, 095, 224円

承認件数 55件

4款 衛生費

(3) 小児慢性特定疾病医療費	127,879,008円
承認件数	404件
4 不妊治療対策費【こども家庭課】	40,625,780円
(1) 事務費	10,780円
(2) 不妊症・不育症相談費	180,000円
相談件数	9件
(3) 不妊治療費補助金(1/2・定額)	40,435,000円
第一段階	23件
第二段階	193件
5 母子保健費過年度国県支出金返還金	5,576,159円
【こども家庭課・保健支援課・地域保健課】	
(1) こども家庭課過年度国県支出金返還金	5,245,237円
(2) 保健支援課過年度国県支出金返還金	58,922円
(3) 地域保健課過年度国県支出金返還金	272,000円

4-1-5目 障がい者保健費

		(前年度)
当初予算額	6,250,000円	(5,993,000円)
予算現額	4,725,000円	(4,531,000円)
決算額	4,057,158円	(3,382,127円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	667,842円	(1,148,873円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 保健支援事務費【保健支援課】 264,330円
 - 2 精神保健予防対策費【保健支援課】 1,700,883円
- 精神障がい者及びその家族を支援するための各教室、市民や支援者を対象とする講演会・研修を開催し、知識の普及と障がいの理解啓発に努めました。また、精神科医師や心理職員、保健師等による相談を実施し、相談者の不安解消に努めました。
- 精神障がいに対応した地域包括ケアシステムの推進を図るため、ピアサポーターによる普及啓発を実施しました。

家族教室等実施回数

	実施回数	延べ参加人数
高次脳機能障がいのある人の家族教室	4回	21人
精神保健福祉地域普及講演会	2回	30人
精神障がい者支援従事者研修会	3回	63人
精神障がい者地域支援協議会・部会	5回	54人

4款 衛生費

ピアサポーターフォローアップ研修	10回	21人
相談件数		
	実施回数	延べ件数
精神保健福祉相談	15回	25件
心理職員による相談	3回	3件
来所・電話相談（地域保健課分含む。）		1,203件
家庭訪問（地域保健課分含む。）		130件
緊急事例対応（地域保健課分含む。）		53件
		（うち通報37件）
措置入院者退院後支援事業		12件
地域移行・地域定着支援		21件
精神障がい者家族会による相談	50回	55件
精神障がい者家族会による居場所運営	50回	395件
自主グループ等支援		
	実施回数	
精神障がい者家族会	2回	
3 難病患者・家族支援費【保健支援課】	1,004	865円
難病患者及びその家族が安定した療養生活を送ることができるよう、専門医や保健師による相談を行いました。		
相談等実施回数		
	実施回数	延べ人数
医師による個別相談	5回	10人
家庭訪問等（地域保健課含む。）		45人
ケースカンファレンス	1回	1人
4 障がい者歯科事業費【（保）総務課】	949	080円
障がい者の歯科保健・歯科医療の充実に向け、障がい者社会福祉施設（通所）において、歯科健康診査及び施設職員への研修を実施しました。		
歯科健康診査	13施設	247人
訪問予防指導	4施設	57人
5 障がい者歯科医療推進事業費補助金（定額）【（保）総務課】		138,000円
障がい者の歯科保健・歯科医療の充実に向け、障がい者社会福祉施設（入所）において歯科健康診査を実施しました。		
	施設数	3施設
交付先	（一社）豊田加茂歯科医師会	

4- 1- 6目 感染症予防費

(前年度)

当初予算額	4,602,861,000円	(3,962,218,000円)
予算現額	10,544,342,000円	(7,237,683,000円)
決算額	7,478,045,753円	(5,555,525,405円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,066,296,247円	(1,682,157,595円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(感染症診査協議会委員6人、予防接種健康被害調査委員会委員5人、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業事務職員手当)【感染症予防課】 9,634,840円

2 感染症予防事務費【感染症予防課】 765,201円

3 結核予防対策費【感染症予防課】 1,770,993円

(1) 結核予防事務費 254,970円

パンフレットを福祉施設や学校等に配布して知識の普及啓発を行い、結核のまん延防止を図りました。

(2) 接触者健康診断費 1,516,023円

結核患者の確実な服薬を支援する地域DOTS(直接服薬確認療法)事業を推進しました。また、結核の早期発見と二次感染予防のため、登録患者の接触者を対象にIGRA検査(結核感染の補助的診断)を活用した効果的・効率的な健康診断を実施しました。

接触者健康診断

<区分>	<受診者数>	<患者発見数> (発病のおそれ含む)
患者の家族	60人	8人
他の接触者	60人	2人

4 感染症対策費【感染症予防課・地域保健課】 2,278,693,509円

(1) 感染症予防費 14,240円

感染症の発生予防やまん延防止のため、疫学調査及び消毒指導等を実施しました。また、ホームページなどを通して、感染症の正しい知識の普及啓発を行いました。

ア 三類感染症届出状況

腸管出血性大腸菌感染症 14件

イ 四類感染症届出状況

レジオネラ症 10件

	デング熱	1件
	つつが虫病	2件
	日本紅斑熱	2件
ウ	五類感染症届出状況	
	梅毒	39件
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6件
	その他アメーバ赤痢始め10感染症	23件
(2)	新興再興感染症対策費	4,679,015円
	新型インフルエンザ等の感染症発生に備え、備蓄品等を購入しました。	
	個人防護服購入	1,050セット
(3)	特定感染症予防費	1,387,391円
	エイズを始めとする性感染症予防のため、エイズ及び梅毒の検査を実施しました。また、肝炎については、感染不安のある市民を対象に医療機関において検査を実施しました。さらに、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を目的とした陽性者のフォローアップ事業を実施しました。	
	エイズの正しい知識の普及啓発のため、ボランティア団体との共働により世界エイズデーに関連したキャンペーンを実施しました。	
	<保健所検査>	
	夜間検査	1回
	検査件数	H I V 9件
		梅毒 9件
	<医療機関検査>	
	検査件数	B・C型肝炎検査 169件
(4)	感染症発生動向調査費	827,400円
	市内の指定届出機関から感染症発生情報を収集し、医療機関、教育委員会、市民等に発生動向に関する情報を提供することにより、学校・福祉施設等における感染症対策、医療機関における適切な医療の提供に寄与しました。	
	<指定届出機関> 12医療機関	
	小児科定点	9定点
	内科定点	6定点
	インフルエンザ定点	9定点
	眼科定点	2定点
	性感染症定点	4定点
	基幹定点	1定点

4款 衛生費

	疑似症定点	2 定点
	病原体定点	3 定点
	医療機関からの検体提供	10 件
(5)	新型コロナウイルス感染症対策費	413,587,550円
	新型コロナウイルス感染症発生に伴い、各種体制強化を図り、感染拡大を防止しました。	
	新型コロナウイルス感染症感染者数	95,166件
	診療・検査医療機関数	111医療機関
	行政検査件数(医療機関実施分)	221,633件
(6)	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費	
		1,784,398,913円
	新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、重症者等の発生をできる限り減らすことを目的にワクチンの接種を推進しました。	
	1～5回目接種	363,149回
(7)	新型コロナウイルス感染症相談窓口設置事業費	
		73,799,000円
	発熱等の症状がある市民からの相談に対して、医療機関の紹介や助言を行いました。	
5	自宅療養者配食サービス事業費【感染症予防課】	
		730,410,074円
	新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者に対して、配食サービスを実施しました。	
6	自宅療養者等搬送事業費【感染症予防課】	89,032,451円
	新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者に対して、医療機関受診時等の搬送を行いました。	
7	自宅療養者健康管理事業費【感染症予防課】	
		404,980,242円
	新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者に対する健康観察やパルスオキシメーターの貸出しを行いました。また、新型コロナ相談センター等の相談窓口の設置により看護師が24時間体制で受診相談や陽性者等の相談に対応しました。	
	自宅療養者専用相談窓口相談件数	10,940件
	新型コロナ相談センター相談件数	19,643件
8	予防接種費【感染症予防課】	1,506,267,395円
(1)	定期予防接種費	1,489,734,003円
	感染症の発生及びまん延を予防するため、予防接種法に基づき15疾病の予防接種を乳幼児や高齢者などに実施しました。	
	<種類>	<被接種者数>

A類疾病

BCG	2, 925人
ポリオ	14人
4種混合	11, 447人
2種混合	3, 125人
麻しん風しん混合	6, 324人
日本脳炎	16, 376人
子宮頸がん	4, 877人
ヒブ	11, 125人
小児用肺炎球菌	11, 145人
水痘	5, 546人
B型肝炎	8, 925人
ロタ	6, 643人
風しん第5期(抗体検査)	1, 313人
風しん第5期(予防接種)	304人

B類疾病

インフルエンザ	72, 486人
高齢者用肺炎球菌	3, 221人

(2) 任意予防接種費 16, 533, 392円

感染症の発生及びまん延を予防するため、3疾病の予防接種等や免疫を失った子への再接種費用について助成しました。また、子宮頸がん予防ワクチンについては、積極的勧奨の差控えにより定期接種の機会を逃し、自費で接種を受けた人に対して接種費用の償還払いを行いました。

<種類> <被接種者数>

ア 任意予防接種費用助成事業

おたふくかぜ 2, 930人

イ 風しん対策事業

風しん抗体検査 763人

麻しん風しん混合 402人

風しん 38人

ウ 麻しん対策事業

麻しん抗体検査 581人

麻しん風しん混合 92人

麻しん 9人

エ 免疫を失った子への再接種費用助成 2人

オ 自費接種者の償還払い(子宮頸がん) 36人

9 医療給付費【感染症予防課】 125, 572, 237円

感染症患者の医療費の自己負担分を公費負担し、負担軽減を図りました。

(1) 結核医療給付費 4,034,122円

通院医療 延べ 484件

入院医療 延べ 40件

(2) 感染症患者入院医療給付費 121,538,115円

新型コロナウイルス感染症の入院医療費を給付しました。

10 結核予防対策事業費補助金(2/3)【感染症予防課】

3,137,811円

定期健康診断の受診率の向上を図るため、胸部エックス線撮影の経費を補助しました。

学校法人 5法人 6施設

社会福祉法人 9法人 23施設

11 自宅療養者等医療提供事業補助金(定額)【感染症予防課】

2,327,781,000円

新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者等へ診療を行った医療機関、訪問看護ステーション及び薬局に対して、補助金を交付しました。

◆特記事項

・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費において、ワクチン接種の状況や接種体制の見直し等により、1,127,075千円の不用額が生じました。【感染症予防課】

・自宅療養者配食サービス事業において、療養期間の短縮に伴う配食数の減少等により、530,113千円の不用額が生じました。

【感染症予防課】

・自宅療養者等医療提供事業補助金において、療養期間の短縮等により医療機関の受診者が見込みを下回り、960,509千円の不用額が生じました。【感染症予防課】

・子宮頸がん等の定期予防接種において、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、接種数が見込みを下回り378,116千円の不用額が生じました。【感染症予防課】

4款 衛生費

4- 1- 7目 生活衛生費		(前年度)
当初予算額	129,379,000円	(124,865,000円)
予算現額	106,339,000円	(146,497,000円)
決算額	86,467,275円	(109,953,578円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	19,871,725円	(36,543,422円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 薬務監視指導費【（保）総務課】 409,192円
 - (1) 薬局、毒物劇物販売業者等に対して立入調査を実施するなど、各法令に基づく店舗管理及び医薬品等の適正販売についての監視指導を行いました。

薬局等施設監視	191件
毒物劇物販売施設等監視	38件
衛生検査所監視	2件
 - (2) 覚せい剤、シンナー等の薬物乱用防止に向けた啓発事業を効果的に実施するため、薬物乱用防止推進協議会を開催し、年間を通じ啓発活動を展開しました。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、街頭啓発活動を1回中止しました。

薬物乱用防止推進協議会開催	1回
街頭啓発活動	1回
講習会開催	16回
- 2 環境衛生監視指導費【感染症予防課】 734,186円
 - (1) 環境衛生関係営業施設に対し、各法令に基づく衛生管理、自主管理状況等について調査を行いました。

環境衛生関係営業施設の監視	205件
---------------	------
 - (2) 多数の者が利用し、相当程度の規模を有する特定建築物に対し利用者の衛生的環境を確保するため監視指導を行いました。

特定建築物の監視	26件
----------	-----
 - (3) 温泉法に基づき温泉を利用している施設に対し、適切な温泉利用を図るため監視指導を行いました。

温泉利用施設の監視	4件
-----------	----
 - (4) ハエや蚊などの衛生害虫や化学物質による室内空気環境汚染など住環境に係る相談を受け付けました。

住環境衛生及び衛生害虫等の相談	326件
-----------------	------
 - (5) 風水害等が発生した場合における感染症の発生及びまん延を防止するため、防疫用機器の整備及び操作訓練を実施しました。

4款 衛生費

	防疫用機器の操作訓練		1回
3	食品衛生監視指導費【保健衛生課】		6,010,109円
(1)	豊田市食品衛生監視指導計画に基づき、食品営業施設等に対する立入検査を実施するとともに、食品衛生に関する知識の普及を行い、食中毒の発生防止を図りました。		
	営業許可	新規	956件
		更新	0件
	監視指導		1,809件
	収去検査		157件
	講習会	開催数	17回
		延べ人数	2,303人
(2)	食の安全・安心に関する豊田市の取組について市民各界の意見を伺い、効果的な施策を推進するため、食の安全・安心を語る懇談会を書面開催しました。		
	食の安全・安心を語る懇談会	開催数	1回
		出席者数	8人
4	試験検査費【保健衛生課】		37,852,765円
(1)	食品の安全性の確保、食中毒・有症苦情・感染症関連の原因究明及び拡大防止のために、食品・ふん便・水等の行政検査を実施しました。		
	ただし、新型コロナウイルス感染症への対応のため食品検査の一部を縮小しました。		
	<行政検査>		
	食中毒・有症苦情検査	97件	736項目
	感染症関連検査	43件	43項目
	食品検査	微生物	105件 258項目
		理化学	73件 2,300項目
	水質検査	0件	0項目
(2)	食品・ふん便・水（飲用水・浴用水等）に関する依頼検査を実施しました。		
	<依頼検査>		
	食品検査	1件	2項目
	ふん便検査		
	細菌培養	5,865件	15,534項目
	寄生虫卵	1件	1項目
	水質検査	飲用水	42件 410項目
		浴用水	16件 58項目
(3)	試験検査の複雑化や高度化に対応するため、検査担当職員が各		

4款 衛生費

種の研修に参加するとともに、外部機関による精度管理を実施し
検査技術レベルの維持・向上に努めました。

精度管理	国	1回
	秦野研究所	10回
	愛知県	4回

5 食肉衛生検査費【保健衛生課】 6, 280, 414円

食肉の安全確保のため、と畜場に搬入された獣畜について、人獣共通
感染症等の疾病検査、動物用医薬品等の残留有害物質検査を実施しまし
た。

また、と畜場のHACCP（食品衛生管理手法）が適切に運用されて
いるか確認するため、外部検証を実施しました。

と畜検査頭数（豚のみ）	89, 434頭
残留有害物質検査数	165件
外部検証 現場検査	243回
記録検査	12回
微生物試験（60頭×2項目）	120件

6 動物愛護対策費【保健衛生課】 23, 590, 622円

（1） 狂犬病予防法及び豊田市犬による危害防止条例に基づき、犬の
登録、狂犬病予防注射、捕獲等を実施し、市民生活の安全確保に
努めました。

新規登録	1, 801頭
狂犬病予防注射実施	18, 679頭
捕獲	13頭
返還	13頭
※令和5. 3. 31現在登録総数	22, 146頭

（2） 動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬・猫の引取り及
び負傷動物の保護を行いました。また、飼養が可能な犬・猫の譲
渡を行い、殺処分削減に努めるとともに、飼養に対する苦情や
相談等に対応しました。

犬・猫の引取り	所有者	犬	4頭
		猫	5頭
	所有者不明	犬	15頭
		猫	103頭
	うち返還	犬	13頭
		猫	0頭
負傷動物の保護		犬	8頭
		猫	115頭
負傷動物の返還		犬	0頭

	猫	2頭
犬・猫の譲渡	犬	12頭
	猫	184頭
犬・猫の殺処分	犬	2頭
	猫	39頭
うち収容中死亡	犬	0頭
	猫	34頭
犬・猫等の苦情相談		1,660件
(3) 動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、特定動物(人の生命、身体又は財産に危害を加えるおそれがある動物として政令で定める動物)を飼養又は保管する場合について、基準に適合していることを確認しました。		
許可施設数	水槽型施設	4件
	移動用施設	2件
(4) 動物愛護センターを拠点とし、豊田市人と動物の共生社会の推進に関する条例の基本理念に基づき、各種講座、教室を開催し、市民の関心と理解を深める事業を実施しました。		
犬を飼う前講座	8回	25人
猫を飼う前講座	42回	393人
犬の譲渡会(個別)	8回	25人
猫の譲渡会	42回	460人
犬の飼い方講座(老犬)	3回	33人
犬のしつけ方教室	4回	136人
動物愛護教室(飼い方)	5回	199人
いのちの教室(出前講座)	2回	58人
猫の一時預かりボランティア養成講座	1回	11人
動物愛護フェスティバル	1回	271人
動物愛護週間事業(フォトコンテスト)	1回	155点
(5) 市民の生きがいづくりと動物愛護意識の普及を図るため、動物愛護ボランティア養成講座でボランティア及び訪問活動犬を育成し、動物愛護教室等で活動しました。		
動物愛護ボランティア養成講座	1回	8人
動物愛護教室(ふれあい)	12回	343人
動物愛護教室(親子)	1回	14人
動物愛護フェスティバル(ふれあい)	1回	40人
7 動物愛護センター費【保健衛生課】		8,223,800円

4款 衛生費

<p>(1) 管理運営費 動物愛護センターの適切な維持管理に努めました。</p> <p>来館者数 19,850人</p> <p>8 地域猫事業推進費【保健衛生課】 2,256,187円 野良猫によるふんや鳴き声による被害を軽減するため、地域で実施する地域猫活動(野良猫の避妊去勢手術を行いエサやトイレの管理を行う活動)を支援しました。</p> <p>地域猫活動支援実施地域数 233地域 避妊去勢手術実施頭数 オス176頭、メス208頭</p> <p>9 食品衛生費補助金(1/3)【保健衛生課】 1,110,000円 豊田市食品衛生協会が実施する食品衛生指導、衛生知識の普及啓発等の事業に対し補助金を交付し、市民の安全な食生活保持に寄与しました。</p>	
<p>4- 2- 1目 環境衛生費</p>	
	(前年度)
当初予算額	841,041,000円 (859,702,000円)
予算現額	841,041,000円 (840,702,000円)
決算額	840,918,892円 (839,782,977円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	122,108円 (919,023円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 廃止簡易水道施設費【上水運用センター】 413,706円 (1) 管理費 413,706円 管理施設数 33施設</p> <p>2 水道事業負担金【経営管理課】 240,505,186円</p> <p>3 水道事業補助金(10/10)【経営管理課】 600,000,000円</p>	
<p>4- 2- 2目 環境対策費</p>	
	(前年度)
当初予算額	352,595,000円 (320,220,000円)
予算現額	475,046,000円 (303,994,000円)
決算額	460,660,478円 (276,980,711円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	14,385,522円 (27,013,289円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- | | | |
|-----|--|------------|
| 1 | 人件費（環境審議会委員17人、不良な生活環境を解消するための審議会委員5人）【環境政策課・環境保全課】 | 333,000円 |
| 2 | 環境政策事務費【環境政策課】 | 2,451,274円 |
| 3 | 環境保全事務費【環境保全課】 | 5,254,280円 |
| (1) | 法令等に係る届出及び報告
件数：大気187件、水質270件、騒音252件、
振動264件、特定建設作業2,310件、
石綿事前調査結果2,844件、
公害防止組織111件、化学物質321件、
土壌141件、ダイオキシン類21件及び悪臭59件 | |
| (2) | 工場及び事業場等の規制指導
関係法令に基づき立入検査及び行政指導を行いました。
大気汚染防止法 延べ290事業所
水質汚濁防止法 延べ73事業所
騒音規制法等 延べ46事業所
振動規制法等 延べ7事業所
悪臭防止法等 延べ29事業所
ダイオキシン類対策特別措置法 延べ16事業所
土壌汚染対策法 延べ6事業所 | |
| (3) | 光化学スモッグ及びPM2.5緊急時対策
光化学スモッグ予報等及びPM2.5注意喚起情報は、発令されませんでした。 | |
| (4) | 苦情処理
苦情件数248件（延べ270件）
（内訳：大気汚染158件、水質汚濁11件、騒音60件、
振動11件、悪臭26件及びその他4件※重複あり） | |
| (5) | 河川事故等への緊急対応
河川への濁水や油の流出事故等について、緊急対応しました。
対応件数 10件 | |
| 4 | 産業廃棄物対策費【廃棄物対策課】 | 8,120,538円 |
| (1) | 事務費 | 4,151,955円 |
| (2) | 不適正処理産業廃棄物対策費 | 888,583円 |
| ア | 産業廃棄物処理施設等への立入検査・指導
産業廃棄物処理施設等の適正な維持管理のため、処理業者、産業廃棄物処理施設等に立ち入り、検査・指導を行いました。
定期立入事業所数 76か所 | |

- その他立入事業所数 延べ 1, 153か所
- イ 不適正処理に関する行政指導及び行政処分
産業廃棄物処理業者等に行政指導を行いました。
行政指導 指導票 9件
- ウ 産業廃棄物に係る苦情処理
苦情件数 160件
(内訳：廃棄物の野焼き133件、不法投棄16件、
その他11件)
- (3) 航空写真を解析した不法投棄等監視費 3, 080, 000円
通常業務では把握できない地域における不法投棄等の監視の充
実を図るため、航空写真を解析して不適正処理現場の早期発見、
早期指導を行いました。
現地調査箇所数 1, 287地点
不適正処理発見数 32地点(うち年度内改善済み3地点)
- 5 PCB処理推進費【廃棄物対策課】 4, 592, 630円
- (1) PCB処理安全監視費 3, 171, 250円
- ア 安全監視委員会等の開催
豊田市PCB処理安全監視委員会を2回開催し、豊田PCB処
理事業所の事業の監視及び情報公開の推進に努めました。
- イ PCB環境調査
国や近隣自治体の協力を受け、大気3地点、土壌1地点、河川
(水質・底質)2地点において、調査を実施しました。
- (2) PCB適正処理推進費 1, 421, 380円
PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会にて、処分期限内
の確実な処理に向けた調整を行いました。
また、処理責任者が不存在となっている高濃度PCB廃棄物で
あるコンデンサー1台について、行政代執行による処分を行いま
した。
- 6 環境対策啓発費【環境政策課・循環型社会推進課】 9, 255, 278円
- (1) とよたSDGsポイント費
加入者 30, 216人
(アプリ：4, 826人、カード：25, 390人)
加盟店 93店舗
- (2) 環境教育啓発費
- ア 小学生向け環境学習補助教材の作成
子どもの環境への理解を深め、学校や家庭で環境配慮行動が実
践できるよう、小学4年生向けの環境学習補助教材を作成しまし

た。

イ 環境学習ボランティアの派遣

小学校等での環境学習（水生生物調査等）を支援するために環境学習ボランティアの派遣を行いました。

水生生物調査派遣 10回 延べ22人

ウ 水生生物調査の実施

子どもの川と水への関心を深め、環境保全意識の向上を図るため、河川の水生生物調査を実施しました。

調査実施地点数 16河川 21地点

調査参加児童数 16小学校 305人

(3) エコライフ活動推進費

65団体で構成する「とよたエコライフ倶楽部」の活動を推進し、環境にやさしいライフスタイルづくりに努めました。また、12月3日に開催されたエコットフェスタへ出展しました。

出前講座の実施 12回

7 地球温暖化防止対策推進費【環境政策課】274,618,558円

(1) 地球温暖化防止対策関連費

ア 温室効果ガス排出量の算定（令和2年度市内全域の排出量）

イ 脱炭素スクールの開催

第1期後期スクール 5回、第2期前期スクール 5回

ウ 公共施設太陽光導入可能性の調査

(2) 気候変動適応推進費

ア 気候変動適応情報プラットフォームの運用

イ 気候変動対策を考えるツアー及び会議の実施

(3) 次世代自動車普及促進費

SAKURAプロジェクトによる次世代自動車の普及啓発のためのイベント出展を29件（うち自動車販売店等出展6件）行いました。

(4) 家庭用燃料電池設置費補助金（5/100）

交付件数 141件

(5) 次世代自動車普及促進費補助金（定額）

電気自動車・プラグインハイブリッド車 交付台数295台

燃料電池自動車 交付台数 1台

超小型電気自動車 交付台数 5台

充電設備補助件数 109件

(6) 事業者向次世代自動車普及促進費補助金（定額）

電気自動車・プラグインハイブリッド車 交付台数 38台

燃料電池自動車 交付台数 2台

	充電設備補助件数	13件
(7)	家庭用蓄電池設置費補助金(定額)	
	交付件数	404件
(8)	スマートハウス化設備設置費等補助金(定額)	
	交付件数	180件(うちZEH補助件数56件)
(9)	外部給電装置設置費補助金(9/10・1/5)	
	後付け外部給電装置交付件数	27件
	住宅向け非常時給電装置交付件数	36件
(10)	省エネ家電設置費補助金(定額)	
	交付件数	5,921件
8	環境学習施設e c o - T (エコット)費	62,294,733円
	【環境政策課・建築予防保全課】	
(1)	学習事業	
	e c o - T来館者	延べ 16,035人
	小学校の施設見学学習	76校 3,737人
	エコライフ講座	118回 延べ 1,731人
	(うち卒FITセミナー	3回 延べ 109人)
	出前授業	40回 延べ 2,423人
	出前講座	8回 延べ 249人
	積み木キャラバン	68こども園 1,958人
	インタープリター登録数(積み木キャラバン隊含む)	
		延べ92人
(2)	バスの借入による環境学習の推進	
	小学校の環境学習施設見学を支援するために送迎用バスの借入 を行い、利用を促進しました。	
	バスによる送迎	5校 9台 262人
(3)	イベント事業	
	エコットフェスタ	12月3日 556人
(4)	施設の修繕等	
	非常用放送設備修繕等を行いました。	
9	不良な生活環境解消推進費【環境保全課】	426,192円
	いわゆる「ごみ屋敷」等の不良な生活環境を解消し、市民が安心して 暮らすことができる安全で快適な生活環境を確保するため、関係機関と 連携した福祉的な支援や声掛けなど、解消に向けた取組を行いました。	
	対応件数	121件(うち新規41件)
	解決	54件
10	環境調査費【環境保全課】	46,211,079円
(1)	大気汚染調査	

ア 有害大気汚染物質等調査

大気汚染防止法に基づき、大気中の有害大気汚染物質等の状況把握のため、実態調査を実施しました。

3地点 年12回

環境基準設定4物質は全て環境基準を達成しました。

指針値設定11物質は全て指針値に適合しました。

イ 大気環境中の石綿濃度調査

1地点 年1回 0.27本/L

ウ 微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析調査

2地点 年4回 46成分

(2) 水質汚濁調査

ア 河川調査

公共用水域の水質を把握するため、水質調査を実施しました。

43河川56地点

カドミウム等の健康項目は、全ての地点で環境基準を達成しました。BOD等の生活環境項目は、介木川等3河川の大腸菌数及び逢妻女川のBODを除き、類型指定された全ての地点で環境基準に適合しました。

ノニルフェノール等の水生生物保全項目は、逢妻川水系で全亜鉛が環境基準を超過し、要監視項目は、全ての地点で指針値に適合しました。

イ 地下水調査

(ア) 概況調査

水質汚濁防止法に基づき、市内の地下水質の状況を把握するため、11地点で地下水調査を実施しました。

11地点27項目を調査した結果、全ての地点で環境基準を達成しました。要監視項目の全マンガンを1地点(前林町)で調査した結果、指針値を超過しました。

(イ) 定期モニタリング調査

水質汚濁防止法に基づき、過去に汚染が判明した地域を継続的に調査しています。

34井戸で、鉛、トリクロロエチレン等13項目を調査した結果、8井戸でトリクロロエチレン等5項目が環境基準を超過しました。

(ウ) 汚染井戸周辺地区調査

3地点から土壌汚染の報告があったため、周辺の5井戸で調査を実施しました。鉛等2項目を調査した結果、全ての井戸で環境基準に適合しました。

ウ 排水基準等監視調査

工場を中心に立入確認及び排水検査を実施し、有害物質使用特定事業場は土壌地下水汚染防止対策の確認を行いました。

延べ73事業所 55検体

4事業所で排水基準等違反があり、改善対策を指導しました。

エ ゴルフ場排出水中の農薬検査

4ゴルフ場 年1回 27項目 延べ44検体

全て指針値、協定値に適合しました。

(3) ダイオキシン類常時監視調査

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、公共用水域水質・底質、地下水質及び土壌中のダイオキシン類の状況把握のため、調査を実施しました。

大気 2地点 年4回

公共用水域水質 3地点 年2回

公共用水域底質 3地点 年1回

地下水質 3地点 年1回

土壌 3地点 年1回

全ての地点で環境基準を達成しました。

(4) 環境騒音調査及び振動調査

環境騒音調査(一般地域及び道路に面する地域)、自動車騒音調査及び道路交通振動調査を実施し、市域の状況把握に努めました。

環境騒音調査(一般地域13地点)環境基準達成率100%

環境騒音調査(道路に面する地域6路線5,533戸)環境基準達成率98.2%

自動車騒音調査は、6地点全てで要請限度を下回りました。

道路交通振動調査は、3地点全てで要請限度を下回りました。

(5) 排出ガス中のダイオキシン類等調査

ダイオキシン類及びばい煙測定を2事業所の2施設で実施し、全て排出基準に適合しました。

11 水環境指標推進費【環境保全課】 98,456円

西中山川、伊保川等において、市民と共働調査を実施し、市民に分かりやすい水環境指標の推進に努めました。

調査河川数 5河川

調査参加者 162人

12 水質浄化対策費【環境保全課】 341,800円

豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会(30市町村等加盟)の活動を通じて三河湾の水質浄化に努めました。

家庭用洗剤成分が高濃度で検出された河川について、原因調査を行うとともに、周辺住民と環境保全の取組を考えるワークショップを開催しました。

参加者 25人

- 13 環境保全協定推進費【環境保全課】 2,114,008円
市内中小企業の環境法令遵守及び環境取組のレベルアップのため環境取組技術支援セミナーを開催しました。

セミナー参加者 56人

事業者向け環境教育教材(6分野)について、「環境法令一般」及び「廃棄物・リサイクル」の2分野を協定企業と共に改訂しました。また、協定協議会WEBサイトを改修し、市民向けページの充実を図りました。

- 14 大気測定局費【環境保全課】 44,548,652円

(1) 管理費

北部局(加納町)13項目測定
東部局(宝来町)9項目測定
中部局(三軒町)15項目測定
南部局(竹元町)10項目測定
新田局(花園町)10項目測定

環境基準設定項目である、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質(PM2.5)は全局で環境基準を達成し、光化学オキシダントは全局で達成しませんでした。

(2) 伊勢湾岸自動車道関連環境調査費

大気調査(6項目)を3局で、騒音調査を4局で行いました。

(3) 施設整備費

北部局(加納町)のPM2.5計、SPM計及び非メタン炭化水素計並びに南部局(竹元町)のPM2.5計を更新しました。

4- 3- 1目 清掃総務費

		(前年度)
当初予算額	1,259,744,000円	(1,491,562,000円)
予算現額	1,295,246,997円	(1,454,605,000円)
決算額	1,271,143,152円	(1,437,096,919円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	24,103,845円	(17,508,081円)

4款 衛生費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- | | | |
|---|--|----------------|
| 1 | 人件費（一般職164人、非常勤一般職26人）【人事課】 | |
| | | 1,238,259,790円 |
| 2 | 非常勤一般職管理事務費【人事課】 | 1,388,690円 |
| 3 | 清掃事務費【循環型社会推進課】 | 1,527,100円 |
| 4 | 環境委員活動費【循環型社会推進課】 | 458,750円 |
| | 環境委員の廃棄物に関する意識の向上を図ることで、良好な地域環境の保全に努めました。 | |
| 5 | 廃棄物意識啓発費【循環型社会推進課】 | 8,803,026円 |
| | 市民等に向けてごみの分別・資源リサイクルの必要性を呼び掛け、ごみ減量に対する意識の向上に努めました。また、事業者との共働による啓発活動、フードドライブ等を行い、食品ロスの削減に取り組みました。 | |
| | 出前講座の実施 | 26回 1,109人参加 |
| | 豊田市「資源・ごみ分別アプリ」の累計ダウンロード数 | 67,033件 |
| | 各種啓発冊子、パンフレットの作成 | |
| | ごみカレンダー | 177,200部 |
| | ごみガイドブック | 15,000部 |
| | 外国語版ごみカレンダー・ごみガイドブック | 22,700部 |
| | 食品ロス削減PRイベントの実施（令和4年10月30日） | |
| | 総来場者数 | 300人 |
| | 食品スーパー等への手前どり啓発ポスターの掲示 | 18社65店舗 |
| | 大学や生産者との災害備蓄食品アレンジレシピの試食会 | |
| | 企画展（10月） 総来場者数 | 70人 |
| | フードドライブの実施・支援 | 6回 |
| 6 | 庁舎等施設費【清掃施設課】 | 20,705,796円 |
| | 清掃事業所の適切な維持管理に努めました。 | |

4- 3- 2目 塵芥処理費

		(前年度)
当初予算額	1,868,509,000円	(2,133,197,000円)
予算現額	2,118,842,538円	(2,060,901,000円)
決算額	2,093,697,356円	(1,748,848,401円)
翌年度繰越額	0円	(275,527,538円)
不用額	25,145,182円	(36,525,061円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- | | | |
|---|----------------|--------------|
| 1 | ごみ収集事業費【清掃業務課】 | 943,156,749円 |
|---|----------------|--------------|

(1) 一般家庭から排出されたごみを収集しました。

令和4年度収集量(前年度対比2.7%減)

燃やすごみ 71,870 t

金属ごみ 2,177 t

埋めるごみ 981 t

資源 2,757 t

(内訳 飲料缶128 t びん858 t

ペットボトル305 t

プラスチック製容器包装1,466 t)

有害ごみ 137 t

(内訳 廃乾電池113 t 廃蛍光管24 t)

危険ごみ 136 t

(内訳 スプレー缶126 t ライター10 t)

合計 78,058 t

(2) 市民が快適で衛生的な生活を営むことができるよう次の事業を実施しました。

ア ごみ収集場所54か所を新設し、収集場所の適正配置に努めるとともに、ごみ出しマナーの向上、分別出しの徹底による収集の効率化に努めました。

イ 一人暮らしの高齢者・障がい者等を対象としたごみ収集支援「ふれあい収集」を298世帯に実施しました。

ウ ごみの散乱防止等のため、自治区等に対しごみステーション原材料支給を行いました。

(原材料支給 ごみステーション78か所 防鳥ネット支給1,682枚)

エ 塵芥収集車両 5台(可燃等用 小型ワイド塵芥車3台 資源用 中型トラック1台 不法投棄用 小型ダンプ1台)を更新しました。

オ 「ごみの正しい出し方」「資源の再利用」について以下のとおり実施しました。

(ア) 正しい分別方法の啓発等のため、更新した塵芥収集車両(3台)の側面にごみ減量標語を記載しました。

(イ) 指定ごみ袋を容易に入手できるようにするため、自治区に指定ごみ袋のあっせんを行いました。

245自治区 165,476パック

(ウ) ごみ出しマナーの向上のため、地域と共働でごみステーションに分別方法を示した看板等を設置しました。

分別収集用看板376枚、資源収集用看板115枚、

啓発用看板50枚

(エ) 転入者に指定ごみ袋でのごみ出し、分別の周知を図るため、転入者用ごみ袋セットを作成し、市民課や支所・出張所の窓口で配布しました。

転入者用ごみ袋セット 6,900セット

カ 不燃ごみリサイクル処理事業

金属ごみ、粗大ごみ、廃棄自転車、不法投棄された不燃ごみを民間施設で破碎選別処理を行い資源回収と減容化を図りました。

処理量3,370t 資源回収量1,960t(58.2%)

回収量 金属 1,281t

非鉄 145t

小型家電 534t

2 勘八不燃物処分場費【清掃施設課】 74,402,571円

処理水放流量 19,003m³

3 グリーン・クリーンふじの丘費【清掃施設課】

278,506,294円

ごみ等搬入量 4,161t

資源等搬出量 1,132t

埋立量 3,029t

処理水放流量 21,891m³

4 廃棄物資源化事業費【循環型社会推進課】203,798,685円

(1) リサイクルできる資源を集団回収した登録団体に対して報奨金を交付しました。

報奨金交付額 21,043,492円

活動団体 470団体

回収量 古紙類 2,490t

古布 64t

(2) 市内22か所のリサイクルステーションにおいて、資源の回収を実施しました。

回収量 古紙類 6,286t

古布 431t

飲料缶 378t

ペットボトル 740t

びん 1,387t

プラスチック製容器包装 452t

事業系古紙類 61t

(3) 家庭から排出される植物性廃食用油を市内8か所のリサイクルステーションで回収し、資源化を促進しました。

4款 衛生費

回収量 25,720ℓ

- (4) 集団回収した資源の回収を行う事業者に対して補助金を交付し
集団回収事業の活性化を促進しました。

補助金交付額 4,124,804円

交付事業者数 20事業者

- (5) 家庭から排出された粗大ごみを清掃・補修し、リユース(再使
用)家具として展示販売しました。

販売数 621点

売払収入 1,564,600円

- (6) 協力団体と共働して、ダンボールコンポスト講座を開催し、家
庭から排出される燃やすごみの減量・資源化を促進しました。

講座33回 421人参加

5 緑のリサイクルセンター費【清掃施設課・建築予防保全課】

529,541,629円

- (1) 管理運営費 112,975,939円

搬入量 1,752t

- (2) 施設保全費 5,973,000円

雨漏り修繕を行いました。

- (3) 施設整備費 410,592,690円

緑のリサイクルセンターの改修工事を行いました。

6 粗大ごみ収集事業費【清掃業務課】 38,192,074円

粗大ごみの収集について、電話申込みによる個別収集を行いました。

収集件数 21,970件(令和3年度21,986件)

収集個数 60,871個(令和3年度60,418個)

収集量 876t(令和3年度 922t)

7 きれいなまちづくり費【清掃業務課】 26,099,354円

- (1) 不法投棄対策として、パトロール車両(トラック1台)を更新
し、直営不法投棄班(6人)と会計年度任用職員の不法投棄パト
ロール員(16人)で、不法投棄のパトロール、不法投棄物の回
収(家電4品目、タイヤ等)の収集処理を実施しました。

処理件数 1,228件(令和3年度 1,482件)

処理量 56t(令和3年度 86t)

- (2) 豊田市に登録された不法投棄パトロール隊へ不法投棄対策及び
まちの美化活動に必要な資材を支給し、活動を支援しました。

令和4年度不法投棄パトロール隊205団体 6,302人

(令和3年度不法投棄パトロール隊203団体 6,595人)

- (3) ごみ散乱防止対策として、ポイ捨てごみの多い地域へ看板を配
布し、ごみ散乱防止の啓発を行いました。

4款 衛生費

	犬フン公害防止看板	189枚
	不法投棄禁止看板	186枚
4- 3- 3目 し尿処理費		
		(前年度)
当初予算額	831,059,000円	(855,306,000円)
予算現額	861,204,000円	(842,609,000円)
決算額	849,954,915円	(835,501,615円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	11,249,085円	(7,107,385円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	し尿収集事業費【清掃業務課】	207,637,096円
(1)	直営収集	
	都市景観や環境に配慮し、側面をパネル架装したし尿収集車で計画的に収集作業を実施しました。(収集世帯数:95世帯)	
(2)	委託収集(1組合、1業者)	
	し尿収集作業の一部を業者へ委託しました。(収集世帯数 1,278世帯)	
	し尿搬入量	
	逢妻衛生プラント	1,369t
	砂川衛生プラント	5,119t
	し尿搬入量 計	6,488t
2	砂川衛生プラント費【清掃施設課】	278,626,092円
	※全体	(豊田市分)
	し尿処理量 計	5,472t(5,119t)
	汚泥処理量 計	54,132t(49,279t)
	※全体は、みよし市分を含む。	
3	逢妻衛生プラント費【清掃施設課】	351,821,596円
	※全体	(豊田市分)
	し尿処理量 計	1,981t(1,369t)
	汚泥処理量 計	67,442t(49,631t)
	※全体は、知立市分を含む。	
	肥料利用量	347t
4	浄化槽対策費【下水道施設課】	6,472,636円
(1)	事務費	
(2)	浄化槽適正管理推進費	
	地域ぐるみで浄化槽の適正な維持管理を推進する「浄化槽維持	

4款 衛生費

管理促進事業」を実施しました。

実施団体 43団体

実施世帯 3,480世帯

5 公衆便所費【清掃業務課】 5,397,495円

緑陰歩道・名古屋鉄道梅坪駅前など10か所の公衆トイレの清掃補修等の維持管理を行いました。

4-3-4目 清掃工場費

(前年度)

当初予算額	2,808,456,000円	(2,873,976,000円)
予算現額	3,001,995,000円	(2,831,755,000円)
決算額	2,934,871,850円	(2,665,354,886円)
翌年度繰越額	47,900,000円	(120,000,000円)
不用額	19,223,150円	(46,400,114円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆

47,900,000円

渡刈クリーンセンター設備改修事業

47,900,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 渡刈クリーンセンター費【清掃施設課】

2,173,009,571円

ごみ焼却量 3炉合計 96,086t

発電電力量 44,353MWh

売電電力量 20,685MWh

溶融スラグ利用量 3,341t

基幹的設備改良工事、施工監理委託を契約しました。

2 プラスチック資源化施設費【清掃施設課】100,301,652円

(1) 管理運営費 93,602,652円

処理量 1,907t

引渡量 1,754t

(2) 施設整備費 6,699,000円

集塵・脱臭設備等の修繕を行いました。

3 藤岡プラント費【清掃施設課】661,560,627円

(1) 管理運営費 477,420,627円

ごみ焼却量 20,053t

(2) 施設整備費 184,140,000円

長寿命化改修工事及びバグフィルタ用バイパスダクト他取替修繕を行いました。

5款 労働費

5款 労働費	
	(前年度)
当初予算額	175,505,000円 (153,381,000円)
予算現額	163,790,000円 (635,549,905円)
決算額	158,123,198円 (327,253,175円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	5,666,802円 (308,296,730円)
5- 1- 1目 労働費	
	(前年度)
当初予算額	175,505,000円 (153,381,000円)
予算現額	163,790,000円 (635,549,905円)
決算額	158,123,198円 (327,253,175円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	5,666,802円 (308,296,730円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(一般職7人、非常勤一般職2人)【人事課】	50,043,440円
2 労政事務費【産業労働課】	139,854円
3 職業訓練校費【産業労働課】	9,907,588円
(1) 管理費	8,914,588円
職業訓練校について適正な維持管理に努めるとともに、訓練生の授業料や教材用の木材調達への支援により、訓練事業の運営強化を図りました。	
指定管理者 職業訓練法人豊田職業訓練協会	
利用者数 3,403人	
(2) 職業訓練用備品購入事業補助金(9/10)	993,000円
職業訓練に使用する自動砲等の更新に対し、補助しました。	
4 就労支援費【産業労働課】	70,850,001円
(1) 就労支援室費	
就職希望者を対象に、ハローワーク豊田と連携し、一体的就労支援事業を実施しました。	
相談件数 4,281件	
紹介件数 2,004件	
就職件数 357件	
(2) 若年者就労支援費	

若年者就労支援のため、セミナーやキャリアカウンセリング、PC講座を実施しました。

参加者数 195人

(3) 定住外国人就労支援費

就職に必要な技能習得を目的とした外国人就労支援日本語教室及び就労支援セミナー等を実施しました。

中級日本語教室(117回開催)参加者実人数 18人

(うち進路決定者数 14人)

初級日本語教室(132回開催)参加者実人数 64人

(うち進路決定者数 64人)

外国人向け就労支援セミナー等参加者数 134人

(4) 女性再就労支援費

女性しごとテラスを運営し、職業相談・職業紹介を行うとともに女性の再就労を支援する各種のセミナーを実施しました。

相談件数 1,071件

就職件数 114件

就労支援セミナー参加者数 12回 332人

ジョブトレーニング参加者数 3回 34人

(5) 中高年齢者就労支援費

求人開拓のための企業訪問 63件

個別相談、セミナー参加者数 349人

5 働き方改革推進費【産業労働課】 4,839,216円

(1) アドバイザー派遣費

市内事業所の働き方改革の取組を促進するため、専門的知識を有する登録アドバイザーの活用促進を図るとともに、市内事業所へ派遣しました。

登録アドバイザー 40人

アドバイザー・講師派遣回数 20事業所51回

(2) 啓発事業費

市内事業所の働き方改革への取組意欲を喚起するため、意識啓発を実施しました。

優良事業所表彰 応募事業所数 32事業所

事業所訪問等 23件

働き方改革啓発セミナー参加者数 308人

6 勤労者サービスセンター事業補助金(10/10)【産業労働課】 18,429,099円

会員数 6,554人(534事業所)

7 勤労者対策費【産業労働課】 3,914,000円

5款 労働費

- (1) 雇用対策協会補助金 (1 / 2)
事業内容 インターンシップ事業、業界研究会等
- (2) 労働団体公益的の事業補助金 (1 / 2)
事業内容 交通安全活動、環境美化活動

6款 農林水産業費

6款 農林水産業費		
		(前年度)
当初予算額	2,922,249,000円	(2,888,368,000円)
予算現額	3,152,266,000円	(2,895,052,000円)
決算額	2,912,069,094円	(2,644,963,770円)
翌年度繰越額	105,584,077円	(147,284,000円)
不用額	134,612,829円	(102,804,230円)
6- 1- 1目 農業委員会費		
		(前年度)
当初予算額	104,573,000円	(124,388,000円)
予算現額	130,945,000円	(122,415,000円)
決算額	124,481,011円	(117,144,199円)
翌年度繰越額	0円	(1,984,000円)
不用額	6,463,989円	(3,286,801円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(農業委員会委員19人、農地利用最適化推進委員46人、 一般職7人、非常勤一般職3人)		
【農業委員会事務局・人事課】	109,602,209円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	311,320円	
3 農業委員会事務費【農業委員会事務局】	14,567,482円	
《事務処理状況》		
(1) 農地移動等処理状況(令和4年度)		
<項目>	<件数>	<面積>
農地法第3条	97件	13.2ha
農地法第3条解除付	0件	0ha
農地法第18条	159件	28.7ha
農地法第4条(許可)	20件	0.6ha
農地法第5条(許可)	220件	20.8ha
農地法第4条(届出)	77件	7.3ha
農地法第5条(届出)	211件	24.9ha
事業計画変更承認	12件	4.6ha
農地改良届	7件	0.8ha
現況証明	110件	2.8ha
生産緑地に係る主たる		
従事者の証明書	7件	0.6ha
贈与、相続税の納税		

6款 農林水産業費

猶予に係る適格証明	16件	12.3ha
その他	434件	135.8ha
計	1,370件	252.4ha
(2) 遊休農地発生防止・解消		
令和4年度末1号遊休農地面積		230.3ha
令和4年度末2号遊休農地面積		253.4ha
(3) 担い手への農地集積・集約		
農用地区域内の農地集積率	平坦地	74.6%
	山村地	10.1%

6-1-2目 農業総務費

		(前年度)
当初予算額	565,922,000円	(500,059,000円)
予算現額	541,837,000円	(502,165,476円)
決算額	524,504,213円	(483,211,661円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	17,332,787円	(18,953,815円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（一般職43人、非常勤一般職16人）【人事課】
386,062,593円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 927,830円
- 3 農政事務費【農政企画課・農業振興課】 1,231,576円
- 4 農政総合推進費【農政企画課・農業振興課】44,915,841円
 - (1) 農地調整推進費 1,815,000円
令和4年1月からの指定市事務の開始に伴い、新たに農地転用許可台帳システムを整備するため作成業務委託を行いました。
 - (2) 人・農地プラン（地域農業マスタープラン）推進費 962,500円
法改正に伴い策定作業を進めている地域計画について、市民への理解促進を図るための教材を作成しました。
 - (3) 農業人材力強化総合支援費補助金（定額） 21,111,341円
令和3年度までに認定を受けた新規就農者に交付金を交付し、農業への定着を促進しました。
農業次世代人材投資資金交付対象者 17件
 - (4) 新規就農者育成総合対策補助金 21,027,000円
新たな認定新規就農者に対して資金を助成するとともに、就農

に必要な機械等の導入を支援しました。

経営開始資金（定額） 2件 3,000,000円

経営発展支援事業（3/4）4件 18,027,000円

5 農業基本計画推進費【農政企画課】 24,000円

豊田市農業・農村支援協議会を開催し、第3次豊田市農業基本計画の進捗状況の共有と課題に対する協議を行いました。

6 農ライフ創生センター費【農業振興課】 17,509,512円

(1) 運営費 17,209,512円

遊休農地の活用と高齢者の生きがいを進めるため、農作物栽培技術研修を実施しました。

また、県内有数の桃・梨の産地である本市をこの先も産地として維持するため、担い手の確保を目的とした桃・梨専門コースを実施しました。

<農作物栽培技術研修>

担い手づくりコース（農家志望者対象 2年・週1回）

18期生18人（修了） 19期生25人（1年目）

20期生22人（受講決定）

桃・梨専門コース（果樹農家志望者対象 2年

・年1,200時間以上）

3期生 2人（修了）

4期生 1人（1年目修了） 5期生 2人（受講決定）

※受入実績は、1～5期生で8人

生きがいづくりコース（農を楽しむ者対象 1年・週1回）

4期生 29人（修了）

5期生（下山のみ） 9人（受講決定）

旬の野菜づくりコース（農の基礎を学ぶ者対象 年12回）

令和4年度 38人（修了）

令和5年度 38人（受講決定）

<担い手づくりコース修了生の農地借入状況>

17期生までの累計274人 約56.4ha

<桃・梨専門コース用管理ほ場の確保状況>

研修修了生用に確保したほ場の累計 約 5.3ha

うち桃苗木定植実施済ほ場の累計 約 2.8ha

(2) 新規就農者就農支援事業補助金（1/2） 300,000円

桃・梨専門コースの修了生に対し、新規就農時の経営安定を図るため支援しました。

補助対象 新規就農時の事業経費

補助件数 1件

6款 農林水産業費

- 7 体験農園費【農政企画課】 1,567,960円
 (1) 体験農園費 1,329,960円
 都市と山村部の交流促進のため、足助地区の市民農園などの管理を行いました。
- (2) 市民農園運営等支援費補助金(3/10) 238,000円
 市民農園運営者に対し、農園整備や農業教室の開催等を支援することで市民農園の利用環境の改善と利用率向上を図りました。
 補助事業者 市民農園運営者
 補助件数 2件
- 8 後継者育成費補助金(2/10)【農業振興課】 21,000円
 中核的担い手となる農業後継者グループの組織の育成強化を図りました。
 交付先 豊田みよし4Hクラブ 会員10人
 豊田加茂青年農業士会 会員15人
- 9 農業近代化資金利子補給補助金【農業振興課】 168,142円
 担い手農業者に対し、自身が立てた経営改善資金計画に即した農業経営の近代化を支援しました。
 令和4年度末融資残高 12件 59,643千円
- 10 経営体育成総合融資費【農業振興課】 68,334円
 認定農業者等の経営改善計画に即した資本装備高度化を支援し、農業経営の効率化・安定化に努めました。
 令和4年度末融資残高 3件 25,015千円
- 11 農地利用効率化等支援補助金(3/10)【農業振興課】 3,000,000円
 付加価値額の向上に取り組む中心経営体に対し、必要な農業機械の導入を支援しました。
 交付対象者 1件
- 12 農家支援給付費【農業振興課】 2,900,000円
 (1) 事務費 440,000円
 (2) 明治用水受益地農家支援給付金給付事業費補助金(定額) 2,460,000円
 頭首工漏水による明治用水の濁水に際し、支援給付金を交付することで農業者の不安を緩和し、営農意欲の維持を図りました。
 給付対象者 明治用水受益農家
 給付件数 134件
- 13 と畜場支援費【農政企画課】 17,147,875円
 (1) 環境対策負担金 9,721,875円
 と畜場の適正管理を目的として、豊田食肉事業協同組合の行う

6款 農林水産業費

と畜場の環境対策に係る経費に対して支援しました。

- (2) 施設等整備費補助金(1/2) 7,426,000円
 安全な食肉の供給を図るため、と畜場の施設修繕等を支援しました。

補助対象 場内舗装改良修繕(と畜棟東南側)始め3件

- 14 卸売市場特別会計繰出金【農政企画課】 48,864,000円
 15 農業費過年度国県支出金返還金【農業振興課】 95,550円
 中山間地域等直接支払交付金について、協定農用地の一部を除外したため交付金の一部を返還しました。

6-1-3目 農業振興費

(前年度)

当初予算額	293,737,000円	(294,249,000円)
予算現額	299,299,000円	(243,369,000円)
決算額	239,138,697円	(226,485,289円)
翌年度繰越額	30,924,077円	(0円)
不用額	29,236,226円	(16,883,711円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	30,924,077円
肥料価格高騰対策補助事業	30,924,077円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 米政策改革推進費【農業振興課】 15,482,000円
 (1) 水田農業経営所得安定対策推進事務費 1,870,000円
 (2) 水田農業経営所得安定対策推進補助金(10/10) 7,282,000円
 水田農業経営安定対策の円滑な推進のため、事務を行う豊田市地域農業再生協議会の運営を支援しました。
 (3) 転作団地化推進費補助金(定額) 6,330,000円
 連担団地の奨励・育成を図り、集団転作の定着を円滑に推進するため、集団転作参加者を支援しました。
 連担団地面積 777.3ha
- 2 中山間地域等直接支払費【農業振興課】 107,133,812円
 (1) 事務費 3,305,319円
 (2) 中山間地域等直接支払交付金(定額) 103,828,493円
 中山間地域等直接支払制度に参加し、協定を締結した142集落と個別協定者2人に対し交付金を支出しました。各集落は、こ

の交付金を活用して耕作放棄の防止、多面的機能の増進、将来に向けた農業生産活動の体制整備等を行いました。

協定数 藤岡10 小原19 足助31 下山18 旭24
稲武19 石野 4 松平19 計144協定

協定締結面積 785.0ha

3 地場産業振興費【農政企画課・農業振興課】 8,481,516円

(1) 地産地食推進費 4,800,400円

ジビエ産業の新たな担い手を確保・育成を図るため、担い手育成講座を開催しました。

(2) 農産物直売所推進費 299,673円

直売所の販売促進と認知度向上を図るため、「豊田市農産物直売所スタンプラリー2022」を開催しました。

(3) 豊田地域農業活性化対策負担金 2,653,443円

市内産農林畜産物のブランド化を推進するための品評会の開催や、機関連携による各種PRイベントの実施など、豊田市農産物ブランド化推進協議会の取組を支援しました。

(4) 地場農産物産地育成対策費補助金(3/10)

728,000円

生産出荷組織の育成を図り、地場農産物の高品質化を目指すとともに、産地の強化に努めました。

補助対象 組織育成費

補助件数 16団体

4 山間地営農等振興費【農業振興課】 6,661,000円

営農条件が不利な山村部における農業振興を図るため、農業者団体に助成を行いました。

補助対象 農業用機械(1/2)

補助件数 4件

5 地域資源活用産業育成支援費【農政企画課】 1,536,120円

(1) 農商工連携促進費 234,780円

持続可能な地域農業の実現に向けたSDGsの推進を図るため、市内農業者及び小売店と連携した「SDGsマルシェ」を開催しました。また、特産品づくりを現場で支援するアドバイザーを派遣しました。

出展事業者 3事業者

アドバイザー派遣回数 2事業者6回

(2) 6次産業化促進費 1,301,340円

都市圏での大規模商談会への出展を目指した「とよた食と農のビジネススクール事業」の開催を通じ、6次産業化に取り組む農

業者の販路拡大を支援しました。

6 強い農業づくり対策費【農業振興課】 19,657,000円

産地の生産体制を強化し高収益化を図るため、生産資材等を導入する農業者に対し、補助金を交付しました。

あいち型産地パワーアップ事業費補助金(4/10)

補助件数 6件

7 勘八農場費【農政企画課】 3,924,322円

勘八農場の適正な管理を実施しました。

8 主要穀物生産振興費【農業振興課】 3,790,000円

安全で安心な豊田市の農産物の品質向上のため、共同利用の農業機械導入に対して補助金を交付しました。

補助対象 農業用機械(3/10)

補助件数 2件

9 環境保全型農業推進費【農業振興課】 6,292,640円

(1) 環境保全型農業推進協議会負担金 227,000円

減農薬栽培や有機栽培等特色ある農業生産を進め、環境保全型農業の振興を図るため、豊田・みよし環境保全型農業推進協議会に負担金を交付しました。

(2) 環境保全型農業直接支援対策費補助金(定額)

6,065,640円

環境保全に効果の高い営農活動に取り組む8団体

(101.04ha)に補助金を交付しました。

10 漁業振興費【農業振興課】 13,704,800円

(1) 水産多面的機能発揮対策費負担金 451,800円

水産資源の生態系の維持保全及び多面的機能の理解増進を図るため、市内2団体の活動を支援する愛知県内水面水産多面的機能発揮対策協議会に負担金を交付しました。

(2) 内水面漁業振興費補助金(1/2) 13,253,000円

内水面漁業の活性化のため稚鮎の放流や産卵場の整備などに対して補助しました(矢作川、巴川、名倉川、三河湖の4漁業協同組合)。

11 鳥獣対策費【農業振興課】 49,237,564円

(1) 有害鳥獣捕獲対策費 26,891,184円

鳥獣による農作物被害防止のため、農事組合等の依頼に基づき猟友会に委託し、有害鳥獣駆除を実施しました。

また、豚熱の感染防止のため、死亡野生イノシシの防疫措置業務を委託しました。

駆除依頼件数 339件

- | | | |
|-----|---|-------------|
| | 駆除頭羽数(4～3月) | 10,146頭羽 |
| | ニホンカモシカ捕獲 | 20頭 |
| | 死亡野生イノシシ 防疫措置委託件数 | 25件 |
| (2) | 鳥獣害防止総合対策費負担金 | 13,724,380円 |
| | 農作物被害を解消するため、農業関係者等で構成する豊田市農作物等鳥獣害対策連絡協議会に負担金を交付しました。 | |
| | 侵入防止柵 18組合 延長 | 31.6km |
| | 捕獲おり導入 9組合 | 15基 |
| (3) | 野生鳥獣被害防止対策事業補助金(1/2) | 4,021,000円 |
| | イノシシ等の野生鳥獣類による農作物被害を防止するため、電気柵等の侵入防止施設を設置した農業者等(個人)に対し、資材費を補助しました。 | |
| | 補助件数 | 116件 |
| (4) | 狩猟免許取得支援費補助金(10/10) | 163,000円 |
| | 農作物等に被害を及ぼす野生鳥獣を捕獲する担い手を確保するため、新たに有害鳥獣駆除員になる新規狩猟免許取得者に対し、免許取得費用を補助しました。 | |
| | 補助件数 | 10件 |
| (5) | 有害鳥獣捕獲奨励補助金(定額) | 4,438,000円 |
| | 農事組合等の集落に対し、イノシシ等の捕獲おり管理(給餌、見回り)や埋却処分の奨励金を支給しました。 | |
| | 支給件数 | 211件 |
| 12 | 都市と農山村交流事業費【農政企画課】 | 1,162,000円 |
| | 都市部の子どもが農山村体験や農家へ宿泊などをする事業に補助金を交付し、グリーンツーリズムを推進しました。 | |
| 13 | 農業振興費【農業振興課】 | 2,075,923円 |
| | 肥料価格高騰対策事業費補助金(7.5/100) | |
| | 肥料価格の高騰をうけ、化学肥料の使用量低減に向けて取り組む農業者に対し、肥料費上昇分の一部を補助しました。 | |
| | 補助件数 | 182件 |

◆特記事項

肥料価格高騰対策事業費補助金について、急激な価格高騰に対応するため、12月議会で33,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【農業振興課】

6- 1- 4目 畜産業費		(前年度)
当初予算額	5,023,000円	(6,396,000円)
予算現額	37,023,000円	(4,935,000円)
決算額	15,993,606円	(4,749,995円)
翌年度繰越額	17,160,000円	(0円)
不用額	3,869,394円	(185,005円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		17,160,000円
配合飼料価格高騰対策補助事業		17,160,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 畜産振興費【農業振興課】	15,408,606円	
(1) 事務費	221,606円	
家畜伝染病のまん延防止のため、12月に畜産農家の防疫対策を支援しました。		
(2) 家畜診療業務委託費	2,640,000円	
獣医師が不足している山村部の家畜の疾病予防、傷病家畜の診療を獣医師に委託し、家畜衛生の向上を図りました。		
(3) 家畜導入奨励費補助金(2/10)	1,000,000円	
畜産農家の経営と生産基盤の安定を図るため、優良家畜(牛)の導入事業に補助金を交付し、その推進を支援しました。		
補助対象 加茂和牛改良組合		
導入農家2戸、和牛9頭		
(4) 酪農ヘルパー円滑化補助金(1/20)	163,000円	
酪農家の後継者育成とゆとりある酪農経営を進めるヘルパー制度を推進するため、補助金を交付しその円滑な実施を支援しました。		
補助対象 豊田酪農ヘルパー利用組合		
組合員8人		
(5) 後継牛確保対策費補助金(定額)	229,000円	
一定の成績をもつホルスタイン雌雄判別精液の導入費用を補助し、計画的な搾乳後継牛を確保する体制を推進しました。		
(6) 粗飼料価格高騰対策事業費補助金(定額)	10,315,000円	
粗飼料価格高騰に直面する酪農農家、肉用牛農家に対し価格高騰分の一部を支援しました。		
補助件数 24件		

6款 農林水産業費

(7) 配合飼料価格高騰対策事業費補助金(定額)840,000円
 配合飼料価格高騰に直面する畜産農家に対し価格高騰分の一部
 を支援しました。

補助件数 2件

2 家畜生産流通指導費【農業振興課】 585,000円

鶏卵の計画生産と安定供給を図るため、鶏卵価格安定補填金積立事業
 に参加する生産団体に補助金(定額)を交付しました。

補助対象 知多養鶏農業協同組合

鶏卵量 585t

◆特記事項

配合飼料価格高騰対策費補助金について、急激な価格高騰に対応するた
 め3月議会で18,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【農業振興課】

6-2-1目 農地総務費

(前年度)

当初予算額	117,663,000円	(135,002,000円)
予算現額	250,512,000円	(286,602,000円)
決算額	175,716,902円	(176,053,611円)
翌年度繰越額	57,500,000円	(84,300,000円)
不用額	17,295,098円	(26,248,389円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	57,500,000円
地籍調査事業	57,500,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 農地管理事務費【農地整備課】 6,157,009円

2 農業用施設管理費【農地整備課】 49,145,375円

大雨・洪水時における湛水防除のため、7か所の排水機場と野見門田
 樋門、枝下用水関連24施設等の管理を委託するとともに施設の修繕を
 行い、維持保全の効率的な管理運営に努めました。

3 地籍調査費【農地整備課】 80,168,768円

実施地区

御船地区、貝津地区、加納地区、黒田地区、上郷大成地区

栃立地区、小田木地区、猿投地区

事業内容

事前調査36ha、境界立会42ha、境界測量36ha、

成果閲覧100ha、認証登記156ha

6款 農林水産業費

4 農村環境改善センター費【農地整備課・建築予防保全課】

22,739,750円

高岡農村環境改善センターの適切な維持管理に努めました。

指定管理者 農村環境改善センター管理協会

施設利用者数 58,230人

多目的ホール舞台機構修繕

5 土地改良区運営費補助金(定額)【農地整備課】

17,506,000円

豊田土地改良区、藤岡土地改良区、下山土地改良区、旭土地改良区に対して補助金を交付しました。

◆特記事項

地籍調査事業において、国の補正予算(第1号)による国土調査事業補助金の採択及び法務局の登記が年度内に完了しなかったため、3月議会で繰越明許費補正し、57,500千円を翌年度へ繰り越しました。

【農地整備課】

6- 2- 2目 農地整備費

		(前年度)
当初予算額	79,572,000円	(60,358,000円)
予算現額	79,572,000円	(60,358,000円)
決算額	76,065,212円	(59,407,899円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,506,788円	(950,101円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 農地環境整備事業費【農地整備課】 76,065,212円

下山地区始め3地区の農業用施設の再整備を行い、営農の継続、耕作放棄地増加の抑制を図るために行う県営事業の実施設計及び排水路等の工事に対し、負担金を執行しました。

また、大野瀬地区で換地計画原案等を作成しました。

6- 2- 3目 施設整備費

(前年度)

当初予算額	809,653,000円	(800,026,000円)
予算現額	879,671,000円	(774,598,000円)
決算額	858,526,952円	(696,563,438円)
翌年度繰越額	0円	(61,000,000円)
不用額	21,144,048円	(17,034,562円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 農道整備費【農地整備課】 25,363,760円
 - 修繕 和会(1)地区始め14地区
 - 委託 小畑地区始め8地区 土質調査
 - 工事 永太郎地区始め2地区 延長=554m
 - 原材料 18か所
 - 負担金 浅谷地区始め6地区 延長=163m
- 2 県営農道整備費【農地整備課】 446,665円

奥三河の米・野菜・花き・畜産等の基幹作物の広域的な産地形成を図るために行う県営事業に対し、負担金を執行しました。

奥三河2期地区 道路付帯施設工 一式(進捗率100%)

開通記念式典経費 一式
- 3 ため池整備費【農地整備課】 149,609,998円
 - (1) ため池整備事業費 145,988,810円

本地池始め13池の工事・修繕・樹木伐採を行いました。
 - (2) 老朽ため池整備事業費 669,338円

県営事業の本地新池地区の工事に対し、負担金を執行しました。
 - (3) 緊急老朽ため池整備事業費 2,951,850円

県営事業の切山池1号地区の工事に対し負担金を執行しました。
- 4 防災ダム事業費【農地整備課】 16,231,303円

県営事業の八木池上池・下池地区始め6地区の実施設設計及び工事に対し、負担金を執行しました。
- 5 水路整備費【農地整備課】 63,626,802円
 - 修繕 足助白山(1)地区始め32地区
 - 委託 小松野地区始め2地区 測量設計
 - 工事 御幸地区始め2地区 延長=114m
 - 原材料 23か所
 - 負担金 花沢地区始め16地区 延長=451m
- 6 排水機場整備費【農地整備課】 7,617,500円

千石排水機場始め6排水機場の機器等の修繕を行いました。

- 7 中山間地域等活性化戦略費【農地整備課】 3, 890, 722円
 中山間地域の農業用施設や農地の荒廃を防止し、耕作放棄地の拡大を防止するためにイノシシ被害復旧等を実施しました。
 修繕 2か所
 原材料 6か所
- 8 用水保全費【農地整備課】 167, 545, 481円
 (1) 放水門自動装置点検費 7, 725, 000円
 枝下用水放水門・河川門(豊田市:電気設備98/143、機械設備16.83/24)の保守点検を行うため、負担金を執行し、正常な機能確保を図り、災害の未然防止に努めました。
- (2) 水質保全対策事業費 6, 307, 930円
 逢妻地区始め2地区の老朽化した幹線水路及び支線水路の改修を行う県営事業に対し負担金を執行しました。
- (3) 農業水利施設保全対策事業費 5, 223, 299円
 枝下用水5期地区の老朽化した農業用施設の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (4) 県営用排水施設整備費(伊保川地区) 8, 479, 856円
 老朽化した伊保川取水堰の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (5) 県営震災対策農業水利施設整備費(枝下用水地区) 128, 813, 466円
 枝下用水の耐震対策工事を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (6) 県営かんがい排水費(明治用水西井筋地区) 130, 900円
 明治用水西井筋地区の農業用施設の老朽化、耐震化対策を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (7) 愛知用水三好支線水路緊急対策費 5, 037, 000円
 老朽化した愛知用水三好支線の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (8) 農業用用水保全対策費補助金(定額) 1, 057, 000円
 矢作川流域の農業用水を安定的に確保するため、森林の保全に係る事業に対し、流域の関係市と補助金を交付しました。
- (9) 矢作川総合第二期地区支援事業費 4, 771, 030円
 明治用水の耐震対策事業に伴う、他目的使用施設の撤去等に係る共同工事の負担金を執行しました。
- 9 土地改良施設適正化事業費【農地整備課】 48, 400, 600円
 枝下用水の8-1号放水ゲートの更新工事を実施しました。
- 10 県営湛水防除費【農地整備課】 26, 389, 924円

6款 農林水産業費

上郷柳川瀬排水機場整備を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。

1 1 多面的機能支払費【農地整備課】 179,678,340円

農地、農業用施設の草刈りや景観植物の植栽など農村環境の保全にも役立つ共同活動に取り組む75の活動組織を支援しました。

また、農業用施設の長寿命化のための向上活動に取り組む26の活動組織を支援しました。

協定面積 2,488ha

1 2 土地改良事業費補助金【農地整備課】 169,694,350円

(1) かんがい排水事業補助金(7/10・4/10・2.5/10)

枝下用水No3地区始め78地区 94,958,950円

(2) 農道整備事業補助金(10/10・5/10・4/10)

駒新No1地区始め8地区 15,082,500円

(3) 機械揚水事業補助金(0.75/10)

舞木No1地区始め6地区 3,193,000円

(4) 農村総合整備事業補助金(5/10)

枝下用水No4地区 11,048,800円

(5) 緊急農地防災事業補助金(2.89/10)

吉原補助用水地区始め2地区 25,775,100円

(6) 調査設計事業補助金(5/10・9/10)

駒場補助用水地区始め3地区 15,569,000円

(7) 用水機維持管理事業補助金(3/10)

配津揚水機場始め35地区 4,067,000円

1 3 ふるさと・水と土保全基金積立金【農地整備課】 31,507円

ふるさと・水と土保全基金の利子を同基金に積み立てました。

6- 3- 1目 林業費

(前年度)

当初予算額	946,106,000円	(967,890,000円)
予算現額	933,407,000円	(900,609,524円)
決算額	897,642,501円	(881,347,678円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	35,764,499円	(19,261,846円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(森づくり委員会委員8人、一般職19人、非常勤一般職1人)

【森林課・人事課】 158,478,885円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 36,550円

6款 農林水産業費

3	林業振興事務費【森林課】	12,492,778円
4	市有林管理費【森林課】	24,212,081円
	(1) 市有林を適正に管理するため、間伐及び木材生産の実施、活用計画の策定を行いました。	
	切置き間伐	5.44ha(御内市有林)
	木材生産 皆伐	498m ³ 、0.74ha(御内市有林)
	利用間伐	301m ³ 、1.23ha(御内市有林)
	市有林・ゾーニング計画策定	
	(2) 御内市有林の事務所、林内管理道等の管理を御内自治区に委託しました。	
5	森林会館費【森林課】	14,000,000円
	指定管理者 (一社)ウッディーラー豊田	
6	矢作川水源林対策費【森林課】	40,485,702円
	矢作川流域の水源となる森林を保全するため、(公財)矢作川水源基金の助成を受け、森林整備及び作業路整備に補助しました。	
	また、この事務の一部を豊田森林組合に委託しました。	
	矢作川水源林対策事業事務委託	2,146,702円
	矢作川水源林対策費補助金(定額)	38,339,000円
	人工造林	0.58ha
	獣害対策(忌避剤散布等)	0.07ha
	獣害対策(防止柵設置)	158.5m
	下刈	10.18ha
	枝打ち	3.40ha
	間伐	44.35ha
	作業路新設 2路線	1,779m
7	水源環境林整備費【森林課】	26,797,821円
	森林の持つ公益的機能の充実を図るため、森林所有者と協定を締結している水源環境保全林の間伐しました。	
	間伐面積	54.69ha
8	森づくり推進費【森林課】	105,521,727円
	(1) 森づくり構想の実現のため、第4次森づくり基本計画を策定し冊子を作成しました。	242,186円
	(2) 人工林の健全化を効率的に進めるため、団地化を推進するとともに、県が実施するあいち森と緑づくり事業と保安林事業の間伐事業地取りまとめ業務の一部を豊田森林組合に委託しました。	
		75,771,441円
	あいち森と緑づくり事業	
	取りまとめ面積	382.14ha

保安林事業

取りまとめ面積 20.02ha

- (3) 間伐効果を検証するため、間伐モニタリング調査を引き続き実施するとともに、専門家を招いた見直し検討会を開催しました。

間伐モニタリング調査・検討業務委託

5,351,500円

- (4) 森林作業員の安全性の向上を図り、定着につなげるため、若手森林作業員に対して基礎技術研修を実施しました。

森林作業員基礎技術研修負担金 2,000,000円

- (5) 豊田市森づくり基本計画に基づき、人工林の間伐を推進する地域組織として「地域森づくり会議」の設立を進めるとともに、実際に間伐を行う「森づくり団地」の取りまとめを推進しました。

また、森づくり団地の計画認定面積に応じて、地域森づくり会議と豊田森林組合に交付金を支出しました。

森づくり会議設置数 1地域

森づくり団地設置数 45団地

森づくり団地計画認定面積 1,107.83ha

森づくり団地化交付金 22,156,600円

- 9 林道整備調査費【森林課】 6,754,000円

林道施設管理システムの整備を実施しました。

- 10 林道開設費【森林課】 23,110,384円

林業の生産性の向上及び山村地域の活性化を図るため、林道を開設しました。

野入立野線 施工延長： 42m 幅員： 4m

- 11 林道舗装費【森林課】 108,762,500円

林道の走行性及び安全性向上のため、雨水洗掘等により浸食された道路路面の舗装を行いました。

保戸嶋線 舗装延長：1,171m 幅員： 4m

大見山線 舗装延長： 600m 幅員： 4m

尾根線 舗装延長：1,059m 幅員： 4m

名倉道線 舗装延長： 294m 幅員： 4m

物見石線 舗装延長： 345m 幅員：3.6m

舗装延長計：3,469m

- 12 林道改良費【森林課】 88,883,300円

林道の安全性向上のため、道路のり面危険箇所及び道路崩壊箇所の改良を行いました。

戸越西市野々線 整備延長： 53m

亀割線 整備延長： 150m

6款 農林水産業費

	和合黒坂支線	整備延長：	333m
	月ヶ平支線	整備延長：	52m
	横川入日影線	整備延長：	259m
		整備延長計：	847m
13	林道維持管理費【森林課】		44,051,029円
	林道を適切に管理するため、林道パトロールを豊田森林組合に委託しました。		
14	林道修繕費【森林課】		42,043,100円
	林道の機能維持と安全性を高めるため、破損した危険箇所をの修繕を実施しました。		
15	林道橋りょう維持管理費【森林課】		11,550,000円
	橋りょうの機能維持と安全性を高めるため、橋りょう修繕を実施しました。		
	林道橋りょう修繕		無名橋（月ヶ平線）
16	間伐材搬出利用促進費【森林課】		52,484,970円
	(1) 中核製材工場敷地内の法面修繕、支障木伐採等及び動植物のモニタリング調査を実施しました。		
			4,761,350円
	(2) 作業道の維持補修をするため、原材料を支給しました。		
			708,620円
	(3) 間伐材を搬出するため、作業道・搬出路の整備に要する経費を補助しました。		
	作業道新設延長	1,156m	12,292,000円
	搬出路整備延長	37,995m	34,723,000円
17	間伐促進事業費【森林課】		45,952,000円
	森林の公益的機能の増進を図るため、人工林での切置き間伐に対して補助しました。		
	間伐面積		90.79ha
18	林業労働力対策費【森林課】		42,852,000円
	(1) 森づくり団地の推進に要する人材の就業機会を創出するため、豊田森林組合が養成する人材の人件費に対して補助しました。		
	(2) 新規林業就業者を確保するため、豊田森林組合の緑の雇用事業修了者への奨励金及び新規採用職員の林業大学校等への就学に係る経費等を補助しました。		
19	森林環境教育推進費【森林課】		11,390,674円
	(1) 間伐等林業作業者の育成と市民への森林・林業に関する啓発のため、とよた森林学校の間伐ボランティア講座や、森林入門セミナーなどの講座運営を委託しました。また、森林出前講座の実施		

や森の総合サイト「Tomori」を開設しました。

森林環境教育講座運営委託

10講座(17回)、受講者数168人(延べ263人)

森林出前講座 31回、953人

(2) 多くの市民等へ森林への理解を促すために、森林環境教育活動の実施に係る経費を補助しました。

森林環境教育活動事業補助金 2団体

2,652,000円

20 高性能林業機械施業促進費【森林課】 15,192,000円

機械化・省力化による木材搬出のコストダウンを促進するため、林業経営体が行う高性能林業機械の導入及び借入れに要する経費を補助しました。

購入 3台、リース 3台、レンタル 3機種

21 地域材利用拡大推進費【森林課】 21,871,000円

(1) 地域の林業・木材産業の活性化と市民の暮らしの質の向上を図るため、商品開発、調査研究及び販路拡大等に係る費用を支出しました。

負担金 1団体

5,450,000円

(2) 新たな地域材利用につなげるため、地域材を活用した飲食店等の店舗改装に要する経費を補助しました。

木質化モデル創出事業 11件 16,421,000円

22 森林整備市民活動費【森林課】 720,000円

(1) 市民グループによる自主的な森林整備を進めるため、グループの立ち上げ経費を補助しました。

森林ボランティア始動支援 2団体 175,000円

(2) 市民グループの活動を支援するため、傷害保険料を補助しました。

森林ボランティア安全対策 15団体 151人

545,000円

◆特記事項

・市の予算執行関係では、間伐促進事業、矢作川水源林対策事業、水源環境林整備事業及び水道水源林保全事業(水道水源保全会計)で

307.63haの私有林を間伐しました。【森林課】

・市全体では、あいち森と緑づくり事業等の県の予算執行関係を加え、

879.62haの私有林を間伐しました。【森林課】

・「地域森づくり会議」は、これまでに114会議が設立され、672団地、15,443.46haの人工林が団地化されました。【森林課】

・林道、作業道及び搬出路は、市の予算執行関係で40,972mを新た

6款 農林水産業費

に整備しました。なお、県代行事業を含む市全体では、41,385m
が整備されました。【森林課】

7款 商工費

7款 商工費	
	(前年度)
当初予算額	5,672,539,000円 (4,028,597,000円)
予算現額	6,643,004,684円 (5,395,718,178円)
決算額	4,543,639,463円 (4,738,438,602円)
翌年度繰越額	1,470,399,064円 (233,013,684円)
不用額	628,966,157円 (424,265,892円)
7- 1- 1目 商工総務費	
	(前年度)
当初予算額	372,553,000円 (395,335,000円)
予算現額	907,584,000円 (399,167,000円)
決算額	386,726,761円 (377,587,159円)
翌年度繰越額	496,723,432円 (0円)
不用額	24,133,807円 (21,579,841円)

●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	496,723,432円
省エネ設備導入支援補助事業	496,723,432円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(一般職41人、非常勤一般職26人)【人事課】	381,189,203円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	1,770,990円
3 商工総務事務費【産業労働課】	598,968円
4 省エネ設備導入支援補助金【産業労働課・商業観光課】	3,167,600円
省エネ設備導入支援補助金(1/2・定額)	
◎交付件数 5事業所	
◆特記事項	
省エネ設備導入支援補助事業において、物価高騰対策として省エネ設備への更新を促進するため、9月議会で500,000千円を増額補正し翌年度へ繰り越しました。【産業労働課・商業観光課】	

7- 1- 2目 商業振興費

(前年度)

当初予算額	1,008,400,000円	(860,418,000円)
予算現額	1,059,733,918円	(1,484,501,000円)
決算額	906,842,314円	(1,369,704,785円)
翌年度繰越額	5,450,000円	(60,927,918円)
不用額	147,441,604円	(53,868,297円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	5,450,000円
豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業(共用部)	5,450,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(商業振興委員会委員8人)【商業観光課】317,600円
- 2 商業振興費【商業観光課】4,258,252円
 - (1) 事務費 144,252円
 - (2) 施設整備費 4,114,000円
足助商工会館の老朽化に伴い、早急に修繕を行うための事前調査を行いました。
- 3 産業文化センター費【商業観光課・建築予防保全課】165,187,104円
 - (1) 管理費 149,183,160円
 - (2) 施設保全費 11,594,000円
誘導灯取替修繕を行うなど、適切な維持管理に努めました。
 - (3) 施設整備費 4,409,944円
デジタルサイネージ等管理上必要な備品を購入し、適切な施設整備を行いました。
指定管理者(公財)豊田市文化振興財団
施設利用者数 335,465人
- 4 ウェルカムセンター費【商業観光課】246,304円
 - (1) 管理費
- 5 都心駐車場費【商業観光課】14,020,095円
 - (1) 管理費 5,029,031円
 - (2) 施設整備費 8,991,064円
都心地区駐車場の適正な維持管理のため、施設修繕及び管理費の負担を行いました。また、駐車場の環境整備を行いました。
- 6 再開発施設費【商業観光課】191,744,020円
 - (1) 管理費 153,738,960円
 - (2) 施設整備費 38,005,060円

再開発施設の適正な維持管理のため、専用部火災保険料、共用部管理費・修繕費の負担を行いました。

7 フリーパーキング費【商業観光課】 140,554,700円

(1) 運営費

フリーパーキング対象駐車場において、公共施設の利用者の駐車料金の一部を負担し、都心駐車場の利便性向上を図りました。

8 商業活性化対策費【商業観光課】 200,438,900円

(1) 商業活性化対策費 2,457,900円

個店等への商業アドバイザー派遣、商店街マネージャーによる商店街指導、専門家による補助金審査などを実施しました。

(2) 商業活性化推進交付金

2団体 23,424,000円

商業振興条例に基づき、商業活性化推進3か年計画を策定した団体から申請のあった各種事業について支援しました。

(3) 新ビジネスおうえん補助金(5/10)

1件 150,000円

市内で新たに開始する事業を行うための資金調達に係る取組を支援し、魅力ある商業機能の維持・充実に努めました。

(4) 魅力あふれる店舗創出事業補助金(5/10)

15件 3,433,000円

店舗及び商品の宣伝における取組を支援し、魅力ある商業機能の維持・充実に努めました。

(5) 商業・サービス機能誘致奨励金(定額)

2団体 4,059,000円

商業振興条例に基づき、商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針を策定した地域内で、商業・サービス機能の拠点となる施設を誘致した事業者に奨励金を交付しました。

(6) 商店街等事業機会拡大事業補助金(9/10・8/10・4/10) 8団体 9,175,000円

商店街等活性化計画を策定した商業団体が実施する販売促進等の事業機会の拡大や、研修会開催などの人材育成事業に対して支援しました。

(7) 商店街等施設整備事業補助金(9/10・5/10)

2団体 654,000円

商業団体が実施する商店街の活性化を図る施設・設備の整備に対して支援しました。

(8) 公共空間等整備事業補助金(8/10・5/10)

1団体 41,755,000円

再開発施設のトイレの整備に対して支援しました。

- (9) 街路灯電灯料支援事業補助金 (9 / 10)
 16団体 12,006,000円
 商店街等商業団体が維持管理する街路灯の電灯料について支援
 しました。
- (10) 街路灯整備事業補助金 (9 / 10 ・ 5 / 10)
 8団体 3,704,000円
 商店街等商業団体が設置する街路灯の撤去やLED化などの修
 繕等を支援しました。
- (11) 中小企業指導事業補助金 (8 / 10 ・ 5 / 10)
 8団体 90,660,000円
 豊田商工会議所や商工会等が行う経営改善普及事業等について
 支援しました。
- (12) 中心市街地活性化協議会活動支援事業補助金 (8 / 10 ・ 5 /
 10) 1団体 83,000円
 中心市街地活性化協議会の運営に要する経費を支援しました。
- (13) 事業転換サポート補助金 (5 / 10)
 14件 7,879,000円
 中小企業の新分野展開や事業転換、業種転換、業態転換に対し
 て支援しました。
- (14) 山村地域貢献事業応援補助金 (5 / 10)
 2件 999,000円
 山村地域に求められる買い物関連事業に対して支援し、買い物
 環境の維持・向上を図りました。
- 9 中心市街地活性化対策費【商業観光課】 21,762,024円
- (1) 中心市街地活性化基本計画策定費 5,071,000円
 経済センサス等の基礎データの分析やパブリックコメントを実
 施し、第4期中心市街地活性化基本計画を策定しました。
- (2) 中心市街地情報提供費 1,745,894円
 歩行者通行量自動計測装置の管理を行いました。
- (3) 中心市街地活性化調査費 2,948,000円
 中心市街地の空き店舗状況など商業の現況を調査しました。
- (4) まちなか賑わい・回遊性向上費 4,997,130円
 中心市街地の回遊性を高めるために、「映画を活かしたまちづ
 くり実行委員会」が映画作品と連携したスタンプラリー等を実
 施しました。
- (5) イルミネーションストーリー実行委員会負担金
 7,000,000円

中心市街地の賑わい創出を目的に、中心市街地一帯をイルミネーションで装飾する費用を負担しました。

10 キャッシュレスポイント還元事業費【商業観光課】

113,255,598円

新型コロナウイルス感染症の拡大や物価高騰の影響により停滞する市内経済において、消費機会の創出や消費喚起のため、還元率20%のポイント付与事業について負担しました。

11 エリアマネジメント推進費【商業観光課】17,249,740円

(1) 公共空間活用推進費

8,499,687円

あそべるとよた推進協議会に対し公共的空間活用事業の経費、都市再生推進法人に対し自立したエリアマネジメントに向けた事業の経費を支援しました。

(2) エリアマネジメント推進人材活用補助金

(10/10・8/10)

8,750,053円

都市再生推進法人がまちづくりに関して事業を実施する上で必要となる人材の登用に係る費用を支援しました。

12 農商工連携促進費【商業観光課】

1,384,400円

特産品の販路拡大のために「とよたの特産品展実行委員会」が行う特産品開発事業について負担しました。

13 産業展負担金【商業観光課】

11,500,000円

名称 とよた産業フェスタ2022

開催日 令和4年9月10日(土)11日(日)2日間

14 WE LOVE とよた応援商品券事業費【商業観光課】

24,923,577円

令和4年5月末まで事業期間を延長したプレミアム率30%のプレミアム付き飲食券事業について負担しました。

◆特記事項

豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業において、民間事業計画と合わせて実施する必要があるため、6月議会で5,450千円を増額補正し翌年度へ繰り越しました。【商業観光課】

7- 1- 3目 工業振興費

(前年度)

当初予算額	2,211,176,000円	(1,661,289,000円)
予算現額	2,241,803,400円	(1,600,859,000円)
決算額	1,453,740,206円	(1,296,952,560円)
翌年度繰越額	413,419,000円	(19,399,400円)
不用額	374,644,194円	(284,507,040円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	413,419,000円
カーボンニュートラル創エネ促進補助事業	413,419,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(ものづくり創造補助事業審査会委員4人、企業立地審査会委員4人、産業振興委員会委員5人) 315,200円

【次世代産業課・産業労働課】

- 2 工業振興事務費【産業労働課】 1,598,244円
- 3 工業振興推進費【次世代産業課】 164,186,430円

(1) イノベーションセンター運営費

産学官の連携により「とよたイノベーションセンター」を運営し、新事業展開支援セミナー、人材育成講座、技術経営相談、支援機関への講習会等を実施しました。また、豊田市DX推進プラットフォーム事業として相談窓口やDX促進アドバイザー派遣、DX推進セミナー等を実施しました。

セミナー・講座等受講者	517人
技術経営相談	607件
支援機関への講習会等	11回
DX相談窓口等支援社数	85社

(2) ものづくり創造拠点運営費

試作開発スペース、交流スペース、セミナールーム等を併せ持つ「ものづくり創造拠点」や実証フィールドで、ものづくり企業・団体の新事業展開、人材育成等を支援しました。また、新たにカーボンニュートラル相談窓口を開設しました。

登録団体	91団体
ものづくりミライ塾参加者	42人
カーボンニュートラル相談窓口相談件数	30件

(3) 新事業展開支援費

ベンチャー企業等の新資源とのマッチング、事業拡大やオープンイノベーションの推進を図るイベント等をオンライン併用で実

- 施し、市内企業の新たな事業展開を支援しました。
- | | |
|----------------|---------|
| ベンチャー企業とのマッチング | 2件 |
| ピッチイベント | 9社・団体登壇 |
| ビジネスプランコンテスト | 14件応募 |
- (4) ビジネスチャンス拡大支援費
とよたビジネスフェア2023を開催しました。
- | | |
|------|---------|
| 出展者数 | 108社・団体 |
| 来場者数 | 4,350人 |
- (5) ものづくりブランド創出活用費
市内企業の優れた技術や製品を豊田ものづくりブランドとして認定し、PR動画を制作しました。
- | | |
|----------|----|
| 認定技術・製品数 | 6件 |
|----------|----|
- (6) ものづくり創造補助金(1/2)
市内中小企業の新事業展開や、スタートアップの事業化に向けた活動に必要な経費の一部を補助しました。
- | | |
|------|----|
| 補助件数 | 9件 |
|------|----|
- (7) 次世代航空モビリティ産業化推進費
次世代航空モビリティ協業ネットワークを中心に、開発報告&提案会、物流ドローン実証実験、普及啓発イベント等を実施しました。
- | | |
|-------------|-----|
| 市内企業等との協業実績 | 10件 |
|-------------|-----|
- 4 デジタル化促進費【産業労働課】 277,645,000円
- (1) デジタル化支援補助金(1/2)
市内で製造業、建設業、運輸業を営む中小企業の生産性向上等に向けたデジタル技術導入に必要な経費の一部を補助しました。
- | | | |
|------|------|--------------|
| 補助件数 | 159件 | 269,387,000円 |
|------|------|--------------|
- (2) テレワーク導入支援補助金(1/2・1/3・1/4・1/5)
新たにテレワークを導入する事業者に対し、経費の一部を補助しました。
- | | | |
|------|-----|------------|
| 補助件数 | 25件 | 8,258,000円 |
|------|-----|------------|
- 5 経営力高度化支援費【産業労働課】 38,545,225円
- (1) 人材マッチング支援費
副業人材やプロボノ等の外部人材と中小企業のマッチング支援を図ることで、新事業創出、販路拡大といった経営課題に取り組むための人材確保を支援しました。また、進路選択を控える高校生、大学生等に対し、市内中小企業の魅力を伝えるための各種事業を実施しました。
- | | |
|----------------------|-----|
| 外部人材とのマッチング支援事業参加企業数 | 10社 |
|----------------------|-----|

(2) 中小企業経営力高度化事業補助金(1/2)

人材育成、人材確保、販路拡大等の経営課題に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部を補助しました。

補助件数 104件

6 カーボンニュートラル促進費【産業労働課】

159,581,000円

カーボンニュートラル創エネ促進補助金(1/2)

◎交付件数 12事業所

7 産業立地政策推進費【産業労働課】 792,899,515円

(1) 産業誘致活動費

企業誘致を推進するため、土地利用構想の策定に向けた、将来の産業用地整備の方向性に関する検討業務を実施しました。

(2) 南部地域産業用地整備費

産業用地整備を行った場合に必要となる周辺道路整備の設計を実施しました。

(3) 企業誘致推進補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

企業立地奨励金 1事業所 177,010千円

雇用促進奨励金 1事業所 10,000千円

(4) 企業立地奨励補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

企業立地奨励金 10事業所 427,301千円

中小企業設備投資奨励金 3事業所 35,206千円

市民雇用奨励金 3事業所 1,250千円

新エネルギー設備設置奨励金 4事業所 30,347千円

(5) 創造産業立地補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

創造産業立地補助金 2事業所 78,156千円

8 産業情報提供費【産業労働課】 1,905,420円

産業振興施策に必要な情報を収集するとともに、企業支援情報サイト「とよた産業ナビ」のリニューアルにより、市内中小企業に積極的に情報提供を行いました。

9 建設業振興推進費【産業労働課】 1,117,922円

豊田商工会議所建設業部会と連携してとよたビジネスフェアに出展し、出展企業や高校生に対し、建設業の魅力を発信しました。

10 先人顕彰事業負担金【産業労働課】 400,000円

本市の礎を築いた先人の「まちづくり」「ものづくり」精神を伝承するため、「中村寿一・豊田喜一郎顕彰会事業」に負担金を支払いま

7款 商工費

した。

献花式開催日 令和5年3月4日(土)

1 1 ものづくり未来創造基金積立金【次世代産業課】243,465円

1 2 産業用地造成事業特別会計繰出金【産業労働課】

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業繰出金

15,302,785円

◆特記事項

カーボンニュートラル創エネ促進補助事業において、事業者における設備投資の加速化を図るため、6月議会で300,000千円を増額補正し、9月議会で500,000千円を繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【産業労働課】

7- 1- 4目 金融対策費

		(前年度)
当初予算額	548,550,000円	(548,550,000円)
予算現額	693,550,000円	(693,198,178円)
決算額	690,886,449円	(692,828,518円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,663,551円	(369,660円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 金融対策事務費【商業観光課】 184,756円

事前信用調査の実施など、各種制度融資の普及・啓発に努めました。

2 信用保証料補助金(10/10・7.5/10)【商業観光課】

178,701,693円

中小企業が信用保証制度を利用して融資を受ける際に負担する信用保証料を補助しました。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み緊急経済対策補助金を交付しました。

補助件数 919件(うち、緊急経済対策補助金は596件)

3 資金融資費【商業観光課】 512,000,000円

中小企業の健全な事業活動を支援するため、融資取扱い金融機関へ預託を行いました。

(1) 小規模企業等振興資金預託金(振、振小)

預託額 344,000,000円

融資決定件数 244件

融資決定金額 1,014,870,000円

(2) 商工業者事業資金預託金(マルトヨ)

預託額 168,000,000円

7款 商工費

融資決定件数		40件
融資決定金額		100,970,000円
7- 1- 5目 消費者行政費		
		(前年度)
当初予算額	27,163,000円	(27,504,000円)
予算現額	27,036,000円	(27,001,000円)
決算額	25,887,018円	(26,261,810円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,148,982円	(739,190円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 消費者行政推進費【商業観光課】		1,200,474円
消費者の権利を守るため、消費生活相談業務を行いました。		
相談件数 2,671件(対前年 +154件)		
2 消費者啓発費【商業観光課】		4,742,289円
消費者被害を未然に防止するため、市内企業や団体の依頼を受け消費生活講座を行いました。		
講座開催 29回(参加者2,053人)		
消費者啓発資料の配布やCATV等を利用して消費者に情報提供しました。		
3 豊田消費生活センター費【商業観光課】		14,564,939円
4 計量行政推進費【商業観光課】		5,379,316円
計量の適正化を図るため、定期検査や各種立入検査を実施しました。		
量目検査(歳末期のみ)	5店	200個
燃料油メーター検査	17店	313器
特定計量器定期検査	216営業所	545器
大型計量器定期検査	10営業所	11器
7- 1- 6目 観光費		
		(前年度)
当初予算額	1,504,697,000円	(535,501,000円)
予算現額	1,713,297,366円	(1,190,992,000円)
決算額	1,079,556,715円	(975,103,770円)
翌年度繰越額	554,806,632円	(152,686,366円)
不用額	78,934,019円	(63,201,864円)
●翌年度繰越額		

☆繰越明許費☆	554,806,632円
宿泊事業者等支援事業	554,806,632円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 観光事務費【商業観光課】 10,627,016円

2 観光まちづくり推進費【商業観光課】 8,907,363円

(1) 観光まちづくり推進費

とよた観光おもてなしパートナー事業を開催し、観光事業者の人材育成を実施しました。

「観光おもてなしパートナー」講座 認定21人

観光資源の魅力発信のため、市内に12箇所整備した官民連携による観光ゲートウェイ拠点の運営を継続し、強化しました。

「豊田市ジブリパーク来訪者おもてなし協議会」を設立し、市内観光などの消費喚起を促すための広報物の作成及びタクシーチケット事業等を実施しました。

大河ドラマ「どうする家康」を契機とした地域活性化及び観光客の増加を図るため、講演会の開催などに取り組みました。

徳川歴史講演会 来場者400人

「知恵泉出張スペシャル“徳川軍団・最強の秘密”」

公開収録 来場者1,000人

3 観光プロモーション費【商業観光課】 32,833,720円

映像文化の醸成等を図るため「とよたフィルムコミッション推進協議会」を設立し、ドラマ&ドキュメンタリー「ゾッキ」の制作支援等を実施しました。

4 来訪者受入環境推進費【商業観光課】 3,049,570円

(1) 観光地魅力向上推進費 1,509,570円

3事業者に対して観光アドバイザーを派遣し、事業者の抱える課題解決及び観光人材の育成を図りました。

(2) 施設整備対策費 1,540,000円

豊田市駅東口のデジタルサイネージを活用し、情報発信を実施しました。

5 松平地区回遊歩道費【商業観光課】 304,812円

6 松平郷観光施設費【商業観光課】 69,510,906円

(1) 施設管理費 10,528,812円

(2) 施設整備費 58,982,094円

入口広場における駐車場の整備、トイレ浄化槽設置工事、天下池の浚渫及び歩車道境界ブロック等の修繕を実施しました。

松平郷園地年間利用者数 74,600人

7 王滝溪谷観光施設費【商業観光課】 42,367,438円

- (1) 施設管理費 13,976,658円
- (2) 施設整備費 28,390,780円
 王滝溪谷散策道の擁壁補修工事を実施しました。
 王滝溪谷 年間利用者数 75,430人
 うちバーベキュー場利用者数 2,552人(315団体)
- 8 猿投地区観光施設費【商業観光課】 5,082,228円
- (1) 施設管理費 4,103,228円
 猿投山、猿投神社 年間利用者数 314,322人
- (2) 施設整備費 979,000円
 猿投山観光展望台への通路の修繕を実施しました。
- 9 東海自然歩道費【商業観光課】 1,588,350円
 施設管理費
 東海自然歩道 4地区(豊田、藤岡、足助、旭)
 年間利用者数 108,706人
- 10 豊田おいでんまつり開催負担金【商業観光課】 231,577,817円
 感染症対策を十分に行い、第54回豊田おいでんまつり(マイタウン、総踊り、花火大会)を開催しました。
- 11 宿泊事業者等支援事業費【商業観光課】 ※新規 564,918,026円
 コロナ禍で宿泊客が減少している宿泊事業者の支援及び消費喚起のため、とよた宿割事業を実施しました。
- 12 観光協会補助金【商業観光課】 108,789,469円
- (1) ツーリズムとよた補助金(定額) 103,800,469円
 本市の地域資源の魅力を引き出し、国内外からの観光客の誘致促進による地域経済の活性化に向けて一般社団法人ツーリズムとよたに対し補助金を交付しました。
 ホームページ総ページPV数 408.1万PV
 正会員数 193会員
- (2) 松平観光協会補助金(定額) 4,989,000円
 松平地区の観光資源を生かし誘客を図る松平観光協会に対し補助金を交付しました。

◆特記事項

宿泊事業者等支援事業において、国の全国旅行支援事業と実施期間が重なり想定を下回る利用となり、令和5年4月以降も事業を継続することとしたため、3月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。【商業観光課】

8款 土木費

8款 土木費		
(前年度)		
当初予算額	26,761,172,000円	(26,726,773,000円)
予算現額	31,771,590,979円	(31,052,296,070円)
決算額	24,601,870,799円	(25,505,861,327円)
翌年度繰越額	6,428,503,659円	(4,665,977,979円)
不用額	741,216,521円	(880,456,764円)
8- 1- 1目 土木総務費		
(前年度)		
当初予算額	646,270,000円	(643,776,000円)
予算現額	653,422,000円	(676,953,000円)
決算額	632,708,689円	(660,438,182円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	20,713,311円	(16,514,818円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(一般職75人、非常勤一般職6人)【人事課】		631,149,324円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		500,330円
3 土木総務事務費【土木管理課】		1,059,035円
8- 1- 2目 建築管理費		
(前年度)		
当初予算額	158,929,000円	(34,910,000円)
予算現額	125,806,000円	(32,080,000円)
決算額	100,228,303円	(29,789,285円)
翌年度繰越額	15,992,000円	(0円)
不用額	9,585,697円	(2,290,715円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		15,992,000円
公共建築物設計事業		15,992,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 建築管理事務費【建築整備課】		11,635,108円
2 建築保全事務費【建築予防保全課】		1,004,781円
3 建築計画事務費【建築予防保全課】		1,855,914円
4 公共建築物設計費【建築整備課】		14,419,500円

8款 土木費

末野原分署改修工事等の設計を行いました。

5 公共建築物安全対策費【建築整備課】 71,313,000円

耐震対策の推進のため、猿投公園体育館等の特定天井改修の修繕
を行いました。

◆特記事項

公共建築物設計事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で
16,315千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【建築整備課】

8- 1- 3目 建築審査費

(前年度)

当初予算額	191,366,000円	(158,321,000円)
予算現額	179,460,000円	(133,792,000円)
決算額	173,483,270円	(121,948,395円)
翌年度繰越額	0円	(2,600,000円)
不用額	5,976,730円	(9,243,605円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(建築審査会委員4人、開発審査会委員5人)
 - 【建築相談課・開発調整課】 630,400円
- 2 建築審査事務費【建築相談課】 9,301,453円
 - (1) 建築確認申請等受付件数(中間・完了検査含む。) 95件
 - 許可・認定申請受付件数 26件
 - 仮使用認定申請受付件数 1件
 - (2) 長期優良住宅建築等計画認定申請受付件数 975件
 - (3) 人にやさしい街づくりの推進に関する条例
 - 整備計画届出受理件数 106件
 - 適合証請求受理件数 9件
 - (4) マンション管理適正化推進計画を作成しました。
- 3 開発審査事務費【開発調整課】 6,126,886円
 - 都市計画法
 - 開発許可申請受付件数 209件
 - 建築許可申請受付件数 281件
- 4 開発事業監視費【開発調整課】 1,107,704円
 - パトロール実施回数 682回
- 5 建築安全対策事務費【定住促進課】 27,910円
- 6 後退用地整備費【建築相談課・土木管理課・土木課】
 - 148,901,317円

8款 土木費

(1) 狭あいな生活道路解消のため、道路側溝、舗装等の整備を行いました。	
寄附採納筆数	1 2 1 筆
寄附採納面積	2, 3 2 1 m ²
後退工事請負	3 件
整備区間延長	1, 4 3 0 m
(2) 指定道路台帳の更新を行いました。	
指定道路更新件数	3 5 7 件
(3) 建築基準法道路地図情報の確認、更新を行いました。	
更新件数	2, 4 4 5 件
7 位置指定道路整備費【土木課】	7, 3 8 7, 6 0 0 円
位置指定部分の寄附を受け、舗装等の整備を行いました。	
整備工事請負	1 件
整備区間延長	7 2 m

8- 2- 1目 道路橋りょう総務費

		(前年度)
当初予算額	637,485,000円	(676,760,000円)
予算現額	654,012,000円	(639,581,760円)
決算額	639,538,238円	(623,581,875円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	14,473,762円	(15,999,885円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(一般職52人、非常勤一般職17人)【人事課】
494,755,935円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】
923,450円
- 3 道路橋りょう総務事務費
19,436,889円
【土木管理課・道路維持課・道路予防保全課・土木課・地域建設課】
- 4 道路橋りょう台帳等整備費【土木管理課】
65,103,500円
道路・橋りょうの管理の適正化のため、道路法に基づき道路台帳の更新を行いました。
道路台帳整備 路線数 304路線 延長 39.0km
- 5 道路内民地処理費【土木管理課・地域建設課】
12,199,244円
道水路内の民有地の所有権を取得するために、用地確定測量等を行い、寄附採納により取得しました。
57筆(4,272m²)

8款 土木費

6 公有地境界確認費【土木管理課】	47,069,220円
公有地（道水路）の境界確認業務の一部を委託し実施しました。	
境界立会件数 881件	
7 県道改修促進期成同盟連合会等補助金（定額）【地域建設課】	50,000円

8- 2- 2目 道路橋りょう維持費

（前年度）

当初予算額	3,970,234,000円	（ 4,072,484,000円）
予算現額	4,932,462,000円	（ 4,829,384,690円）
決算額	4,084,209,855円	（ 3,912,540,064円）
翌年度繰越額	722,923,577円	（ 641,156,000円）
不用額	125,328,568円	（ 275,688,626円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	58,084,000円
橋りょう長寿命化修繕事業（竜宮橋）	58,084,000円
☆繰越明許費☆	664,839,577円
路面舗装事業（市道長興寺今線外4路線）	198,000,000円
路面舗装事業（市道下山分里新田線）	12,000,000円
橋りょう修繕事業（両国橋外37橋）	454,839,577円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 道路橋りょう維持管理費【道路維持課・地域建設課】

166,643,965円

降雪、凍結時に道路交通の円滑化と事故防止を図るため、凍結防止剤の散布を行い、道路の安全確保に努めました。

また、側溝や排水管の清掃及び道路の維持修繕等を実施し、生活環境整備と道路の適正管理に努めました。

2 道路等管理費【市街地整備課・道路維持課】

969,503,969円

(1) 道路等管理委託費 856,902,700円

街路樹管理

高中木 11,702本

低木 156,222㎡

草刈 A=555,844㎡

道路清掃 延長L= 1,100km

(2) 歩行者専用道等維持管理費 69,999,268円

豊田市駅東デッキ、西デッキの巡視点検、昇降機の保守点検修

繕等により歩行者の安全確保に努めました。

(3) 浄水駅歩行者専用道等維持管理費 24,224,281円

(4) 市道土橋駅南北歩行者道線維持管理費 11,377,098円

(5) 鞍ヶ池スマートインターチェンジ周辺維持管理費
7,000,622円

3 道路修繕費【道路維持課・地域建設課】

2,112,237,668円

(1) 道路側溝修繕費 284,018,240円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、道路側溝修繕を実施し、生活環境の改善に努めました。

工事 33か所 L = 3,320m

また、87か所の緊急修繕を実施しました。

(2) 地域道路側溝修繕費 390,105,828円

旭・足助・稲武・下山地区において、道路側溝修繕を実施し、生活環境の改善に努めました。

工事 32か所 L = 2,873m

また、226か所の緊急修繕を実施しました。

(3) 路面舗装修繕費 1,081,907,200円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、路面舗装修繕を実施し、交通安全対策に努めました。

工事 17か所 A = 44,778㎡

また、622か所の部分補修及び5,909mの亀裂充填を実施しました。

(4) 地域路面舗装修繕費 304,241,300円

旭・足助・稲武・下山地区において、路面舗装修繕を実施し、交通安全対策に努めました。

工事 16か所 A = 22,317㎡

また、69か所の緊急修繕を実施しました。

(5) 歩道修繕費 50,172,100円

歩道修繕を実施し、歩行者の安全確保に努めました。

市道公園線始め12路線

(6) 街路樹補植費 1,793,000円

道路景観確保のために木の補植を行い、快適な道路環境整備を図りました。

高木 3本 低木 99本

4 橋りょう修繕費【道路予防保全課】 555,057,253円

(1) 橋りょう修繕費 800,030円

橋りょうの緊急修繕を実施し、施設の安全確保に努めました。

橋りょう緊急修繕 3橋
 (2) 橋りょう長寿命化修繕費 528,451,223円
 橋りょうの長寿命化修繕及び点検を実施し、施設の延命化を図り、安全確保に努めました。

橋りょう長寿命化修繕 75橋
 橋りょう定期点検 217橋
 (3) 竜宮橋(継続費) 25,806,000円
 竜宮橋において、予防保全型の修繕を行い、施設の延命化を図り、安全確保に努めました。

5 道路防災対策費【道路維持課・地域建設課】

239,393,800円
 危険度の高いのり面から防災対策を実施し、道路の安全確保に努めました。

市道保見浄水線始め13路線 14か所

6 耐震対策費【道路予防保全課】 41,373,200円
 地震に対する安全性を確保するため、重要法定外道路橋の耐震補強詳細設計を行いました。

重要法定外道路橋耐震補強詳細設計 6橋

◆特記事項

- ・路面舗装事業の市道長興寺今線外4路線において、国の補正予算(第2号)に伴い、3月議会で198,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路維持課】
- ・路面舗装事業の市道下山分里新田線において、国の補正予算(第2号)に伴い、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。
 【地域建設課】
- ・橋りょう修繕事業の両国橋外37橋において、関係機関との協議に時間を要し年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。また、国の補正予算(第2号)に伴い3月議会で134,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路予防保全課】

8- 2- 3目 道路新設改良費		(前年度)
当初予算額	804,427,000円	(1,213,188,000円)
予算現額	1,367,461,000円	(1,602,768,000円)
決算額	1,090,486,559円	(1,194,575,476円)
翌年度繰越額	185,457,000円	(327,145,000円)
不用額	91,517,441円	(81,047,524円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	108,457,000円
市道改良事業（市道堤駒場線外1路線）	108,457,000円
☆繰越明許費☆	77,000,000円
市道新設事業（市道豊田西部2号線）	27,000,000円
市道改良事業（市道林添九久平1号線）	20,000,000円
市道改良事業（市道落合向井山線）	30,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 市道新設費【幹線道路推進課・土木課】 30,999,981円
 整備優先度の高い市道の新設事業を行い、住民の利便性の向上と交通の安全確保を図りました。
 市道松平志賀大見線始め3事業 整備延長L = 651m
- 2 市道改良費1【市街地整備課・幹線道路推進課・土木課】 534,963,412円
 整備優先度の高い市道の改良事業を行い、住民の利便性の向上と交通の安全確保を図りました。
 市道藤岡西中山藤宮線始め9事業 整備延長L = 1,019m
- 3 市道改良費2 500,943,646円
 【市街地整備課・区画整理支援課・幹線道路推進課・土木課・地域建設課】
 整備優先度の高い市道の改良事業を行い、住民の利便性の向上と交通の安全確保を図りました。
 市道力石中金線始め14事業 整備延長L = 1,886m
- 4 市道舗装費【土木課・地域建設課】 4,625,930円
 市道の路面舗装整備を行い、利用者の利便性の向上を図りました。
 5路線 舗装面積A = 756㎡
- 5 法定外道路改良費【土木課・地域建設課】 18,953,590円
 豊田市法定外道路整備工事分担金条例及び同規則に基づき、整備工事の採択要件を満たす法定外道路の整備を行い、地域住民の利便性の向上を図りました。

9か所

整備延長L = 4 1 0 m

◆特記事項

- ・市道新設事業の市道豊田西部2号線において、測量設計等委託契約の一部解除により、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【幹線道路推進課】
- ・市道改良事業の市道林添九久平1号線において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】
- ・市道改良事業の市道落合向井山線において、湧水の対応に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

8- 3- 1目 安全維持費

		(前年度)
当初予算額	462,286,000円	(490,803,000円)
予算現額	498,286,000円	(503,753,000円)
決算額	468,350,112円	(472,795,736円)
翌年度繰越額	0円	(25,000,000円)
不用額	29,935,888円	(5,957,264円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 安全維持事務費【交通安全防犯課・道路維持課】 772,259円
 - (1) 交通対策事務費 461,784円
 - (2) 安全施設事務費 310,475円
- 2 交通安全施設維持管理費【道路維持課・地域建設課】 239,127,816円
 - (1) 道路照明灯等維持管理費 119,558,767円
電気料及びLED道路照明灯借入れ
 - (2) 地域道路照明灯等維持管理費 4,080,577円
 - (3) 危険箇所維持補修費 66,860,772円
旧豊田市・藤岡・小原地区において、道路照明灯の老朽化による建て替え、電球切れ等について早急な修繕を行い、交通安全対策に努めました。また、安全施設損傷箇所修繕のためガードレール、カーブミラー等の補修用原材料の確保と早急な対応により道路の適正管理に努めました。
道路照明灯球交換 123か所 修繕 255か所
 - (4) 地域危険箇所維持補修費 2,003,100円
旭・足助・稲武・下山地区において、道路照明灯、ガードレール

ル等の修繕を行いました。

修繕 11か所

(5) 交通安全施設更新事業 31,460,000円

計画的に交通安全施設の点検を実施し、点検結果に基づく計画的な修繕を実施することにより、交通安全施設の適正管理に努めました。

交通安全施設点検

道路照明灯 640基

(6) 地域交通安全施設更新事業 15,164,600円

旭・足助・稲武・下山地区において、カーブミラー、道路警戒標識等の修繕を行いました。

カーブミラー、道路警戒標識等修繕 96基

道路照明施設点検 113基

3 交通安全施設整備費【交通安全防犯課】 169,051,740円

(1) 事故防止対策費 167,845,040円

交通事故防止対策として、交差点、カーブ、通学路等の交通危険箇所に対し、交通安全施設の整備を行いました。

対策箇所 410か所

主な内容 防護柵 966m

カーブミラー 131基

区画線 60,425m

カラー舗装 562㎡

押しボタン式横断者明示標識 4基

(2) ゾーン30施設整備費 1,206,700円

猿投台・井郷地区において交通安全施設の整備を行いました。

主な内容 カラー舗装 128㎡

区画線 27m

4 二輪車駐車場費【交通安全防犯課】 58,787,522円

(1) 管理運営費 48,439,594円

(2) 朝日ヶ丘自転車等保管所管理費 1,058,909円

(3) 放置自転車等防止対策費 9,289,019円

自転車等撤去台数 962台

自転車等返還台数 252台

自転車等売却台数 672台

5 違法駐車等防止対策費【交通安全防犯課】 610,775円

勧告等による自主撤去 4台

道路法に基づく強制撤去 1台

8- 3- 2目 歩道等整備費

(前年度)

当初予算額	386,141,000円	(228,952,000円)
予算現額	564,931,000円	(501,901,000円)
決算額	423,978,752円	(322,445,654円)
翌年度繰越額	83,350,000円	(129,000,000円)
不用額	57,602,248円	(50,455,346円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	83,350,000円
歩道設置事業(市道六ツ木岩倉線)	53,350,000円
歩行者・自転車通行環境整備事業	30,000,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 道路交通安全対策費【土木課】 40,333,480円
 通学路の危険箇所や交通事故多発地点などにおいて、状況に応じた対策を実施し、道路利用者の安全確保を図りました。
 通学路等交通安全対策事業 整備延長L = 169m
- 2 歩道設置費【土木課】 366,338,972円
 整備優先度の高い市道について、歩道の新設改良事業を行い、歩行者の安全確保を図りました。
 市道御立野見1号線ほか2路線始め4事業 整備延長L = 1,316m
- 3 歩行者・自転車通行環境整備費【土木課】 17,306,300円
 豊田市自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間の整備を行い、自転車・歩行者の安全確保を図りました。
 歩行者・自転車通行環境整備事業 整備延長L = 206m

◆特記事項

- ・歩道設置事業の市道六ツ木岩倉線において、岩盤や転石の出現により掘削に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木費】
- ・歩行者・自転車通行環境整備事業において、国の補正予算(第2号)に伴い、3月議会で30,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

8- 4- 1目 河川総務費		(前年度)
当初予算額	774,092,000円	(559,594,000円)
予算現額	718,214,000円	(518,158,500円)
決算額	568,703,725円	(456,806,001円)
翌年度繰越額	102,000,000円	(45,000,000円)
不用額	47,510,275円	(16,352,499円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		102,000,000円
(仮)水辺ふれあいプラザ整備事業		102,000,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(一般職21人、非常勤一般職7人)【人事課】		187,685,828円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		699,520円
3 河川総務事務費【河川課】		2,622,837円
4 河川等施設費【河川課】		178,830,087円
(1) 樋門施設の維持管理 宝蔵川始め12施設		
(2) 調整池の草刈り及び施設維持		
(3) 排水ポンプ車の維持管理		
(4) 雨水排水施設等の維持管理		
5 矢作川研究所費【河川課】		12,000,900円
(1) 事務費		1,469,480円
(2) 河川環境啓発広報費		1,370,095円
		矢作川研究所の広報誌を作成しました。
(3) 河川等環境調査研究費		256,905円
		健全な河川環境を回復するため、地域住民と共働で外来生物対策を実施しました。
(4) 矢作川生態系リフレッシュ費		8,388,723円
		矢作川の河床環境と生物生息状況を調査し、改善策を検討しました。
(5) 矢作川流域モニタリング調査費		515,697円
		矢作川本流で水生生物及び水温のモニタリング調査を行いました。
6 総合雨水計画策定費【河川課】		19,953,500円
		豊田市総合雨水対策マスタープランを改定しました。
7 総合雨水対策費【河川課】		30,844円
		雨水浸透阻害行為の許可標識等を製作し、設置しました。

8款 土木費

- 8 矢作川水防災協議会費【河川課】 24,877,160円
豊田市3D洪水ハザードマップを作成しました。
- 9 矢作川改修促進費【河川課】 35,103,200円
矢作川改修促進に係る矢作緑地の用地調査を実施し、協議資料を作成しました。
- 10 (仮)水辺ふれあいプラザ整備費【河川課】 43,508,000円
水辺の親水性を高めるため、緩傾斜河岸の工事を行いました。
- 11 急傾斜地崩壊対策費【土木管理課】 7,381,000円
土砂災害防止対策事業計画を策定しました。
- 12 急傾斜地崩壊対策負担金【土木管理課】 55,753,849円
愛知県が行う急傾斜地崩壊対策事業で、28か所の実施に伴う事業費の一部を負担しました。
工事 17か所
調査・設計 11か所
- 13 雨水貯留浸透施設補助金(1/2)【下水道建設課】 257,000円
降雨時の河川の負担軽減及び雨水の有効利用を目的として、雨水貯留浸透施設を新たに設置するものに対し、経費の一部を補助しました。
補助実績：8件

◆特記事項

(仮)水辺ふれあいプラザ整備事業において、河川内における仮締切の施工に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8- 4- 2目 河川改良費

(前年度)

当初予算額	1,051,592,000円	(1,330,716,000円)
予算現額	1,655,286,055円	(1,521,228,500円)
決算額	1,015,559,868円	(1,044,831,661円)
翌年度繰越額	604,227,400円	(443,027,055円)
不用額	35,498,787円	(33,369,784円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	411,227,400円
河川改良事業(準用河川大見川)	44,108,000円
河川改良事業(準用河川長田川)	359,371,400円

8款 土木費

河川修繕事業（準用河川逢妻男川）	7,748,000円
☆繰越明許費☆	193,000,000円
矢作川水辺空間利活用事業	140,000,000円
ゆたか台団地調整池整備事業	53,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 河川改良費【河川課】 503,156,862円
治水安全度を高めるため、整備優先度の高い河川について、改良工事及び設計等を実施しました。
準用河川大見川始め4河川
- 2 河川修繕費【地域建設課・河川課】 377,654,764円
河川施設の局部的な老朽化や損傷箇所等の維持修繕を実施しました。
普通河川割田川始め111か所
- 3 河川監視事業費【河川課】 9,847,090円
漁協との共働により、河川管理施設の巡視活動を実施しました。
- 4 安永川浄化対策費【河川課】 16,169,303円
安永川浄化用水施設を適正に管理し、市街地における準用河川の水質浄化に努めました。
- 5 矢作川環境対策費【河川課】 4,006,701円
市民の憩いの場として矢作緑地の活用を図るため、散策路の管理を実施しました。
- 6 矢作川環境整備費【河川課】 15,329,050円
(1) 矢作川水辺プロジェクト費
矢作川水辺空間のにぎわいづくりを目的とした高水敷の施設整備設計を実施し、協議資料を作成しました。
- 7 河川一般環境整備費【河川課】 14,654,581円
河川愛護団体の活動を支援することにより、河川環境及び水辺の生態系の維持保全に努めました。
支援愛護会 22団体
- 8 河畔環境整備費【河川課】 1,430,314円
良好な河川空間を形成するため、地域との共働による河畔整備を実施しました。
- 9 流域貯留施設整備費【河川課】 71,620,081円
(1) 丸根池 14,444,100円
境川流域総合治水対策として、丸根池の貯留施設の設計を実施しました。
(2) 米田池 23,065,900円
境川流域総合治水対策として、米田池の貯留施設の整備を完了し

8款 土木費

ました。

(3) ゆたか台団地調整池 34,110,081円

境川流域総合治水対策として、ゆたか台団地調整池の貯留施設整備を進めました。

10 矢作川学校運営負担金【河川課】 81,122円

11 矢作川環境整備促進事業補助金(1/2)【河川課】
1,610,000円

矢作川流域の草刈り等の環境美化活動に対し補助しました。

◆特記事項

・矢作川水辺空間利活用事業において、矢作川高水敷の新たな整備に向け、9月議会で140,000千円を増額補正し、適正な工事期間を確保するため、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

・ゆたか台団地調整池整備工事において、仮設土留工の施工に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【河川課】

8- 4- 3目 排水路費

		(前年度)
当初予算額	423,679,000円	(360,070,000円)
予算現額	415,179,000円	(374,562,000円)
決算額	363,132,255円	(359,565,014円)
翌年度繰越額	35,134,000円	(0円)
不用額	16,912,745円	(14,996,986円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	35,134,000円
排水路改良事業(扶桑町・鶴ヶ瀬町)	35,134,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 排水路改良費【地域建設課・河川課】 363,132,255円
池田町排水路始め155か所

8- 5- 1目 都市計画総務費		(前年度)
当初予算額	1,373,019,000円	(1,510,587,000円)
予算現額	1,411,591,000円	(1,436,521,500円)
決算額	1,374,806,270円	(1,378,963,320円)
翌年度繰越額	0円	(26,000,000円)
不用額	36,784,730円	(31,558,180円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（都市計画審議会委員14人、景観アドバイザー6人、一般職137人、非常勤一般職29人）
 - 【都市計画課・建築相談課・人事課】1,269,531,270円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2,100,250円
- 3 都市計画総務事務費【都市計画課・建築相談課】
 - 30,726,350円
 - (1) 都市計画事務費 27,787,683円
 - (2) 都市景観事務費 2,938,667円

より良好な景観への誘導のため、景観アドバイザーによる景観計画区域内行為の事前相談を実施しました。

景観アドバイザーによる事前相談件数 75件

景観計画区域内行為届出受付件数 158件

豊田市屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の許可審査を実施しました。

新規許可申請受付件数 87件

更新等許可申請受付件数 596件

良好な景観形成と公衆の危害防止のために、広告物の調査及びはり紙、はり札等の違反広告物の簡易除却を実施しました。

調査1回、簡易除却6回
- 4 都市計画道路調査費【都市計画課】 27,771,600円
 - (1) パーソントリップ調査費 25,216,400円

国、県が行う中京都市圏パーソントリップ調査に合わせ、豊田市域の調査を実施しました。
 - (2) 鉄道計画調査費 2,555,200円

名鉄三河線複線化に伴い影響を受ける竹村駅について、交通結節点の計画素案を作成しました。
- 5 都市計画公園緑地調査費【都市計画課】 5,995,000円

都市公園の配置状況等を踏まえ、長期未整備公園等における課題の整理を行いました。

8款 土木費

6 土地利用調査費【都市計画課・市街地整備課】

	38,681,800円
(1) 地区計画調査費	440,000円
地区計画区域内の地区施設道路の行政指導用図面を作成しました。	
(2) 生産緑地計画策定費	762,300円
生産緑地地区の変更に係る都市計画情報の公開用GISデータを作成しました。	
(3) 既成市街地土地利用調査費	14,966,600円
三河豊田駅前広場において、地域住民等で構成される協議会の支援等や既設噴水撤去工事を行いました。	
(4) 立地適正化計画策定費	4,416,800円
災害リスクの分析結果を踏まえ、防災・減災対策を検討し、防災指針案を作成しました。	
(5) 上豊田駅周辺土地利用調査費	6,743,000円
上豊田駅周辺において、まちづくり事業の検討に関する企業ヒアリング等を行いました。	
(6) 八草駅周辺土地利用調査費	11,353,100円
八草駅周辺において、市街地整備に向けた地区計画等の検討を行いました。	

8- 5- 2目 土地区画整理費

		(前年度)
当初予算額	1,405,061,000円	(2,998,401,000円)
予算現額	1,764,111,800円	(3,450,720,500円)
決算額	1,473,456,937円	(3,015,879,081円)
翌年度繰越額	288,380,000円	(433,332,000円)
不用額	2,274,863円	(1,509,419円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	273,800,000円
市道改良事業(寺部土地区画整理関連)	23,000,000円
公共施設管理者負担事業(土橋土地区画整理事業)	50,700,000円
公共施設管理者負担事業(花園土地区画整理事業)	200,100,000円
☆事故繰越し☆	14,580,000円
公共施設管理者負担事業(土橋土地区画整理事業)	14,580,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 土地区画整理事務費【市街地整備課・区画整理支援課】

		4, 438, 145円
2	記念碑等修繕費【区画整理支援課】	324, 500円
3	土地区画整理調査費【区画整理支援課】	15, 209, 700円
	区画整理の事業化に向け、発起人会の活動を支援するとともに、 関係機関協議を行い、本同意収集を行いました。	
4	土地区画整理関連事業費【市街地整備課・区画整理支援課】	4, 427, 592円
(1)	寺部土地区画整理関連事業費	2, 516, 800円
	豊田寺部土地区画整理事業地内の街路樹整備工事を行いました。	
(2)	四郷駅周辺土地区画整理関連事業費	1, 910, 792円
	国道419号の拡幅に伴い、四郷駅周辺地区外の水路の移転を 行うために、公共補償により、用地取得を行いました。	
5	公共施設管理者負担金【市街地整備課】	877, 152, 000円
(1)	土橋土地区画整理事業負担金	209, 320, 000円
	物件等移転補償、宅地造成工事、道路築造工事	
(2)	花園土地区画整理事業負担金	667, 832, 000円
	物件等移転補償、道路築造工事、河川改修工事	
6	都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金【市街地整備課】	571, 905, 000円
(1)	土橋土地区画整理事業繰出金	49, 471, 000円
(2)	花園土地区画整理事業繰出金	522, 434, 000円

◆特記事項

・寺部地区の市道改良事業において、権利者調整に時間を要し、年度内に完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【市街地整備課】

・土橋・花園地区の公共施設管理者負担事業において、社会資本整備総合交付金の配分を受けた事業のうち、移転補償や工事の対象事業の一部が年度内に完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【市街地整備課】

8- 5- 3目 街路事業費

		(前年度)
当初予算額	3,891,294,000円	(1,746,099,000円)
予算現額	4,618,850,000円	(2,378,903,000円)
決算額	2,647,848,972円	(1,678,646,613円)
翌年度繰越額	1,935,364,000円	(615,000,000円)
不用額	35,637,028円	(85,256,387円)

8款 土木費

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	1,935,364,000円
名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	1,935,364,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 街路事業事務費【街路課】	4,908,409円
2 街路建設費【区画整理支援課・幹線道路推進課・街路課】	2,642,940,563円

- (1) 越戸駅前広場の整備を完了しました。
- (2) 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業の円滑な推進のため、完成した仮線路に列車運行を切り替えました。また、高架本体工事着手に向けた家屋の事前調査などを行いました。
- (3) 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業ほか2事業の測量設計等の委託を行いました。
- (4) 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業ほか3事業の用地を取得しました。

◆特記事項

名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業において、連続立体交差事業費補助金の追加配分により、9月議会で155,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】

8- 5- 4目 特定道路費

(前年度)

当初予算額	2,305,139,000円	(3,013,744,000円)
予算現額	3,885,825,824円	(3,929,958,415円)
決算額	1,843,813,512円	(2,275,923,271円)
翌年度繰越額	2,027,103,629円	(1,634,865,824円)
不用額	14,908,683円	(19,169,320円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	1,954,103,629円
内環状線建設事業（竜宮橋）	360,594,129円
内環状線建設事業（高橋細谷線長興寺第1工区）	1,513,552,700円
内環状線建設事業（高橋細谷線野見御立工区）	79,956,800円
☆繰越明許費☆	73,000,000円
内環状線建設事業（都市計画道路高橋細谷線）	5,000,000円
特定道路改良促進事業（豊田北バイパス関連市道沢口半ノ木線外1路線）	68,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 特定道路事務費【建設企画課】	2,629,515円
------------------	------------

- 2 高規格道路建設促進費【幹線道路推進課】 14,493,440円
 豊田上郷スマートインターチェンジの利用促進に関する効果検証を行いました。
- 3 特定道路建設費【建設企画課・街路課】
 1,595,032,851円
- (1) 幹線道路網整備に係る現状把握や課題整理を行いました。
- (2) 安全で円滑な交通を確保するため、内環状線を担う都市計画道路高橋細谷線の道路・橋りょうの整備を行いました。
- (3) 都市計画道路豊田刈谷線道路新設事業の事業進捗を図るため、側道整備工事及び道路設計を行いました。
- (4) 都市計画道路豊田刈谷線道路新設事業ほか1事業の用地取得を行いました。
- 4 特定道路改良促進費【幹線道路推進課】 230,657,706円
 豊田南・北バイパス事業に関連する市道の道路改良工事及び用地取得を行いました。
- 5 幹線道路整備促進協議会負担金【建設企画課】 1,000,000円

◆特記事項

- ・内環状線建設事業において、支障物件移転の協議に時間を要し、年度内完了が困難になったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】
- ・特定道路改良促進事業（豊田北バイパス関連）の市道沢口半ノ木線ほか1路線工事において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難になったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【幹線道路推進課】

8- 5- 5目 下水道管理費

		(前年度)
当初予算額	2,964,705,000円	(3,265,950,000円)
予算現額	2,909,821,000円	(3,163,617,000円)
決算額	2,862,759,015円	(3,150,191,056円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	47,061,985円	(13,425,944円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 浄化槽整備事務費【下水道施設課】 1,609,716円
- 2 施設等管理費【下水道施設課】 4,220,108円
 廃止施設数 10施設
- 3 合併処理浄化槽整備費【下水道施設課】 134,609,000円

8款 土木費

合併処理浄化槽補助実績 170件

4	下水道事業負担金【経営管理課】	2,438,618,162円
5	下水道事業補助金(10/10)【経営管理課】	143,702,029円
6	下水道事業出資金【経営管理課】	140,000,000円

8- 5- 6目 公園費

(前年度)

当初予算額	2,414,588,000円	(1,738,090,000円)
予算現額	2,340,830,200円	(2,400,003,300円)
決算額	2,221,300,120円	(2,213,229,791円)
翌年度繰越額	78,000,000円	(62,016,000円)
不用額	41,530,080円	(124,757,509円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	78,000,000円
四郷南公園整備事業	14,500,000円
寺部2号公園整備事業	63,500,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	公園緑地整備事務費【公園緑地つくる課】	2,498,615円
2	公園事務費【公園緑地つかう課】	2,105,844円
3	公園維持管理費【公園緑地つかう課】	1,096,467,653円
4	市民広場等維持管理費【公園緑地つかう課】	2,810,305円
5	街区公園整備費【市街地整備課・公園緑地つくる課】	126,717,600円

- (1) 上野不動堂公園の公園設計を行いました。
- (2) 寺部小跡地公園の公園設計を行いました。
- (3) 高橋天神公園の公園設計を行いました。
- (4) 寺部水辺夢公園の公園設計を行いました。
- (5) 四郷南公園の整備を行いました。
- (6) 花園前田公園の整備を行い、供用しました。
- (7) 上野不動堂公園の整備を行い、供用しました。
- (8) 寺部水辺夢公園の整備を行い、供用しました。
- (9) 土橋八幡社東公園の設計を行いました。
- (10) 土橋駅北公園の設計を行いました。

6	地区公園整備費【公園緑地つくる課】	17,167,900円
	(1) 土橋公園拡張区域の設計を行いました。	
	(2) 高岡公園拡張区域の設計を行いました。	

8款 土木費

- 7 緑地整備費【市街地整備課・公園緑地つくる課・公園緑地つかう課】
585,300,695円
- (1) 鞍ヶ池公園池周遊散策道修繕を行いました。
- (2) 中央公園第二期整備の用地取得、設計及び民間活力導入事業化検討等を行いました。
- (3) 豊田寺部土地区画整理事業地内の緑地設計及び整備を行いました。
- 8 公園施設修繕費【公園緑地つかう課・建築予防保全課】
209,285,087円
- 公園施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。
- 公園遊具修繕 10基
- 公園施設修繕 116件
- 9 花のあるまちづくり推進費【公園緑地つかう課】
62,227,262円
- (1) 花やか豊田プランに基づき、花のあるまちづくり協議会の運営、豊田市駅西口及び東口ペDESTリアンデッキの花飾りや、フラワーロード事業の継続等による施策を実施し、ボランティア技術の向上市民への普及及び啓発を行いました。
- 10 地域広場整備費【公園緑地つくる課・公園緑地つかう課】
116,719,159円
- (1) 篠原町地内の地域広場の整備を行い、供用しました。
- (2) 施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。
- 広場遊具修繕 4基
- 広場施設修繕 20件

◆特記事項

四郷南公園整備事業並びに寺部2号公園整備事業において、国の補正予算(第2号)に伴い、3月議会で78,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【公園緑地つくる課】

8- 5- 7目 自然保全費

		(前年度)
当初予算額	297,732,000円	(270,424,000円)
予算現額	274,866,000円	(246,104,000円)
決算額	266,088,137円	(228,873,207円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	8,777,863円	(17,230,793円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 自然保全事務費【開発調整課】 73,290円

- 自然公園法に基づく許可申請等受付件数 131件
- 2 緑化推進費【公園緑地つかう課】 8,489,049円
市民が行う優良な緑化事業へ補助金を交付しました。
交付件数 2件
- 3 自然保護費【環境政策課】 34,317,652円
- (1) 管理費
名木指定件数 222件(累計)
- (2) 自然共生型地域づくり推進費
森林や湿地、名木等身近な自然の整備を進める市民団体の活動を支援しました。
支援団体 4団体
- (3) 自然環境調査費
- ア 生き物とふれあい、自然と親しむことで自然を大切にする心を育むことを目的に、市民参加生き物調査を実施しました。
一般参加者数 988人
- イ 市内に生息する希少な生き物の動向を把握するため、モニタリング調査を実施しました。
- (4) 野生生物共生費
ツキノワグマ目撃等の通報受付、現地調査、住民や学校等への情報提供、注意喚起などの対応を行いました。
ツキノワグマ対応件数 55件
- (5) 生物多様性啓発推進費
特定外来生物オオキンケイギクについて、市民との共働による防除活動を実施しました。
- (6) 湿地保全促進費
- ア ラムサール条約湿地の保全管理を委託しました。
矢並湿地保存会、上高湿地を守る会、山中町自治区
- イ ラムサール条約湿地にて観察会や環境学習を実施しました。
矢並湿地自由観察の日 4日間 47人
観察会 矢並2回21人 上高3回29人 恩真寺1回14人
環境学習 矢並小学校始め4校729人
- ウ 上高湿地保全のため、森林整備を委託しました。
- エ ラムサール条約登録10周年記念行事
記念行事として、湿地保全団体や小学校と共働でシンポジウムやイベント等を実施し、2,388人が参加しました。
- 4 緑地保全費【公園緑地つかう課】 108,322,100円
開発緑地等の枝払い、草刈、害虫駆除等を行い、適正な維持管理に努めました。

8款 土木費

開発緑地等	78か所	741,035㎡
5 自然観察の森費【環境政策課】		114,679,459円
(1) 指定管理者 (公財)日本野鳥の会		
利用者		27,458人
自然観察会等開催	37回	420人
団体利用	280団体	5,525人
(2) ボランティア活動支援		
養成講座修了者		8人
ボランティア登録者	4団体	71人
(3) バスの借入による環境学習の推進		
小学校の環境学習施設見学を支援するために送迎用バスの借入を行い、利用を促進しました。		
バスによる送迎	28校 72台	1,953人
(4) 用地管理		
土地賃貸借	1,119筆	1,037,306.82㎡
使用貸借	3筆	1,429.00㎡
(5) 施設の修繕等		
ネイチャーセンター修繕工事設計委託、遊歩道修繕等を行いました。		
6 緑の推進基金積立金【公園緑地つかう課】		206,587円
緑の推進基金の利子を同基金に積み立てました。		

8- 5- 8目 都心整備費

		(前年度)
当初予算額	707,991,000円	(744,269,000円)
予算現額	985,216,470円	(840,865,550円)
決算額	669,400,975円	(547,827,157円)
翌年度繰越額	281,677,000円	(281,836,100円)
不用額	34,138,495円	(11,202,293円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	60,000,000円
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ一部改築事業	60,000,000円
☆繰越明許費☆	221,677,000円
豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業(屋外昇降施設)	6,583,000円
豊田市駅東口施設設計事業	85,000,000円
豊田市駅東口施設設計事業(その2)	35,900,000円
豊田市駅東口駅前広場設計事業	25,700,000円
豊田市駅西口施設設計事業	68,494,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- | | | |
|-----|---|--------------|
| 1 | 都心整備事務費【都市整備課】 | 39,147,191円 |
| 2 | 都心環境計画推進費【都市整備課】 | 590,573,484円 |
| (1) | 都心環境計画整備費 | 7,994,705円 |
| | 市道薬師1号線の用地取得及び整備を行いました。 | |
| (2) | 歩行空間活用費 | 49,784,900円 |
| | 都市施設整備に向け、交通結節機能に関する実証実験を実施し、周辺交通影響調査等を行いました。 | |
| (3) | 歩車共存道路整備費 | 6,123,845円 |
| | 市道西町若宮線の用地取得及び物件補償を行いました。 | |
| (4) | 豊田市駅東口施設整備費 | 41,612,631円 |
| | 豊田市駅東口ペDESTリアンデッキの耐震補強設計等を行いました。 | |
| (5) | 豊田市駅東口駅前広場整備費 | 40,288,836円 |
| | 豊田市駅東口駅前広場の設計等を行いました。 | |
| (6) | 豊田市駅西口施設整備費（単年度） | 283,597,854円 |
| | 豊田市駅西口ペDESTリアンデッキの耐震補強設計等を行いました。 | |
| (7) | 新豊田駅東口駅前広場整備費 | 8,219,169円 |
| | 新豊田駅東口駅前広場の路面修繕及び利用促進に向けた運営支援を行いました。 | |
| (8) | 豊田市駅整備費 | 152,951,544円 |
| | 豊田市駅駅舎の改修に向けて、鉄道事業者との協定に基づき設計等を行いました。 | |
| 3 | 道路新設改良費【都市整備課】 | 39,680,300円 |
| | （都）竹生線の歩道設置工事を行いました。 | |

◆特記事項

- ・豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業において、民間事業計画と合わせて実施する必要があるため、6月議会で6,583千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】
- ・豊田市駅東口施設設計事業において、詳細設計業務委託が入札不調となり、適切な工期を確保するため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】
- ・豊田市駅東口施設設計事業（その2）において、関係機関との協議に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】
- ・豊田市駅東口駅前広場設計事業において、関係機関との協議に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【都市整備課】

・豊田市駅西口施設設計事業において、詳細設計業務委託が入札不調となり、適切な工期を確保するため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】

8- 5- 9目 総合交通対策費

(前年度)

当初予算額	1,126,103,000円	(994,547,000円)
予算現額	1,109,034,630円	(1,109,640,000円)
決算額	986,806,453円	(1,068,943,022円)
翌年度繰越額	68,895,053円	(0円)
不用額	53,333,124円	(40,696,978円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	68,895,053円
愛知環状鉄道整備改修費補助事業	68,895,053円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 交通政策事務費【交通政策課】 1,343,411円
- 2 ITS管理費【交通政策課】 12,695,055円
 - (1) 道路交通情報システム管理費
ITSセンターの維持管理を行いました。
 - (2) 駐車場案内システム管理費
駐車場案内システムの維持管理及び保守点検を行いました。
 - (3) 公共交通利用促進システム管理費
乗換情報を提供している総合交通案内板等の維持管理及び保守点検を行いました。また、おいでんバスの運行情報等を表示するモニターを購入し、トヨタ記念病院に設置しました。
 - (4) 総合交通システム管理費
おいでんバス情報等を提供しているウェブサイト「みちなびとよた」の保守管理を行いました。
- 3 ITS推進費【交通政策課】 198,000円
 - (1) 旧駐車場案内システム撤去費
老朽化した旧駐車場案内板の撤去を行いました。
- 4 旧名鉄三河線費【交通政策課】 16,636,021円
 - (1) 管理費
廃線敷地の維持管理及び修繕を行いました。
- 5 豊田都市圏新渋滞対策調査費【交通政策課】 4,127,200円
コロナ禍や働き方改革の動向を踏まえた通勤交通の課題やエコ通

勤施策等の調査、エコ交通啓発ツールの印刷原稿の作成、香嵐溪秋期交通実態の把握等を行いました。

6 生活交通対策費【交通政策課】 26,269,088円

(1) 地域内交通確保調査費

生活交通の再構築を進めていく上で必要な情報である買い物施設や病院の立地状況等を整理しました。

(2) 地域バス運行費

上郷地域バスのデマンド運行に負担金を支出しました。

<利用者数>

・対象期間：令和4年4月～令和5年3月

上郷地域バス(チョイソコにここバス) 4,156人

(3) 地域タクシー運行費

地域バスの代替として運行する3地域の地域タクシーに加え、本運行化に向けた松平地域タクシーの実証実験に負担金を支出しました。

<地域タクシー別 年間利用回数及び利用者数>

対象期間：令和4年4月～令和5年3月

鞍ヶ池地域タクシー	372回	1,061人
水源東地域タクシー	279回	324人
つくばね地域タクシー	709回	964人
松平地域タクシー	1,354回	1,818人
合計	2,714回	4,167人

7 バス運行推進費【交通政策課】 907,140,333円

(1) 公共交通利用促進費

豊田市地域公共交通計画の策定、ICカード決済システム運用業務の委託等を行いました。また、危険なバス停や上屋の修繕、70歳以上対象の割引定期券「おでかけパス70」の利用促進等を行いました。

(2) 基幹バス運行費

都心、駅、地域核を相互に結ぶ基幹バス11路線の運行負担金を支出しました。

<路線別年間利用者数>

対象期間：令和4年4月～令和5年3月

藤岡・豊田線(加納経由)	87,550人
小原・豊田線	162,714人
藤岡・豊田線(西中山経由)	103,931人
旭・豊田線	82,812人
旭・足助線	7,639人

稲武・足助線	30,262人
さなげ・足助線	188,381人
下山・豊田線	185,805人
保見・豊田線	371,734人
中心市街地玄関口バス	74,819人
土橋・豊田東環状線	799,561人
合計	2,095,208人

(3) 乗合バス運行費補助金(10/10)

市内を走る乗合バス路線を維持・存続するため、民間バス事業者に対し運行経費の一部を補助しました。

・対象期間：令和3年10月～令和4年9月

・対象路線：豊田西市内線（豊田市～聖心寮前）

矢並線増便分（豊田市～足助）

豊田・渋谷線（豊田市～桑原公園）

岡崎市内線（三河上郷駅～JR岡崎駅）

大沼線（大沼～名鉄東岡崎駅）

岡崎・足助線（名鉄東岡崎駅～足助）

(4) 交通結節点整備費

バスへの乗換えを円滑に行えるよう、位置情報提供サービスのシステム使用料を支払いました。

(5) 公共交通バス購入費

燃料電池バス4台を借りました。

(6) 次世代バス推進費

「SORA」を始め燃料電池バス4台をおいでんバスとして運行しました。

8 愛知環状鉄道整備促進費【交通政策課】 13,673,503円

(1) 愛知環状鉄道駅前施設管理費

市内10駅のトイレ清掃や浄化槽の維持管理を行いました。

(2) 愛知環状鉄道駅周辺施設整備費

末野原駅前広場ロータリー進入路の拡幅修繕を行いました。

9 パークアンドライド推進費【交通政策課】 577,490円

(1) パークアンドライド駐車場維持管理費

八草駅前駐車場の土地使用料を支払いました。

10 都市交通研究所運営費補助金(10/10)【交通政策課】

4,146,352円

◆特記事項

愛知環状鉄道整備改修費補助事業において、世界的な半導体不足によりモニタ装置等の機器の納品が遅れ、年度内の完了が困難になったため、

8款 土木費

3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【交通政策課】

8- 6- 1目 住宅管理費

(前年度)

当初予算額	686,282,000円	(606,801,000円)
予算現額	627,201,000円	(604,048,355円)
決算額	617,806,676円	(593,466,166円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	9,394,324円	(10,582,189円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(一般職8人)【人事課】 64,756,571円
- 2 市営住宅管理事務費【定住促進課】 301,441,360円
 - 管理代行者及び指定管理者 愛知県住宅供給公社
 - 〈管理戸数2,312戸〉
 - 管理代行 市営住宅(甲種住宅) 2,064戸
 - 指定管理 市営住宅(乙種住宅)、特定公共賃貸住宅
 - 地域定住化促進住宅、小原活性化促進住宅
 - 農山村定住応援住宅 248戸
- 3 手呂住宅污水处理施設管理費【定住促進課】 6,345,142円
- 4 市営住宅整備費【定住促進課】 231,607,603円
 - (1) 市営住宅営繕費
 - 外壁改修等工事 乳母ヶ入住宅
 - 屋上防水工事 志賀第一住宅
 - 外部鉄部塗装工事 丸山住宅始め5住宅
 - 給排水管改修工事 丸山住宅
 - 給湯器取替工事 東山住宅
 - 外壁改修等工事 桑田和住宅始め2住宅
 - 給排水管改修工事 流田住宅
 - 浄化槽改修工事 桑田和住宅
- 5 分譲住宅建設事業特別会計繰出金【定住促進課】 13,656,000円

8- 6- 2目 住宅建設費

(前年度)

当初予算額	82,757,000円	(68,287,000円)
予算現額	79,724,000円	(157,752,000円)
決算額	77,404,106円	(154,601,300円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,319,894円	(3,150,700円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 定住対策事業費【定住促進課】 61,476,236円
 - (1) 宮上住宅跡地整備費 2,766,236円
測量及び不動産鑑定を実施しました。
 - (2) 住宅取得費補助金(1/10) 55,510,000円
山村地域等で、定住目的の住宅・土地を取得した移住・定住者を支援しました。
補助件数 65件
 - (3) 移住支援補助金(定額) 3,200,000円
移住に要する費用の一部を補助しました。
補助件数 4件
- 2 定住促進プロモーション費【定住促進課】 13,170,870円
 - ・調査分析
 - ・住まいガイド作成 3,000部
 - ・不動産・住宅情報誌掲載 20,000部×5回
 - ・不動産・住宅サイト掲載
 - ・イベント出展 3回
 - ・PR冊子作成 8,000部
 - ・市販誌へのPR記事掲載 30,000部
 - ・移住定住促進サイト管理運営
- 3 住まい相談総合支援事業費【定住促進課】 957,000円
 - ・住まいの相談対応 202件
 - ・住まいに関するセミナー 12回
- 4 空き家対策事業費【定住促進課】 1,800,000円
 - (1) 老朽空き家等解体費補助金(1/2)
倒壊等のおそれのある危険な空き家の除却に係る費用の一部を補助しました。
補助件数 9件

9款 消防費

9款 消防費	
	(前年度)
当初予算額	7,099,583,000円 (7,093,515,000円)
予算現額	7,226,887,000円 (7,154,841,665円)
決算額	6,951,398,098円 (7,017,764,131円)
翌年度繰越額	93,702,876円 (12,000,000円)
不用額	181,786,026円 (125,077,534円)
9- 1- 1目 常備消防費	
	(前年度)
当初予算額	5,452,425,000円 (5,617,721,000円)
予算現額	5,672,305,620円 (5,687,842,742円)
決算額	5,554,279,171円 (5,625,959,549円)
翌年度繰越額	52,144,000円 (0円)
不用額	65,882,449円 (61,883,193円)
●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	52,144,000円
中消防署東分署女性専用施設改修事業	16,000,000円
中消防署訓練棟・北車庫長寿命化改修事業	36,144,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(一般職536人、非常勤一般職20人)【人事課】	4,563,844,577円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	1,113,390円
3 消防本部費【(消)総務課・警防救急課・予防課】	114,115,328円
(1) 消防本部運営費	10,818,687円
(2) 交際費	10,000円
(3) 職員厚生費	31,735,780円
(4) 職員研修費	16,897,450円
専門的知識・技術の習得及び資格取得のため、各種学校及び研修会等に派遣しました。	
消防大学校	4人(1科3コース)
愛知県消防学校	50人(14科)
各種研修会・講習会	91人(30種類)
(5) 消防音楽隊費	2,647,110円
防火意識の普及啓発を目的とし、隊長始め32人で活動しました。	

	演奏回数	19回
	練習回数	47回
(6)	予防業務運営事務費	5,360,392円
	消防法令違反是正チラシを作成し、事業所の防火対策の促進を図りました。	
	防火対象物査察	2,945件
	危険物施設査察	487件
	各種訓練指導(消火・通報・避難訓練等)	313件
	消防同意	584件
	防火管理指導	377件
	消防設備検査	1,272件
	防火対象物台帳の電子化	1,349件
	危険物施設許認可	363件
	危険物施設台帳の電子化	611件
(7)	高校生防火防災リーダー養成費	746,725円
	防火防災意識の向上を図るため、高校生消防クラブへの参加者を募集し、防火防災リーダーの養成を進めました。	
	参加者数	132人
(8)	防災学習センター運営費	9,315,800円
	市民が防火防災を学ぶために、防災学習センターの学習用映像の制作等を実施しました。	
	利用者数	17,121人
(9)	消防フェスタ開催費	1,894,708円
	とよた消防フェスタをWEB及び豊田スタジアムで開催しました。	
	WEB版参加者数	747人
	来場者数	4,500人
(10)	火災予防活動費	2,069,846円
	火災予防の推進を図るため、消防子ども写生大会の優秀作品を地震体験車の側面や消防団格納庫のシャッターに掲示しました。	
	応募作品数	232点
(11)	高齢者住宅防火促進費	65,120円
	住宅火災による高齢者の被害軽減を図るため、出火原因別の防火対策等を示した啓発用チラシを作成し、防火講話等で活用しました。	
(12)	競技訓練活動費	29,850円
(13)	消防活動企画運営費	6,422,435円
	ア まちかど救急ステーション広報のため、ステッカーを	

180部増刷し、配布しました。

イ 関係機関に負担金を執行しました。

愛知県防災ヘリコプター運営負担金

愛知県下高速道路消防連絡協議会負担金

(14) 救急高度化推進費 26,101,425円

ア 救急救命士の養成及び育成を実施しました。

救急救命士養成施設への派遣 6人

薬剤投与等の資格取得に係る育成 23人

救急救命士再教育の履修 101人

イ 救急活動をより適切なものとするため、医療機関との協定に基づき、救急活動事後検証を実施しました。

4 北消防署費【(北)管理課】 46,908,868円

(1) 管理運営費 18,366,822円

ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。

イ 救急出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。

(2) 救助・警防活動費 13,958,103円

ア 河川等での事故に対応するため、ドライスーツ等の水難救助資機材を更新しました。

イ 隣接消防本部との相互応援体制を強化するため、尾三消防組合及び瀬戸市消防本部と、あいち海上の森で林野火災合同訓練を行いました。

火災件数 43件(前年度比 7件増)

救助出動 83件(前年度比 13件増)

その他の出動 1,005件(前年度比 30件減)

(3) 救急活動費 13,965,108円

医療ソーシャルワーカー、福祉事業所等との合同研修等を通じて機関間の連携を強化し、適切かつ円滑な救急搬送業務を推進しました。

救急出動 4,491件(前年度比 608件増)

搬送人員 3,995人(前年度比 588人増)

(4) 救急高度化推進費 618,835円

心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。

児童・生徒 34校 2,733人

教員 35回 710人

一般市民 113回 2,251人

普及員による講習 31回 284人

	応急手当の普及啓発	9回	
5	中消防署費【(中)管理課】		55,887,480円
(1)	管理運営費		22,081,032円
	ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。		
	イ 救急出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。		
(2)	救助・警防活動費		13,360,458円
	ア 大規模な倉庫における火災への対応力を強化するため、活動要領を新たに作成し、消防職員に研修を実施しました。		
	イ 土砂災害時に、救助活動の障害となる木材などを切断除去できるチェーンソーを配備しました。		
	火災件数	40件(前年度比	14件増)
	救助出動	92件(前年度比	1件増)
	その他の出動	1,324件(前年度比	29件減)
(3)	救急活動費		16,409,108円
	医療機関との連携を強化するため、多くの傷病者が発生した事故を想定し、ドクターカーを活用した訓練をスカイホール豊田で行いました。		
	救急出動	8,965件(前年度比	1,299件増)
	搬送人員	7,919人(前年度比	1,119人増)
(4)	救急高度化推進費		4,036,882円
	ア 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。		
	児童・生徒	31校	2,706人
	教員	36回	815人
	一般市民	141回	3,155人
	普及員による講習	552回	5,868人
	応急手当の普及啓発	5回	
	インストラクター派遣数		延べ701人
	イ コロナ禍においても、事業所の普及員が心肺蘇生ができる人を育成できるように、新たな講習方法を構築しました。		
6	南消防署費【(南)管理課】		45,197,364円
(1)	管理運営費		18,756,583円
	ア 救急出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。		
	イ 高齢者の住宅火災による被害を軽減するため、住宅防火指導を行いました。		
(2)	救助・警防活動費		10,545,425円

ア 大雨等による大規模水害において、消防機能を維持するため浸水時対応訓練を行いました。

イ 消防用ドローンについて、新たな機体の整備に伴い飛行訓練を行い、現場活動での使用を開始しました。

火災件数 36件(前年度比 4件増)

救助出動 94件(前年度比 11件増)

その他の出動 1,319件(前年度比 33件減)

(3) 救急活動費 15,349,001円

救急隊員の現場活動力を向上させるため、救急技術審査会を開催しました。

救急出動 6,585件(前年度比 938件増)

搬送人員 5,790人(前年度比 646人増)

(4) 救急高度化推進費 546,355円

ア 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。

児童・生徒 18校 2,400人

教員 19回 639人

一般市民 125回 1,980人

普及員による講習 15回 143人

応急手当の普及啓発 3回

イ 救命の連鎖を強化するため、応急手当講習用資機材を更新しました。

応急手当講習会用プロジェクター 1台

7 足助消防署費【(足)管理課】 34,974,357円

(1) 管理運営費 16,086,097円

ア 救急出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。

イ 防火・防災啓発を目的として、足助消防署ふれあい広場を開催しました。

(2) 救助・警防活動費 11,770,685円

ア 土砂災害対応を目的として、豊田都市整備研究会等と合同で訓練を実施しました。

イ 山間地域での災害対応を目的として、名古屋市消防航空隊と合同で山岳救助連携訓練を実施しました。

火災件数 12件(前年度比 3件増)

救助出動 21件(前年度比 9件減)

その他の出動 271件(前年度比 39件減)

(3) 救急活動費 6,604,481円

関係機関との連携を目的として、愛知県警察機動隊及び新城市消防本部と合同で多数傷病者事故対応訓練を実施しました。

救急出動 1, 018件(前年度比 58件増)

搬送人員 932人(前年度比 33人増)

(4) 救急高度化推進費 513, 094円

心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。

児童・生徒 20校 264人

教員 17回 194人

一般市民 39回 608人

普及員による講習 1回 20人

8 常備消防活動費 690, 767, 807円

【建築予防保全課・(消)総務課・警防救急課・指令課】

(1) 消防庁舎管理費 100, 028, 266円

施設数 1本部・4消防署・5分署・7出張所

(2) 消防庁舎営繕費 15, 017, 200円

(3) 施設保全費 11, 634, 097円

北消防署保見出張所駐車場のコンクリート舗装修繕等を行いました。

(4) 消防車両管理費 1, 287, 637円

(5) 救急救助施設管理費 3, 109, 855円

ヘリポートの維持管理のため、竹伐採等を行いました。

(6) 通信機器管理費 559, 690, 752円

ア 指令システムと通信機器の適正な維持管理に努めました。

イ 外国人向け119番広報用動画やデジタルサイネージ等を

活用し、外国人への119番通報方法の周知を行いました。

9 防火危険物安全協会運営交付金【予防課】 1, 400, 000円

市民に対する防火・防災意識の普及啓発事業等を推進し、安全で住みよい地域社会を築くため、防火危険物安全協会の活動を支援しました。

会員事業所数 333事業所

10 女性消防クラブ運営交付金【予防課】 70, 000円

各家庭の火災の減少を図るため、地域住民へ火災予防の普及啓発を実施するクラブを支援しました。

クラブ数 5クラブ

会員数 117人

◆特記事項

・中消防署東分署女性専用施設改修事業において、工期が確保できない

9款 消防費

ため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【(消)総務課】

・中消防署訓練棟・北車庫長寿命化改修事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で36,144千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【(消)総務課】

9-1-2目 非常備消防費

(前年度)

当初予算額	427,488,000円	(393,592,000円)
予算現額	403,628,000円	(424,002,000円)
決算額	339,610,908円	(393,949,936円)
翌年度繰越額	2,508,876円	(0円)
不用額	61,508,216円	(30,052,064円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	2,508,876円
渡刈詰所格納庫公共下水道接続事業	2,508,876円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費【(消)総務課】	134,324,112円
(1) 消防団員報酬(基本団員1,722人)	85,914,220円
(2) 消防団員報酬(機能別団員66人)	456,639円
(3) 公務災害補償共済基金負担金	5,872,855円
(4) 退職報償金共済基金負担金	38,649,600円
(5) 災害補償費	3,430,798円
2 非常備消防活動費【(消)総務課】	149,542,338円
(1) 消防団運営費	10,028,460円
(2) 消防団員厚生費	38,680,938円
(3) 消防団充実強化推進費	40,436,873円
消防団を応援する取組として、消防団ファミリー・フェスタを開催しました。また、消防団活動の安全性の向上のため、防火衣129着及び防寒服1,000着の更新や折りたたみ担架43台を新たに配備しました。	
(4) 警防技術大会開催費	1,230,649円
消防団の火災対応力の向上を図るため、第1回警防技術大会を開催しました。	
(5) 任免式開催費	173,548円
(6) 消防団車両管理費	16,232,749円
(7) 消防団運営交付金	42,611,831円

消防団が火災、風水害等に備えた即応体制をとるため、資機材の点検等の活動に係る経費として交付しました。

(8) 準中型自動車免許取得費補助金(10/10) 147,290円

準中型自動車免許が必要な消防団車両を運転する消防団員を支援するため、免許取得の経費を補助しました。

3 詰所・格納庫費【建築予防保全課・(消)総務課】 38,327,742円

(1) 管理費 6,026,418円

(2) 施設保全費 4,730,000円

消防団詰所格納庫の長寿命化修繕を行いました。

4か所(下市場・中田・猿投・上川口)

(3) 整備費 27,571,324円

消防団詰所格納庫の整備を行いました。

1か所(桂野)

4 消防団消防機械整備費【(消)総務課】 17,416,716円

消防団車両を更新しました。

小型動力ポンプ付積載車 2台(杉本・楨本)

◆特記事項

渡刈詰所格納庫公共下水道接続事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で3,700千円を増額補正し翌年度へ繰り越しました。

【(消)総務課】

9- 1- 3目 消防施設費

		(前年度)
当初予算額	529,927,000円	(300,037,000円)
予算現額	505,314,608円	(287,887,300円)
決算額	443,378,600円	(285,900,406円)
翌年度繰越額	39,050,000円	(0円)
不用額	22,886,008円	(1,986,894円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	39,050,000円
多目的資機材搬送車取得事業	39,050,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 消防水利整備費【警防救急課】	39,529,932円
(1) 消防水利施設管理費	15,935,632円
ア 防火水槽	

9款 消防費

	金網・フェンス修繕	5 箇所
	漏水修繕	1 箇所
イ	震災用ポンプ格納庫	
	修繕	4 箇所
ウ	消火栓	
	修繕	3 4 基
エ	消火栓用ホース格納箱	
	修繕	2 6 基
	設置	2 基
(2)	消火栓整備費	23,594,300円
	消防水利施設の整備充実を図るため、消火栓を35基設置しました。	
2	消防機械整備費【警防救急課・(北)管理課】	8,832,048円
	消防用ドローンの運用を強化するため、新たに機体を1機整備しました。	
	救急隊員の資質向上のため、救急訓練用資機材を整備しました。	
	救急処置訓練用人形	1 体
3	消防車両整備費【警防救急課】	395,016,620円
	消防力の強化を図るため、消防車両を整備しました。	
	高規格救急自動車	
	(足助、稲武、下山、中、東、末野原、高岡)7台	
	消防ポンプ自動車(東、末野原)	2 台
	化学消防ポンプ自動車(南)	1 台
	リモートコントロール式の消火・排煙車(中)	1 台
	連絡車(総務)	1 台
◆特記事項		
多目的資機材搬送車取得事業において、シャシ製造メーカーの不正問題により年度内の納車が困難となったため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【警防救急課】		
9- 1- 4目 水防費		
		(前年度)
当初予算額	19,470,000円	(4,970,000円)
予算現額	16,937,000円	(3,938,000円)
決算額	16,358,361円	(3,446,712円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	578,639円	(491,288円)

9款 消防費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1	水防対策費【（消）総務課】	13,706,621円
(1)	管理費	523,825円
(2)	整備費	13,182,796円
	洪水や土砂災害に対応するため、水防倉庫を整備しました。	
	1か所（西）	
2	矢作川豊田防災ステーション費【（消）総務課】	2,626,640円
3	県水防管理団体連合会負担金【防災対策課】	25,100円

9- 1- 5目 災害対策費

			(前年度)
当初予算額	670,273,000円	(777,195,000円)
予算現額	628,701,772円	(751,171,623円)
決算額	597,771,058円	(708,507,528円)
翌年度繰越額	0円	(12,000,000円)
不用額	30,930,714円	(30,664,095円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1	人件費（防災会議委員13人、一般職15人、非常勤一般職3人）	
	【防災対策課・人事課】	151,811,306円
2	非常勤一般職管理事務費【人事課】	368,650円
3	災害対策事務費【防災対策課・予防課】	2,737,034円
(1)	防災指導事務費	635,287円
	防火・防災意識の向上を目指し、防サイ君（地震体験車）等の資機材を活用した啓発を行いました。	
	防サイ君派遣 226回	体験者数 17,448人
(2)	防災対策事務費	2,101,747円
4	防災計画費【防災対策課】	972,070円
(1)	ハザードマップ作成費	477,070円
(2)	受援体制推進費	495,000円
5	危機管理対策費【防災対策課・警防救急課】	88,581,817円
(1)	災害対策本部運営費	40,663,319円
	大雨、台風等の災害に備えて、非常配備体制をとり、応急対策活動等を実施しました。	
	準備体制	24回
	うち、第1非常配備体制	3回
	うち、第2非常配備体制	1回

		災害対策本部システムの老朽化に伴う機器更新を行いました。
(2)	防災拠点施設維持管理費	580,171円
(3)	災害用便槽整備費	45,304,140円
		避難所における避難者の健康と衛生環境の確保を図るため、災害用便槽(マンホールトイレ)及び資機材を整備しました。
	下水道接続型災害用便槽の整備	4か所
	災害用マンホール直結型トイレ・テント(一般型)	6組
	災害用マンホール直結型トイレ・テント(車椅子対応型)	2組
(4)	緊急救助費	226,966円
		緊急消防援助隊用の食糧を購入しました。
(5)	災害ボランティア対策費	1,787,221円
		災害時、ボランティアの受入れと活動支援を円滑に行うため、災害ボランティア支援センターの開設・運営に必要な資機材の整備及び災害ボランティアコーディネーターの育成を行いました。
	養成講座修了者数	66人
(6)	防災連携推進費	20,000円
6	防災設備費【防災対策課】	228,901,112円
(1)	防災設備維持管理費	19,120,579円
		緊急メールとよたに多言語配信機能を追加しました。
(2)	高度情報通信ネットワーク維持管理費	4,897,721円
(3)	防災行政無線維持管理費	144,761,005円
(4)	防災設備整備費	24,293,940円
		震度計等の設備更新を行いました。
(5)	防災行政無線整備費	17,430,600円
		防災行政無線の直流電源装置蓄電池の交換等を行いました。
(6)	災害時情報通信設備整備費	18,397,267円
		市民販売用防災ラジオ189台を購入しました。また、防災行政無線と自治区放送施設の接続を新たに3か所行いました。
7	防災意識普及啓発費【防災対策課・建築相談課】	19,611,446円
(1)	自主防災育成費	3,327,504円
		共助の取組促進により地域防災力の強化を図るため、地域の防災活動を先導する自主防災リーダーの育成、自主防災会の実施する防災訓練に対し、指導員派遣、訓練用資機材貸出等の支援を行いました。
	自主防災リーダー養成講座	
	育成数	149人

防災訓練支援

訓練実施回数 153回
 訓練実施自主防災会数 129団体
 訓練参加者数 20,826人

豊田市自主防災会連絡協議会事業

定期総会 1回

消防防災専門指導員

自主防災会の訓練等への派遣 87回

(2) 防災啓発費 13,898,942円

市民に対する防災・減災意識の啓発と防災教育の推進を図るため、とよた防災啓発推進協議会の実施する啓発事業及び小中学校における防災キャンプの実施支援等を行いました。

また、昭和47年7月豪雨から50年の節目の年に、当時の記憶の継承等を目的に「防災フェスタ」等を開催しました。

とよた防災啓発推進協議会事業

事業概要 「昭和47年7月豪雨50周年事業」を開催

防災キャンプ

事業概要 小中学校で行う避難所生活体験

実施箇所 3校

参加者数 250人

(3) 企業防災推進費 830,000円

災害発生時に、市内の事業者が業務を継続していけるようBCP(事業継続計画)の作成支援を通じて企業防災力を強化しました。

「BCP作成セミナー」の入門編及び中級編を開催し、BCP作成に向けた支援の充実を図りました。

参加事業者数 入門編 29事業者 延べ37人

中級編 10事業者 延べ11人

(4) ブロック塀撤去奨励補助金(2/3) 1,555,000円

危険なブロック塀等の撤去費に対し補助金を交付しました。

補助件数 13件

8 国民保護計画費【防災対策課】 26,800円

9 震災対策消防施設設備整備費【警防救急課】82,879,023円

(1) 震災対策消防設備整備費 3,713,600円

震災時に防火水槽を効果的に活用するため、震災用可搬式小型動力ポンプを整備しました。

更新 青木町、逢妻分署、西分署 3台

(2) 耐震性貯水槽整備費 79,165,423円

震災対応力の強化を図るため、耐震性貯水槽を設置しました。

耐震性貯水槽（40m³）

4基（御所貝津町、花園町、竹町、猿投町）

防火水槽の機能維持を図るため、修繕を実施しました。

長寿命化修繕	6か所
蓋板修繕	1か所
漏水修繕	3か所
フェンス修繕	1か所
金網修繕	2か所

10 民間木造住宅耐震対策費【建築相談課】 20,694,000円

(1) 耐震診断費（無料診断） 6,608,000円

昭和56年5月以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しました。

診断件数 140件

(2) 耐震補強工事費等補助金（定額） 14,086,000円

木造住宅の無料耐震診断の結果、耐震性能が不足する住宅の改修工事等に対し補助を行いました。

補強計画・工事	10件	9,600,000円
解体補助	18件	3,586,000円
シェルター設置	2件	600,000円
防災ベッド設置	1件	300,000円

11 民間建築物等耐震対策費【建築相談課】 1,187,800円

無料耐震診断の受診啓発を行いました。

戸別訪問 1,308件

10款 教育費

10款 教育費	
(前年度)	
当初予算額	26,694,423,000円 (27,656,631,000円)
予算現額	40,174,891,085円 (37,380,092,160円)
決算額	31,716,009,329円 (29,668,046,580円)
翌年度繰越額	6,650,501,806円 (6,394,702,256円)
不用額	1,808,379,950円 (1,317,343,324円)
10- 1- 1目 教育委員会費	
(前年度)	
当初予算額	6,435,000円 (6,544,000円)
予算現額	6,335,000円 (6,344,000円)
決算額	6,003,626円 (5,921,928円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	331,374円 (422,072円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 人件費(教育委員会委員6人)【教育政策課】5,436,000円</p> <p>2 委員会事務費【教育政策課】514,516円</p> <p>3 教育委員会交際費【教育政策課】53,110円</p>	
10- 1- 2目 事務局費	
(前年度)	
当初予算額	284,949,000円 (268,081,000円)
予算現額	4,251,304,000円 (284,746,000円)
決算額	4,243,851,727円 (277,168,295円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	7,452,273円 (7,577,705円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 人件費(特別職1人、一般職26人、非常勤一般職1人)【人事課】 240,720,034円</p> <p>2 非常勤一般職管理事務費【人事課】156,960円</p> <p>3 事務局事務費【教育政策課】1,572,993円</p> <p>4 教育行政外部評価費【教育政策課】216,700円 外部の有識者委員を交えて、教育委員会点検・評価に係る事業説明会、現地視察、ヒアリングを実施しました。</p> <p>5 教育施設整備基金積立金【教育政策課・学校づくり推進課】</p>	

10款 教育費

		4,001,185,040円
10- 1- 3目 奨学費		
		(前年度)
当初予算額	32,618,000円	(32,876,000円)
予算現額	24,953,000円	(25,975,000円)
決算額	24,952,732円	(25,142,244円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	268円	(832,756円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(奨学金審査委員会委員3人)【教育政策課】24,000円		
2 私立高等学校授業料補助費【教育政策課】14,416,732円		
	交付者数	補助額(定額)
区分I	345人	30,000円
区分II	203人	20,000円
3 奨学生交付金【教育政策課】10,512,000円		
	交付者数 95人(新規48人、継続47人)	
10- 1- 4目 私学振興費		
		(前年度)
当初予算額	577,420,000円	(542,569,000円)
予算現額	577,420,000円	(549,769,000円)
決算額	555,379,242円	(548,406,661円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	22,040,758円	(1,362,339円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 私立幼稚園振興費【保育課】552,897,892円		
職員の処遇向上、施設の運営改善、教育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。		
私立幼稚園 10園		
園児数 1,516人(令和4年5月1日時点)		
また、保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況等に 応じて、給食費の減免を行いました。		
給食費補足給付費対象児童数 202人		
旧制度幼稚園における幼児教育・保育の無償化のための費用を支 払いました。		

10款 教育費

授業料軽減給付費対象児童数 1,811人 2 多様な集団活動事業利用支援給付費【保育課】2,481,350円 自然保育活動や各種学校等の多様な集団活動事業の利用料に関する支援を行いました。 給付対象児童数 18人
10- 2- 1目 学校管理費
(前年度)
当初予算額 1,444,160,000円 (1,380,400,000円) 予算現額 1,595,753,808円 (1,384,710,195円) 決算額 1,491,087,892円 (1,343,583,967円) 翌年度繰越額 0円 (0円) 不用額 104,665,916円 (41,126,228円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要 1 人件費(一般職2人、非常勤一般職156人)【人事課】 228,039,383円 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 7,783,040円 3 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】 1,255,265,469円 小学校75校の適切な維持管理に努めました。また、地域産材を使用した学習机・椅子を購入しました。
10- 2- 2目 教育振興費
(前年度)
当初予算額 395,248,000円 (387,480,000円) 予算現額 503,173,000円 (495,883,000円) 決算額 481,151,757円 (374,424,288円) 翌年度繰越額 0円 (112,000,000円) 不用額 22,021,243円 (9,458,712円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要 1 教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】 406,728,884円 教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しました。 また、ICTカート384台の購入、リース満了に伴う校務用パ

10款 教育費

ソコン721台等の更新を行いました。

- 2 学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】 7,613,448円
- 3 校長会等負担金【学校教育課】 3,291,730円
- 4 就学援助費【学校教育課】 63,517,695円

(1) 要保護準要保護就学援助費

教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和5年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、新入学学用品費等入学前支給を行いました。

認定児童数 2,015人

入学前支給児童数 145人

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級等に在学している児童の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費、給食費等の扶助を行いました。

認定児童数 502人

10- 2- 3目 学校建設費

(前年度)

当初予算額	831,270,000円	(715,947,000円)
予算現額	4,277,698,192円	(4,794,207,805円)
決算額	2,327,370,355円	(2,193,368,572円)
翌年度繰越額	1,206,207,000円	(2,261,300,000円)
不用額	744,120,837円	(339,539,233円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	1,206,207,000円
トイレ再整備・屋根外壁改修事業(四郷小学校外10校)	888,159,000円
バリアフリー化整備事業(九久平小学校)	123,066,000円
屋外遊具整備事業(平井小学校外11校)	192,000,000円
小学校受変電設備改修設計事業(市木小学校外2校)	2,982,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 学校建設事務費【学校づくり推進課】 1,304,823円
- 2 施設整備費【学校づくり推進課】 2,243,562,232円

(1) 施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるために、保全改修工事、トイレ再整備の設計委託・工事及び屋根外壁改修の設計委託を行いました。〔保全改修費〕

保全改修工事	挙母小学校	ほか6校
トイレ再整備設計委託	山之手小学校	ほか14校

<p>トイレ再整備工事 屋根外壁改修設計委託</p> <p>(2) 近年の暑さ、雷雨などの天候への対応、プールの維持管理の負担軽減等を検証するため、矢並小学校ほか1校で学校水泳授業の民間委託モデル事業を行いました。〔長寿命化改修費〕</p> <p>(3) 肢体の不自由な児童や来校者が安心して利用できる施設の整備を進めるために、大林小学校のバリアフリー化整備工事及び九久平小学校のバリアフリー化整備設計委託を行いました。 〔バリアフリー化整備費〕</p> <p>(4) 児童の安全安心の確保や運動能力向上を図るために、拳母小学校ほか12校の屋外遊具整備工事を行いました。〔遊具整備費〕</p> <p>(5) 環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、前山小学校ほか15校に緑のカーテンを設置しました。 〔緑のカーテン整備費〕</p> <p>(6) 暑さ対策や砂埃防止効果を狙い、拳母小学校ほか4校の校庭・中庭の芝生を維持管理しました。〔学校芝生化整備費〕</p> <p>(7) 児童の安全確保や学習環境の充実を図るために、工事・修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕</p> <p>3 校舎建設費【学校づくり推進課】</p>	<p>童子山小学校 ほか8校 平井小学校 ほか5校</p> <p>82,503,300円</p> <p>中山小学校の校舎及び体育館の増築等に係る実施設計を行いました。</p> <p>◆特記事項</p> <p>・トイレ再整備・屋根外壁改修事業、バリアフリー化整備事業及び屋外遊具整備事業において、国の補正予算(第2号)等による交付金に対応するため、3月議会で1,203,225千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【学校づくり推進課】</p> <p>・小学校受変電設備改修設計事業において、工事の平準化のため、9月議会で3,939千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。 【学校づくり推進課】</p>
10- 3- 1目 学校管理費	
(前年度)	
当初予算額	750,672,000円 (726,682,000円)
予算現額	848,184,823円 (735,225,934円)
決算額	809,102,352円 (706,542,972円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	39,082,471円 (28,682,962円)

10款 教育費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（一般職4人、非常勤一般職55人）【人事課】
98,903,629円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2,625,710円
- 3 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】
698,508,573円
中学校28校の適切な維持管理に努めました。また、地域産材を使用した学習机・椅子を購入しました。
- 4 校舎建設校管理備品等整備費【学校づくり推進課】
9,064,440円
若園中学校技術科棟の整備に伴い管理備品等を整備しました。

10- 3- 2目 教育振興費

		(前年度)
当初予算額	257,341,000円	(282,829,000円)
予算現額	308,054,000円	(320,040,000円)
決算額	294,252,078円	(252,767,727円)
翌年度繰越額	0円	(52,600,000円)
不用額	13,801,922円	(14,672,273円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】
191,713,470円
教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しました。
また、ICTカート166台の購入、リース満了に伴う校務用パソコン562台等の更新を行いました。
- 2 学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】 2,845,728円
- 3 校舎建設校教材備品整備費【学校づくり推進課】
8,360,000円
若園中学校技術科棟の整備に伴い教材備品を整備しました。
- 4 校長会等負担金【学校教育課】 1,223,320円
- 5 就学援助費【学校教育課】 90,109,560円
 - (1) 要保護準要保護就学援助費
教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和5年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、

10款 教育費

新入学学用品費等入学前支給を行いました。

認定生徒数 1,212人

入学前支給生徒数 286人

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級等に在学している生徒の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費、給食費等の扶助を行いました。

認定生徒数 172人

10- 3- 3目 学校建設費

(前年度)

当初予算額	486,958,000円	(942,564,000円)
予算現額	2,011,585,777円	(2,782,197,066円)
決算額	1,036,103,786円	(1,686,808,813円)
翌年度繰越額	712,052,000円	(854,479,600円)
不用額	263,429,991円	(240,908,653円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	712,052,000円
トイレ再整備・屋根外壁改修事業(益富中学校外2校)	428,809,000円
バリアフリー化整備事業(石野中学校外1校)	283,243,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 学校建設事務費【学校づくり推進課】 266,693円

2 校舎建設費【学校づくり推進課】 290,727,505円

若園中学校技術科棟と若園交流館の合築による改築工事を完了しました。

3 施設整備費【学校づくり推進課】 745,109,588円

(1) 施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるために、保全改修工事、トイレ再整備の設計委託・工事及び屋根外壁改修の設計委託を行いました。〔保全改修費〕

保全改修工事	梅坪台中学校
トイレ再整備設計委託	豊南中学校 ほか4校
トイレ再整備工事	崇化館中学校ほか4校
屋根外壁改修設計委託	豊南中学校 ほか2校

(2) 肢体の不自由な生徒や来校者が安心して利用できる施設の整備を進めるために、石野中学校ほか1校のバリアフリー化整備設計委託を行いました。〔バリアフリー化整備費〕

(3) 環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、高岡中学校ほか5校に緑のカーテンを設置しました。

〔緑のカーテン整備費〕

(4) 暑さ対策や砂埃防止効果を狙い、藤岡南中学校の中庭の芝生を維持管理しました。〔学校芝生化整備費〕

(5) 生徒の安全確保や学習環境の充実を図るために、工事・修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕

◆特記事項

トイレ再整備・屋根外壁改修事業及びバリアフリー化整備事業において国の補正予算(第2号)等による交付金に対応するため、3月議会で712,052千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

10- 4- 1目 特別支援学校費

		(前年度)
当初予算額	149,635,000円	(153,719,000円)
予算現額	188,257,998円	(183,107,998円)
決算額	182,078,337円	(166,602,563円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	6,179,661円	(16,505,435円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(一般職1人、非常勤一般職38人)【人事課】
75,780,402円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 1,779,530円
- 3 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】
63,401,696円
- 4 教材備品整備費【学校教育課】 2,766,265円
リース満了に伴う校務用パソコン52台等の更新を行いました。
- 5 学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】 104,292円
- 6 通学バス運行費【学校教育課】 31,682,960円
 - (1) 豊田特別支援学校運行費 22,893,960円
豊田特別支援学校の児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。
利用者数 7,393人
 - (2) 岡崎特別支援学校運行費 8,789,000円
豊田市から岡崎聾学校及び岡崎盲学校に通学する児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。利用者数 1,377人
- 7 児童生徒対象事業費【学校教育課】 156,000円
豊田特別支援学校の児童生徒の社会的自立を支援するため、芸術鑑賞会を実施しました。

10款 教育費

8 施設整備費【学校づくり推進課】 6,407,192円
 児童生徒の安全確保や学習環境の充実を図るために、修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕

10- 5- 1目 幼稚園費

(前年度)

当初予算額	683,201,000円	(629,698,000円)
予算現額	712,059,000円	(1,084,412,000円)
決算額	665,252,619円	(1,044,205,299円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	46,806,381円	(40,206,701円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(一般職43人、非常勤一般職53人)【人事課】
 444,201,629円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 1,924,315円
- 3 管理運営費【保育課】 47,104,014円
 公立こども園 9園
 園児数 267人(令和4年5月1日時点)
- 4 こども園給食運営費【保育課】 103,468,122円
 公立こども園(幼稚園機能)、私立幼稚園の園児及び職員の給食等に要する費用を執行しました。
- 5 園児対象事業費【保育課】 1,369,588円
 (1) 自然とのふれあい事業(総合野外センター) 5歳児対象
 (2) 動物とのふれあい事業(移動動物園) 全園児対象(隔年)
- 6 施設保全費【建築予防保全課】 10,934,275円
 平山こども園遊具修繕等を行いました。
- 7 施設整備費【保育課】 56,122,394円
 (1) 備品等整備費 289,913円
 園の環境整備のため、お昼寝ベッド等を購入しました。
 (2) 諸営繕工事 29,134,299円
 幼児教育環境の向上及び施設の充実を図るため修繕工事等を行いました。
 (3) トイレ改修費 19,748,300円
 洋式トイレの再整備として、野見こども園の工事、平山こども園の設計を行いました。
 (4) ICT推進費 6,949,882円
 保育士、保護者の負担軽減及び幼児教育の質の向上を図るため、

10款 教育費

保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執行しました。

- | | | |
|-----|--|----------|
| 8 | こども園地域活動費【保育課】 | 128,282円 |
| | こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種行事を実施しました。 | |
| (1) | 子育てひろば利用者(公立こども園分) | 976人 |
| (2) | 老人福祉施設訪問等世代間交流事業 | 5回 |
| (3) | 地域における異年齢児交流事業 | 5回 |
| (4) | 保護者等への育児講座 | 13回 |
| (5) | 郷土文化伝承活動 | 5回 |
| (6) | こども園退園児童との交流事業 | 4回 |

10- 6- 1目 学校教育総務費

(前年度)

当初予算額	1,912,258,000円	(1,935,443,000円)
予算現額	1,826,733,737円	(1,893,059,152円)
決算額	1,696,375,717円	(1,753,150,703円)
翌年度繰越額	0円	(10,800,000円)
不用額	130,358,020円	(129,108,449円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- | | | |
|---|--|----------------|
| 1 | 人件費(一般職66人、非常勤一般職639人)【人事課】 | 1,303,647,300円 |
| 2 | 非常勤一般職管理事務費【人事課】 | 20,462,005円 |
| 3 | 学校教育総務事務費【学校教育課】 | 15,291,419円 |
| 4 | 就学事業費【学校教育課】 | 1,637,270円 |
| | 入学指定通知等就学に係る事務費を執行しました。また、みよし市との規約に基づいて、教育事務を委託し、通学の利便を図りました。 | |
| | 対象者数 小学校14人 中学校2人 | |
| 5 | 副読本・教師用教科書等購入費【学校教育課】 | 71,067,342円 |
| | 小・中・特別支援学校の児童生徒用副読本及び教師用教科書・指導書を購入しました。 | |
| 6 | 通学路整備費【学校教育課】 | 54,589,870円 |
| | 児童生徒の通学途上の安全を確保するため、通学路整備推進会議を開催し、国・県・市の関係機関等と連携して通学路整備を行いました。 | |

10款 教育費

安全のみどり線設置工事	21校	L = 18,890m
通学路標識 修繕	22か所	撤去 2か所
7 通学バス運行費【学校教育課】	148,481,762円	
旭地区、小原地区、下山地区、足助地区、石野地区及び松平地区の学校統廃合等により、遠距離通学となった児童生徒をスクールバスで送迎し、通学の利便を図りました。		
8 教職員会館費【学校教育課】	29,602,961円	
電話機を更新するなど、教職員会館の適切な維持管理に努めました。		
施設利用者数 47,707人		
9 共働の学校づくり推進費【学校教育課】	50,779,552円	
地域学校共働本部103か所及び地域部活動6か所の運営支援を行いました。		
10 外国人学校通学費特別補助金（定額）【教育政策課】	24,000円	
交付者数 2人		
11 外国人学校教育推進費補助金（1/50）【教育政策課】	700,000円	
交付学校数 各種学校 1校		
12 私立幼稚園保護者の会連合会補助金（1/3）【保育課】	50,000円	
幼稚園教育に関する進展活動を行い、幼児教育に対する意識向上を図るため、連合会に対して補助金を支出しました。		
13 修学旅行キャンセル料等支援事業補助金（10/10）【学校教育課】	42,236円	
新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行を欠席した生徒のいる学校に、旅行のキャンセル料金を補助し、保護者の経済的な負担を軽減しました。		
交付学校数 中学校 2校		

10- 6- 2目 教育指導費

		(前年度)
当初予算額	634,847,000円	(769,520,000円)
予算現額	521,550,265円	(441,796,737円)
決算額	492,243,811円	(413,333,383円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	29,306,454円	(28,463,354円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（非常勤一般職33人）【学校教育課】
196,383,215円
- 2 教育指導事務費【学校教育課・保健給食課】 2,550,480円
- 3 児童生徒対象事業費【学校教育課】 262,120,005円
- (1) 文化的部活動指導奨励費 4,013,000円
文化的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。
特別指導者 38人 実績時間 2,006.5時間
- (2) 感動体験事業費 20,649,311円
一流の文化、芸術に直接触れることで、豊かな心を育むため、コンサートホールで名古屋フィルハーモニー交響楽団の鑑賞会を実施しました。
- (3) 自然体験等学習費 8,631,705円
豊かな自然の中での集団宿泊生活を通じて、調和のとれた児童生徒の健全育成を図るため、六所山等で野外学習（小学5年生、中学1年生）を実施しました。
- (4) 公共施設体験学習費 7,299,358円
地域社会の構成員としての自覚や地域社会を大切にする気持ちを育てるため、公共施設見学（小学4年生）を実施しました。
- (5) 児童生徒対象行事費 1,955,818円
豊かな感性を育て、教育の向上を図るため、科学研究作品展、書き初め大会等各種行事を実施しました。
- (6) へき地小規模校教育推進費 1,946,190円
へき地小規模校の児童に集団の中で学習する機会を与えるため、あすけ集合学習、都市体験学習及び芸術鑑賞会を実施しました。
- (7) 青少年赤十字リーダー研修費 122,760円
青少年赤十字組織の活動の中核となる児童生徒（小中各学校1人）を対象に研修会を実施しました。
- (8) 外国人講師費 146,740,000円
外国人英語講師を小・中・特別支援学校へ配置し、小学校での外国語活動や外国語科の授業、中学校での英語科の授業の充実を図りました。
- (9) 特別支援教育推進費 25,033,637円
特別支援教育を推進するため、就学支援、巡回相談活動、特別支援学級学校間交流事業等を実施しました。
また、医療的ケアの必要な児童生徒に対して、学校へ看護師を派遣しました。

10款 教育費

- (1 0) 生徒進路対策費 35,461,670円
 児童生徒の健全育成を図るため、学力検査、進路指導等を実施しました。
 知能検査(新入学児、小学5年生)、学力検査(小学5年生)
 クレペリン検査(小学5年生、中学2年生)、進路指導及び生徒指導(全中学生)
- (1 1) 外国人児童生徒教育推進費 5,214,939円
 外国人児童生徒の教育を推進するため、学校日本語指導員の派遣、ことばの教室の運営、プレスクール事業等を実施しました。
 外国人児童生徒数 1,239人(令和4年5月1日現在)
- (1 2) 教育介護員派遣費 361,950円
 肢体不自由、発達障がい等の児童生徒が、安全に修学旅行や自然教室に参加できるよう、教育介護員を派遣しました。
- (1 3) 校外学習活動費 3,550,140円
 交通不便、地域固有の条件等で教育活動に支障のある学校に対して、校外学習のためのバスを借りました。
- (1 4) 小中学校文化的大会選手派遣費補助金(10/10・5/10) 1,139,527円
 文化的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大会への参加費用を補助しました。
- 4 中高連携費【学校教育課】 4,758,378円
 市内にある県立高等学校、特別支援学校及び豊田工業高等専門学校(15校)の特色ある取組や教育課程等のPR動画を作成し、CATV及びYouTubeで発信しました。視聴した小中学生及び保護者等へ魅力をアピールする機会となりました。
- 5 国際交流活動費【学校教育課】 595,652円
 国際感覚を身に付けるとともに、海外での生活体験の中で実際に見聞きし、学んだことを周囲の生徒に報告、広めるなど国際理解教育に役立てるため、中学生を海外に派遣する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。代わりに、中学生を対象に海外とのオンライン交流を行う「国際理解推進セミナー」を開催しました。
- 6 教育問題研究費【学校教育課】 25,036,081円
- (1) 教育指導研究費 2,248,177円
 教育行政計画推進のため、8つの委員会を設置し、具体的な事業遂行のための研究を行いました。
- (2) 帰国児童生徒教育推進費 229,516円
 帰国児童生徒対策等の充実を図るため、教育国際化推進連絡協

議会の事業を推進しました。

- (3) キャリア教育推進費 945,000円
地域の教育力を最大限に生かし、子どもたちの職業観や勤労観を磨き、社会性やコミュニケーション能力を高めるため、職場体験学習等を実施しました。
- (4) 教育研究指定校活動費 390,620円
教育の課題解決や地域に根ざした学校教育の充実を図るため、研究推進校・継続校を指定し、教育実践を行いました。
- (5) 特色ある学校づくり推進費 18,578,239円
伝統や地域性を生かした教育活動を推進するため、小中学校103校で、学校の自由裁量による研究、活動を実践しました。また、都市(旧市内)と山間(旧町村)の学校間の教育交流や海外の学校と国際交流を行いました。
- (6) 少人数教育対応費 2,253,265円
小学校1・2学年及び中学校2・3学年で市独自の少人数学級編制、小学校5・6学年及び中学校2・3学年で少人数指導授業を実施することにより、個に応じたきめ細かな指導を行いました。
- (7) 学校図書館司書配置費 269,310円
学校図書館に司書を週1回程度配置し、児童生徒の読書活動、調べる学習の支援を行い、学校図書館の利用充実を図りました。
- (8) 小規模特認校制度推進費 121,954円
小規模特認校制や特認校の魅力をPRするために、ポスター及びちらしを作成しました。

7 小・中学校講師向け新豊田市民応援補助金(1/2・定額)

【学校教育課】 800,000円

小中学校講師の人材確保のため、市内に転入してくる講師に対し転居に係る経費の一部を補助しました。

対象者数 4人

◆特記事項

教育職員免許法の改正により、教員免許状の有効期間が廃止されたことに伴い、教員免許状更新講習会を中止しました。【学校教育課】

10- 6- 3目 教育センター費

(前年度)

当初予算額	377,033,000円	(250,726,000円)
予算現額	402,961,000円	(286,839,850円)
決算額	397,967,843円	(251,619,176円)
翌年度繰越額	0円	(29,700,000円)
不用額	4,993,157円	(5,520,674円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(教育センター企画運営委員会委員3人)【学校教育課】
40,000円
- 2 施設管理運営費【学校教育課】 2,929,307円
教育センターの管理運営と教職員の研究及び研修の推進を図りました。
- 3 コンピュータ等整備費【学校教育課】 1,445,484円
教育センターのコンピュータ機器の活用を図りました。
- 4 学校情報化推進費【学校教育課】 345,427,638円
学校の情報化を推進するため、校務系と授業系のネットワークを統合し、業務の効率化を推進するなど、学校のコンピュータ機器の円滑な運用に努めました。
また、デジタルドリル教材を導入し、児童生徒の個別最適な学びの実現に向けて、学習環境の充実を図りました。
- 5 ICT授業利活用推進事業費【学校教育課】 3,199,824円
ICTを活用した授業を安定して行うため、データセンターネットワーク機器の維持管理を行いました。
- 6 教職員研修費【学校教育課】 16,875,590円
学校教育における教育目標を効果的に達成し、教職員の資質・能力の向上を図るため、専門職としての理論や技術の各種研修を実施しました。
- 7 GIGAスクール構想推進事業費【学校教育課】
28,050,000円
不登校や特別な支援を必要とする児童生徒のために、オンライン授業に用いる教員用学習タブレット端末362台を購入しました。

10- 6- 4目 学校保健費

(前年度)

当初予算額	354,701,000円	(349,069,000円)
予算現額	378,567,000円	(368,886,000円)
決算額	354,339,853円	(330,135,961円)
翌年度繰越額	10,539,000円	(19,900,000円)
不用額	13,688,147円	(18,850,039円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	10,539,000円
小中特別支援学校感染症対策事業	10,539,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(こども園医9人、こども園歯科医9人、こども園薬剤師9人、学校医81人、学校歯科医102人、学校眼科医12人、学校耳鼻咽喉科医18人、学校薬剤師59人)

【保育課・保健給食課】 189,751,595円

- 2 学校保健衛生管理費【保健給食課】 132,313,314円

(1) 管理費 38,243,713円

学校保健の円滑な運営のため、保健室の医薬材料・備品などの購入、機器の検査・修繕、環境衛生検査などを実施しました。

(2) 結核予防費 4,679,200円

感染症法・学校保健安全法による予防事業として、児童生徒及び教職員の結核の感染を防ぐため健康診断などを実施しました。

(3) 健康診査費 56,628,491円

学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、各種健康診断を実施しました。

(4) 治ゆ証明費 202,510円

児童生徒が学校保健安全法に規定する感染症に感染した場合、出席停止の指示及び当該疾病に係る治ゆが確認できる証明書の交付業務を委託しました。

(5) 学校災害共済負担金 32,559,400円

学校管理下の災害における医療費等の給付を目的とする災害共済給付制度について、児童生徒の加入契約に係る共済掛金を負担しました。

- 3 学校保健特別対策事業費【保健給食課】 18,917,058円

新型コロナウイルス感染症対策のために必要な衛生材料、学習保障等に係る物品を購入し、学校に配付しました。

- 4 健康づくり推進費【保健給食課】 290,400円

新型コロナウイルス感染症の影響により、小児生活習慣病予防事業の一部を休止し、むし歯予防事業を実施しました。

5 学校プール管理費【保健給食課】 13,067,486円

◆特記事項

小中特別支援学校感染症対策事業において、国の補正予算（第2号）の補助金に対応するため、3月議会で10,539千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【保健給食課】

10- 6- 5目 学校体育費

		(前年度)
当初予算額	29,310,000円	(29,898,000円)
予算現額	23,933,000円	(26,546,000円)
決算額	18,889,050円	(19,137,867円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	5,043,950円	(7,408,133円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 学校体育事務費【学校教育課】 2,090,399円

2 体育的部活動指導奨励費【学校教育課】 11,101,890円

体育的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。

特別指導者 149人 実績時間 5,527.5時間

3 体育大会開催費【学校教育課】 2,628,492円

体力の向上を図るとともに、スポーツの推進を図るため、中学校総合体育大会を開催しました。

4 体育大会選手派遣費補助金（10／10）【学校教育課】

3,068,269円

体育的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大会への参加費用を補助しました。

全国大会出場 弓道（3校）、水泳（2校）ほか

10- 6- 6目 学校給食費	
	(前年度)
当初予算額	164,585,000円 (155,195,000円)
予算現額	162,907,553円 (160,983,263円)
決算額	161,582,757円 (160,282,170円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	1,324,796円 (701,093円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 学校給食運営費【保健給食課】	16,674,337円
(1) 運営費	2,252,656円
小・中学校における食の指導の推進のため、献立表等の発行を行いました。	
(2) 配膳費	14,421,681円
2 準要保護児童生徒給食援助費【保健給食課】	144,908,420円
豊田市就学援助費事務取扱要綱に基づき、準要保護児童・生徒へ給食費を扶助しました。	
扶助対象 小学校児童1,945人 中学校生徒1,166人	
扶助対象食数 小学校児童 350,718食	
中学校生徒 204,389食	
10- 6- 7目 給食センター費	
	(前年度)
当初予算額	4,465,455,000円 (4,687,386,000円)
予算現額	4,617,987,447円 (4,705,539,000円)
決算額	4,502,563,235円 (4,638,781,843円)
翌年度繰越額	105,676,000円 (0円)
不用額	9,748,212円 (66,757,157円)
●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	105,676,000円
中部給食センター空調改修事業	77,950,000円
中部給食センタートイレ改修事業	27,726,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 給食業務管理運営費【保健給食課】	224,521,238円
(1) 管理費	20,149,014円
給食システムを活用し、献立作成、給食物資の発注、食数管理及び物資管理を行いました。	

(2)	配送業務委託費	186,510,633円
	配送実績(198日間)	
	小学校22校 中学校10校 こども園など56園	
(3)	給食用食器整備費	17,861,591円
2	給食材料費【保健給食課】	859,538,494円
	魅力ある給食を提供するため、地域で生産される食材を活用し、児童生徒の嗜好面、栄養面などを考慮しながら、安全で良質かつ安価な給食材料の購入に努めました。	
3	学校給食協会委託費【保健給食課】	1,429,654,561円
	(公財)豊田市学校給食協会に委託し、給食調理業務及び給食用物資の調達を行いました。	
	各給食センター年間調理実績	
	中部給食センター	1,251,446食
	南部給食センター	1,686,660食
	平和給食センター	1,499,544食
	豊田特別支援学校	35,655食
4	施設管理運営費【保健給食課】	46,843,544円
	給食センターの効率的な管理運営を図るため、施設設備等の維持管理を要する各種業務を委託しました。	
5	地域給食施設管理運営費【保健給食課】	56,734,596円
(1)	足助地域給食施設管理運営費	40,841,234円
	年間調理実績	152,697食
(2)	旭地域給食施設管理運営費	10,987,645円
	年間調理実績	39,604食
(3)	稲武地域給食施設管理運営費	4,905,717円
	年間調理実績	31,740食
6	施設整備費【保健給食課】	188,498,087円
	中部給食センターの空調改修工事(第2期)を行いました。	
7	東部給食センター費【保健給食課】	677,225,248円
(1)	管理運営費	484,550,626円
	年間調理実績	2,190,176食
(2)	建設費	192,674,622円
	東部給食センター改築整備運営事業(PFI事業)契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。	
8	北部給食センター費【保健給食課】	509,907,767円
(1)	管理運営費	460,381,075円
	年間調理実績	1,547,657食
(2)	建設費	49,526,692円

北部給食センター改築整備運営事業（PFI事業）契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。

9 学校給食協会運営費補助金（10/10）【保健給食課】

509,639,700円

◆特記事項

・中部給食センター空調改修事業において、工事の平準化を図るため、9月議会で130,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【保健給食課】

・中部給食センタートイレ改修事業において、入札不調により年度内に適切な工期確保ができなくなったため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保健給食課】

10- 7- 1目 社会教育総務費

（前年度）

当初予算額	237,015,000円	（	247,440,000円）
予算現額	432,264,000円	（	547,552,000円）
決算額	410,764,542円	（	506,940,043円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	21,499,458円	（	40,611,957円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（生涯学習審議会委員9人、一般職5人、非常勤一般職56人）

【市民活躍支援課・人事課】 131,651,093円

- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2,065,002円

- 3 市民活躍支援総務事務費【市民活躍支援課】 668,284円

- 4 生涯学習推進費【スポーツ振興課】 2,500,000円

市民の多様な学習活動を奨励するため、体育・文化等に関する国際大会や全国大会の出場者に対し奨励金を交付しました。

個人 223人、団体 15団体

- 5 家庭教育費【こども・若者政策課】 342,580円

家庭教育の学習機会や情報取得機会を提供するため、家庭教育手帳「親ノート」の配布や家庭教育講座、親育ち交流カフェの開催を支援しました。

家庭教育講座 11か所 1,311人

親育ち交流カフェ 5か所 177人

- 6 子どもの生き抜く力を育む事業費【こども・若者政策課】

730,560円

様々な困難に立ち向かい乗り越えていく力を育むために、発想力、

決める力及びコミュニケーション力を鍛えるワークショップを開催しました。

ワークショップ(15回) 1,382人

7 PTA活動費【こども・若者政策課】 2,072,000円

PTA活動の推進と充実を図るため、豊田市PTA連絡協議会に補助対象経費の1/2を上限として、補助金を交付しました。

8 ものづくり科学創造推進費【市民活躍支援課】

46,952,513円

(1) 企画運営費 37,386,755円

指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団

とよた科学体験館入場者数 181,148人

内訳 プラネタリウム入場者数 43,871人

サイエンスホール入場者数 137,277人

(2) 施設整備費 556,237円

とよた科学体験館の施設備品を更新しました。

(3) 科学技術教育推進費 1,009,521円

児童・生徒を対象とした科学講座、中学生による科学ものづくりイベントなど、7種の事業を開催しました。

(4) 少年少女発明クラブ補助金(1/2) 8,000,000円

9 ものづくり文化のまち推進費【市民活躍支援課】

15,522,730円

(1) ものづくり教育推進費 3,615,888円

ものづくり教育プログラムを小学校等57校で実施しました。

ものづくりサポーター登録者数 111人

(2) ものづくりサポートセンター管理運営費 2,390,632円

(3) とよたものづくりフェスタ開催負担金 9,516,210円

とよたものづくりフェスタ2022を11月27日にスカイホール豊田で開催しました。

来場者数 4,000人 体験者数 2,748人

また、11月12日から12月4日までWEB版として11コンテンツを開催しました。

閲覧者数 19,000人

10 ものづくりプロジェクト推進費【市民活躍支援課】

8,235,434円

(1) クルマづくり究めるプロジェクト負担金 8,121,934円

集大成企画、きんとうんの2コースに小学5年生以上62人、指導員(ボランティア)235人が参加しました。

(2) 匠プロジェクト運営費 113,500円

10款 教育費

高度で専門的な技術や匠の技を学び体験する講座として、ミニ
たたみ作り講座など3事業を開催し、45人が参加しました。

1 1 青少年ものづくり基金積立金【市民活躍支援課】 24,346円

1 2 博学未来創造基金積立金【博物館準備課】

200,000,000円

10-7-2目 文化財保護費

(前年度)

当初予算額 3,949,986,000円 (2,543,513,000円)

予算現額 6,186,150,023円 (3,178,746,920円)

決算額 2,614,325,173円 (1,344,815,237円)

翌年度繰越額 3,546,181,500円 (1,813,299,060円)

不用額 25,643,350円 (20,632,623円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆

旧鈴木家住宅保存整備事業(その4)

(仮)豊田市博物館建設事業

(仮)豊田市博物館場内道路整備事業

3,546,181,500円

68,163,500円

3,357,522,000円

120,496,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(文化財保護審議会委員14人、市史編さん専門委員会委員1
人、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員9人、景観アド
バイザー2人)【文化財課】 1,149,300円

2 文化財等保護保存費【文化財課】 74,460,386円

(1) 指定文化財、史跡等の適切な保存管理に謝礼を支出しました。

史跡、天然記念物 22件

(2) 史跡等の草刈りや台風被害復旧を行い、文化財保護と利用環境
を整えました。

旧龍性院庭園支障木伐採及び石積保護、百々貯木場土砂撤去及
び支障木伐採等

(3) 有形文化財、有形・無形民俗文化財、伝統的郷土芸能の保存、
伝承及び後継者育成に補助金を交付しました。

有形文化財 2件(足助八幡宮消防設備維持管理等)

有形民俗文化財 14団体(拳母神社の山車等)

無形民俗文化財 26団体(棒の手、はやし等)

伝統的郷土芸能 16団体(はやし、歌舞伎等)

(4) 指定文化財の修理等補助金

猿投神社不動明王立像(猿投神社)

拳母神社の山車(南町)螺鈿柱(旧南町拳母祭保存会)

- 拳母神社の山車（喜多町）下幕（喜多町祭保存会）
 拳母神社の山車（中町）梶棒（中町拳母祭山車保存会）
 足助西町の山車格子（足助西町山車祭り保存会）
 下山白山神社のスギ枝伐採（白山神社のスギを守る会）
 旭押井のケヤキ枝伐採（押井町内会）
 旭槇本のイチョウ枝伐採（槇本区会）
 藤岡下川口のイチョウ枝伐採（下川口自治区）
 拳母神社の山車（神明町）山車蔵（大神明山車囃子保存会）
- (5) 伝統的郷土芸能保存修理費補助金
- 提灯新調（霧山囃子保存会）
 巫女舞衣装購入（中根町神楽保存会）
- (6) 埋蔵文化財の発掘調査、出土品整理、調査報告書の刊行を行いました。
- 発掘調査 鶏石1号窯
 範囲確認調査等 水汲遺跡始め11件
 出土品整理
 埋蔵文化財工事立会 上野上村城跡始め74件
 報告書等刊行
- 「北貝戸遺跡」 (600部)
 「令和3年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書」 (500部)
- (7) 史跡名勝等の保存・整備を行いました。
- 杉本の貞観スギ大枝伐採、大給城跡駐車場整備等

3 豊田市郷土資料館費【文化財課・博物館準備課】

17,488,168円

- (1) 年間入館者数 6,102人（9月30日で閉館）
- (2) 郷土資料館だより一般向けを2回（1回2,500部）、子ども向けを2回（1回5,300部）発行しました。
- (3) 旧図書館文化財倉庫雨水排水ポンプ取替修繕を行いました。

4 地域資料館費【藤岡支所・足助支所・旭支所・稲武支所】

5,793,140円

- (1) 藤岡民俗資料館管理費 3,128,377円
- 年間入館者数 909人
- (2) 足助資料館管理費 1,055,772円
- 年間入館者数 1,142人
- (3) 旭郷土資料館管理費 1,077,404円
- 年間入館者数 72人
- (4) 稲武郷土資料館管理費 531,587円

年間入館者数 4, 559人

5 近代の産業とくらし発見館費【博物館準備課】5, 783, 506円

(1) 年間入館者数 10, 514人

(2) 企画展

「まゆまつり2022～とよたの養蚕製糸遺産～」

4/20～7/3 観覧者数 1, 898人

「ありがとう発見館—17年のあゆみ—」

2/11～3/31 観覧者数 1, 890人

ギャラリートークを4回開催しました。

(3) 講座等の開催

ものづくり体験「えと絵馬」等

まちなか自由散策「ぶらコロモ」 4回

6 博物館費【博物館準備課】 2, 189, 755, 093円

(仮称)豊田市博物館建築工事ほか2工事を行いました(令和3年度から継続)。

(仮称)豊田市博物館展示・収蔵環境等製作を行いました(令和3年度から継続)。

(仮称)豊田市博物館園路整備工事を行いました。

旧平岩家住宅及び東土蔵の移築工事を行いました。

郷土資料館等収蔵資料の整理を行いました。

市民周知イベント出展・講座参加 4件 1, 068人

市民周知イベント「第3回みんなでつくる博物館」(1月29日)を開催しました。参加者数 1, 786人

自然資料あつめるプロジェクト・記憶あつめるプロジェクトの参加者を募集し、活動を行いました。

活動回数 33回 活動参加者数延べ 334人

7 豊田市郷土資料館展覧会開催費【博物館準備課】 157, 689円

(1) 企画展

「昭和47年7月豪雨から50年 土石の川も美田へと」

7/9～9/30 観覧者数 4, 217人

8 郷土史充実費【文化財課・博物館準備課】 6, 363, 638円

郷土の歴史研究に資する資料や古文書等の歴史資料の散逸防止を図り、収集・活用の促進を図りました。

(1) 郷土資料の充実を図るため公訴荷之口一條記写本4冊揃等を購入しました。

(2) 郷土ゆかりの人物等の事績を顕彰・紹介・研究するため、顕彰会に補助金を支出しました。

鈴木正三顕彰会始め3団体

(3) 市民から寄贈された民具資料の整理、調査を行いました。

地域資料館等民具整理・調査

9 新修豊田市史編さん費【文化財課】 75,494,427円

(1) 新修豊田市史を編さんするため、豊田市史資料調査会に委託して、本の執筆・編集、資料の調査等を行いました。

総集編部会 94回(総集編内容検討・確認)

資料整理・調査等48回

古文書デジタルスキャニング 5,000コマ

古文書調査・目録作成 12,470点

(2) 市史研究600部、市史だよりを2回(1回1,800部)発行しました。

(3) 「地図でみる近代の豊田」を刊行しました。 600部

(4) 市史講座を3回開催しました。 参加者数 193人

10 歴史的町並み保存費【文化財課】 199,989,802円

(1) 重伝建地区内の建物の修理等に補助金を交付しました。

修理修景1件

(2) 「重伝建地区選定10周年事業報告書」を刊行しました。 1,500部

(3) 「紙屋鈴木家資料普及用冊子」を刊行しました。3,000部

(4) 旧鈴木家住宅保存修理工事第5・6期工事、防災対策工事、活用整備工事を行いました。

(5) 旧鈴木家住宅の市民周知のため、修理現場見学を開催しました。

修理現場見学16回 参加者数 29人

11 歴史学習推進費【博物館準備課】 948,399円

(1) 子どもたちを中心に、市民が体験を通じて郷土の歴史に親しむことができるように、郷土資料館等においてイベントを開催しました。

春休みこども週間 来館者数 264人

「君も武将になれる!よろいを着てみよう!」(鎧、姫の衣装試着体験) 参加者数 79人

まが玉づくり、化石講座 参加者数 101人

夏休みこども月間 来館者数 2,704人

冬休みこどもデー(2日間) 参加者数 135人

春休みこどもデー(2日間) 参加者数 148人

(2) 郷土資料や市内の文化財を学校教育で活用して、郷土学習スクールサポート事業を実施しました。

資料館、遺跡見学サポート 92校 4,250人

出前授業、資料貸出サポート 287校 26,819人

(3) とよた歴史マイスター推進費

歴史マイスターに認定した市民とともに、郷土の歴史を伝える活動を行いました。

認定者70人 活動参加者数延べ43人

12 文化財施設費【文化財課・博物館準備課】26,980,276円

(1) 文化財施設の適切な管理運営に努めました。

歌舞伎伝承館 年間入館者数 12,283人

喜楽亭 年間入館者数 6,853人

松平郷館 年間入館者数 12,494人

旧松本家長屋門 年間入館者数 1,464人

(2) 文化財施設の修理を行いました。

足助城西の丸物見櫓屋根葺替等

13 地域文化財管理費【藤岡支所・小原支所・足助支所】

9,961,349円

(1) 藤岡地域文化財管理費 281,633円

県指定文化財である旧山内家住宅の適切な管理を行いました。

(2) 小原地域文化財管理費 1,062,230円

市指定文化財である市場城跡等の適切な管理を行いました。

(3) 足助地域文化財管理費 730,265円

ア 足助中馬館の適切な管理を行いました。

年間入館者数 9,579人

イ 足助資料館大河原分館の適切な管理を行いました。

(4) 城跡公園足助城管理費 7,887,221円

指定管理者 (株)三州足助公社

年間入場者数 12,037人

10-7-3目 民芸館費

(前年度)

当初予算額 54,019,000円 (39,559,000円)

予算現額 62,012,037円 (40,296,240円)

決算額 59,896,732円 (38,877,102円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 2,115,305円 (1,419,138円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 施設管理運営費【博物館準備課】 25,286,655円

(1) 民芸館年間入場者数 46,338人

(2) 民芸の森年間入場者数 21,708人

- (3) 民芸館及び民芸の森の管理運営を行いました。
- (4) 「民芸館だより」を2回(1回2,500部)発行しました。
- 2 民芸の森普及推進費【博物館準備課】 1,701,343円
 市民との共働による豊田らしい身近な民芸を展開する場として、イベントや体験ワークショップなどを実施しました。
- (1) イベント
 「初夏、森の手ざわり」(5月)及び「観月会」(10月)を実施しました。
- (2) 体験ワークショップ「貼り絵でミニ鯉のぼりを作ろう」
 始め9回 611人
- (3) 民芸の森企画運営会議 3回 など
- 3 展覧会開催費【博物館準備課】 11,298,256円
- (1) 企画展
 「新収蔵品展」
 2/8～5/29(令和4年) 観覧者数 2,002人
 「雑誌『工藝』の美」
 6/7～8/28 観覧者数 5,253人
- (2) 特別展
 「藍染の絞り 片野元彦・かほりの仕事」
 9/13～12/4 観覧者数 2,818人
 「全国の郷土人形一祈り・願い・美しさのかたち」
 1/21～5/7(令和5年) 観覧者数 2,125人
- 4 民芸館講座開催費【博物館準備課】 4,600,842円
 ものづくりの各種講座を開催し、民芸の普及啓発を図りました。
- | | | | | |
|-----------|------|-----|----|--------|
| 陶芸教室 | 42回 | 参加者 | 延べ | 637人 |
| 染織教室 | 129回 | 参加者 | 延べ | 1,218人 |
| ガラス工芸教室 | 36回 | 参加者 | 延べ | 356人 |
| 民芸体験・体験講座 | 69回 | 参加者 | 延べ | 816人 |
| 合計 | 276回 | 参加者 | 延べ | 3,027人 |
- 5 施設保全費【建築予防保全課】 1,128,600円
 第3民芸館浄化槽ブロワー修繕を行いました。
- 6 施設整備費【博物館準備課】 15,597,582円
- (1) 民芸館整備費 785,950円
 民芸館サインデザインの業務委託を行いました。
- (2) 民芸の森整備費 14,811,632円
 民芸の森敷地の土地境界確定測量及び土地分筆登記・地目変更登記並びに加藤唐九郎窯・陶房跡地の整備を実施しました。
- 7 資料購入費【博物館準備課】 283,454円

10款 教育費

衣食住及び伝統的な手仕事に関する展示資料として、日本民藝館
展優秀作品4点を購入しました。

10- 7- 4目 図書館費

(前年度)

当初予算額	914,326,000円	(938,911,000円)
予算現額	948,194,000円	(938,478,000円)
決算額	912,865,446円	(934,437,231円)
翌年度繰越額	32,900,000円	(0円)
不用額	2,428,554円	(4,040,769円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	32,900,000円
豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業(中央図書館・共用部)	32,900,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(図書館協議会委員6人)【図書館管理課】128,000円
- 2 図書館管理事務費【図書館管理課】690,504円
- 3 中央図書館費【図書館管理課】624,703,540円
 - (1) 管理運営費
指定管理者制度による図書館運営や各種修繕を行いました。
指定管理者 TRC・ホームックス共同企業体
施設利用者数 837,115人
- 4 こども図書室費【図書館管理課】188,870円
 - (1) 管理運営費
- 5 図書館システム費【図書館管理課】82,296,683円
 - (1) 管理運営費
- 6 豊田参合館運営費負担金【図書館管理課】204,857,849円
 - (1) 管理運営費 144,528,292円
 - (2) 施設整備費 60,329,557円
豊田参合館の適正な維持管理のため、共用部の維持管理及び施設整備の費用を負担しました。

◆特記事項

豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業において、民間事業計画と合わせて実施する必要があるため、6月議会で32,900千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【図書館管理課】

10款 教育費

10- 8- 1目 文化体育総務費	
	(前年度)
当初予算額	2,325,462,000円 (2,408,961,000円)
予算現額	2,371,277,300円 (2,338,835,000円)
決算額	2,288,517,446円 (2,271,331,947円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	82,759,854円 (67,503,053円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(一般職80人、非常勤一般職130人)【人事課】	1,005,628,425円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	9,953,575円
3 こどもの文化・スポーツ地域活動推進費【スポーツ振興課】	3,283,280円
	中学校部活動の地域移行に向け、「こどもたちのスポーツ・文化活動を考えるシンポジウム」を開催しました。
4 文化振興財団運営費補助金(10/10)【文化振興課】	1,269,652,166円
	派遣職員13人、正規職員68人、再任用職員5人、特定業務職員208人、限定職員5人、臨時職員241人
10- 8- 2目 文化活動費	
	(前年度)
当初予算額	190,711,000円 (225,635,000円)
予算現額	189,457,230円 (222,754,000円)
決算額	159,775,847円 (195,008,866円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	29,681,383円 (27,745,134円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 文化活動事務費【文化振興課】	2,504,123円
2 文化芸術振興計画推進費【文化振興課】	60,160円
	文化芸術振興委員会 1回開催
3 文化事業開催費【文化振興課】	23,095,465円
(1) 市民美術展	7,455,187円
ア 公募展	
入場者数	4,079人
応募点数	420点(うち入選点数 308点)

イ 記念展

入場者数 1, 154人

(2) 文化事業負担金 15, 640, 278円

市民が様々な文化に触れる機会を提供するため、(公財)豊田市文化振興財団と共催して文化事業を開催しました。

ア 市民ギャラリー展(5・6月/参加者数 812人)

イ とよた将棋フェスタ(6月/参加者数 199人)

ウ 吹奏楽フェスティバル(11月/参加者数 1, 200人)

エ 秋季市民茶会(11月/参加者数 323人)

オ おいでんアート体験フェア(2月/参加者数 2, 210人)

カ とよた囲碁まつり(2月/参加者数 62人)

キ とよた市民アートプロジェクト

(文化イベント等実施数 2事業 参加者数 4, 483人)

ク とよたデカスプロジェクト

(応募 26件 採択 13件 参加者数 10, 690人)

4 青少年音楽活動費【文化振興課】 51, 903, 081円

豊田市少年少女合唱団

団員数 89人

主な活動 定期演奏会1回 イベント参加6回 大会出場3回

豊田市ジュニアマーチングバンド

団員数 84人

主な活動 定期演奏会1回 イベント参加6回 大会出場3回

豊田市ジュニアオーケストラ

団員数 45人

主な活動 定期演奏会2回 イベント参加4回

令和3年度に延期となった市制70周年記念事業「豊田市青少年音楽3団体ジョイントコンサート」を開催しました。

5 コンサートホール・能楽堂運営費【文化振興課】

75, 653, 292円

(公財)豊田市文化振興財団と共催し、コンサートホール・能楽堂等において、一流の奏者・演者による公演から幅広く親しみやすいプログラムまで、多様な芸術文化に触れる機会を提供しました。

ア 企画運営委員会 3回開催

イ クラシック音楽鑑賞会事業 12事業

名古屋フィルハーモニー交響楽団公演等

(入場者数 6, 614人)

※新型コロナウイルス感染症の影響により1事業中止

ウ クラシック音楽市民参加事業 2事業

- 豊田市民クラシックコンサート等（入場者数1, 834人）
- エ クラシック音楽普及啓発事業 8事業
 かーるくクラシック等（入場者数 6, 082人）
- オ 能楽鑑賞会事業 9事業
 さつき能等（入場者数 1, 894人）
- カ 能楽市民参加事業 2事業
 豊田市民演能会等（入場者数 367人）
- キ 能楽普及啓発事業 4事業
 能・狂言が見たくなる講座等（入場者数 916人）
- ク 地域活性化事業 2事業
 出前コンサート等（入場者数 2, 454人）
- 6 郷土作家美術品収集費【文化振興課】 462, 410円
 (1) 郷土作家美術品管理費
 市所蔵作品の修繕等、美術品の適正な維持管理に努めました。
- 7 文化芸術人材育成活用推進費【文化振興課】 5, 828, 428円
 (1) 文化活動者派遣事業費 373, 193円
 文化芸術活動者を小中学校に派遣し、子どもたちが文化への興味や関心を高める機会を提供しました。
 派遣回数 22回
 参加者数 1, 422人
- (2) 舞台芸術人材育成活用・創造事業費 5, 455, 235円
 舞台芸術（演劇）等への市民の関心を高めるとともに、支える人材の育成を図る事業を実施しました。
- ア とよたこども創造劇場（参加者数 395人）
 イ とよた演劇ファクトリー（参加者数 336人）
 ウ 劇団四季こころの劇場 ※動画配信にて開催
 （実施校 40校 参加者数 2, 107人）
- 8 文化ツーリズム推進費【文化振興課】 268, 888円
 民間事業者と共働し、農村舞台等を活用したモニターツアーの企画・募集を行いました。

10- 8- 3目 青少年活動費

(前年度)

当初予算額	203,403,000円	(249,776,000円)
予算現額	205,131,000円	(222,013,000円)
決算額	182,909,733円	(205,305,454円)
翌年度繰越額	12,046,000円	(0円)
不用額	10,175,267円	(16,707,546円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	12,046,000円
青少年センター改修事業	12,046,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 青少年活動事務費【こども・若者政策課】 749,058円
- 2 青少年センター費【こども・若者政策課】 8,863,600円
 青少年センターについて適正な維持管理に努めました。
 指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団
 施設利用者数 86,234人
 登録団体 25団体
- 3 総合野外センター費【こども・若者政策課・建築予防保全課】 109,688,720円
 - (1) 管理費 74,926,762円
 総合野外センターについて適正な維持管理に努めました。
 指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団
 施設利用者数 43,205人
 - (2) 施設保全費 27,610,000円
 多目的ホール屋根修繕等を行いました。
 - (3) 施設整備費 7,151,958円
 常設用テントの更新等の施設整備を行いました。
- 4 子ども・若者支援対策費【こども・若者政策課】 16,885,616円
 若者の社会的自立を支援する若者サポートステーションや若者が抱える課題に連携して支援を行うための若者支援地域協議会を運営しました。
 若者サポートステーション登録者数 192人
 若者支援地域協議会 2回開催
- 5 青少年健全育成費【こども・若者政策課】 32,863,739円
 - (1) 二十歳のつどい開催費 23,385,107円
 各地区コミュニティ会議で二十歳のつどいを開催しました。

出席者数 3, 555人(出席率68.5%)

(2) 青少年健全育成推進協議会負担金 4, 876, 103円
豊田市青少年健全育成推進協議会の活動に対し、負担金を支出しました。

(3) 青少年育成事業負担金 4, 602, 529円
(公財)豊田市文化振興財団に対し、青少年の社会参加、指導者育成等の事業を行うための負担金を支出しました。

39事業 延べ7, 460人

6 地域子ども会活動費補助金(8/10・1/2)

【こども・若者政策課】 9, 548, 000円
子ども会及びジュニアクラブの活動に対し、補助金を交付しました。

単位子ども会 330団体

ジュニアクラブ 73団体

7 更生保護対策費【こども・若者政策課】 1, 748, 000円

(1) 更生保護対策費補助金(1/2) 1, 496, 000円
豊田市保護司会の活動に対し、補助金を交付しました。

(2) 更生保護女性会費補助金(1/2) 179, 000円
豊田市更生保護女性会の活動に対し、補助金を交付しました。

(3) 更生保護における雇用及び就労支援対策費補助金(1/2) 73, 000円

豊田保護区協力雇用主会の活動に対し補助金を交付しました。

8 青少年健全育成関連団体活動支援補助金(1/2)

【こども・若者政策課】 2, 513, 000円
豊田市子ども会育成連絡協議会を始め8団体の青少年健全育成関連団体の活動に対し、補助金を交付しました。

9 青少年健全育成基金積立金【こども・若者政策課】 50, 000円

青少年健全育成事業に対する1団体からの寄附金を積み立てました。

◆特記事項

青少年センター改修事業において、国の補正予算(第2号)により、3月議会で12, 046千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【こども・若者政策課】

10- 8- 4目 青少年教育費

(前年度)

当初予算額	71,794,000円	(92,202,000円)
予算現額	74,023,000円	(81,023,000円)
決算額	67,586,061円	(76,560,964円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	6,436,939円	(4,462,036円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(いじめ防止対策委員会委員5人)【学校教育課】
240,700円
- 2 青少年非行化防止費【学校教育課】 2,000,000円
豊田少年補導委員会、足助少年補導委員会の活動に対して負担金を支出しました。
- 3 青少年相談センター費【学校教育課】 63,207,926円
 - (1) 管理運営費 17,909,231円
 - (2) 施設整備費 3,919,080円
Wi-Fi設備と第2駐車場を整備しました。
 - (3) 相談活動費 41,274,847円
 - ア 相談指導事業
青少年や保護者の悩みに応じるため、関係機関と連携し、相談活動等を実施しました。
面接相談延べ回数 4,924回
サポートチーム会議(ケース会議)教職員 121回
関係機関 63回
スクールソーシャルワーカーによる延べ支援児童生徒数 2,808人
 - イ ユースワーカー事業
大学生を主としたユースワーカーが問題を抱えた青少年と心理学に基づいた自由遊び、面接を行い、青少年の問題行動の改善を図りました。
ユースワーカー 3人
活動の対象となる青少年 4人
活動延べ回数 67回
 - ウ 電話相談「はあとラインとよた」事業
青少年や保護者等に対する電話相談を実施しました。
電話相談延べ回数 101回
- (4) 公開セミナー費 104,768円

発達障がいや、いじめ・不登校等の諸問題に関するセミナーを開催しました。	
実施回数	7回
参加人数	462人
4 いじめ不登校問題対策費【学校教育課】	2, 137, 435円
(1) いじめ・不登校対策事業	
いじめ・不登校の未然防止のために、相談連絡先カードの更新と児童生徒への配布、広報誌の発行等を実施しました。	
(2) パルクはあとラウンジ(教育支援センター)事業	
登校できない児童生徒の社会的自立のために、集団生活や体験活動を通して「対人関係の改善」「自立性・自発性の育成」「基礎学力の補充」を目的にパークはあとラウンジの運営を行いました。	
教育支援専門員	11人
ふれあい指導員	9人
パークはあとラウンジ登録児童生徒	193人

10- 8- 5日 男女共同参画費

		(前年度)
当初予算額	12,503,000円	(10,933,000円)
予算現額	10,844,000円	(10,386,370円)
決算額	9,643,155円	(9,288,636円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,200,845円	(1,097,734円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 男女共同参画センター費【市民活躍支援課】	3, 544, 921円
(1) 管理運営費	2, 495, 071円
利用者数	27, 876人
(2) 相談費	1, 049, 850円
電話相談件数	クローバーコール(女性) 1, 171件
	メンズコールとよた(男性) 62件
2 男女共同参画推進費【市民活躍支援課】	5, 398, 234円
(1) 推進会議費	272, 290円
男女共同参画推進懇話会	委員10人 3回開催
(2) 講座開講費	474, 261円
14講座	参加者数 494人
(3) 啓発費	981, 946円

男女共同参画社会実現に向け、情報誌の発行など啓発を行いました。

情報誌クローバー発行

事業所向け情報誌 4, 100部(2回分)

自治区向け情報誌 25, 400部(2回分)

(4) 子ども・若者啓発費 475, 560円

若者の固定的性別役割意識の解消を目的に、小学生を対象として、性別イメージにとらわれない職業選択を促進する「おシゴト体験ラボ」を企画しました。

3月12日 参加者数 80人

(5) 女性団体育成推進費 243, 000円

女性の自主性や社会性を高めるため、連絡会議等を開催しました。

各種女性団体懇談会 10団体 1回開催

男女共同参画センター登録団体情報交換会

40団体 2回開催

(6) 女性のライフプラン・キャリア形成支援費 2, 242, 400円

女性のためのスキル&マインドアップセミナーの開催

30講座 参加者数 294人

(7) 働き方改革推進費 108, 927円

ワーク・ライフ・バランスキャンペーンとして、事業所への定時退社協力依頼を実施しました。

キャンペーン実施期間 11月9日～16日

(8) 性的少数者理解促進費 599, 850円

性的少数者に対する理解を深めるため「LGBTQ講演会・交流会」等を開催しました。

2月25日 参加者数 60人

3 女性労働能力活用費補助金(1/2)【市民活躍支援課】 700, 000円

豊田市ファミリー・サービス・クラブの運営に対し、補助金を交付しました。

10- 8- 6目 社会体育費

(前年度)

当初予算額	521,717,000円	(381,369,000円)
予算現額	600,071,829円	(255,133,000円)
決算額	481,383,557円	(200,610,414円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	118,688,272円	(54,522,586円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(スポーツ推進審議会委員10人、スポーツ推進委員157人)
 - 【スポーツ振興課】 6,428,900円
- 2 社会体育事務費【スポーツ振興課】 3,049,319円

スポーツに関する意識や活動を把握するため市民スポーツ調査を実施しました。
- 3 スポーツ推進委員活動費【スポーツ振興課】 1,335,261円
- 4 スポーツ振興費【スポーツ振興課】 9,962,988円
 - (1) 生涯スポーツ推進費 8,004,988円
 - 第41回豊田マラソン 参加者 5,356人
 - (2) スポーツボランティア推進費 1,958,000円
 - ボランティア事務局の運営 登録者 1,374人
- 5 学校開放費【スポーツ振興課】 42,814,288円

	<学校数>	<開放校>	<利用回数>	<利用人数>
小学校	75	74	22,417	535,277人
中学校	28	28	15,960	288,226人
計	103	102	38,377	823,503人
- 6 地域学校開放費 1,260,094円
 - 【藤岡支所・足助支所・下山支所・旭支所・稲武支所】
 - (1) 藤岡地域学校開放費 79,750円
 - (2) 足助地域学校開放費 564,960円
 - (3) 下山地域学校開放費 351,384円
 - (4) 旭地域学校開放費 121,000円
 - (5) 稲武地域学校開放費 143,000円
- 7 競技会誘致費【スポーツ振興課】 3,280,800円

	<大会・試合>	<観客数>
女子ソフトボールリーグ(JDリーグ)		4,764人
フットサル日本代表戦		2,907人
男子バスケットボール(Bリーグ)		20,826人
卓球(Tリーグ)		496人

	日本バレーボールリーグ（Vリーグ）	2,059人
	ソフトテニス日本リーグ	2,500人
	U25車いすバスケットボール大会	1,823人
	日本ボッチャ選手権大会	1,300人
	日本ハンドボールリーグ	1,215人
	女子バスケットボールリーグ（Wリーグ）	3,155人
	ジャパンラグビーリーグワン	12,213人
8	ホームチーム応援費【スポーツ振興課】	14,686,041円
		<回数> <参加者>
	ラグビー教室	5回 172人
	都市対抗野球大会市民応援バス	2台 62人
9	夢の教室開催費【スポーツ振興課】	3,792,251円
	子どもたちに、夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さを学ぶ機会を提供するため、小学5年生を対象に夢を実現したアスリート等を夢先生として派遣する「夢の教室」をオンライン授業で開催しました。実施校 59校113クラス	
10	スポーツ教室開催費【スポーツ振興課】	1,281,742円
	企業や大学と連携したスポーツ教室を開催しました。	
11	地域スポーツクラブ育成支援費【スポーツ振興課】	12,531,310円
	(1) 育成支援事務費	1,213,160円
	(2) 連携事業負担金	2,313,490円
	(3) 活動費補助金（9/10・4/5・2/3・1/2）	
	補助金交付クラブ数 7クラブ	6,420,000円
	(4) 集いの場創出事業費	1,836,000円
	(5) クラブハウス管理運営費	748,660円
12	Jリーグホームタウン推進費【スポーツ振興課】	5,182,285円
	名古屋グランパス2023シーズン開幕応援事業や名古屋グランパス指導者派遣事業を実施しました。	
13	子どもの体力向上推進費【スポーツ振興課】	67,640円
	保育士等にコーディネーショントレーニング研修を実施しました。	
14	スポーツツーリズム推進費【スポーツ振興課】	14,447,609円
	全国のJリーグチームのアカデミー世代による交流大会「WE LOVE サッカー・豊田ゲームス2023」を実施しました。サッカーの国際試合を誘致するとともに、開催に合わせてまちなかのシティドレッシング、スタジアム内のマスキング及び芝の緊急補	

修を行いました。また、試合日に合わせて経済波及効果計測調査を実施しました。

15 トップアスリート・スポーツチーム応援費【スポーツ振興課】 7,084,967円

わがまちアスリートの応援やPR活動として、等身大パネルを作成するとともに、ラグビー国際試合に係るシティドレッシング及びトップスポーツチームとの連携により中心市街地の装飾を行いました。

16 スポーツ協会負担金【スポーツ振興課】 7,553,058円
 市民総合体育大会 28種目 参加者数 34,684人
 スポーツ少年団 17種目 団員数 5,832人

17 世界ラリー選手権開催推進費 ※新規 346,625,004円
 【ラリーまちづくり推進課】

ラリージャパン2022の開催機運を高めるため、豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会による盛り上げや各種事業の実施のほか、ラリーに関するイベントを開催しました。

また、ラリージャパン2023開催に向け、実行委員会に対して、負担金及び出資金を支払いました。

- ・ 参合館壁面ラッピング、雑誌掲載、イベント出展等の各種PR
- ・ 豊田しもやまラリーの開催 6月19日
- ・ ラリージャパン2022の開催 11月10～13日
- ・ TGRラリーチャレンジ in 豊田の開催 11月20日
- ・ ラリー教室、交通安全教室の開催 各1回
- ・ サステイナブルフォーラムの開催 11月10日

10- 8- 7日 文化施設費

(前年度)

当初予算額	804,615,000円	(2,222,671,000円)
予算現額	854,849,760円	(2,247,982,630円)
決算額	814,717,953円	(2,241,437,320円)
翌年度繰越額	39,487,000円	(0円)
不用額	644,807円	(6,545,310円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	39,487,000円
豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業(コンサートホール・能楽堂・共用部)	39,487,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 市民文化会館費【文化振興課・建築予防保全課】

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| | 283,569,491円 |
| (1) 管理運営費 | 197,323,391円 |
| 指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団 | |
| 施設利用者数 | 210,299人 |
| (2) 施設保全費 | 6,039,000円 |
| 外灯修繕を行いました。 | |
| (3) 施設整備費 | 80,207,100円 |
| 多目的ホール及び展示室C・D新設のための改修工事等を行いました。 | |
| 2 コンサートホール・能楽堂費【文化振興課・建築予防保全課】 | |
| | 290,726,372円 |
| (1) 管理運営費 | 224,833,019円 |
| 指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団 | |
| 施設利用者数 | 52,415人 |
| (2) 施設保全費 | 9,306,000円 |
| 空調設備修繕等を行いました。 | |
| (3) 施設整備費 | 56,587,353円 |
| 豊田参合館の共用部に係る修繕費負担金を支出しました。 | |
| 3 地域文化広場費【市民活躍支援課】 | 125,128,373円 |
| (1) 管理運営費 | 124,278,403円 |
| 指定管理者 ホーメックスグループ共同企業体 | |
| 施設利用者数 | 236,928人 |
| (2) 施設整備費 | 849,970円 |
| 卓球台等の備品を購入しました。 | |
| 4 視聴覚ライブラリー費【文化振興課】 | 13,623,600円 |
| 指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団 | |
| 施設利用者数 | 46,215人 |
| 5 猿投棒の手ふれあい広場費【文化財課】 | 50,065,066円 |
| 指定管理者 ホーメックス(株) | |
| 施設利用者数 | 78,781人 |
| 6 平戸橋いこいの広場費【博物館準備課・建築予防保全課】 | |
| | 26,910,861円 |
| 指定管理者 (株) 技研サービス | |
| 施設利用者数 | 81,294人 |
| 受変電設備修繕等を行いました。 | |
| 7 文化ゾーン費【文化振興課】 | 24,694,190円 |
| 文化ゾーン内の博物館進入路整備工事等を行いました。 | |

◆特記事項

10款 教育費

豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業において、民間事業計画と合わせて実施する必要があるため、6月議会で39,487千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【文化振興課】

10- 8- 8目 体育施設費

(前年度)

当初予算額	3,065,915,000円	(3,593,477,000円)
予算現額	4,444,787,306円	(6,289,350,000円)
決算額	3,460,523,919円	(4,981,910,859円)
翌年度繰越額	948,893,306円	(1,240,623,596円)
不用額	35,370,081円	(66,815,545円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	912,493,306円
豊田スタジアム長寿命化改修事業	704,393,306円
豊田スタジアム長寿命化改修事業(その2)	208,100,000円
☆繰越明許費☆	36,400,000円
スカイホール豊田施設保全事業	15,000,000円
豊田スタジアム施設保全事業	21,400,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	体育施設事務費【スポーツ振興課】	24,720,752円
2	豊田市運動公園費【スポーツ振興課・建築予防保全課】	135,042,866円
(1)	管理運営費	128,101,646円
	指定管理者 (公財)豊田市スポーツ協会	
	施設利用者数 281,338人	
(2)	施設保全費	825,000円
	野球場ベンチマット修繕を行いました。	
(3)	施設整備費	6,116,220円
	野球場スコアボード修繕等を行いました。	
3	五ヶ丘運動広場費【スポーツ振興課】	24,402,555円
(1)	管理運営費	
	指定管理者 (公財)豊田市スポーツ協会	
	施設利用者数 35,138人	
4	運動広場費【スポーツ振興課】	21,972,778円
(1)	管理運営費	19,622,943円
	石野運動広場ほか4施設	
	指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団	
	施設利用者数 75,592人	

10款 教育費

- (2) 施設整備費 2,349,835円
保見運動広場テニスコート法面の樹木伐採等を行いました。
- 5 保見マレットゴルフ場費【スポーツ振興課】 1,557,625円
(1) 管理運営費
施設利用者数 19,981人
- 6 勘八漕艇庫費【スポーツ振興課】 2,079,943円
(1) 管理運営費
- 7 東山体育センター費【スポーツ振興課・建築予防保全課】
38,696,689円
(1) 管理運営費 31,933,889円
指定管理者 (特非)美里スポーツクラブ
施設利用者数 110,547人
(2) 施設保全費 3,135,000円
談話室1の空調機修繕等を行いました。
(3) 施設整備費 3,627,800円
東山運動広場外周フェンスの修繕等を行いました。
- 8 毘森公園費【スポーツ振興課】 26,880,820円
(1) 管理運営費 23,046,000円
指定管理者 (公財)豊田市スポーツ協会
施設利用者数 39,709人
(2) 施設整備費 3,834,820円
野球場防球ネットの修繕を行いました。
- 9 高岡公園費【スポーツ振興課】 45,255,015円
(1) 管理運営費 44,991,015円
指定管理者 ホームメックス(株)
施設利用者数 171,938人
(2) 施設整備費 264,000円
移動式ガラスミラー等を購入しました。
- 10 柳川瀬公園費【スポーツ振興課・建築予防保全課】
87,404,778円
(1) 管理運営費 60,037,218円
指定管理者 (特非)かみごうスポーツクラブ
施設利用者数 224,308人
(2) 施設保全費 1,320,000円
体育館空調機修繕等を行いました。
(3) 施設整備費 26,047,560円
テニスコート人工芝張替修繕等を行いました。
- 11 井上公園費【スポーツ振興課・建築予防保全課】

- 118,023,132円
- (1) 管理運営費 109,681,832円
 指定管理者 (特非)いさとスポーツクラブ 水泳場除く
 施設利用者数 41,557人
 指定管理者 井上公園水泳場運営企業体 水泳場部分
 施設利用者数 100,088人
- (2) 施設保全費 4,004,000円
 ろ過設備修繕を行いました。
- (3) 施設整備費 4,337,300円
 野球場外周側溝の浚渫等を行いました。

1.2 中央公園費【スポーツ振興課・建築予防保全課】

- 2,299,680,330円
- (1) 管理運営費 809,350,540円
 指定管理者 (株)豊田スタジアム
 施設利用者数 1,508,748人
- (2) 施設保全費(単年度) 11,583,000円
 1階南サイドコンコース塗床の修繕等を行いました。
- (3) 施設保全費(継続費) 1,460,030,290円
 豊田スタジアムの長寿命化改修工事等を行いました。
- (4) 施設整備費 18,716,500円
 新前池の浚渫等を行いました。

1.3 総合体育館費【スポーツ振興課・建築予防保全課】

- 214,485,636円
- (1) 管理運営費 201,449,591円
 指定管理者 (公財)豊田市スポーツ協会
 施設利用者数 434,657人
- (2) 施設保全費 12,690,700円
 中規模放水銃火災検出器オーバーホール修繕等を行いました。
- (3) 施設整備費 345,345円
 プロジェクター等を購入しました。

1.4 西部体育館・逢妻運動広場費【スポーツ振興課】

- 27,365,964円
- (1) 管理運営費 27,333,514円
 指定管理者 ハマダスポーツ企画(株)
 施設利用者数 102,658人
- (2) 施設整備費 32,450円
 卓球用得点板等を購入しました。

1.5 梅坪浄水運動広場費【スポーツ振興課】 19,805,566円

10款 教育費

- (1) 管理運営費
 指定管理者 (一社) 梅坪・浄水スポーツクラブ
 施設利用者数 34,544人
- 16 松平体育館費【スポーツ振興課】 49,665,000円
 - (1) 管理運営費
 指定管理者 (一社) 松平スポーツクラブ
 施設利用者数 108,301人
- 17 藤岡地域体育施設費【藤岡支所・建築予防保全課】 27,522,863円
 - (1) 管理運営費 13,376,863円
 - ア 藤岡体育センターほか3施設
 指定管理者 (株) 都市環境サービス
 施設利用者数 42,343人
 - イ 藤岡山村広場
 指定管理者 藤岡石畳地区地域づくり協議会
 施設利用者数 2,480人
 - (2) 施設保全費 14,146,000円
 藤岡体育センター南側屋根防水修繕を行いました。
- 18 小原地域体育施設費【小原支所】 22,513,791円
 - (1) 管理運営費
 緑の公園、小原トレーニングセンター
 指定管理者 (公社) 豊田市シルバー人材センター
 施設利用者数 28,448人
- 19 足助地域体育施設費【足助支所・建築予防保全課】 29,149,028円
 - (1) 管理運営費 25,906,228円
 - ア 足助グラウンドほか3施設
 指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団
 施設利用者数 26,344人
 - イ 足助プール
 指定管理者 (株) メイギガードサービス
 施設利用者数 4,269人
 - ウ ふれあいセンター萩野
 施設利用者数 5,209人
 - (2) 施設保全費 2,901,800円
 足助トレーニングセンター室内壁面塗装修繕等を行いました。
 - (3) 施設整備費 341,000円
 足助グラウンド駐車場区画線修繕を行いました。

20	下山地域体育施設費【下山支所】	17,844,725円
(1)	管理運営費	
	ア 下山トレーニングセンターほか1施設	
	指定管理者 しもやまスポーツクラブ	
	施設利用者数 13,497人	
	イ 下山西部プール	
	指定管理者 (株)日本クリーナー	
	施設利用者数 1,068人	
21	旭地域体育施設費【旭支所】	14,918,661円
(1)	管理運営費	
	旭総合体育館ほか3施設	
	指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数 20,612人	
22	稲武地域体育施設費【稲武支所】	13,000,345円
(1)	管理運営費	5,410,345円
	稲武夏焼グラウンド	
	指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数 6,617人	
(2)	施設整備費	7,590,000円
	稲武夏焼グラウンド防球ネット設置工事を行いました。	
23	河川敷スポーツ施設費【スポーツ振興課】	3,840,300円
(1)	管理運営費	3,541,100円
	川田公園、白浜公園、平井公園はじめ10施設	
	施設利用者数 286,906人	
(2)	施設整備費	299,200円
	白浜公園野球場ネットポール清掃を行いました。	
24	体育施設予約システム管理開発費【スポーツ振興課】	15,824,204円
(1)	T O S Sシステム管理運営費	
25	スポーツ協会運営費補助金(10/10)【スポーツ振興課】	178,870,553円

◆特記事項

- ・スカイホール豊田施設保全事業において、機器納期の延伸により年度内の完了が困難となったため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【建築予防保全課】
- ・豊田スタジアム施設保全事業において、機器納期の延伸により年度内の完了が困難となったため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【建築予防保全課】

10款 教育費

10- 8- 9目 美術館費

(前年度)

当初予算額	504,861,000円	(455,558,000円)
予算現額	556,411,000円	(477,274,000円)
決算額	512,550,996円	(470,138,075円)
翌年度繰越額	36,520,000円	(0円)
不用額	7,340,004円	(7,135,925円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	36,520,000円
高橋節郎館改修事業	36,520,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(美術館運営協議会委員6人)【美術館】 111,400円
- 2 美術館事務費【美術館】 10,060,833円
- 3 美術館施設管理費【美術館】 280,738,348円
 - 美術館総利用者数 284,085人
 - 展覧会観覧者数 205,676人
 - 開館日 230日
 - ギャラリー利用 8展覧会
 - ギャラリー入場者数 7,659人
 - レストラン利用者数 18,143人
 - 講堂利用者数 2,944人
 - ワークショップルーム利用者数 685人
 - 庭園利用者数 7,034人
- 4 附属施設管理運営費【美術館】 5,844,639円
 - (1) 童子苑
 - 利用者数 11,085人
 - (2) 七州城・又日亭
 - 利用者数 513人
- 5 美術館施設保全費【建築予防保全課】 30,001,400円
漏水修繕等を行いました。
- 6 美術館運営費【美術館】 3,790,793円
 - (1) ミュージアムショップ
 - 利用者数 24,870人
- 7 展覧会開催費【美術館】 126,962,927円
 - (1) 常設特別展
「サンセット／サンライズ」展
会期 令和4年4月1日～5月8日(34日間)

- 観覧者数 8,702人
「ねこのほそ道」展
会期 令和5年2月25日～3月31日(30日間)
観覧者数 8,556人
- (2) 常設展
年4回の展示替えを実施しました。
観覧者数 76,188人
- (3) 企画展調査費
次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。
- (4) 「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展
会期 令和4年6月7日～9月4日(80日間)
観覧者数 20,387人
- (5) 「ゲルハルト・リヒター」展
会期 令和4年10月15日～5年1月29日(86日間)
観覧者数 47,779人
- (6) 「未生の美－技能五輪の技」展
会期 令和4年10月15日～11月27日(38日間)
観覧者数 10,887人
- 8 教育普及活動費【美術館】 8,617,882円
展覧会記録ビデオや作品音声ガイドの作成、広報活動、庭園活用事業(マルシェ)、ホームページ管理等を行いました。
- 9 美術図書室活動費【美術館】 3,208,364円
展覧会調査研究用資料等の購入を行いました。
ライブラリーの利用者数 5,476人
- 10 作品管理費【美術館】 17,709,799円
所蔵品の調査研究、額装、修復等の保存処置、収蔵庫、展示室等の環境整備などを行い、所蔵品の適切な保存管理に努めました。
- 11 作品収集費【美術館】 21,498,411円
美術品収集委員会を開催し、収集候補作品の審査を経て、19点の作品を購入しました。
- 12 高橋節郎館展覧会開催費【美術館】 706,200円
常設展を4回開催しました。
観覧者数 33,177人
- 13 高橋節郎館改修費【美術館】 3,300,000円
改修工事に必要な基本計画書を作成しました。

◆特記事項

高橋節郎館改修事業において、12月議会で設計費36,520千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【美術館】

11款 災害復旧費

11款 災害復旧費		
		(前年度)
当初予算額	234,000,000円	(250,000,000円)
予算現額	373,955,860円	(551,939,000円)
決算額	318,370,606円	(489,052,536円)
翌年度繰越額	20,000,000円	(0円)
不用額	35,585,254円	(62,886,464円)
11- 1- 1目 農林施設災害復旧費		
		(前年度)
当初予算額	116,500,000円	(132,500,000円)
予算現額	137,422,300円	(179,700,000円)
決算額	131,567,099円	(157,242,947円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	5,855,201円	(22,457,053円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 農業施設現年災害復旧事業費【農地整備課】		
		110,438,299円
令和4年度の台風及び大雨による農地及び農業施設の災害復旧を実施しました。		
施設災害	77か所	
農地災害	34か所	
2 林業施設現年災害復旧事業費【森林課】 21,128,800円		
令和4年度の台風及び大雨による林道施設の災害復旧を実施しました。		
林道災害	27件	
11- 1- 2目 土木施設災害復旧費		
		(前年度)
当初予算額	99,500,000円	(99,500,000円)
予算現額	217,213,560円	(354,239,000円)
決算額	178,886,807円	(330,650,409円)
翌年度繰越額	20,000,000円	(0円)
不用額	18,326,753円	(23,588,591円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		20,000,000円

土木施設災害復旧事業

20,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 土木施設現年災害復旧事業費 178,886,807円
- 【道路維持課・土木課・地域建設課・河川課】
- (1) 道路施設 77,915,860円
令和4年7月等の大雨により被災した市道広久手下細谷線始め67か所の道路災害復旧を実施しました。
- (2) 地域道路施設 57,653,090円
令和4年7月等の大雨により被災した市道稲武大多賀線始め123か所の道路災害復旧を実施しました。
- (3) 河川施設 30,483,057円
令和4年7月等の大雨により被災した普通河川折平川始め26か所の河川災害復旧を実施しました。
- (4) 地域河川施設 12,834,800円
令和4年7月等の大雨により被災した準用河川大入川始め15か所の河川災害復旧を実施しました。

◆特記事項

土木施設災害復旧事業において、現地調査と工法検討に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

11- 1- 3目 都市施設災害復旧費

		(前年度)
当初予算額	2,000,000円	(2,000,000円)
予算現額	2,000,000円	(2,000,000円)
決算額	0円	(0円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,000,000円	(2,000,000円)

11- 1- 4目 公営住宅災害復旧費

		(前年度)
当初予算額	1,000,000円	(1,000,000円)
予算現額	1,000,000円	(1,000,000円)
決算額	0円	(0円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,000,000円	(1,000,000円)

11款 災害復旧費

11- 1- 5目 文教施設災害復旧費			
			(前年度)
当初予算額	12,000,000円	(12,000,000円)
予算現額	12,000,000円	(12,000,000円)
決算額	6,596,700円	(153,780円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	5,403,300円	(11,846,220円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 文教施設現年災害復旧事業費			
【こども・若者政策課・学校づくり推進課】 6,596,700円			
総合野外センターにおいて、大雨の影響による法面の復旧修繕を実施しました。また、上郷中学校において、台風の影響による倒木撤去を実施しました。			
11- 1- 6目 その他施設災害復旧費			
			(前年度)
当初予算額	3,000,000円	(3,000,000円)
予算現額	4,320,000円	(3,000,000円)
決算額	1,320,000円	(1,005,400円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,000,000円	(1,994,600円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 地域振興施設現年災害復旧事業費【旭支所】 1,320,000円			
旭支所敷地内において、大雨の影響による石積擁壁崩落の応急修繕を実施しました。			

12款 公債費

12款 公債費	
(前年度)	
当初予算額	7,821,588,000円 (7,293,541,000円)
予算現額	7,783,410,000円 (7,254,212,000円)
決算額	7,777,799,783円 (7,247,480,860円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	5,610,217円 (6,731,140円)
12- 1- 1目 元金	
(前年度)	
当初予算額	7,668,626,000円 (7,083,507,000円)
予算現額	7,658,734,000円 (7,098,357,000円)
決算額	7,658,733,914円 (7,098,356,579円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	86円 (421円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 元金【財政課】 7,658,733,914円</p> <p>建設事業等に充当した市債の元金を償還しました。</p> <p style="text-align: right;">* 資料編「地方債現在高の状況」参照</p>	
12- 1- 2目 利子	
(前年度)	
当初予算額	152,962,000円 (210,034,000円)
予算現額	124,676,000円 (155,855,000円)
決算額	119,065,869円 (149,124,281円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	5,610,131円 (6,730,719円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 利子【財政課】 119,065,869円</p> <p>建設事業等に充当した市債の利子を償還しました。</p> <p style="text-align: right;">* 資料編「地方債現在高の状況」参照</p>	

13款 諸支出金

13款 諸支出金		
		(前年度)
当初予算額	30,000,000円	(30,000,000円)
予算現額	0円	(0円)
決算額	0円	(0円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	0円	(0円)
13- 1- 1目 土地取得費		
		(前年度)
当初予算額	30,000,000円	(30,000,000円)
予算現額	0円	(0円)
決算額	0円	(0円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	0円	(0円)

14款 予備費

14款 予備費	
	(前年度)
当初予算額	600,000,000円 (500,000,000円)
予算現額	278,002,211円 (233,121,957円)
決算額	0円 (0円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	278,002,211円 (233,121,957円)
14- 1- 1目 予備費	
	(前年度)
当初予算額	600,000,000円 (500,000,000円)
予算現額	278,002,211円 (233,121,957円)
決算額	0円 (0円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	278,002,211円 (233,121,957円)
<p>●執行経費(決算額の内訳)及び概要</p> <p>1 予備費【財政課】 316,815,689円 非課税世帯等臨時特別定額給付金(3款1項5目)、令和4年5～9月の大雨及び台風14号に関する災害復旧事業(11款1項1目、11款1項2目、11款1項6目)などの経費として充用しました。</p> <p>2 予備費【地域支援課】 5,182,100円 地域課題解決事業である、次世代につなごう!「47災害体験者の記録」語り継ぎ事業(2款2項1目)、旧愛知県東加茂事務所跡地整備事業(2款2項13目)の経費として充用しました。</p>	

第14表 主要工事实績表

- ※ (1) 請負金額の単位は千円
 (2) 支出額 30,000千円以上を掲載
 (3) 請負金額の()書は契約総額、外書は本年度執行額

交 流 館 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
逢妻交流館 外壁・屋根改修工事	田町	4. 1. 21 4. 9. 30	90,200 (90,200)	三栄工業	外壁・屋根改修 一式 (R3年度 繰越明許費)
逢妻交流館 内装・外構改修工事	田町	4. 5. 10 4. 11. 30	37,730	三栄工業	内装・外構改修工事 一式 鉄骨造3階 1,445.35㎡
若園交流館・若園中学校 技術科棟改築建築工事	花園町	3. 6. 29 5. 2. 15	509,309 (672,958)	太啓建設	建築工事 一式 交流館、屋外倉庫、防災倉庫、駐車場、 外構整備 (R2～4年度 継続費) (合併施行)
若園交流館・若園中学校 技術科棟改築電気工事	花園町	3. 6. 29 5. 2. 15	150,471 (150,471)	日晶電機	電気工事 一式 (R2～4年度 継続費) (合併施行)
若園交流館・若園中学校 技術科棟改築空調・管工事	花園町	3. 6. 29 5. 2. 15	131,744 (143,199)	三河商事	空調・管工事 一式 (R2～4年度 継続費) (合併施行)

高 岡 地 域 振 興 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
高岡運動広場 防球ネット改修工事	高岡町	4. 9. 2 5. 2. 24	34,100	東愛工業	防球ネット改修工事 一式

稲 武 地 域 振 興 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
どんぐりの湯 長寿命化空調修繕ほか工事	武節町	4. 6. 30 5. 1. 31	195,800	桶兼住設	空調設備・給湯ボイラー更新工事 一式
どんぐりの湯 長寿命化改修工事	武節町	4. 8. 26 4. 12. 28	54,978	マルコオ・ ポーロ化工	屋根・外壁改修工事 一式

障がい者福祉施設費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
障がい者福祉会館 長寿命化改修設備工事	西山町	5. 1. 20 5. 8. 31	50,600 (126,500)	桶兼住設	空調・衛生設備・電気設備 改修工事 一式 (R4年度 繰越明許費)

高齢者福祉施設費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
高齢者温泉休養施設寿楽荘 入浴場増築ほか工事	平畑町	3. 12. 24 4. 7. 29	89,848 (89,848)	神谷組工業	要介助者向け入浴施設増築工事 一式 受変電設備更新工事 一式 (R3年度 繰越明許費)

保育園費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
今こども園ほか1園 長寿命化改修工事	今町ほか	4. 5. 13 4. 9. 9	30,008	寺島塗装店	今こども園・上鷹見こども園 屋根・外壁改修 一式

心身障がい児施設費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
こども発達センターひまわり 空調修繕工事	西山町	3. 10. 22 4. 7. 15	99,066 (130,350)	三河商事	空調設備修繕 一式 (R3~4年度 継続費)
こども発達センター ほか1施設修繕工事	西山町	3. 10. 15 4. 5. 27	78,122 (78,122)	本多工業	屋上防水改修工事 一式 外壁改修工事 一式 (R3~4年度 継続費)

保健衛生総務費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
豊田地域医療センター 改築ほか工事	西山町	30. 6. 26 4. 12. 16	1,171,540 (6,324,960)	鴻池・太啓 建設共同 企業体	診療棟改築工事、南棟改修工事 北棟ほか2棟解体工事 外構整備工事 一式 (H30~R4年度 継続費)

塵 芥 処 理 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
緑のリサイクルセンター 改修工事	枝下町	3. 9. 29 5. 2. 28	398, 330 (445, 500)	共和化工	機械設備工事 一式 配管設備工事 一式 電気・計装設備工事 一式 建築附帯工事 一式 (R3～4年度 継続費)

清 掃 工 場 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
藤岡プラント 修繕工事	下川口町	3. 8. 2 4. 5. 6	138, 490 (138, 490)	マルコオ・ ポーロ化工	工場棟、煙突棟 鉄筋一部鉄骨6階 5, 050㎡ 管理棟 鉄筋3階 573㎡ 屋上防水修繕工事 一式 外壁修繕工事 一式 (R3～4年度 継続費)

農 地 施 設 整 備 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
本地池地区 ため池廃止工事	堤本町	3. 11. 12 4. 4. 28	52, 040 (52, 040)	エイディー グリーン	盛土・埋戻し V=4, 927㎡ 安定処理 A=3, 659㎡ コンクリート V=17. 3㎡ (R3年度 繰越明許費)
本地池地区 ため池廃止工事	堤本町	4. 8. 5 5. 3. 17	77, 934	小野組	盛土 V=9, 240㎡ 安定処理 A=5, 444㎡ 水路工 L=252. 1m
8-1号放水工 ゲート整備工事	梅坪町	4. 9. 2 5. 3. 3	34, 618	三基工業	2段式スライドゲート 1基 電気通信設備 一式

林 業 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
保戸嶋線林道舗装工事	阿蔵町	4. 6. 10 5. 1. 27	30, 038	ヤハギ道路	工事延長 L=1, 171m 舗装面積 A=4, 942. 3㎡
尾根線林道舗装工事	阿蔵町	4. 6. 10 5. 1. 27	33, 573	ヤハギ道路	工事延長 L=1, 059m 舗装面積 A=4, 644. 4㎡

建 築 審 査 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
後退用地内 整備工事（その2）	花園町ほか	4. 8. 5 5. 1. 20	30,008	夕チバナ建設	工事延長 L=482m 排水構造物工 L=436m 舗装工 A=804㎡

道 路 橋 り よ う 維 持 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道伊保原団地21号線ほか 道路修繕工事	浄水町ほか	4. 4. 22 5. 3. 10	77,765	小野組	N=6箇所 工事延長 L=1,200m
市道駒場尾片作線ほか 道路修繕工事	駒場町ほか	4. 7. 22 5. 2. 24	77,493	小野組	N=13箇所 工事延長 L=1,140m
市道旧岡崎足助線ほか 道路修繕工事	中垣内ほか	4. 7. 22 5. 2. 24	55,938	豊清建設	N=14箇所 工事延長 L=980m
市道白浜線ほか 舗装修繕工事	長興寺ほか	4. 4. 22 4. 9. 30	88,854	藤和アスコン	工事延長 L=819m 舗装面積 A=6,468㎡
市道都計環状線ほか 舗装修繕工事	広川町ほか	4. 5. 10 4. 12. 9	79,960 (79,960)	ヤハギ道路	工事延長 L=570m 舗装面積 A=5,144㎡ (R3年度 繰越明許費)
市道荒井郷中線ほか 舗装修繕工事	荒井町ほか	4. 4. 22 4. 9. 22	81,026	太啓建設	工事延長 L=471m 舗装面積 A=6,095㎡
市道長興寺今線 舗装修繕工事	秋葉町ほか	4. 8. 26 5. 1. 27	102,062 (102,062)	ヤハギ道路	工事延長 L=578m 舗装面積 A=5,310㎡ (R3年度 繰越明許費)
市道平戸橋水源3号線 舗装修繕工事	扶桑町ほか	4. 8. 26 5. 1. 27	123,676 (123,676)	太啓建設	工事延長 L=545m 舗装面積 A=8,146㎡ (R3年度 繰越明許費)
市道山之手下林線 舗装修繕工事	金谷町ほか	4. 8. 26 5. 1. 20	89,245 (89,245)	ヤハギ道路	工事延長 L=456m 舗装面積 A=3,660㎡ (R3年度 繰越明許費)
市道大林豊栄線ほか 舗装修繕工事	大林町	4. 9. 30 5. 2. 17	80,132 (80,132)	藤和アスコン	工事延長 L=521m 舗装面積 A=5,225㎡ (R3年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道環状3号線ほか 舗装修繕工事	中町ほか	4. 4. 22 4. 9. 16	71,367 (71,367)	三栄工業	工事延長 L=594m 舗装面積 A=4,730㎡ (R3年度 繰越明許費)
市道保見浄水線ほか 道路防災対策工事	東保見町 ほか	4. 9. 2 5. 2. 24	76,189	豊緑化技研	植生工 A=608㎡ モルタル吹付工 A=2,614㎡ コンクリート板柵 L=61m ロープネット工 N=1箇所
市道下山分里新田線 舗装修繕工事	蘭町	4. 6. 3 5. 2. 10	45,803 (45,803)	ヤハギ道路	工事延長 L=420m 舗装工 A=3,023㎡ (R3年度 繰越明許費)
市道下山神殿立岩線ほか 舗装修繕工事	神殿町ほか	4. 6. 24 4. 10. 28	50,168	ヤハギ道路	工事延長 L=633m 舗装工 A=4,780㎡
市道旭中央線舗装修繕工事	加塩町	4. 8. 26 4. 12. 12	30,061	バーン	工事延長 L=437m 舗装工 A=3,170㎡
道路橋定期点検支援業務	勘八町ほか	4. 5. 12 5. 3. 17	31,557	愛知県都市 整備協会	道路橋定期点検業務 N=10橋 技術支援業務 一式 (合併施行)
京町跨線橋ほか 橋りょう補修工事	京町ほか	4. 1. 7 5. 1. 27	42,038 (69,098)	小野組	京町跨線橋 伸縮装置取替工 L=77.0m ひび割れ補修工 L=135m 断面修復工 一式 両枝橋 伸縮装置取替工 L=4.5m 補強材取付工 N=2部材 支承取替工 N=2基 (R3年度 繰越明許費)
大桑橋1号ほか 橋りょう補修工事	大野瀬町 ほか	4. 9. 16 5. 3. 3	56,330	ツルミ	大桑橋1号 橋梁塗装工 上部工 A=390㎡ 高欄 A=64㎡ 渡刈橋 橋梁塗装工 上部工 A=160㎡ 高欄 A=42㎡

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
両国橋ほか橋りょう補修工事	島崎町ほか	4. 10. 21 5. 5. 31	49,984 (129,702)	ソトムラ	両国橋 橋梁塗装工 A=910㎡ 舗装打替え工 A=339㎡ 断面修復工 一式 両国橋(歩道橋) 橋梁塗装工 A=1160㎡ 舗装打替え工 A=126㎡ 断面修復工 一式 (R4年度 繰越明許費)
(都)高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その3)	竜宮町ほか	3. 12. 21 6. 3. 15	25,806 (124,568)	前田・太啓 建設共同 企業体	工事延長 L=460m 塗替塗装工 A=2,800㎡ (R3~5年度 継続費) (合併施行)

道 路 新 設 改 良 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道新生鴻ノ巣線 ほか1路線歩道設置工事	鴻ノ巣町 ほか	4. 7. 8 5. 3. 17	6,444	大岡建設	市道若石山住宅5号線 工事延長 L=100m 道路土工 V=120㎡ 排水構造物工 L=78m 舗装工 A=217㎡ (合併施行)
市道藤岡西中山藤宮線ほか 道路改良工事	西中山町 ほか	4. 8. 5 5. 2. 17	36,465	中澤建設	工事延長 L=152m 道路土工 V=250㎡ 排水構造物工 L=260m 舗装工 A=1,145㎡
市道藤岡田中二反田線 道路改良工事	藤岡飯野町	2. 7. 28 4. 5. 31	46,032 (121,492)	成瀬組	工事延長 L=64m 上部工 一式 下部工 N=2基 護岸工 A=118㎡ 舗装工 A=770㎡ (R2~4継続費)
市道力石中金線ほか6路線 道路改良工事	力石町ほか	4. 8. 19 5. 2. 10	30,353 (30,353)	保久工業	市道力石中金線ほか5路線 工事延長 L=250m 道路土工 V=730㎡ 排水構造物工 L=7m 舗装工 A=185㎡ (R3年度 繰越明許費) (合併施行)
市道松平足助線 道路改良工事(その3)	豊松町	4. 6. 10 5. 3. 17	59,181 (59,181)	原田工務店	工事延長 L=149m 道路土工 V=1,570㎡ 法面工 A=1,180㎡ 排水構造物工 L=342m 舗装工 A=675㎡ (R3年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道小原築平川下線 道路改良工事（その1）	築平町	4. 9. 16 5. 3. 3	31, 445 (31, 445)	中澤建設	工事延長 L=229m 道路土工 V=500m ³ 排水構造物工 L=187m 舗装工 A=952m ² (R3年度 繰越明許費)

歩 道 等 整 備 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道御立野見線 歩道設置工事	御立町	4. 7. 22 5. 2. 24	70, 475	東工建設	工事延長 L=177m 道路土工 V=3, 520m ³ 法面工 A=200m ² 排水構造物工 L=174m 舗装工 A=396m ²
市道千足深田山線ほか1路線 歩道設置工事（その5）	千足町ほか	4. 6. 17 5. 2. 3	54, 549 (54, 549)	海老澤建設	工事延長 L=388m 道路土工 V=820m ³ 排水構造物工 L=369m 舗装工 A=2, 530m ² (R3年度 繰越明許費)
市道六ツ木岩倉線 歩道設置工事（その8）	松平志賀町	4. 8. 16 5. 4. 28	31, 627 (84, 972)	原田工務店	工事延長 L=108m 道路土工 V=2, 994m ³ 法面工 A=720m ² 排水構造物工 L=182m 舗装工 A=179m ² (R4年度 繰越明許費)
市道新生鴻ノ巣線ほか1路線 歩道設置工事	鴻ノ巣町 ほか	4. 7. 8 5. 3. 17	38, 334	大岡建設	市道新生鴻ノ巣線 工事延長 L=142m 道路土工 V=1, 830m ³ 排水構造物工 L=121m 舗装工 A=155m ² (合併施行)
市道竹下和会線 歩道設置工事	大成町ほか	4. 7. 22 5. 2. 24	59, 332	松尾組	工事延長 L=580m 道路土工 V=980m ³ 排水構造物工 L=530m 舗装工 A=2, 491m ²
市道力石中金線ほか6路線 道路改良工事	力石町ほか	4. 8. 19 5. 2. 10	2, 019	保久工業	市道城見中切線 工事延長 L=29m 舗装工 A=27m ² (合併施行)

河 川 総 務 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
(仮)水辺ふれあいプラザ 築堤護岸工事	亀首町	4. 9. 30 5. 6. 30	42,705 (143,195)	近藤商事土木	工事延長 L=175m 法覆護岸工 一式 控え壁式擁壁工 一式 構造物撤去工 一式 (R4年度 繰越明許費)

河 川 改 良 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
準用河川大見川 河川改良工事	室町ほか	3. 8. 27 4. 6. 30	34,939 (121,729)	三登建設	工事延長 L=360m 矢板工 一式 場所打擁壁工 一式 排水構造物工 一式 (R3年度 繰越明許費)
(都)高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その2)	秋葉町ほか	2. 12. 22 5. 6. 30	278,662 (766,148)	前田・太啓 建設共同 企業体	工事延長 L=200m 護岸工 一式 管渠工 一式 (R2~7年度 継続費) (合併施行)
準用河川大見川 河川改良工事	室町ほか	4. 9. 2 5. 6. 30	35,892 (114,404)	テクノス	工事延長 L=200m 護岸工 一式 (R4~5年度 継続費)

街 路 事 業 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
越戸駅前広場整備工事	越戸町	4. 6. 24 5. 2. 10	78,261	ヤハギ道路	駅前広場整備 A=2,700㎡ 排水構造物工 L=201m 舗装工 A=2,420㎡ 縁石工 L=289m 防護柵工 L=303m 区画線工 L=360m 道路付属物工 一式

特 定 道 路 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
(都) 豊田刈谷線 側道整備工事	西岡町ほか	4. 6. 24 5. 2. 24	92,488	松山建設工業	工事延長 L=370m 舗装工 A=1,630㎡ カルバート工 L=34m 農水管付替 L=369m 擁壁工 L=29m
(都) 高橋細谷線 竜宮橋 橋りょう整備工事(その7)	野見町ほか	3. 6. 29 4. 7. 29	163,995 (361,703)	前田・太啓 建設共同 企業体	根固め工 A=1,500㎡(P1橋脚部) (H29~R6年度 継続費)
(都) 高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その2)	秋葉町ほか	2. 12. 22 5. 6. 30	232,698 (653,177)	前田・太啓 建設共同 企業体	工事延長 L=200m 門型カルバート工 L=23m 橋りょう上下部工 1橋 (R2~7年度 継続費) (合併施行)
(都) 高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その3)	竜宮町ほか	3. 12. 21 6. 3. 15	285,964 (1,071,907)	前田・太啓 建設共同 企業体	工事延長 L=460m 擁壁工 L=84m、舗装工 一式 下部工拡幅 N=2基、上部工拡幅 L=43m 上部工改築 L=300m (R2~7年度 継続費) (合併施行)
(都) 高橋細谷線 函きよ築造工事	野見町	3. 10. 22 4. 6. 30	43,667 (66,237)	東工建設	函きよ工 L=15m (R3~5年度 継続費)
(都) 高橋細谷線 野見御立工区 道路改良工事(その1)	野見町	4. 6. 17 5. 2. 24	91,099 (91,099)	テクナス	工事延長 L=175m 擁壁工 一式 舗装工 一式 排水構造物工 L=394m 防護柵工 L=150m 区画線工 L=379m (R3~5年度 継続費)
宮口こども園場内整備工事	宮口町ほか	3. 9. 17 4. 11. 30	48,958 (74,698)	中部産業	宮口こども園場内整備 一式 (R3年度 繰越明許費)
市道宮町本新線ほか2路線 道路改良工事	田町ほか	4. 7. 22 5. 3. 17	52,961 (52,961)	海老澤建設	宮町本新線 L=93m 宮口一色通学線 L=169m 一色三軒家1号線 L=153m (R3年度 繰越明許費)
市道沢口半ノ木線ほか1路線 道路改良工事	越戸町	4. 8. 19 5. 5. 31	34,452 (100,473)	河木興業	市道沢口半ノ木線 L=54m 市道青木上能田線 L=47m (R4年度 繰越明許費)

公 園 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
四郷南公園ほか整備工事	四郷町	4. 8. 26 5. 2. 28	30,813	眞栄	A=0.31ha 敷地造成工 一式 植栽工 一式 照明灯 N=5基 (合併施行)
(仮) 寺部4号公園整備工事	寺部町	4. 8. 5 5. 2. 3	31,394	猿投観葉	A=0.11ha 敷地造成工 一式 植栽工 一式 照明灯 N=2基 遊具組立設置工ほか
道路橋定期点検支援業務	勘八町ほか	4. 5. 12 5. 3. 17	2,357	愛知県都市 整備協会	道路橋定期点検業務 N=1橋 (合併施行)
虹のかけ橋 橋りょう補修工事	矢並町	4. 7. 22 5. 3. 23	110,681	イヤマ トータル ブリッジ サポート	塗装塗替工 一式 化粧板撤去工 一式

都 心 整 備 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
(都) 竹生線道路改良工事	元城町	4. 8. 19 5. 3. 17	30,311	夕チバナ建設	道路工事延長 L=80m 道路幅員 W=16m 道路土工 N=1式 排水構造物工 L=30m 縁石工 L=64m 防護柵工 L=12m 舗装工 A=610㎡ 区画線工 L=226m 構造物撤去工 N=1式 附帯工 N=1式

住 宅 管 理 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市営住宅等工事代行 業務委託	丸山町ほか	4. 4. 1 5. 3. 24	231,608	愛知県住宅 供給公社	外壁改修等工事(乳母ヶ入住宅) 屋上防水工事(志賀第一住宅) 外部鉄部塗装工事(丸山住宅始め5住宅) 給排水管改修工事(丸山住宅) 給湯器取替工事(東山住宅) 外壁改修等工事(桑田和住宅始め2住宅) 給排水管改修工事(流田住宅) 浄化槽改修工事(桑田和住宅)

常 備 消 防 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
四郷南公園ほか整備工事	四郷町	4. 8. 26 5. 2. 28	523	眞栄	北消防署 植栽工 一式 (合併施行)

災 害 対 策 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
耐震性貯水槽設置工事	猿投町ほか	4. 9. 27 5. 3. 17	48,974	天野建設工業	耐震性貯水槽40㎡ 設置4基 防火水槽50㎡ 撤去1基 防火水槽40㎡ 撤去1基

小 学 校 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市木小学校 施設保全改修工事	市木町	4. 6. 30 5. 1. 31	174,570 (174,570)	藤本建設	屋根及び外壁改修工事 一式 内部改修工事 一式 トイレ改修工事 一式 給排水等配管更新工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費)
五ヶ丘東小学校 施設保全改修工事	五ヶ丘	4. 6. 30 5. 2. 7	205,590 (205,590)	マルコオ・ポ一口化工	屋根及び外壁改修工事 一式 内部改修工事 一式 トイレ改修工事 一式 給排水等配管更新工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費)
挙母小学校 施設保全改修工事	平芝町	4. 6. 30 5. 2. 7	200,530 (200,530)	大幸	屋根及び外壁改修工事 一式 内部改修工事 一式 トイレ改修工事 一式 給排水等配管更新工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費)
巴ヶ丘小学校 施設保全改修工事	大桑町	4. 5. 13 4. 12. 9	73,524 (73,524)	三濃建設	屋根及び外壁改修工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費)
萩野小学校ほか1校 施設保全改修ほか工事	桑田和町 ほか	4. 5. 13 4. 12. 9	49,785 (49,785)	マルコオ・ポ一口化工	萩野小学校 屋根及び外壁改修工事 一式 内部改修工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費) (合併施行)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
広川台小学校 施設保全改修工事	渋谷町	4. 6. 30 5. 1. 31	149,820 (149,820)	小原 ハウジング	屋根及び外壁改修工事 一式 内部改修工事 一式 トイレ改修工事 一式 給排水等配管更新工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費)
美山小学校 施設保全改修工事	美山町	4. 6. 30 5. 1. 31	181,170 (181,170)	神谷組工業	屋根及び外壁改修工事 一式 内部改修工事 一式 トイレ改修工事 一式 給排水等配管更新工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費)
五ヶ丘小学校 トイレ改修工事	五ヶ丘	4. 10. 21 5. 3. 3	35,750 (35,750)	トヨショウ	トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)
衣丘小学校 トイレ改修工事	三軒町	4. 10. 21 5. 3. 3	54,923 (54,923)	ホマレ 建設工業	トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)
浄水小学校ほか1校 トイレ改修工事	浄水町ほか	4. 10. 21 5. 3. 17	80,850 (80,850)	岡田工務店	浄水小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 飯野小学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)
童子山小学校ほか1校 トイレ改修工事	御幸町ほか	4. 10. 21 5. 3. 17	74,580 (74,580)	水嶋建設	童子山小学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 小清水小学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)
平和小学校ほか1校 トイレ改修工事	平和町ほか	4. 10. 21 5. 3. 17	82,500 (82,500)	マルコオ・ ポーロ化工	平和小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 上鷹見小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
大林小学校バリアフリー化 整備ほか工事	大林町	4. 6. 3 5. 1. 13	92,510 (92,510)	三栄工業	エレベーター棟増築工事 鉄骨造 3階 16.45㎡ 段差解消工事 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)
青木小学校ほか3校 学校遊具更新工事	青木町ほか	4. 7. 29 5. 2. 24	83,646 (83,646)	鈴鍵	青木、井上、寿恵野、竹村小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R3年度 繰越明許費)
挙母小学校ほか3校 学校遊具更新工事	平芝町ほか	4. 7. 29 5. 2. 24	82,471 (82,471)	三共造園	挙母、朝日、小清水、前山小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R3年度 繰越明許費)
美山小学校ほか4校 学校遊具更新工事	美山町ほか	4. 7. 29 5. 2. 24	88,329 (88,329)	豊田ガーデン	美山、山之手、根川、梅坪、浄水小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R3年度 繰越明許費)
幸海小学校 土砂災害防止対策工事	幸海町ほか	4. 6. 24 5. 2. 24	88,305	豊緑化技研	吹付砕工事 一式 簡易吹付法砕工事 一式 法面吹付工事 一式 排水構造物工事 一式 撤去工事 一式 仮設工事 一式

中 学 校 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
若園交流館・若園中学校 技術科棟改築建築工事	花園町	3. 6. 29 5. 2. 15	190,263 (268,642)	太啓建設	交流館及び中学校技術科棟 鉄筋コンクリート造ほか 3階 2,704.91㎡ その他附属建築物 木造平屋ほか 127.78㎡ 屋外倉庫、防災倉庫、 車椅子用駐車場及び駐輪場 上記に係る建築工事 一式 (R2～4年度 継続費) (合併施行)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
若園交流館・若園中学校 技術科棟改築電気工事	花園町	3. 6. 29 5. 2. 15	43, 291 (43, 291)	日晶電機	交流館及び中学校技術科棟 鉄筋コンクリート造ほか 3階 2, 704. 91㎡ その他附属建築物 木造平屋ほか 127. 78㎡ 屋外倉庫、防災倉庫、 車椅子用駐車場及び駐輪場 上記に係る電気工事 一式 (R2～4年度 継続費) (合併施行)
若園交流館・若園中学校 技術科棟改築空調・管工事	花園町	3. 6. 29 5. 2. 15	47, 380 (51, 501)	三河商事	交流館及び中学校技術科棟 鉄筋コンクリート造ほか 3階 2, 704. 91㎡ その他附属建築物 木造平屋ほか 127. 78㎡ 屋外倉庫、防災倉庫、 車椅子用駐車場及び駐輪場 上記に係る空調・管工事 一式 (R2～4年度 継続費) (合併施行)
梅坪台中学校 施設保全改修工事	西山町	4. 6. 30 5. 2. 24	263, 890 (263, 890)	伊藤建設	屋根及び外壁改修工事 一式 内部改修工事 一式 トイレ改修工事 一式 給排水等配管更新工事 一式 附帯設備改修工事 一式 (R3年度 繰越明許費)
萩野小学校ほか1校 施設保全改修ほか工事	桑田和町 ほか	4. 5. 13 4. 12. 9	26, 467 (26, 467)	マルコオ・ ポーロ化工	足助中学校 屋外体育倉庫改築工事 一式 鉄筋コンクリート造 平屋 72㎡ 屋外体育倉庫解体工事 一式 (R3年度 繰越明許費) (合併施行)
崇化館中学校 トイレ改修工事	栄町	4. 7. 22 4. 11. 25	40, 370 (40, 370)	天野建設工業	トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)
美里中学校ほか1校 トイレ改修工事	美里ほか	4. 6. 3 4. 10. 20	96, 800 (96, 800)	小原 ハウジング	美里中学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 高橋中学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
保見中学校 トイレ改修工事	保見町	4. 6. 3 4. 11. 2	52,690 (52,690)	藤本建設	トイレ3系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)
竜神中学校 トイレ改修工事	竜神町	4. 6. 3 4. 10. 6	30,250 (30,250)	豊建設	トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R3年度 繰越明許費)

給 食 セ ン タ ー 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
中部給食センター 調理室換気改修工事	栄生町	4. 5. 10 4. 9. 30	84,700	森島設備管工	調理室換気改修工事 一式
中部給食センター 洗浄室換気改修工事	栄生町	4. 12. 23 5. 9. 29	47,300 (118,250)	森島設備管工	洗浄室換気改修工事 一式 (R4年度 繰越明許費)

文 化 財 保 護 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
豊田市博物館整備建築工事	小坂本町	3. 12. 21 6. 3. 8	1,238,990 (3,612,400)	清水・トヨタ T&S・三栄 建設共同 企業体	建築工事 一式 (R3~5年度 継続費)
豊田市博物館整備 空調・管工事	小坂本町	3. 12. 21 6. 3. 8	204,380 (1,021,900)	三建・三河 建設共同 企業体	空調・管工事 一式 (R3~5年度 継続費)
豊田市博物館整備電気工事	小坂本町	3. 12. 21 6. 3. 8	159,060 (795,300)	東光・小野 建設共同 企業体	電気工事 一式 (R3~5年度 継続費)
豊田市博物館園路整備工事	小坂本町	4. 9. 30 6. 3. 8	79,904 (499,400)	ヤハギ道路・ 藤本建設共同 企業体	園路整備工事 一式 (R4~5年度 継続費)
旧鈴木家住宅 保存修理工事（第5期工事）	足助町	3. 1. 22 5. 3. 15	67,197 (148,861)	魚津社寺 工務店	主屋ほか6棟の修理、 大工小屋ほか4棟の解体 (H30~R4年度 継続費)
旧鈴木家住宅 保存修理工事（第6期工事）	足助町	4. 7. 1 7. 3. 14	34,607 (145,750)	魚津社寺 工務店	主屋ほか9棟の修理 (木、屋根、左官) (R4~R7年度 継続費)

文 化 施 設 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
豊田市民文化会館 多目的室等改修工事	小坂町	4. 8. 16 5. 2. 24	46,695	眞栄	多目的ホール等改修工事 一式

体 育 施 設 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
豊田スタジアム 長寿命化改修工事その1	千石町	3. 6. 29 5. 4. 28	908,264 (2,512,400)	清水・トヨタ T&S 建設共同 企業体	屋上防水改修工事 一式 塗装改修工事 一式 (R2~5年度 継続費)
豊田スタジアム 長寿命化改修工事その2	千石町	3. 9. 29 5. 3. 24	478,720 (478,720)	三建・三河 建設共同 企業体	空調設備改修 一式 (R2~5年度 継続費)
豊田スタジアム 長寿命化改修工事その4	千石町	4. 12. 22 6. 3. 20	52,044 (183,150)	桶兼住設	ろ過設備改修 一式 (R4~5年度 継続費)

第 15 表 土地取得実績表（補償費を除く。）

区分	取得の目的	場 所	面 積	金額（円）
地域振興	宮町駐車場	足助町	851.53	32,270,144
	どんぐりの里いなぶ駐車場	武節町	3,417.69	47,610,731
	地域振興 計		4,269.22	79,880,875
福祉施設	中山こども園駐車場	西中山町	1,560.89	93,439,197
	若園こども園駐車場	中根町	1,523.77	89,558,491
	美和こども園駐車場	百々町	946.05	101,360,577
	福祉施設 計		4,030.71	284,358,265
観光施設	松平郷入口駐車場	松平町	1,032.32	34,460,208
	観光施設 計		1,032.32	34,460,208
市道	県道坂上花沢線（公共補償）	坂上町	64.78	671,871
	県道花沢桑原線（公共補償）	長沢町	44.30	66,450
	中垣内九久平1号線	九久平町	189.78	468,757
	若石山住宅5号線	花園町	125.28	15,847,920
	藤岡西中山藤宮線	西中山町	111.33	7,476,061
	林添九久平1号線	九久平町ほか	1,610.31	9,331,469
	堤駒場線ほか1路線	駒場町	503.65	15,978,851
	力石中金線	力石町	298.86	1,909,515
	歌石拳母線	鍋田町	223.08	2,065,721
	小原永太郎線	永太郎町	137.47	787,703
	旧加茂川志賀2号線	大見町	81.30	414,374
	県道加茂川志賀線（公共補償）	桂野町	86.25	3,717,375
	県道宮上知立バイパス関連	中田町	29.75	1,847,475
	（主）豊田明智線（公共補償）	須渕町	81.17	562,095
	堂根沢通常砂防関連（公共補償）	岩神町	69.93	186,014
	白山川第1支川通常砂防関連（公共補償）	大蔵町	66.30	41,769
	土橋竜神1号線	曙町	1,077.27	129,422,074
	市道 計		4,800.81	190,795,494

区分	取得の目的	場 所	面 積	金額 (円)
安全対策	御立野見 1 号線ほか 2 路線	御立町ほか	3, 156. 07	53, 692, 313
	六ツ木岩倉線	松平志賀町	1, 722. 65	9, 078, 367
	福谷一色線	白山町	179. 32	5, 074, 756
	竹下和会線	上郷町	63. 75	7, 822, 125
	安全対策 計			5, 121. 79
河川等	清水沢通常砂防関連 (公共補償)	西広瀬町	4. 42	14, 674
	飯野川第 1 3 支線通常砂防関連 (公共補償)	北曾木町	108. 75	156, 600
	準用河川長田川	秋葉町	23. 09	2, 170, 460
	河川等 計			136. 26
土地区画整理	国道 4 1 9 号 (公共補償)	井上町	47. 64	1, 753, 152
	土地区画整理 計			47. 64
街路	勘八峡 1 号線ほか 1 路線	御船町	1, 392. 30	29, 193, 967
	越戸駅前線	越戸町	436. 47	24, 355, 026
	若林高架側道 3 号線ほか 9 路線	若林東町ほか	4, 959. 54	298, 937, 645
	殿貝津拳母線ほか 2 路線	大清水町	114. 08	10, 665, 072
	街路 計			6, 902. 39
特定道路	市道高橋細谷線ほか 2 路線	野見町	25. 30	2, 094, 840
	豊田刈谷 6 号線ほか 2 路線	西岡町ほか	8, 177. 76	285, 537, 038
	国道 1 5 5 号関連	宮口町	711. 35	17, 493, 144
	特定道路 計			8, 914. 41
公園	中央公園	広川町	14, 533. 83	504, 181, 311
	公園 計			14, 533. 83

Ⅲ 特別会計

国民健康保険特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	37,030,014千円	(37,225,289千円)
歳出総額	36,479,856千円	(35,570,074千円)
歳入歳出差引額	550,158千円	(1,655,215千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	550,158千円	(1,655,215千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 国民健康保険税	7,515,307	7,534,171	(7,629,855)	20.3
2 国庫支出金	1	0	(5,821)	—
3 県支出金	23,731,143	23,155,179	(23,735,510)	62.5
4 財産収入	12	12	(630)	0.0
5 繰入金	4,626,583	4,579,424	(5,179,815)	12.4
6 繰越金	1,655,214	1,655,215	(584,780)	4.5
7 諸収入	73,921	106,013	(88,878)	0.3
歳入合計	37,602,181	37,030,014	(37,225,289)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	384,140	373,442	(349,182)	1.0
2 保険給付費	23,995,992	22,930,733	(23,203,875)	62.9
3 国民健康保険事業費納付金	10,598,990	10,598,988	(10,397,471)	29.1
4 保健事業費	358,956	333,959	(340,704)	0.9
5 基金積立金	2,219,100	2,219,100	(1,220,629)	6.1
6 諸支出金	40,003	23,634	(58,213)	0.1
7 予備費	5,000	0	(0)	—
歳出合計	37,602,181	36,479,856	(35,570,074)	100.0

2 事業の概要

国民健康保険は、被用者保険等に属さない全ての人加入し、国民皆保険の最後の砦として、地域医療や市民の健康増進に寄与しています。

国民健康保険特別会計の主な財源は、県支出金(62.5%)、国民健康保険税(20.3%)で、国民健康保険税については、前年度比1.3%の減少となりました。主な歳出は保険給付費(62.9%)で、前年度比1.2%の減少となりました。

平成30年度に財政運営が都道府県単位化された影響による国民健康保険税の急激な負担増に対応するため、令和2年度以降、市独自の激変緩和措置を講じてきました。その財源として8億6千万円を一般会計から繰り入れ、前年度繰越金の一部などと合わせて、総額22億1千万円余を基金に積み立てました。

市独自の激変緩和措置と並行して、保険税率の引上げや基金の活用により被保険者の負担の平準化を図っていますが、県に支払う国民健康保険事業費納付金の伸びが続いており、依然として財政運営は厳しい状況にあります。

被保険者数や保険給付費、収納率の動向に加え、加速する保険税水準の県内統一に向けた議論を注視し、引き続き健全な財政運営に努めます。

(1) 加入状況

(単位：世帯、人)

区 分	3年度 末現在	4年度 末現在	(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)	4年度 年度平均
			未就学児	前期高齢者	70歳以上一般	70歳以上現役並所得者	
世帯数	46,779	44,750					46,032
被保険者数	72,951	68,502	1,179	34,850	18,982	2,391	71,080
退職被保険者等	0	0	0				0
一般被保険者	72,951	68,502	1,179	34,850	18,982	2,391	71,080

(2) 被保険者異動状況

(単位：件)

4年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢者離脱	その他	計
	1,866	10,489	157	167	17	1,219	13,915
4年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢者加入	その他	計
	2,338	9,109	254	439	5,308	916	18,364

(3) 保険税の課税状況(現年)

(単位：千円)

保険税算定額及び割合				減免 ⑤	保険税 軽減額 ⑥	限度 超過額 ⑦	月割 減額 ⑧	調定額 ④-⑤-⑥ -⑦-⑧
所得割 ①	均等割 ②	平等割 ③	合計 ④=①+②+③					
6,137,184	2,994,191	1,666,046	10,797,421	22,000	994,581	507,738	1,687,841	7,585,261
56.84%	27.73%	15.43%	100%					

※税率及び課税限度額

	所得割率	均等割額	平等割額	課税限度額
医療分	5.85%	26,100円	22,000円	650,000円
後期支援分	1.80%	6,800円	6,500円	200,000円
介護分	1.55%	9,400円	5,800円	170,000円

・各区分の所得割、均等割、平等割の合計が国民健康保険税額になる。

(4) 保険給付費支払状況 (単位：千円)

区 分	支払額
療 養 給 付 費	19,894,643
療 養 費	152,709
高 額 療 養 費	2,721,161
高額介護合算療養費	3,856
出 産 育 児 一 時 金	69,903
葬 祭 費	20,450
審 査 支 払 手 数 料	62,481
移 送 費	0
傷 病 手 当 金	5,530
計	22,930,733

(5) 収納率 (現年分)

3 年度 ①	4 年度 ②	増減 ②-①
96.78%	96.58%	△0.20%

(滞納繰越分)

3 年度 ①	4 年度 ②	増減 ②-①
26.75%	25.84%	△0.91%

(6) 経理関係 (被保険者1人当たり)

(単位：円)

歳 入	3 年度 ①	4 年度 ②	増減 ②-①
国 民 健 康 保 険 税	102,493	105,996	3,503
国 庫 支 出 金	78	0	△78
県 支 出 金	318,841	325,762	6,921
財 産 収 入	9	0	△9
繰 入 金	69,581	64,426	△5,155
繰 越 金	7,855	23,287	15,432
諸 収 入	1,194	1,491	297
合 計	500,051	520,962	20,911

歳 出	3 年度 ①	4 年度 ②	増減 ②-①
総 務 費	4,690	5,254	564
保 険 給 付 費	311,700	322,605	10,905
国 民 健 康 保 険 事 業 費 納 付 金	139,670	149,114	9,444
保 健 事 業 費	4,577	4,698	121
基 金 積 立 金	16,397	31,220	14,823
諸 支 出 金	782	332	△450
予 備 費	0	0	0
合 計	477,816	513,223	35,407

※各年度の1人当たりの額は、決算額を年度平均被保険者数で除したもの
 令和3年度 74,443人 令和4年度 71,080人

都市計画事業土地区画整理特別会計

（土橋土地区画整理事業）

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	1,095,764千円	(2,454,418千円)
歳出総額	836,596千円	(1,643,471千円)
歳入歳出差引額	259,168千円	(810,947千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	254,275千円	(785,692千円)
(継続費繰越し)	254,275千円)	
実質収支額	4,893千円	(25,255千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	800	1,200	(0)	0.1
2 負担金	274,600	209,320	(604,960)	19.1
3 使用料及び手数料	60	84	(92)	0.0
4 繰入金	49,471	49,471	(34,662)	4.5
5 繰越金	810,947	810,947	(1,776,123)	74.0
6 諸収入	23,130	24,742	(38,581)	2.3
歳入合計	1,159,008	1,095,764	(2,454,418)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 土橋土地区画整理費	1,159,008	836,596	(1,643,471)	100.0
歳出合計	1,159,008	836,596	(1,643,471)	100.0

2 事業の概要

(1) 公共施設整備工事及び宅地造成工事を実施し、事業の推進を図りました。

・ 道路築造工事、公園造成工事、宅地造成工事等

297,749 千円

(2) 建物等移転補償、上水道整備費負担金等を執行し、事業の推進を図りました。

・ 踏切改修工事委託、上水道整備費負担金、建物等移転補償等

498,688 千円

(3) 事業の推進を図るため、土橋土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

40,159 千円

都市計画事業土地区画整理特別会計

(寺部土地区画整理事業)

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	882,292千円	(1,191,212千円)
歳出総額	866,682千円	(750,521千円)
歳入歳出差引額	15,610千円	(440,691千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(365,319千円)
実質収支額	15,610千円	(75,372千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	391,083	391,084	(287,016)	44.3
2 使用料及び手数料	53	55	(28)	0.0
3 繰入金	0	0	(71,294)	—
4 繰越金	440,691	440,691	(691,826)	49.9
5 諸収入	50,461	50,462	(36)	5.7
6 負担金	0	0	(141,012)	—
歳入合計	882,288	882,292	(1,191,212)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 寺部土地区画整理費	882,288	866,682	(750,521)	100.0
歳出合計	882,288	866,682	(750,521)	100.0

2 事業の概要

(1) 公共施設整備工事等を実施し、事業の推進を図りました。

・ 道路改良工事、公共施設整備工事等

94,062 千円

(2) 換地計画及び管理移管業務等を実施し、事業の推進を図りました。

・ 換地計画等業務委託、管理移管図書作成業務委託、清算金交付事務等

257,945 千円

(3) 事業の推進を図るため、寺部土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

46,521 千円

(4) 事業完了に伴い、事業費精査により生じた余剰金を一般会計に繰り出しました。

468,154 千円

都市計画事業土地区画整理特別会計

(花園土地区画整理事業)

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	2,223,542千円	(3,456,212千円)
歳出総額	1,649,095千円	(2,445,378千円)
歳入歳出差引額	574,447千円	(1,010,834千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	570,189千円	(1,010,771千円)
(継続費繰越し)	570,189千円)	
実質収支額	4,258千円	(63千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	20,953	20,953	(161,594)	0.9
2 負担金	867,932	667,832	(986,628)	30.0
3 使用料及び手数料	70	98	(95)	0.0
4 繰入金	522,434	522,434	(1,121,476)	23.5
5 繰越金	1,010,834	1,010,834	(1,186,125)	45.5
6 諸収入	1,389	1,391	(294)	0.1
歳入合計	2,423,612	2,223,542	(3,456,212)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 花園土地区画整理費	2,423,612	1,649,095	(2,445,378)	100.0
歳出合計	2,423,612	1,649,095	(2,445,378)	100.0

2 事業の概要

(1) 公共施設整備工事等を実施し、事業の推進を図りました。

・道路築造工事、大切川護岸整備工事、雨水管築造工事等

912,729 千円

(2) 建物等移転補償、移転物件調査及び移転者用仮住居・仮倉庫賃貸借等を実施し、事業の推進を図りました。

・物件移転補償(13件)、借家人補償(6件)、移転物件調査、
仮住居・仮倉庫賃貸借等

643,684 千円

(3) 事業の推進を図るため、花園土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費(職員人件費、事務所管理費等)の適正な執行に努めました。

92,682 千円

分譲住宅建設事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	15,915千円	(9,695千円)
歳出総額	14,854千円	(7,467千円)
歳入歳出差引額	1,061千円	(2,228千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	1,061千円	(2,228千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	1	0	(0)	—
2 使用料及び手数料	31	31	(32)	0.2
3 繰入金	13,656	13,656	(8,803)	85.8
4 繰越金	2,228	2,228	(860)	14.0
5 諸収入	2	0	(0)	0.0
歳入合計	15,918	15,915	(9,695)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 宅地造成費	15,818	14,854	(7,467)	100.0
2 予備費	100	0	(0)	—
歳出合計	15,918	14,854	(7,467)	100.0

2 事業の概要

移住人口の増加を図るため、小原町に所在する市の未利用財産を活用した定住促進事業を推進しています。

また、過去に分譲を行った団地の残地維持管理業務を行っています。

なお、令和4年度における主な執行経費は次のとおりです。

(1) 事業地取得に伴う登記等の事務及び整備工事を行いました。

- ・ 宅地整備工事費 5,765千円
- ・ 登記等事務費 2,528千円

(2) 残地維持管理業務を行い、かつ、適正な職員人件費の執行に努めました。

6,561千円

卸 売 市 場 特 別 会 計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	245,487千円	(218,936千円)
歳出総額	226,539千円	(202,105千円)
歳入歳出差引額	18,948千円	(16,831千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	18,948千円	(16,831千円)

(歳入)
(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 使用料及び手数料	91,029	91,821	(95,911)	37.4
2 繰入金	48,864	48,864	(33,113)	19.9
3 繰越金	16,830	16,831	(23,322)	6.9
4 諸収入	87,045	87,971	(66,590)	35.8
歳入合計	243,768	245,487	(218,936)	100.0

(歳出)
(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 卸売市場費	243,268	226,539	(202,105)	100.0
2 予備費	500	0	(0)	—
歳出合計	243,768	226,539	(202,105)	100.0

2 事業の概要

豊田市及び周辺地域の生鮮食料品の供給基地として、荷揃えの充実等により生鮮食料品の安定供給に努めました。

取扱数量は、青果で減少し、水産物で増加しました。原因は、青果では価格高騰等による販売低迷、水産物では出荷者等との連携強化の推進などの影響が考えられます。また、取扱金額は、青果、水産物ともに増加しました。原因は、天候不順などによる野菜や鮮魚の価格高騰等の影響が考えられます。

市場機能の維持及び安全・安心に対応するため、施設の修繕等に努めました。

(1) 取扱実績

区分	3 年 度		4 年 度		前年度対比(%)	
	数量(t)	金 額(千円)	数量(t)	金 額(千円)	数 量	金 額
青 果	26,188	7,268,569	25,789	7,276,278	98.5	100.1
水 産 物	2,628	2,319,924	2,639	2,459,874	100.4	106.0
計	28,816	9,588,493	28,428	9,736,152	98.7	101.5

(2) コンテナ利用実績

(単位：個、%)

区 分	年 度	3 年 度	4 年 度	前年度対比
利 用 個 数		166,274	160,516	96.5

(3) 主な執行経費

○ 市場光熱水費（水道・電気・ガス）	66,360 千円
○ 警備・清掃・電気等管理業務委託	33,916 千円
○ 市場業務委託（市場協会）	12,936 千円
○ コンテナ還付金	24,566 千円

3 他会計繰入金（不課税・対価外収入）の用途特定について

一般会計繰入金 48,864 千円については、一般職給料等（特定収入以外）に充当しました。

水道水源保全事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	71,544千円	(87,007千円)
歳出総額	67,221千円	(83,631千円)
歳入歳出差引額	4,323千円	(3,376千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	4,323千円	(3,376千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 負担金	44,512	44,073	(44,795)	61.6
2 財産収入	281	281	(189)	0.4
3 寄附金	1	0	(0)	—
4 繰入金	23,813	23,813	(33,185)	33.3
5 繰越金	3,375	3,376	(8,837)	4.7
6 諸収入	2	1	(1)	0.0
歳入合計	71,984	71,544	(87,007)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 水道水源保全費	71,984	67,221	(83,631)	100.0
歳出合計	71,984	67,221	(83,631)	100.0

2 事業の概要

平成6年度から「水道使用量1立方メートル(トン)当たり1円」を、水資源の保全、水源かん養事業及び水質保全の環境整備のため「豊田市水道水源保全基金」として積み立てています。この基金は、将来にわたり安全でおいしい水を提供するためには、水源の保全が必要であることから、水源かん養事業や水質保全の環境整備などを進めるため、学識経験者や市民代表で構成された豊田市水道事業審議会の答申を受けて、平成6年4月に全国に先駆け設立されたものです。

事業としては、平成18年度までは間伐を中心とした森林の水源かん養機能の維持向上に取り組んできました。平成19年度からは、矢作ダム上流域の森林を恒久的に保全し、必要な水量確保を目的とする「水源の森事業」と水道原水取水口上流域の水道原水の水質保全を目的とした「水質保全対策事業」に事業転換し、現在に至っています。また、平成27年度からは、新たに「水道水源林間伐事業」、「水道水源林確保事業」及び「水道水源林モニタリング事業」をスタートしました。継続事業を含む全5事業を展開し、水道水源の積極的かつ恒久的な保全に取り組んでいます。

母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	40,096千円	(34,446千円)
歳出総額	19,978千円	(6,649千円)
歳入歳出差引額	20,118千円	(27,797千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	20,118千円	(27,797千円)

(歳入) (単位:千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	8,464	8,552	(10,500)	21.3
2 繰入金	3,746	3,746	(2,186)	9.3
3 繰越金	27,797	27,797	(21,490)	69.3
4 諸収入	2	1	(270)	0.0
歳入合計	40,009	40,096	(34,446)	100.0

(歳出) (単位:千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 貸付事業費	15,846	8,612	(6,649)	43.1
2 公債費	14,200	6,676	(0)	33.4
3 諸支出金	9,963	4,690	(0)	23.5
歳出合計	40,009	19,978	(6,649)	100.0

2 事業の概要

母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、20歳未満の児童を養育している配偶者のいない者及びこれに準ずる者並びに配偶者のない女子であって、かつて配偶者のない女子として民法第877条の規定により児童を扶養していたことのある者に対し、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせて、その扶養している児童の福祉を増進するため、資金を貸し付けるものです。

本年度は、児童を学校に入学させるための就学支度資金を7人、授業料等のための修学資金を新規1人、継続3人に貸し付けました。

母子父子寡婦福祉資金貸付状況

区分	資金名	令和4年度	
		件数	金額(円)
母子	就学支度資金	7	2,965,000
	修学資金	4	2,199,600
	合計	11	5,164,600

介護保険事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	26,095,201千円	(25,848,331千円)
歳出総額	25,578,640千円	(25,507,346千円)
歳入歳出差引額	516,561千円	(340,985千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	516,561千円	(340,985千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 保険料	7,149,317	7,147,601	(7,088,446)	27.4
2 手数料	1,180	1,470	(1,030)	0.0
3 国庫支出金	4,752,452	4,856,339	(4,653,349)	18.6
4 支払基金交付金	6,641,950	6,413,345	(6,294,715)	24.6
5 県支出金	3,523,013	3,471,861	(3,351,776)	13.3
6 財産収入	1,870	1,870	(1,918)	0.0
7 寄附金	1	0	(0)	—
8 繰入金	4,012,026	3,828,409	(3,752,385)	14.7
9 繰越金	340,984	340,985	(688,665)	1.3
10 諸収入	32,677	33,321	(16,047)	0.1
歳入合計	26,455,470	26,095,201	(25,848,331)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	689,723	625,537	(586,808)	2.4
2 保険給付費	23,847,332	23,098,632	(22,592,759)	90.3
3 地域支援事業費	1,292,826	1,241,613	(1,200,809)	4.9
4 基金積立金	442,950	442,950	(1,102,622)	1.7
5 諸支出金	172,639	169,908	(24,348)	0.7
6 予備費	10,000	0	(0)	—
歳出合計	26,455,470	25,578,640	(25,507,346)	100.0

2 事業の概要

介護保険事業は、介護を社会全体で支えるための制度として平成 12 年度から開始されました。65 歳以上の第 1 号被保険者と 40 歳から 64 歳までの第 2 号被保険者のうち要介護（要支援）認定を受けた人を対象に介護保険給付を行いました。また、平成 29 年度から地域支援事業が見直され、要支援者に対する予防給付のうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護が地域支援事業の総合事業に移行するなど再編されました。

財源は令和 3～令和 5 年度の 3 年間の第 8 期介護保険事業計画に基づいて、居宅サービスについては第 1 号被保険者保険料 28%、第 2 号被保険者保険料 27%、国 20%（施設サービス等は 15%）、県 12.5%（施設サービス等は 17.5%）、市 12.5%で賄っています。このうち、第 1 号被保険者の保険料は所得により 13 段階に分かれており、その基準額は月額 5,500 円となっています。

(1) 認定者数（令和 5 年 3 月末現在）

（単位：人）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
第 1 号被保険者	2,104	2,762	3,062	2,582	1,681	1,828	1,365	15,384
75 歳以上	1,816	2,364	2,809	2,292	1,504	1,633	1,197	13,615
65 歳以上 75 歳未満	288	398	253	290	177	195	168	1,769
第 2 号被保険者	39	77	29	74	48	51	50	368
合 計	2,143	2,839	3,091	2,656	1,729	1,879	1,415	15,752

(2) 主な執行経費

（単位：円、%）

区 分	前年度支出額	本年度支出額	保険給付 構成比		
1 総 務 費	586,808,210	625,537,091	—		
2 保 険 給 付 費	居宅介護サービス等給付費	8,642,673,084	8,989,727,812	38.9	
	地域密着型介護サービス等給付費	4,163,942,672	4,228,841,277	18.3	
	施設介護サービス等給付費	6,652,425,149	6,758,964,283	29.3	
	居宅介護福祉用具購入費	28,752,609	28,321,206	0.1	
	居宅介護住宅改修費	63,243,913	62,651,229	0.3	
	居宅介護サービス計画等給付費	1,157,033,978	1,193,838,388	5.2	
	介護予防サービス等給付費	503,862,524	513,360,166	2.2	
	地域密着型介護予防サービス等給付費	16,948,704	17,077,835	0.1	
	介護予防福祉用具購入費	11,265,079	12,061,233	0.1	
	介護予防住宅改修費	42,017,597	52,441,472	0.2	
	介護予防サービス計画等給付費	132,624,143	142,410,752	0.6	
	審査支払諸費	介護報酬審査支払等手数料	13,090,135	13,654,790	0.1
	高額介護サービス等費	高額介護サービス費	549,064,140	540,804,572	2.3
	高額介護予防サービス費	946,596	845,466	0.0	
高額医療合算介護サービス等費	高額医療合算介護サービス費	77,623,529	79,739,787	0.3	
高額医療合算介護予防サービス費	437,857	678,849	0.0		
特定入所者介護サービス等費	特定入所者介護サービス等費	417,783,978	337,954,797	1.5	
特定入所者介護予防サービス等費	584,368	486,670	0.0		
特別給付費	特別給付費	118,439,102	124,771,110	0.5	
合 計	22,592,759,157	23,098,631,694	100.0		
3 地 域 支 援 事 業 費	1,200,809,158	1,241,612,740	—		
4 基 金 積 立 金	1,102,622,000	442,950,000	—		
5 諸 支 出 金	24,347,800	169,908,194	—		
総 計	25,507,346,325	25,578,639,719	—		

財 産 区 特 別 会 計

(盛岡財産区)

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	5,631千円	(4,613千円)
歳出総額	5,245千円	(3,862千円)
歳入歳出差引額	386千円	(751千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	386千円	(751千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 財産収入	3,839	3,838	(3,789)	68.2
2 繰入金	1,013	1,013	(244)	18.0
3 繰越金	751	751	(552)	13.3
4 諸収入	22	29	(28)	0.5
歳入合計	5,625	5,631	(4,613)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	4,038	3,658	(2,841)	69.7
2 基金積立金	1,587	1,587	(1,021)	30.3
歳出合計	5,625	5,245	(3,862)	100.0

2 事業の概要

財産区区有林保育作業管理委託で区有林の下刈りを実施しました。また、管理委員による林道、作業道の維持管理、区有林内見廻りを実施しました。

区有林保育業務委託

2,321千円

財 産 区 特 別 会 計

(賀 茂 財 産 区)

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	7,143千円	(6,688千円)
歳出総額	6,892千円	(6,134千円)
歳入歳出差引額	251千円	(554千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	251千円	(554千円)

(歳 入) (単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 財 産 収 入	85	85	(80)	1.2
2 繰 入 金	6,469	6,469	(6,455)	90.6
3 繰 越 金	553	554	(152)	7.8
4 諸 収 入	2	35	(1)	0.5
歳 入 合 計	7,109	7,143	(6,688)	100.0

(歳 出) (単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 総 務 費	3,221	3,004	(3,158)	43.6
2 基 金 積 立 金	3,888	3,888	(2,976)	56.4
歳 出 合 計	7,109	6,892	(6,134)	100.0

2 事業の概要

財産区有林保育作業管理委託で区有林の下刈りを実施しました。また、管理委員による林道、作業道の維持管理、区有林内見廻りを実施しました。

区有林保育業務委託

1, 848千円

後期高齢者医療特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	6,446,391千円	(6,009,261千円)
歳出総額	6,380,109千円	(5,953,429千円)
歳入歳出差引額	66,282千円	(55,832千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	66,282千円	(55,832千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 後期高齢者医療保険料	5,547,805	5,544,028	(5,178,000)	86.0
2 繰入金	839,705	839,705	(773,112)	13.0
3 繰越金	55,832	55,832	(49,607)	0.9
4 諸収入	11,517	6,826	(8,542)	0.1
歳入合計	6,454,859	6,446,391	(6,009,261)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	146,075	142,033	(124,942)	2.2
2 広域連合納付金	6,297,587	6,231,479	(5,819,913)	97.7
3 諸支出金	11,197	6,597	(8,574)	0.1
歳出合計	6,454,859	6,380,109	(5,953,429)	100.0

2 事業の概要

平成20年度から後期高齢者医療制度が開始され、75歳以上又は65歳以上の障がい要件の認められた高齢者を対象として、被保険者証の引渡し、保険料の賦課徴収、給付申請受付等を行いました。

本事業の保険者は、愛知県後期高齢者医療広域連合であり、広域連合が資格管理・保険料の決定・医療の給付業務を行い、市が受付業務、保険料の徴収業務を行いました。

(1) 被保険者数の推移

区分	令和4年3月	令和5年3月
75歳以上	48,480人	51,640人
65歳以上の障がい認定者	2,168人	2,002人
計	50,648人	53,642人

(5.9%増)

(2) 主な制度の概要

○ 保険料率等 (2年ごとに改定)

	令和 2、3 年度	令和 4、5 年度
均 等 割 額	48,765 円	49,398 円
所 得 割 率	9.64 %	9.57 %

保険料 (年額) = 均等割額 + 所得割額 (賦課のもととなる所得金額×所得割率)

○ 保険料の納付方法と徴収金額

- ・ 特別徴収 (年金からの天引き)
- ・ 普通徴収 (窓口払・口座振替)

保険料の納付方法は、原則、特別徴収ですが、年金額の年額が 18 万円未満の場合や、介護保険料との合計額が年金額の 2 分の 1 を超えてしまう場合等は普通徴収になります。

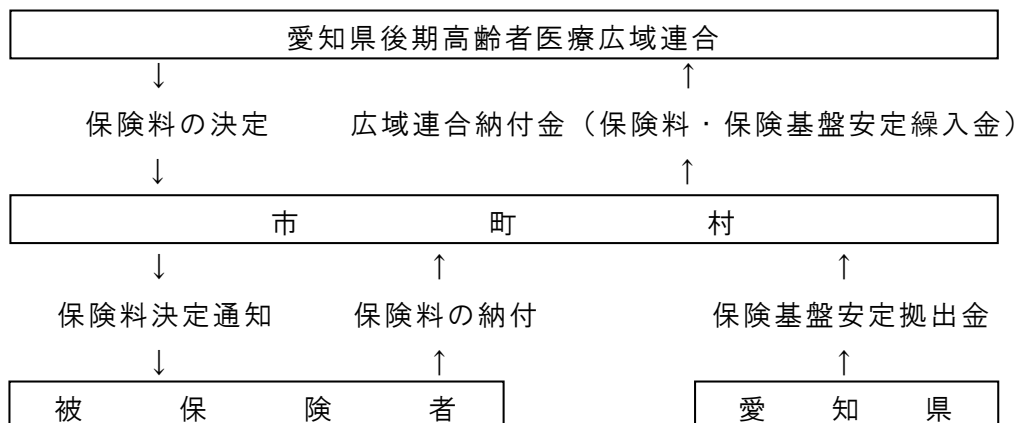
また、特別徴収対象者でも、口座振替に変更することで納付方法を普通徴収にすることができます。

(納付方法別徴収金額等)

納 付 方 法	徴 収 金 額	収 納 率
特 別 徴 収	3,097,232,100 円	100.00%
普 通 徴 収 (現年度分)	2,442,418,722 円	99.51%
普 通 徴 収 (過年度分)	4,377,328 円	43.80%
計	5,544,028,150 円	99.68%

(R3 : 99.79%)

(3) 広域連合との関係



産業用地造成事業特別会計

(豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業)

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	69,909千円	(72,354千円)
歳出総額	57,601千円	(17,749千円)
歳入歳出差引額	12,308千円	(54,605千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(54,400千円)
実質収支額	12,308千円	(205千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 繰入金	18,753	15,303	(72,352)	21.9
2 諸収入	1	1	(2)	0.0
3 繰越金	54,605	54,605	(0)	78.1
歳入合計	73,359	69,909	(72,354)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 産業用地造成費	73,359	57,601	(17,749)	100.0
歳出合計	73,359	57,601	(17,749)	100.0

2 事業の概要

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業は、産業誘導拠点と位置付けている豊田東インターチェンジ北側の地区を産業用地として開発する事業です。企業投資の受皿となる産業用地を整備することで、企業の新規立地や事業拡大の促進及び市内企業の市外流出防止を図ります。

なお、令和4年度における主な執行経費は次のとおりです。

- (1) 設計等業務委託を実施し、事業の推進を図りました。
 - ・設計測量調査業務委託（東工区） 42,140千円
- (2) 事業用地取得前に必要となる箇所の境界立会を実施しました。
 - ・境界確定業務（東工区） 6,803千円
- (3) 職員人件費の適正な執行に努めました。 8,570千円

IV 基金の運用状況

豊田市土地開発基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増 加 高	減 少 高	
土 地	(1, 392, 138, 992)	(213, 295, 505)	(336, 524, 918)	(1, 268, 909, 579)
	1, 371, 147, 612	209, 290, 008	336, 524, 918	1, 243, 912, 702
補 償	(248, 422, 700)	(188, 471, 803)	(166, 475, 810)	(270, 418, 693)
	214, 212, 111	172, 571, 087	166, 475, 810	220, 307, 388
貸付金	(6, 740, 611, 136)	(500, 000, 000)	(0)	(7, 240, 611, 136)
	6, 740, 611, 136	500, 000, 000	0	7, 240, 611, 136
預金等	(6, 618, 827, 172)	(503, 000, 728)	(901, 767, 308)	(6, 220, 060, 592)
	6, 674, 029, 141	503, 000, 728	881, 861, 095	6, 295, 168, 774
基金の額 (合計)	15, 000, 000, 000	(1, 404, 768, 036)	(1, 404, 768, 036)	15, 000, 000, 000
		1, 384, 861, 823	1, 384, 861, 823	

() 上段……支出負担行為(差引簿)ベース
下段……現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位：円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	2, 639, 577	2, 639, 577

1 本年度の取得および処分状況は次のとおりです。

(1) 土地
ア 取得

(単位：円、㎡)

区分	面積	契約額	支払額	未払額	備考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	559.69	3,822,577	0	3,822,577	
市道御立野見1号線外2路線歩道設置事業	41.00	1,156,200	809,000	347,200	
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	6.77	457,011	457,011	0	
市道旧加茂川志賀2号線道路改良事業	92.71	2,054,987	1,443,019	611,968	
市道林添九久平1号線(九久平工区)道路改良事業	3,491.58	24,257,237	18,593,016	5,664,221	
市道堤駒場線外1路線道路改良事業	3,176.52	89,861,438	85,206,899	4,654,539	
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	171.83	6,205,398	0	6,205,398	
市道三好知立線道路改良事業	183.25	5,589,125	3,912,000	1,677,125	
市道篠原田粉線道路改良事業	13.44	184,128	0	184,128	
市道藤岡西中山藤宮線交差点改良事業	26.92	1,719,208	1,719,208	0	
市道中田一里山線道路改良事業	29.75	1,847,475	1,847,475	0	
市道四郷西山1号線道路改良事業	889.73	26,423,949	25,976,262	447,687	
市道下山下平入り坂線道路改良事業	103.44	285,495	199,000	86,495	
市道旭八幡牧場線道路改良事業	66.53	20,624	20,624	0	
市道土橋竜神1号線道路新設事業	370.27	45,209,967	45,209,967	0	
市道豊田北高校線交差点改良	22.62	839,202	839,202	0	
小原町分譲事業	168.95	3,361,484	2,352,000	1,009,484	
計	9,415	213,295,505	188,584,683	24,710,822	

イ 処 分

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契 約 額	収 入 額	未 収 入 額	備 考
高橋細谷線・高橋細谷2号線	25.30	2,094,840	2,094,840	0	2,094,840
越戸駅前線	436.47	24,355,026	24,355,026	0	24,355,026
市道勘八峡1号線外1路線道路新設事業	1,392.30	29,193,967	29,193,967	0	29,193,967
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	1,722.65	9,078,367	9,078,367	0	9,078,367
市道御立野見1号線外2路線歩道設置事業	3,156.07	53,692,313	53,692,313	0	53,692,313
市道歌石拳母線道路改良工事	223.08	2,065,721	2,065,721	0	2,065,721
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	111.33	7,476,061	7,476,061	0	7,262,602
市道若石山住宅5号線道路改良事業	125.28	15,847,920	15,847,920	0	15,847,920
市道福谷一色線歩道設置事業	179.32	5,074,756	5,074,756	0	5,074,756
市道小原永太郎線交差点改良事業	137.47	787,703	787,703	0	787,703
市道竹下和会線歩道設置事業	63.75	7,822,125	7,822,125	0	7,822,125
市道旧加茂川志賀2号線道路改良事業	81.30	414,374	414,374	0	414,374
市道力石中金線道路改良事業	298.86	1,909,515	1,909,515	0	1,909,515
市道中垣内九久平1号線交差点新設事業	189.78	468,757	468,757	0	468,757
市道林添九久平1号線(九久平工区)道路改良事業	1,610.31	9,331,469	9,331,469	0	3,902,453
市道堤駒場線外1路線 道路改良事業	503.65	15,978,851	15,978,851	0	0
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	711.35	17,493,144	17,493,144	0	17,493,144
市道中田一里山線道路改良事業	29.75	1,847,475	1,847,475	0	0
準用河川 長田川	23.09	2,170,460	2,170,460	0	2,170,460
市道土橋竜神1号線 道路新設事業	1,077.27	129,422,074	129,422,074	0	129,422,074
計	12,098.38	336,524,918	336,524,918	0	313,056,117

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

(2) 補償
ア 取得

(単位：円)

区 分	契約額	支払額	未払額	備 考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	1,348,725	0	1,348,725	
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	732,571	732,571	0	
市道林添九久平1号線(九久平工区)道路改良事業	23,063,749	16,137,000	6,926,749	
市道堤駒場線外1路線道路改良事業	67,752,409	60,979,051	6,773,358	
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	33,091,893	0	33,091,893	
市道中田一里山線道路改良事業	24,399,174	24,399,174	0	
市道下山下平入り坂線道路改良事業	5,699,075	3,987,000	1,712,075	
市道旭八幡牧場線道路改良事業	27,005	27,005	0	
市道土橋竜神1号線道路新設事業	32,357,202	32,357,202	0	
計	188,471,803	138,619,003	49,852,800	

イ 処分

(単位：円)

区 分	契約額	収入額	未収入額	備 考
高橋細谷線・高橋細谷2号線	9,291,521	9,291,521	0	9,291,521
市道勘八峡1号線外1路線道路新設事業	2,383,921	2,383,921	0	2,383,921
市道御立野見1号線外2路線歩道設置事業	181,610	181,610	0	181,610
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	17,454,448	17,454,448	0	17,019,159
市道若石山住宅5号線道路改良事業	17,920,811	17,920,811	0	17,920,811
市道福谷一色線歩道設置事業	1,160,517	1,160,517	0	1,160,517
市道堤駒場線外1路線道路改良事業	44,174,990	44,174,990	0	0
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	16,574,818	16,574,818	0	16,574,818
市道中田一里山線道路改良事業	24,399,174	24,399,174	0	0
市道土橋竜神1号線道路新設事業	32,934,000	32,934,000	0	32,934,000
計	166,475,810	166,475,810	0	97,466,357

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

2 過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

(単位：円)

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	2,728,367	2,728,367	0	
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	1,391,999	1,391,999	0	
市道若石山住宅5号線道路改良事業	9,494,362	9,494,362	0	
市道林添九久平1号線(九久平工区)道路改良事業	1,174,453	1,174,453	0	
市道高原梅坪1号線 道路改良事業	950,055	664,000	286,055	
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	5,252,144	5,252,144	0	
計	20,991,380	20,705,325	286,055	

(2) 補 償

(単位：円)

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	2,966,277	2,966,277	0	
市道若石山住宅5号線道路改良事業	25,413,989	25,413,989	0	
市道高原梅坪1号線 道路改良事業	856,505	598,000	258,505	
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	4,973,818	4,973,818	0	
計	34,210,589	33,952,084	258,505	

3 本年度豊田市土地開発公社に対する貸付け及び償還の状況は、次のとおりです。

(1) 貸 付
500,000,000円

(2) 償 還
0円

4 令和5年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
豊田刈谷線・大洞筋違橋線	172.69	12,295,528	12,295,528	0	-
小坂若林線・山之手第37号線	257.16	27,258,960	27,258,960	0	-
豊田北バイパス	187.73	12,503,484	12,503,484	0	-
衣浦豊田線	2,483.45	62,079,248	62,079,248	0	-
室町細川線	371.99	16,330,361	16,330,361	0	-
豊田西部線	47.93	1,433,107	1,433,107	0	-
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	559.69	3,822,577	0	3,822,577	-
市道御立野見1号線外2路線歩道設置事業	121.58	3,428,556	3,081,356	347,200	-
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	3.44	243,552	243,552	0	-
市道若石山住宅5号線道路改良事業	262.20	31,642,362	31,642,362	0	-
市道旧加茂川志賀2号線道路改良事業	92.71	2,054,987	1,443,019	611,968	-
市道林添九久平1号線(九久平区)道路改良事業	2,604.84	18,828,221	13,164,000	5,664,221	-
市道高原梅坪1号線道路改良事業	19.45	950,055	664,000	286,055	-
市道堤駒場線外1路線道路改良事業	2,672.87	73,882,587	69,228,048	4,654,539	-
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	171.83	6,205,398	0	6,205,398	-
市道三好知立線道路改良事業	183.25	5,589,125	3,912,000	1,677,125	-
市道篠原田籾線道路改良事業	13.44	184,128	0	184,128	-
市道藤岡西中山藤宮線交差点改良事業	26.92	1,719,208	1,719,208	0	-
市道上原11号線道路新設事業	306.73	7,422,866	7,422,866	0	-
市道名鉄豊田新線側道3号線道路改良事業	564.80	28,872,846	28,872,846	0	-
市道四郷西山1号線道路改良事業	889.73	26,423,949	25,976,262	447,687	-
市道下山下平入り坂線道路改良事業	103.44	285,495	199,000	86,495	-
市道旭八幡牧場線道路改良事業	66.53	20,624	20,624	0	-
足助バイパス残土処理地	45,978.42	55,709,644	55,709,644	0	-
旧いこいの村	829,709.98	121,209,328	121,209,328	0	-
市道土橋竜神1号線道路新設事業	370.27	45,209,967	45,209,967	0	-
市道豊田北高校線交差点改良	22.62	839,202	839,202	0	-
小原町分譲事業	168.95	3,361,484	2,352,000	1,009,484	-
代替地	10,442.69	699,102,730	699,102,730	0	-
計	898,877.33	1,268,909,579	1,243,912,702	24,996,877	-

区分		面積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
補償	市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	-	1,348,725	0	1,348,725	-
	市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	-	297,282	297,282	0	-
	市道若石山住宅5号線道路改良事業	-	84,688,989	84,688,989	0	-
	市道林添九久平1号線(九久平工区)道路改良事業	-	23,063,749	16,137,000	6,926,749	-
	市道高原梅坪1号線道路改良事業	-	856,505	598,000	258,505	-
	市道堤駒場線外1路線道路改良事業	-	23,577,419	16,804,061	6,773,358	-
	市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	-	33,091,893	0	33,091,893	-
	市道名鉄豊田新線側道3号線道路改良事業	-	35,815,782	35,815,782	0	-
	市道下山下平入り坂線道路改良事業	-	5,699,075	3,987,000	1,712,075	-
	市道旭八幡牧場線道路改良事業	-	27,005	27,005	0	-
	足助バイパス残土処理地	-	29,595,067	29,595,067	0	-
	市道土橋竜神1号線道路新設事業	-	32,357,202	32,357,202	0	-
	計	-	270,418,693	220,307,388	50,111,305	-
貸付金	-	7,240,611,136	7,240,611,136	0	-	
預金等	-	-	-	-	6,295,168,774	
合計	898,877.33	8,779,939,408	8,704,831,226	75,108,182	6,295,168,774	

※預金残高(=預金等)には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

(単位: m²)

宅地	田	畑	山林	その他	計
4,162.76	19,683.44	2,179.64	859,435.72	13,415.77	898,877.33

豊田市都心整備基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位:円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土 地	(986, 191, 560)	(30, 541, 792)	(0)	(1, 016, 733, 352)
	980, 132, 140	28, 083, 340	0	1, 008, 215, 480
補 償	(79, 008, 553)	(95, 484, 148)	(0)	(174, 492, 701)
	31, 567, 900	101, 976, 203	0	133, 544, 103
貸付金	(0)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	0
預金等	(3, 249, 927, 882)	(0)	(126, 025, 940)	(3, 123, 901, 942)
	3, 303, 427, 955	0	130, 059, 543	3, 173, 368, 412
基金の額 (合計)	4, 315, 127, 995	(126, 025, 940)	(126, 025, 940)	4, 315, 127, 995
		130, 059, 543	130, 059, 543	

() 上段…支出負担行為(差引簿)ベース
下段…現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位:円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	728, 349	728, 349

1 本年度の取得及び処分の状況は、次のとおりです。

(1) 土地

ア 取得

区分	面積	契約額	支払額	未払額	備考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	128.43	21,408,674	15,296,714	6,111,960	
市道薬師1号線道路改良事業	42.01	9,133,118	8,545,626	587,492	
計	170.44	30,541,792	23,842,340	6,699,452	

(2) 補償

ア 取得

区分	契約額	支払額	未払額	備考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	95,484,148	68,261,810	27,222,338	
計	95,484,148	68,261,810	27,222,338	

2 過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

(1) 土地

区分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	6,059,420	4,241,000	1,818,420	

(2) 補償

区分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	47,440,653	33,714,393	13,726,260	

3 本年度豊田市土地開発公社に対する貸付及び償還の状況は、次のとおりです。

(1) 貸付

該当なし

(2) 償還

該当なし

4 令和5年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)

区分		面積	契約額	支払済額	未払額	預金残高
土地	都心活性化用地	774.07	980,132,140	980,132,140	0	-
	市道西町若宮線歩車 共存道路整備事業	158.59	27,468,094	19,537,714	7,930,380	-
	市道薬師1号線 道路改良事業	42.01	9,133,118	8,545,626	587,492	-
	計	974.67	1,016,733,352	1,008,215,480	8,517,872	-
補償	市道西町若宮線歩車 共存道路整備事業	-	174,492,701	133,544,103	40,948,598	-
	計	-	174,492,701	133,544,103	40,948,598	-
貸付金		-	0	0	0	-
預金等		-	-	-	-	3,173,368,412
合計		974.67	1,191,226,053	1,141,759,583	49,466,470	3,173,368,412

※預金残高(=預金等)には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

(単位：㎡)

宅地	田	畑	山林	その他	計
974.67	0.00	0.00	0.00	0.00	974.67

豊田市産業振興基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土 地	(163, 157, 399) 163, 157, 399	(0) 0	(0) 0	(163, 157, 399) 163, 157, 399
補 償	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
貸付金	(211, 124, 143) 211, 124, 143	(0) 0	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(168, 901, 143) 168, 901, 143
預金等	(1, 225, 718, 458) 1, 225, 718, 458	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(0) 0	(1, 267, 941, 458) 1, 267, 941, 458
基金の額 (合計)	1, 600, 000, 000	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(42, 223, 000) 42, 223, 000	1, 600, 000, 000

() 上段…支出負担行為(差引簿)ベース
下段…現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位：円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	870, 260	870, 260

1 本年度の公益財団法人豊田加茂環境整備公社の償還の状況は、次のとおりです。

(単位：円)

貸付目的	償還額	償還日	貸付日	備考
産業廃棄物処分場建設事業費	42, 223, 000	R5. 3. 24	H4. 3. 31	
計	42, 223, 000			

2 令和5年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約額	支払済額	未払額	預金残高
土 地	19,708.00	163,157,399	163,157,399	0	-
補 償	-	0	0	0	-
貸付金	-	168,901,143	168,901,143	0	-
預金等	-	-	-	-	1,267,941,458
合 計	19,708.00	332,058,542	332,058,542	0	1,267,941,458

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

(単位：㎡)

宅地	田	畑	山林	その他	計
0.00	0.00	0.00	19,708.00	0.00	19,708.00

V 資料



令和4年度 豊田市当初予算編成方針

1 市を取り巻く環境変化

今日の社会は、新型コロナウイルス感染症をはじめ、頻発する自然災害など、これまで想像もつかなかった劇的な変化が起きています。市民の生活様式や働き方は大きく変化し、テレワーク、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取組が進むなど社会全体が変革の時期を迎えています。

本市財政は、地方交付税の合併特例措置の終了や令和3年度から影響が最大となった法人市民税の一部国税化に伴い、これまで経験したことのない歳入減が恒久的に続くこととなります。

こうした変化に対応するには、前例踏襲ではなく今までにない発想を積極的に取り入れ躊躇なく変革を進めるといふ、意識改革と行動変革が必要です。

2 予算編成の基本方針

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の動向を的確に見極めた上で、引き続きその対応に必要な施策を確実に実施するとともに、第8次総合計画後期実践計画を着実に推進する予算編成を行います。

特に、本市を取り巻く急速な社会環境の変化を、新たな希望や可能性に向けて踏み出す重要な機会と捉え、「**変わる社会・変えるミライへ挑戦すること**」を意識し、本市に関わる全ての人とともにポストコロナ社会の構築を目指すため、以下の4点を重点取組として掲げます。

（1）コロナ禍の経験を生かしたくらしと経済の再構築

感染症を契機として社会に広まった「新たな常識」を的確に捉え、時機を逸することなく社会変化・市民ニーズへの対応を図ります。市民、地域、企業それぞれの主体が、コロナ禍を乗り越え、活気に溢れ、安全・安心な生活を送るための再スタートが切られるよう、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に求められる施策を推進します。

（2）デジタル化の加速

デジタル変革は、感染症を機に新たなフェーズに突入しました。行政のデジタル化を加速し市民サービスの向上を図るほか、国が進める施策と連携を図り、官民挙げたデジタル化を加速しデジタル技術を上手く活用することで、社会全体の仕組みを変えていきます。

(3) ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の推進

頻発する自然災害や異常気象など地球温暖化に起因する問題は年々市民生活に大きな猛威を振るうようになりました。国が進める脱炭素化の施策と連携を図るとともに、社会全体でカーボンニュートラルを進められるよう市民・企業等と連携した取組を実施していきます。

(4) 抜本的な財政構造改革

従来の市税水準を前提とした歳出の考え方から脱却し、恒久的な歳入減を前提とした財政構造改革を実施します。単なる歳出の縮減でなく、限られた財源の中で、より高い成果の得られる歳出構造へ転換するため、全事業をゼロベースで見直し、選択と集中を徹底します。

3 予算編成にあたっての考え方

(歳出の適正化、歳入の確保)

- (1) 新規事業、拡大事業は特定財源の確保や既存事業のスクラップ等を徹底して行います。また、事業を実施するにあたり「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを全庁共通認識とし、予算額の精査に取り組みます。
- (2) 国県補助制度の情報収集を行うとともに、採択を受けるための事業手法への検討と調整を進め、積極的に確保します。その他市有財産の貸付・売却、広告事業、未収債権の削減、ふるさと寄附金等を始めとする歳入確保に積極的に取り組みます。

(投資的経費の確保)

- (1) 未来への投資である普通建設事業費は、300億円以上を確保します。
- (2) 市債や基金は、まちづくりに必要な投資や市民サービスの提供のため、必要に応じて有効活用します。

(特別会計、企業会計、協会公社等への対応)

- (1) 特別会計及び企業会計は、一般会計から繰出金等を支出していることから本方針を周知徹底した予算編成を行います。
- (2) 協会公社等に対する補助金や委託料等についても本方針を周知徹底した予算計上を行います。

地方債現在高の状況

(1) 地方債事業別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	3年度末 現在高 (A)	4年度 発行額 (B)	4年度元利償還金			差引現在高 (A)+(B)-(C)
			元金 (C)	利 子	計	
公共事業等債	15,115,536	2,835,500	2,220,796	26,692	2,247,488	15,730,240
防災・減災・ 国土強靱化 緊急対策事業債	1,414,800	799,700	6,400	2,698	9,098	2,208,100
一般単独事業債	7,972,895	285,000	983,789	20,819	1,004,608	7,274,106
公 営 住 宅 建 設 事 業 債	770,603	0	150,325	2,945	153,270	620,278
学校教育施設等 整備事業債	12,988,498	60,500	1,933,745	36,256	1,970,001	11,115,253
一般廃棄物 処理事業債	471,206	202,800	93,418	3,664	97,082	580,588
減収補填債	10,615	0	8,088	28	8,116	2,527
減税補填債	1,667,381	0	561,880	2,289	564,169	1,105,501
臨時財政対策債	6,698,670	0	781,462	13,450	794,912	5,917,208
災害復旧事業債	259,300	0	0	52	52	259,300
社会福祉施設 整備事業債	771,982	0	195,880	1,638	197,518	576,102
過疎対策事業債	1,267,238	239,300	350,718	1,096	351,814	1,155,820
一般補助施設 整備等事業債	414,546	0	43,671	442	44,113	370,875
施設整備事業債 (一般財源化分)	254,405	0	116,511	346	116,857	137,894
全国防災事業債	228,701	0	97,178	631	97,809	131,523
(旧)緊急防災・ 減災事業債	507,309	0	87,741	6,020	93,761	419,568
そ の 他	224,588	0	27,132	0	27,132	197,456
合 計	51,038,273	4,422,800	7,658,734	119,066	7,777,800	47,802,339

(2) 地方債借入先別現在高の状況

(単位：千円)

区分		3年度末 現在高 (A)	4年度 発行額 (B)	4年度 償還元金 (C)	差引現在高 (A)+(B)-(C)
借入先					
政 府 資 金		28,501,692	4,220,000	3,602,064	29,119,628
内 訳	財政融資資金	26,396,366	4,220,000	2,834,028	27,782,338
	うち 旧資金 運用部資金	100,090	0	28,108	71,982
	旧 郵 貯 資 金	76,928	0	30,702	46,226
	旧 簡 保 資 金	2,028,398	0	737,334	1,291,064
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構		121,985	0	46,202	75,783
市 内 金 融 機 関		20,502,951	202,800	3,738,963	16,966,788
共 済 組 合		1,687,057	0	244,373	1,442,684
そ の 他		224,588	0	27,132	197,456
合 計		51,038,273	4,422,800	7,658,734	47,802,339

※地方公共団体金融機構は旧公営企業金融公庫

基金残高の状況

(単位：千円)

基金名	会計区分	令和3年度末	令和4年度増減		令和4年度末
		残高	積立	取崩	残高
資金積立基金					
財政調整基金		32,100,000	4,500,000	1,700,000	34,900,000
減債基金		2,159,234	1,135		2,160,369
足助観光施設整備基金		284,367	120		284,487
介護予防事業推進基金		495,941	261	51,959	444,243
幹線道路建設基金		960,000			960,000
教育施設整備基金		5,546,777	4,001,185		9,547,962
公共施設安全安心基金		6,000,000	7,600,000		13,600,000
青少年活動施設整備基金		320,000			320,000
青少年ものづくり基金		46,244	24	8,235	38,033
総合運動公園建設基金		100,000		25,000	75,000
脱炭素社会推進基金		736,028	1,428		737,456
地域づくり振興基金		789,962		200,000	589,962
都市高速鉄道整備基金		4,800,000		500,000	4,300,000
都心環境計画推進基金		1,000,000			1,000,000
博学未来創造基金		-	200,000		200,000
ふるさと・水と土保全基金		60,213	31		60,244
保健医療福祉基金		8,400,000		500,000	7,900,000
緑の推進基金		393,365	207		393,572
ものづくり未来創造基金		463,433	243	18,364	445,312
森づくり基金		934,000			934,000
国民健康保険事業財政調整基金	特	1,419,669	2,219,100	1,396,413	2,242,356
水道水源保全基金	特	534,686	281	23,813	511,154
介護給付費準備基金	特	3,559,245	442,950		4,002,195
盛岡財産区基金	特	20,078	1,587	1,013	20,652
賀茂財産区基金	特	98,327	3,888	6,469	95,746
小計		71,221,569	18,972,440	4,431,266	85,762,743
うち一般会計分		65,589,564	16,304,634	3,003,558	78,890,640

(単位：千円)

基金名	会計区分	令和3年度末	令和4年度増減		令和4年度末
		残高	積立	取崩	残高
財産維持基金					
クリエイティブ基金		20,500			20,500
交通安全基金		126,677	10		126,687
社会福祉基金		510,449	1,895		512,344
奨学基金		150,837			150,837
スポーツ振興基金		4,781			4,781
青少年健全育成基金		58,226	50		58,276
民芸・猿投古窯基金		40,000			40,000
矢並小学校教育振興基金		18,430			18,430
小計		929,900	1,955	0	931,855
資金運用基金					
産業振興基金		1,600,000			1,600,000
都心整備基金		4,315,128			4,315,128
土地開発基金		15,000,000			15,000,000
小計		20,915,128	0	0	20,915,128
合計		93,066,597	18,974,395	4,431,266	107,609,726

※会計区分の空欄は一般会計、「特」は特別会計です。

